

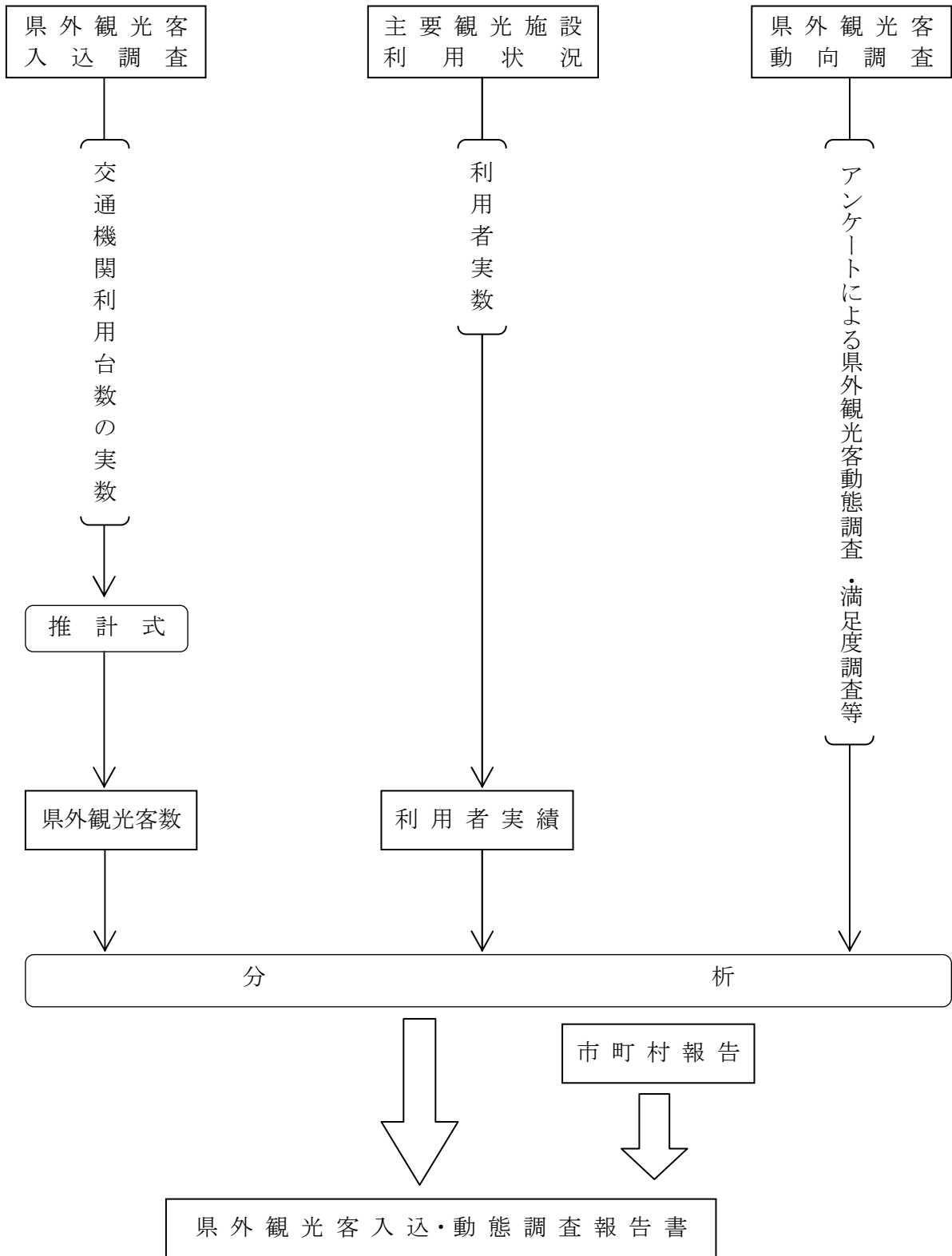
平成 23 年

県外観光客入込・動態調査報告書

平成 24 年 11 月

高知県観光振興部観光政策課

調査方法体系図



はじめに

この調査は、県外観光客の動態を把握し、今後の観光行政に関する諸政策の基礎資料とするため、次の方法により行ったものである。

I 県外観光客入込調査

平成23年1月1日から12月31日までに本県に入り込んだ県外観光客数を交通機関等の調査資料に基づき推計した。

II 主要観光施設等利用状況

平成23年の主要観光施設等における県内・県外観光客の利用状況を、各施設からの報告に基づき取りまとめた。

III 県外観光客動態調査

県内の観光地を訪れた観光客を対象に、四季別に年4回、各調査地とも1季節ごと100人に対し、直接聞き取り調査を実施した。

アンケート調査地（10ヵ所）

室戸岬、モネの庭、龍河洞、アンパンマンミュージアム、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬

IV 観光客満足度調査

県内の観光地を訪れた観光客を対象に、四季別に年4回、各調査地とも1季節ごと50人に対し、直接聞き取り調査を実施した。

アンケート調査地（10ヵ所）

キラメッセ室戸、安芸駅・安芸観光情報センター（岩崎弥太郎こころざし社中）、ヤシィ・パーク、高知龍馬空港、道の駅・南国風良里、龍馬伝 幕末志士社中（高知・龍馬ろまん社中）、高知城、梶原・維新の道社中、四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬

V お客様の声アンケート

「お客様の声アンケートはがき」を県内138の観光施設等に設置して、観光客の満足度調査を実施した。

VI おもてなしの宿アンケート

「おもてなしの宿アンケートはがき」を県内45の宿泊施設に設置して、宿泊客の満足度調査を実施した。

VII 高知自動車道交通量調査

高知自動車道の高知IC、南国IC、須崎東ICの出口で通過車両台数とその中に含まれる県外ナンバーの車両台数の調査を実施した。

VIII 観光動態調査ルート分析

県外観光客動態調査のデータを基に、観光客の周遊ルートを分析した。

IX 参考資料（市町村報告分のみ掲載）

平成23年に県内で実施されたイベント・祭りの入込数及びキャンプ場・海水浴場・市場・温泉施設の利用状況を、各市町村からの報告に基づき取りまとめた。

目 次

I 県外観光客入込調査

1 概 要	1
2 展 望	1
3 調 査 結 果	2
交通機関別入込状況	2
交通機関別観光客占有率の推移	2
交通機関別観光客の推移	2
(参考資料) 県外観光客の推移と主な出来事	3

II 主要観光施設等利用状況

1 概 要	4
(1) 観光施設利用状況	4
(2) ゴルフ場利用状況	5
(3) 有料道路利用状況	5
(4) 有料駐車場利用状況	5
2 施設等利用実績	6
(参 考) 四国3県の施設入込状況	16

III 県外観光客動態調査

1 概 要	17
2 年代別入込割合	19
3 日帰り客と宿泊客割合	21
4 発地ブロック別入込	24
5 旅行日数	29
6 旅行目的	32
7 入込利用交通機関	34
8 旅行形態	35

9	利用宿泊施設	37
10	県内消費額	40
	(参 考) 県外観光客1人あたりの県内消費額及び経済波及効果	44
11	県内宿泊地域割合	45
12	調査地別分析(旅行目的割合)	46
	(旅行形態別割合)	48
	(過去来県回数別割合)	49
	(動機別割合)	50
13	総括	52
	観光客アンケート調査票	56

IV 観光客満足度調査

1	概 要	59
2	高知県のイメージ	60
3	旅行の満足度	62
	(参 考) 今回調査で得られた結果と観光客からの意見	72
	(参 考) 満足度アンケート調査票	73

V お客様の声アンケート

	概 要	75
	お客様の声 回答者基礎データ	76
	お客様の声 満足度について	78
	(参 考) 意見の抜粋	88

VI おもてなしの宿アンケート

	概 要	96
	おもてなしの宿 回答者基礎データ	97
	おもてなしの宿 満足度について	99
	(参 考) 意見の抜粋	103
	そ の 他	107

VII 高知自動車道交通量調査

1	概 要	109
2	2011年春調査	110
3	2011年夏調査	124
4	2011年秋調査	138
5	2012年冬調査	152
	(参 考) 各IC発地別合計	165

VIII 観光動態調査ルート分析

1	概 要	167
2	観光動態調査データ分析 資料	168
2-1	発地別立寄市町村	170
2-2	年齢別立寄市町村割合	180
2-3	旅行形態別立寄市町村割合	182
2-4	旅行目的別立寄市町村割合	184
3	観光動態調査データ分析 地域ブロック別周遊ルート	186
3-1	発地別周遊ルート	188
3-2	旅行形態別周遊ルート	206

IX 参考資料（市町村報告分）

1	祭り・イベントの入込状況	214
2	道の駅・朝市・市場利用状況	216
3	キャンプ場・海水浴場利用状況	217
4	温泉施設利用状況	218

I 県外観光客入込調査

1 概 要

- (1) 平成 23 年に高知県を訪れた県外観光客入込数は、3,882 千人と推計され、対前年比 89.1%、477 千人の減少となったが、前々年比は 123%、762 千人の増加となり、現在の集計方法になった平成 15 年以降、2 番目に高い数値となった。

平成 23 年は、前年の NHK 大河ドラマ「龍馬伝」の放映終了による県外観光客入込みの反動減が懸念されるなか、東日本大震災後の旅行自粛ムードや、高速道路休日 1,000 円の特別割引制度の廃止など、本県観光を取り巻く環境は厳しい状況であった。

こうした中、平成 22 年からの反動減を一定抑えるとともに、前々年の入込数を大きく上回ったことは、官民が一体となって「志国高知 龍馬ふるさと博」に取り組むことができた効果と考えられる。

- (2) 交通機関別入込数では、高速道路休日 1,000 円の特別割引制度の廃止により乗用車利用者が対前年比 88.1%、325 千人の減少となったが、依然として全体の 6 割を超える高いシェアを占めている。また、観光バスも前年比 87.7%、133 千人の減少となった。これは、「龍馬伝」終了後の高知への団体旅行の減を反映していると考えられる。

- (3) 観光施設では利用者数の第 1 位は高知城懐徳館で 289,072 人、第 2 位は高知県立坂本龍馬記念館で 249,578 人といずれも、前年比では減少しているが、前々年比では増加している。高知市立龍馬の生まれたまち記念館も前々年比では増加しており、「龍馬伝」終了後も龍馬ブームが継続していることが伺われる。

- (4) 県外観光客一人当たりの消費額は、24,542 円であり、前年に比較して 1,354 円の増加（前年比 105.8%）となったが、高速道路休日 1,000 円の特別割引制度の廃止による交通費の増加が影響していると考えられる。

また、全体に占める宿泊客の割合が増加したため、一人当たりの宿泊数や飲食機会が増加したことも県外観光客一人当たりの消費額を押し上げる要因となっていると考えられる。

結果として、県外観光客による県内での観光総消費額は、95,278 百万円（対前年比 94.3%）に、また生産誘発効果を含めた経済波及効果は、144,705 百万円（対前年比 94.3%）となった。

2 展 望

平成 23 年は、「志国高知 龍馬ふるさと博」などの取組みを官民協働で実施し、最低限の目標ラインであった前々年の県外観光客入込数を大きく上回った。

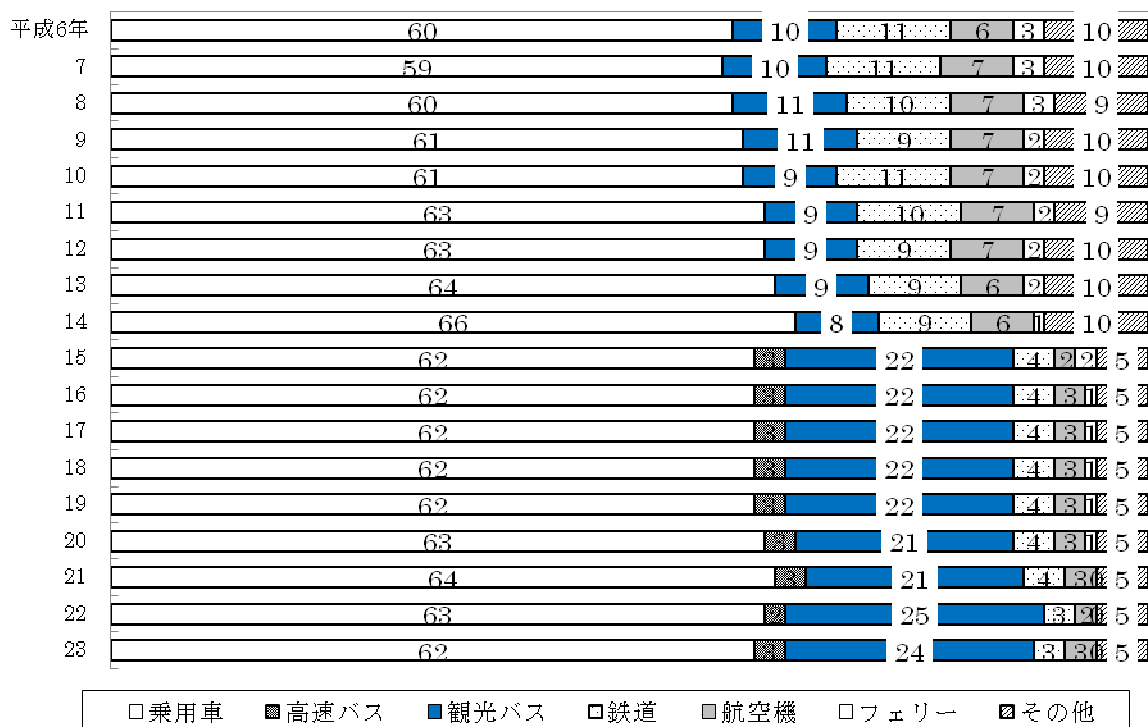
平成 24 年は、これまでの博覧会で培ってきた経験やノウハウ等を生かしながら、高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」を展開していく。

また、さらなる観光資源の発掘・磨き上げなどによる地域観光の推進や、スポーツツーリズム、国際観光の推進等により、第 2 期産業振興計画の 4 年後（平成 27 年度末）の目標で掲げた、県外観光客入込数 400 万人以上、観光総消費額 1,100 億円以上を目指していく。

3 調査結果

・交通機関別入込状況

(表1-1) 交通機関別観光客占有率の推移 (%)



(表1-2) 交通機関別観光客の推移

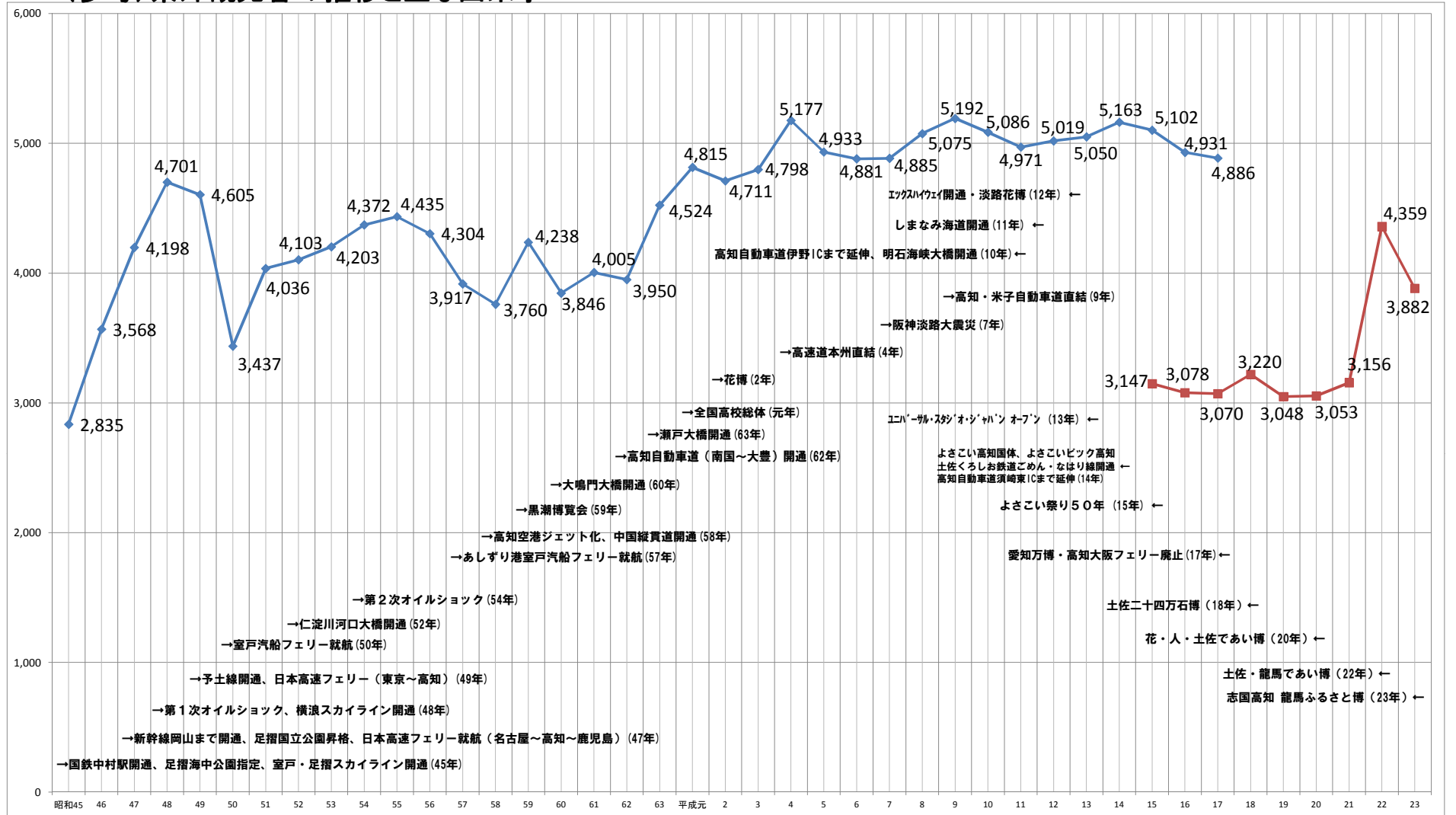
単位：千人

	乗用車	高速バス	観光バス	鉄道	航空機	フェリー	その他	合計
平成6年	2,910	—	491	543	315	138	484	4,881
7	2,908	—	486	541	332	134	484	4,885
8	3,038	—	499	568	339	128	503	5,075
9	3,143	—	487	576	347	124	515	5,192
10	3,115	—	450	553	347	117	504	5,086
11	3,138	—	425	475	345	96	492	4,971
12	3,169	—	430	462	349	112	497	5,019
13	3,222	—	434	457	328	109	500	5,050
14	3,380	—	434	451	319	67	512	5,163
15	1,944	92	688	138	82	56	150	3,147
16	1,906	101	673	132	95	25	146	3,078
17	1,898	104	670	135	93	24	146	3,070
18	1,998	111	706	135	102	16	154	3,220
19	1,885	108	666	133	95	16	145	3,048
20	1,914	111	642	135	91	15	145	3,053
21	2,012	103	674	122	81	14	150	3,156
22	2,737	108	1,080	120	93	13	208	4,359
23	2,412	110	947	120	96	12	185	3,882

※平成15年分より推計手法を見直してる。

平成14年以前は高速バス利用は「その他」に計上していた。

(参考) 県外観光客の推移と主な出来事



※平成15年から推計方法を見直しました

Ⅱ 主要観光施設等利用状況

1 概要

(1) 観光施設利用状況（県内・県外利用者合計）

県内主要観光施設（既存の 56 施設及び龍馬博 4 会場）の年間総利用者数は、
約 2,824 千人、前年比 67.3%、前々年比 111.8% ※龍馬博は 1/1～1/10

<利用者数上位施設>（参照：表 1-1-①、②）

	施設名称	H23年	H22年	H21年	前年比	前々年比
①	高知城懐徳館	289,072 人	360,877 人	219,993 人	80.1%	131.4%
②	高知県立坂本龍馬記念館	249,588 人	482,023 人	175,666 人	51.8%	142.1%
③	アンパンマンミュージアム	203,524 人	213,488 人	232,373 人	95.3%	87.6%
④	高知県立牧野植物園	191,746 人	169,017 人	145,489 人	113.4%	131.8%
⑤	高知県立美術館	185,586 人	259,989 人	239,441 人	71.4%	77.5%

※桂浜公園駐車場は、駐車台数で集計しているため、順位付けはしていません。

<利用者数の前年比率が高くなった上位施設>（参照：表 1-1-①、②）

	施設名称	H23年	H22年	前年比	増加数
①	ゆとりすとパークおおとよ（ハーブ園）	15,527人	8,210人	189.1%	7,317人
②	いの町紙の博物館	26,113人	22,085人	118.2%	4,028人
③	高知県立牧野植物園	191,746人	169,017人	113.4%	22,729人
④	四国自動車博物館	11,325人	10,089人	112.3%	1,236人
⑤	モネの庭マルモッタン	58,903人	53,701人	109.7%	5,202人

<利用者数の前々年比率が高くなった上位施設>（参照：表 1-1-①、②）

	施設名称	H23年	H21年	前々年比	増減数
①	中岡慎太郎館	11,336 人	6,285 人	180.4%	5,051 人
②	龍馬の生まれたまち記念館	78,468 人	46,588 人	168.4%	31,880 人
③	ゆとりすとパークおおとよ（ハーブ園）	15,527 人	9,477 人	163.8%	6,050 人
④	安芸市歴史民俗資料館	6,383 人	4,195 人	152.2%	2,188 人
⑤	雲の上の温泉	56,903 人	39,484 人	144.1%	17,419 人

(2) ゴルフ場利用状況 (参照：表 1-5)

県内主要 11 ゴルフ場の利用者数は、約 468 千人、前年比 98.7%、約 6 千人の減、前々年対比 97.8%、約 11 千人の減となっている。

(3) 有料道路利用状況 (参照：表 1-6)

高知自動車道の通行台数は、約 11,621 千台、前年比 103.3%、約 372 千台の増、前々年比 152.9%、約 4,021 千台の増となっている。

(自動二輪車～特大車のすべてを含む。県内 6 か所の I C から出た車の台数の合計)

(4) 有料駐車場利用状況 (参照：表 1-7)

有料駐車場別	H23年	H22年	H21年	前年比	前々年比
桂 浜 (全 車)	214,756台	289,891台	201,079台	74.1%	106.8%
高知公園 (県外バス)	3,481台	5,754台	3,135台	60.5%	111.0%
龍 河 洞 (県外バス)	398台	516台	511台	77.1%	77.9%

(表1-4) 交通機関利用実績

名 称	月	1			2			3			4			5		
			前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比
JR(土讃線)	月計	87,894	109.3	106.9	79,155	109.1	111.5	90,521	90.6	91.5	79,164	90.2	97.0	86,126	100.7	130.0
	累計	87,894	109.3	106.9	167,049	109.2	109.1	257,570	101.8	102.2	336,734	98.8	81.3	422,860	99.2	88.0
航空機	月計	44,631	99.9	98.0	48,537	97.3	101.6	44,459	76.9	81.7	36,138	72.9	75.8	41,063	78.9	93.6
	累計	44,631	99.9	98.0	93,168	98.5	99.8	137,627	90.3	93.2	173,765	86.0	73.0	214,828	84.6	76.2
宿毛フェリー	月計	1,845	93.8	82.9	1,505	132.7	92.7	2,036	79.7	95.5	2,102	92.0	56.8	2,823	85.3	149.8
	累計	1,845	93.8	82.9	3,350	108.0	87.1	5,386	95.3	90.1	7,488	94.3	62.5	10,311	91.7	74.4
交通機関 計	月計	134,370	105.8	103.4	129,197	104.6	107.4	137,016	85.5	88.1	117,404	84.1	88.3	130,012	92.3	116.1
	累計	134,370	105.8	103.4	263,567	105.2	105.3	400,583	97.5	98.7	517,987	94.1	78.0	647,999	93.7	83.5

(表1-5) 月別ゴルフ場利用実績

名 称	月	1			2			3			4			5		
			前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比
黒潮	月計	6,786	92.0	92.0	6,579	96.0	107.4	7,137	86.3	86.8	7,496	84.5	94.9	8,067	91.1	93.0
カントリークラブ	累計	6,786	92.0	92.0	13,365	93.9	104.2	20,502	91.1	97.4	27,998	89.2	96.7	36,065	89.6	95.9
土佐	月計	6,154	100.9	100.9	5,605	105.6	118.6	4,375	85.4	76.8	6,149	102.0	99.7	6,566	90.7	87.8
カントリークラブ	累計	6,154	100.9	100.9	11,759	103.1	108.4	16,134	97.6	97.5	22,283	98.8	98.1	28,849	96.8	95.5
錦山	月計	2,746	89.1	89.1	2,728	98.2	113.5	3,832	105.6	107.8	4,525	131.5	111.1	3,877	93.4	97.1
カントリークラブ	累計	2,746	89.1	89.1	5,474	93.4	102.7	9,306	98.1	104.7	13,831	107.0	106.7	17,708	103.7	104.5
パンフィック ゴルフクラブ	月計	2,800	89.9	89.9	2,885	107.9	116.4	3,245	100.1	109.3	3,401	111.1	107.5	3,720	99.5	99.6
	累計	2,800	89.9	89.9	5,685	98.2	103.6	8,930	98.9	105.6	12,331	102.0	106.1	16,051	101.4	104.6
高知	月計	2,246	91.9	91.9	2,299	111.1	100.2	2,975	105.0	103.0	2,835	99.0	99.0	3,298	98.3	97.3
ゴルフクラブ	累計	2,246	91.9	91.9	4,545	100.7	99.7	7,520	102.4	101.0	10,355	101.4	100.4	13,653	100.6	99.7
グリーンフィール ゴルフクラブ	月計	2,274	102.6	102.6	2,307	106.9	88.0	2,753	85.5	83.7	3,187	92.0	80.5	4,057	106.1	94.6
	累計	2,274	102.6	102.6	4,581	104.7	93.7	7,334	96.6	89.7	10,521	95.1	86.7	14,578	98.0	88.8
土佐ユートピア カントリークラブ	月計	2,419	87.6	87.6	2,211	104.3	113.7	2,307	96.5	102.2	2,623	101.7	104.0	2,804	89.2	78.0
	累計	2,419	87.6	87.6	4,630	94.9	104.2	6,937	95.4	103.5	9,560	97.0	103.7	12,364	95.1	96.4
土佐山田 ゴルフ倶楽部	月計	2,998	93.3	93.3	2,905	95.0	104.0	3,786	95.8	99.4	3,818	95.0	93.6	4,007	82.5	74.4
	累計	2,998	93.3	93.3	5,903	94.1	104.5	9,689	94.8	102.4	13,507	94.8	99.8	17,514	91.7	92.5
四万十 カントリークラブ	月計	1,430	71.1	71.1	1,605	90.0	75.6	1,660	101.4	82.0	1,988	92.9	81.6	2,001	76.7	69.6
	累計	1,430	71.1	71.1	3,035	80.0	71.4	4,695	86.4	74.8	6,683	88.3	76.7	8,684	85.3	75.0
高南 カントリークラブ	月計	1,293	79.0	79.0	1,408	90.1	82.9	1,719	98.7	96.8	2,092	114.1	93.9	2,126	87.2	83.0
	累計	1,293	79.0	79.0	2,701	84.4	80.3	4,420	89.5	86.0	6,512	96.1	88.4	8,638	93.7	87.0
スカイベイ ゴルフクラブ	月計	2,673	115.8	115.8	2,142	123.5	125.1	2,328	110.4	127.1	2,491	108.7	129.6	2,816	90.9	101.4
	累計	2,673	115.8	115.8	4,815	119.1	125.4	7,143	116.1	125.9	9,634	114.1	126.9	12,450	107.9	120.0
計	月計	33,819	93.2	93.2	32,674	101.8	105.7	36,117	94.7	94.3	40,605	100.0	98.3	43,339	91.6	88.9
	累計	33,819	93.2	93.2	66,493	97.3	101.5	102,610	96.3	98.8	143,215	97.3	98.7	186,554	96.0	96.2

単位:人 前年比、前々年比:%

6	前年比		7	前年比		8	前年比		9	前年比		10	前年比		11	前年比		12	前年比	
	前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比
74,486	108.4	81.3	81,710	95.8	100.3	106,436	109.0	116.1	75,246	92.2	92.3	80,560	96.0	106.9	74,716	99.9	102.2	89,204	108.7	112.8
497,346	100.5	76.1	579,056	99.8	78.8	685,492	101.1	104.9	760,738	100.2	103.5	841,298	99.8	103.9	916,014	99.8	103.7	1,005,218	100.5	104.5
41,140	85.7	71.8	47,385	91.2	88.2	59,432	96.5	103.8	49,169	92.0	91.5	54,031	92.1	102.5	55,373	94.4	107.5	50,257	101.3	103.5
255,968	84.8	65.9	303,353	85.7	68.6	362,785	87.3	93.4	411,954	87.9	93.2	465,985	88.3	94.2	521,358	88.9	95.5	571,615	89.9	96.1
1,549	103.0	32.4	1,830	79.9	47.7	4,204	90.2	88.0	2,009	73.4	52.3	2,435	90.4	94.2	2,427	93.1	103.0	2,021	105.5	94.2
11,860	93.0	55.4	13,690	91.0	54.2	17,894	90.8	83.5	19,903	88.7	78.8	22,338	88.9	80.2	24,765	89.3	82.0	26,786	90.3	82.8
117,175	99.2	76.2	130,925	93.8	94.2	170,072	103.8	110.7	126,424	91.7	90.9	137,026	94.3	104.9	132,516	97.4	104.3	141,482	105.9	109.0
765,174	94.5	72.0	896,099	94.4	74.6	1,066,171	95.8	100.3	1,192,595	95.3	99.2	1,329,621	95.2	99.8	1,462,137	95.4	100.2	1,603,619	96.3	100.9

単位:人 前年比、前々年比:%

6	前年比		7	前年比		8	前年比		9	前年比		10	前年比		11	前年比		12	前年比	
	前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比
7,324	108.0	110.5	6,401	104.8	94.3	7,281	117.3	128.6	6,353	94.7	93.8	8,437	95.9	104.9	6,907	101.8	104.4	8,394	91.4	88.8
43,389	92.3	98.1	49,790	93.7	87.8	57,071	96.2	103.0	63,424	96.0	102.0	71,861	96.0	102.3	78,768	96.5	102.5	87,162	96.0	101.0
5,157	95.4	90.8	5,263	101.1	103.4	5,155	98.1	94.2	5,126	95.0	79.4	6,426	101.5	97.0	6,680	95.8	94.1	6,621	98.2	95.3
34,006	96.6	94.8	39,269	97.2	99.1	44,424	97.3	95.2	49,550	97.0	93.3	55,976	97.5	93.7	62,656	97.4	93.7	69,277	97.4	93.9
3,547	113.5	93.4	4,055	115.0	103.0	2,823	91.2	91.1	3,282	82.6	102.5	4,280	108.6	112.3	3,852	91.0	96.8	4,230	112.5	110.7
21,255	105.2	102.4	25,310	106.6	107.4	28,133	104.9	104.2	31,415	102.0	104.0	35,695	102.7	104.9	39,547	101.5	104.1	43,777	102.4	104.7
2,820	95.0	89.3	2,808	89.1	81.5	2,876	99.0	92.1	3,011	90.8	92.6	3,824	108.3	105.6	3,949	102.4	106.7	4,065	106.4	103.0
18,871	100.4	101.9	21,679	98.8	96.3	24,555	98.8	100.2	27,566	97.9	99.3	31,390	99.0	100.0	35,339	99.4	100.7	39,404	100.1	100.9
2,741	105.7	96.4	3,657	108.2	112.8	2,567	82.9	94.2	3,038	99.0	86.6	3,599	107.8	107.4	3,339	90.9	90.0	3,978	108.1	105.3
16,394	101.4	99.1	20,051	102.6	105.4	22,618	99.9	99.2	25,656	99.8	97.6	29,255	100.7	98.7	32,594	99.6	97.7	36,572	100.5	98.5
3,073	95.7	98.3	3,176	100.1	110.1	3,444	113.3	101.0	3,679	95.5	92.7	4,099	96.4	101.5	4,649	106.9	103.8	3,984	109.7	111.0
17,651	97.6	90.3	20,827	97.9	106.1	24,271	99.9	91.8	27,950	99.3	91.9	32,049	98.9	93.0	36,698	99.8	94.3	40,682	100.7	95.7
2,132	92.3	93.8	2,486	102.1	103.1	2,522	96.7	103.7	2,374	96.1	82.6	2,575	99.7	101.1	2,713	91.5	103.0	3,004	95.8	92.7
14,496	94.7	96.0	16,982	95.7	94.7	19,504	95.8	97.6	21,878	95.9	95.7	24,453	96.3	96.3	27,166	95.8	96.9	30,170	95.8	96.5
3,388	89.4	80.6	3,896	98.6	100.1	3,908	143.2	102.0	3,486	120.2	86.1	4,182	107.1	109.2	4,165	93.8	96.9	3,897	90.2	94.3
20,902	91.3	90.4	24,798	92.4	93.4	28,706	97.1	92.7	32,192	99.1	91.9	36,374	100.0	93.6	40,539	99.3	94.0	44,436	98.4	94.0
1,671	100.2	69.6	2,230	102.5	110.1	2,176	101.7	90.3	1,760	82.0	72.0	2,262	112.6	88.4	2,223	107.3	93.5	2,085	98.7	81.7
10,355	87.4	74.0	12,585	89.7	104.5	14,761	91.3	78.8	16,521	90.2	78.0	18,783	92.4	79.1	21,006	93.8	80.4	23,091	94.2	80.6
1,745	100.1	83.1	1,969	97.6	91.7	1,999	107.2	81.4	1,811	93.0	82.8	2,183	104.2	99.8	1,870	87.1	103.3	1,960	108.2	113.3
10,383	94.8	86.3	12,352	95.2	102.2	14,351	96.7	87.6	16,162	96.3	87.0	18,345	97.2	88.4	20,215	96.1	89.6	22,175	97.1	91.3
2,312	97.8	111.3	2,530	102.4	86.4	2,370	103.0	109.8	2,556	103.3	97.2	2,823	113.9	130.8	2,887	105.1	119.6	3,175	114.5	123.1
14,762	106.1	118.6	17,292	105.6	93.7	19,662	105.3	117.8	22,218	105.0	115.0	25,041	106.0	116.6	27,928	105.9	116.9	31,103	106.7	117.5
35,910	99.9	93.8	38,471	102.3	102.3	37,121	105.3	100.9	36,476	95.4	88.2	44,690	103.3	104.5	43,234	97.7	100.3	45,393	100.9	99.2
222,464	96.6	95.8	260,935	97.4	97.4	298,056	98.3	97.5	334,532	98.0	96.4	379,222	98.6	97.3	422,456	98.5	97.6	467,849	98.7	97.8

(表1-6)月別有料道路利用実績

名 称	月	1			2			3			4			5			
		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		
高知自動車道	大豊インター	月計	45,708	106.8	97.0	45,747	112.2	104.8	51,013	101.1	96.9	48,297	108.8	100.2	51,382	101.0	96.7
		累計	45,708	106.8	97.0	91,455	109.5	100.8	142,468	106.3	99.3	190,765	107.0	99.5	242,147	105.6	98.9
	南国インター	月計	118,678	100.5	112.1	113,586	99.5	112.4	131,933	96.7	108.4	126,247	103.1	109.7	135,545	98.7	101.9
		累計	118,678	100.5	112.1	232,264	100.0	112.3	364,197	98.8	110.8	490,444	99.9	110.6	625,989	99.6	108.6
	高知インター	月計	362,119	168.8	204.1	335,849	172.2	203.5	399,785	166.0	197.8	377,835	172.7	193.4	400,304	161.4	176.5
		累計	362,119	168.8	204.1	697,968	170.4	203.9	1,097,753	168.8	201.6	1,475,588	169.8	199.4	1,875,892	167.9	194.1
	伊野インター	月計	207,507	225.5	255.6	197,086	231.2	258.3	288,993	276.9	312.8	214,484	229.1	248.0	218,718	218.5	233.5
		累計	207,507	225.5	255.6	404,593	228.2	256.9	693,586	246.3	277.6	908,070	242.0	270.0	1,126,788	237.0	262.0
	土佐インター	月計	148,361	311.1	393.4	141,978	318.0	406.7	167,272	315.0	394.4	158,621	321.1	359.2	162,159	298.1	330.5
		累計	148,361	311.1	393.4	290,339	314.4	399.8	457,611	314.6	397.8	616,232	316.3	387.1	778,391	312.3	373.8
	須崎東インター	月計	248,754	207.7	240.8	235,327	213.2	248.9	285,237	208.5	242.4	269,696	214.6	235.4	287,559	194.7	207.7
		累計	248,754	207.7	240.8	484,081	210.3	244.7	769,318	209.7	243.9	1,039,014	210.9	241.6	1,326,573	207.2	233.4
	計	月計	1,131,127	178.2	204.7	1,069,573	181.2	207.5	1,324,233	183.4	210.5	1,195,180	182.7	197.9	1,255,667	170.1	180.9
		累計	1,131,127	178.2	204.7	2,200,700	179.6	206.1	3,524,933	181.0	207.7	4,720,113	181.4	205.2	5,975,780	178.9	199.5

(表1-7)月別駐車場利用実績

名 称	月	1			2			3			4			5		
		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比		前 年 比	前 々 年 比	
高知公園駐車場 (県外バス)	月計	177	86.8	107.3	372	87.7	122.4	319	56.9	88.1	215	44.7	87.0	296	49.3	119.8
	累計	177	86.8	107.3	549	87.4	117.1	868	73.0	104.5	1,083	64.9	100.5	1,379	60.7	104.1
龍河洞駐車場 (県外バス)	月計	17	100.0	48.6	36	75.0	80.0	21	41.2	53.8	18	38.3	69.2	36	75.0	75.0
	累計	17	100.0	48.6	53	81.5	66.3	74	63.8	62.2	92	56.4	63.4	128	60.7	66.3
桂浜駐車場 (全 車)	月計	13,764	74.6	149.9	12,053	77.0	150.6	15,908	61.6	101.2	19,156	75.2	119.9	26,982	57.0	106.7
	累計	13,764	74.6	149.9	25,817	75.7	150.3	41,725	69.6	126.8	60,881	71.3	124.6	87,863	66.2	118.5
計	月計	13,958	74.8	148.8	12,461	77.3	149.2	16,248	61.5	100.8	19,389	74.6	119.4	27,314	56.9	106.8
	累計	13,958	74.8	148.8	26,419	76.0	149.0	42,667	69.7	126.1	62,056	71.2	123.9	89,370	66.1	118.1

単位:台 前年比、前々年比:%

6	前年比		7	前年比		8	前年比		9	前年比		10	前年比		11	前年比		12	前年比	
	前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比
44,100	98.3	91.4	51,920	101.2	105.1	58,302	100.7	103.8	47,038	93.4	91.8	49,277	100.5	106.3	50,386	98.3	105.0	49,573	95.8	107.5
286,247	104.4	97.7	338,167	103.9	98.7	396,469	103.4	99.5	443,507	102.3	98.6	492,784	102.1	99.3	543,170	101.7	99.8	592,743	101.2	100.4
118,474	103.9	104.9	122,572	96.0	101.8	146,009	97.5	103.2	120,499	94.3	93.3	126,023	98.6	103.9	127,148	95.7	101.8	124,236	98.2	103.2
744,463	100.3	108.0	867,035	99.6	107.0	1,013,044	99.3	106.5	1,133,543	98.8	104.9	1,259,566	98.8	104.8	1,386,714	98.5	104.5	1,510,950	98.4	104.4
320,887	146.8	166.0	240,828	64.6	116.0	283,909	66.6	115.4	236,247	62.8	105.9	247,169	64.7	117.8	237,725	62.3	114.0	243,546	64.2	117.5
2,196,779	164.5	189.4	2,437,607	142.7	178.2	2,721,516	127.5	168.7	2,957,763	117.8	161.0	3,204,932	110.8	156.6	3,442,657	105.1	152.7	3,686,203	100.9	149.7
173,332	172.7	201.0	113,968	56.7	125.5	129,733	56.9	121.3	109,190	52.9	114.6	115,153	53.9	121.1	112,708	52.2	122.0	114,652	52.7	121.2
1,300,120	225.8	251.9	1,414,088	182.0	232.9	1,543,821	153.7	216.2	1,653,011	136.5	204.3	1,768,164	124.1	195.5	1,880,872	114.6	188.7	1,995,524	107.4	182.9
122,115	217.1	276.6	67,416	46.3	143.3	75,358	47.2	142.4	62,973	42.9	132.2	69,199	45.5	144.7	64,901	42.1	141.0	68,858	44.1	142.4
900,506	294.8	356.8	967,922	214.5	323.2	1,043,280	170.8	296.1	1,106,253	146.0	276.5	1,175,452	129.2	262.5	1,240,353	116.6	251.1	1,309,211	107.3	241.4
219,483	167.9	195.2	157,641	59.9	128.7	197,050	64.4	124.0	150,981	58.1	113.3	159,587	60.7	128.7	154,118	57.9	126.0	160,903	60.2	128.5
1,546,056	200.5	227.1	1,703,697	164.7	212.1	1,900,747	141.8	197.5	2,051,728	128.3	187.3	2,211,315	118.7	181.3	2,365,433	111.1	176.3	2,526,336	105.4	172.2
998,391	150.2	167.1	754,345	65.0	118.3	890,361	67.1	116.8	726,928	62.3	106.9	766,408	64.5	118.9	746,986	62.2	116.3	761,768	63.6	118.7
6,974,171	174.1	194.2	7,728,516	149.6	182.7	8,618,877	132.7	172.6	9,345,805	122.0	164.8	10,112,213	114.3	160.1	10,859,199	108.1	156.1	11,620,967	103.3	152.9

単位:台 前年比、前々年比:%

6	前年比		7	前年比		8	前年比		9	前年比		10	前年比		11	前年比		12	前年比	
	前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比		前年比	前々年比
328	48.0	115.9	225	48.4	121.6	191	67.7	121.7	243	55.5	130.6	373	62.8	103.3	538	70.1	114.5	204	80.6	121.4
1,707	57.8	106.2	1,932	56.5	107.8	2,123	57.4	108.9	2,366	57.2	110.8	2,739	57.9	109.7	3,277	59.6	110.4	3,481	60.5	111.0
37	66.1	68.5	34	85.0	89.5	21	110.5	60.0	54	135.0	135.0	70	109.4	116.7	37	54.4	59.7	17	94.4	58.6
165	61.8	66.8	199	64.8	69.8	220	67.5	68.8	274	74.9	76.1	344	80.0	81.9	381	76.5	79.0	398	77.1	77.9
13,706	87.1	106.7	15,944	77.8	105.1	34,525	82.4	109.8	19,078	75.4	82.2	18,009	89.6	107.6	15,637	74.5	91.9	9,994	79.0	95.0
101,569	68.4	116.8	117,513	69.6	115.0	152,038	72.1	113.8	171,116	72.5	109.1	189,125	73.8	109.0	204,762	73.9	107.5	214,756	74.1	106.8
14,071	85.4	106.8	16,203	77.2	105.2	34,737	82.3	109.8	19,375	75.2	82.7	18,452	88.9	107.5	16,212	74.2	92.4	10,215	79.1	95.3
103,441	68.2	116.4	119,644	69.3	114.8	154,381	71.8	113.6	173,756	72.2	109.1	192,208	73.5	108.9	208,420	73.6	107.4	218,635	73.8	106.8

(参 考)

四国3県の施設入込状況

単位：千人

県	施設名	年	平成23年	平成22年	対前年比 (%)
徳島県	大鳴門橋		8,406	8,652	97.2%
	渦の道		535	586	91.3%
	あすたむらんど		444	436	101.8%
	吉野川ハイウェイオアシス		967	1,048	92.3%
	祖谷のかずら橋		310	354	87.6%
香川県	栗林公園		555	592	93.8%
	屋島		485	544	89.2%
	琴平		2,749	3,254	84.5%
	小豆島		1,044	1,098	95.1%
愛媛県	松山城ロープウェイリフト		961	1,037	92.7%
	道後温泉本館及び別館		1,082	1,117	96.9%
	とべ動物園		535	573	93.4%
	マイントピア別子		427	473	90.3%
	愛媛県総合科学博物館		207	206	100.5%

※通過台数

Ⅲ 県外観光客動態調査

1 概要

● はじめに

観光施策の基礎資料とすることを目的として、高知県内の観光地で四季ごとにアンケート調査を実施し、観光客の動向を把握するとともに調査結果の分析を行った。

調査精度の均一化を図るため、委託事業者が時間帯を 10 時から 17 時まで偏りが無いように調整しながら、1 グループに 1 名（1 回答）を徹底した対面聞き取り方式により調査を実施した。

とりまとめにあたっては、アンケート調査に基づく全般的な傾向等について記載するとともに、それぞれの調査項目について、その特徴的な事項の説明を加えた。

なお、暦年調査のため、参考資料は冬春夏秋の順に表示している。

● アンケート調査地（10カ所）

室戸岬、モネの庭、龍河洞、アンパンマンミュージアム、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬

● 調査時期

- ・ 冬期：平成 22 年 12 月 19 日～平成 23 年 1 月 29 日
- ・ 春期：平成 23 年 4 月 29 日～平成 23 年 5 月 7 日
- ・ 夏期：平成 23 年 7 月 31 日～平成 23 年 8 月 28 日
- ・ 秋期：平成 23 年 11 月 6 日～平成 23 年 12 月 3 日

※冬期のモネの庭、夏期のアンパンマンミュージアム、秋期の龍河洞、モネの庭、四万十川観光開発遊覧船乗場では、1 日で十分なサンプル数を得ることができず、2 日間調査を行った。

● 平成 23 年度観光統計調査の特徴

県内旅行日数は前年比 0.1 日増の 2.0 日。

日帰り客と宿泊客の割合（表 3-1）は、「日帰り」旅行が前年比 3.8 ポイント減の 37.0% と、前年の“日帰り客割合の増加・宿泊客割合の減少”傾向が弱まった結果となった。そのため、県内旅行の平均日数（図 5-1）は 2.0 日となり、前年比で 0.1 日の増加となっている。

関東から航空機を利用した旅行者が増加。しかし、依然として自家用車が大半。

発地ブロック別入込割合（表 4-1）では、「関東」からの旅行者が 13.5% と平成 19 年度からの調査では最も多くなる一方「中国・四国」からの旅行者が減少している。この影響で入込利用交通機関の割合（表 7-1）は、「自家用車」が前年比 2.2 ポイント減の 80.0% となり、「航空機」の利用が前年比 1.9 ポイント増の 7.6% となっている。

『龍馬伝』放映効果の弱まり。自然や景観への関心の増加。

旅行の主な目的の割合（表 6-1）は、「名所旧跡などの見学・行楽」の割合が前年比で 15.1 ポイント減少したものの 31.1% と最も多く、「自然見物・町歩き」が前年比 10.9 ポイント増加し 27.5% となっている。大河ドラマ『龍馬伝』の放映が終了したことにより歴史関連施設への関心が一定落ち着き、平成 23 年 9 月に世界ジオパークに認定された室戸ジオパークなどを中心に自然・景観へシフトしたと思われる。

平均消費額は 1,354 円の増加。その大半は交通費の増加によるもの。

県内平均消費額（図 10-1）は、24,542 円で、前年比 1,354 円の増加となった。その内訳（参考 12）を見ると、入場料を含む「その他」が前年比で約 460 円減少、「宿泊費」「飲食費」「土産代」はほぼ横ばい、「交通費」が前年比で約 1,650 円増加となっている。

県西部での宿泊施設の利用が減少。

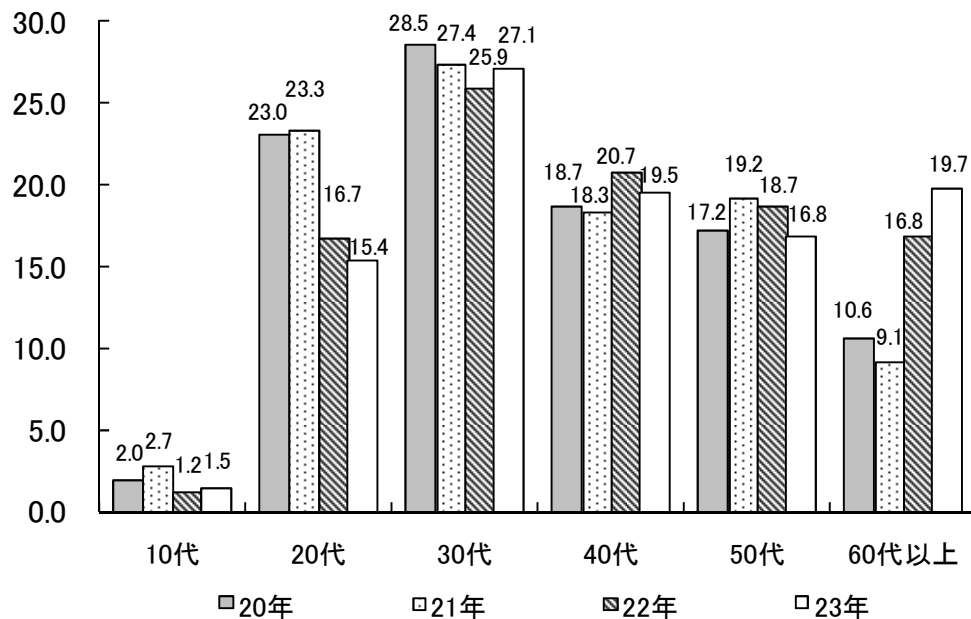
また、県内での宿泊地域の割合（図 11-1）は、「幡多」地域が前年比 2.7 ポイント減少の 20.9%、「高幡」や「中央西」でも減少となりました。その反面で、「中央・中央東」地域で前年比 3.4 ポイント増の 61.3%、「東部」が前年比 1.0 ポイント増の 7.9% と、県西部での宿泊が前年に比べ少なくなっている。

2 年代別入込割合

(表 2-1) 年代別旅行者割合(上段:件 下段:%) [23 年、過去 3 年間]

年代	年	20年 (n=2352)	21年 (n=2362)	22年 (n=2967)	23年 (n=2929)	対前年比 23年/22年
10 代	件	48	64	36	44	125.0%
	%	2.0	2.7	1.2	1.5	
20 代	件	540	551	494	452	92.2%
	%	23.0	23.3	16.7	15.4	
30 代	件	671	646	768	794	104.6%
	%	28.5	27.4	25.9	27.1	
40 代	件	439	432	615	570	94.2%
	%	18.7	18.3	20.7	19.5	
50 代	件	404	453	554	492	89.8%
	%	17.2	19.2	18.7	16.8	
60代以上	件	250	216	500	577	117.3%
	%	10.6	9.1	16.8	19.7	

(図 2-2) 年代別旅行者割合(%) [23 年、過去 3 年間]



(参考 1) 年代別性別旅行者割合(上段:件 下段:%) [23 年、過去 2 年間]

年代	年	平成21年 (n=2362)		平成22年 (n=2967)		平成23年 (n=2929)	
		男	女	男	女	男	女
10 代		32	32	16	20	27	17
		50.0	50.0	44.4	55.6	61.4	38.6
20 代		297	254	251	243	244	208
		53.9	46.1	50.8	49.2	54.0	46.0
30 代		402	244	465	303	446	348
		62.2	37.8	60.5	39.5	56.2	43.8
40 代		303	129	406	209	349	221
		70.1	29.9	66.0	34.0	61.2	38.8
50 代		325	128	361	193	312	180
		71.7	28.3	65.2	34.8	63.4	36.6
60代以上		159	57	328	172	367	210
		73.6	26.4	65.6	34.4	63.6	36.4
計		1518	844	1827	1140	1745	1184
		64.3	35.7	61.6	38.4	59.6	40.4

年代別割合を平成 20 年度の調査から通してみると、今回調査の 60 代以上が 19.7%と最も多い割合となった。その反面、20 代は 15.4%と最も低くなっている。

今回調査だけで年代別割合をみると、30 代が 27.1%と最も多く、次いで 60 代以上の 19.7%、40 代の 19.5%となっている。

平成 22 年度以降、20 代が年々減少しており、その反面で 60 代以上が急激に増加している。高知県の魅力を若い世代に知ってもらうための PR が重要と考えられる。

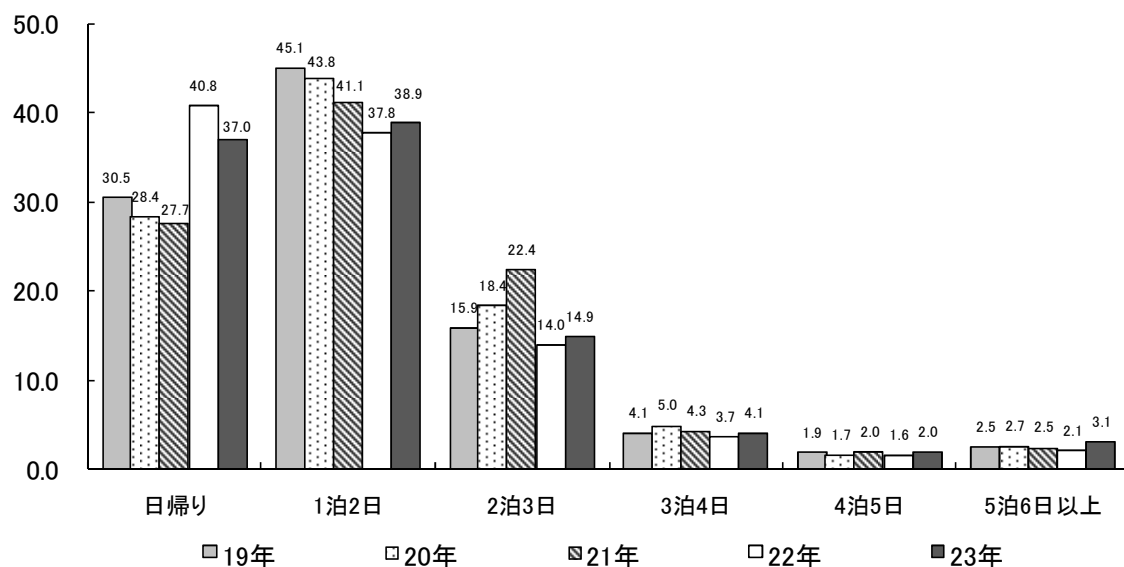
男女比は、全体で 59.6% : 40.4%となった。女性の割合が前年調査から 2.0 ポイント増加している。年代別でみた男性の割合は、60 代以上の 63.6%が最も多く、20 代の 54.0%が最も少なくなっている。

3 日帰り客と宿泊客割合

(表 3-1) 年次別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [23 年、過去 4 年間]

年	旅行日数	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
	19年 (n=2316)		706 30.5	1044 45.1	368 15.9	95 4.1	45 1.9
20年 (n=2352)		668 28.4	1029 43.8	432 18.4	118 5.0	41 1.7	64 2.7
21年 (n=2362)		655 27.7	971 41.1	528 22.4	102 4.3	48 2.0	58 2.5
22年 (n=2967)		1212 40.8	1123 37.8	415 14.0	109 3.7	47 1.6	61 2.1
23年 (n=2929)		1084 37.0	1140 38.9	437 14.9	119 4.1	58 2.0	91 3.1

(図 3-2) 年次別日帰り客・宿泊客割合(%) [23 年、過去 4 年間]



(表 3-3) 四季別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [23年、22年]

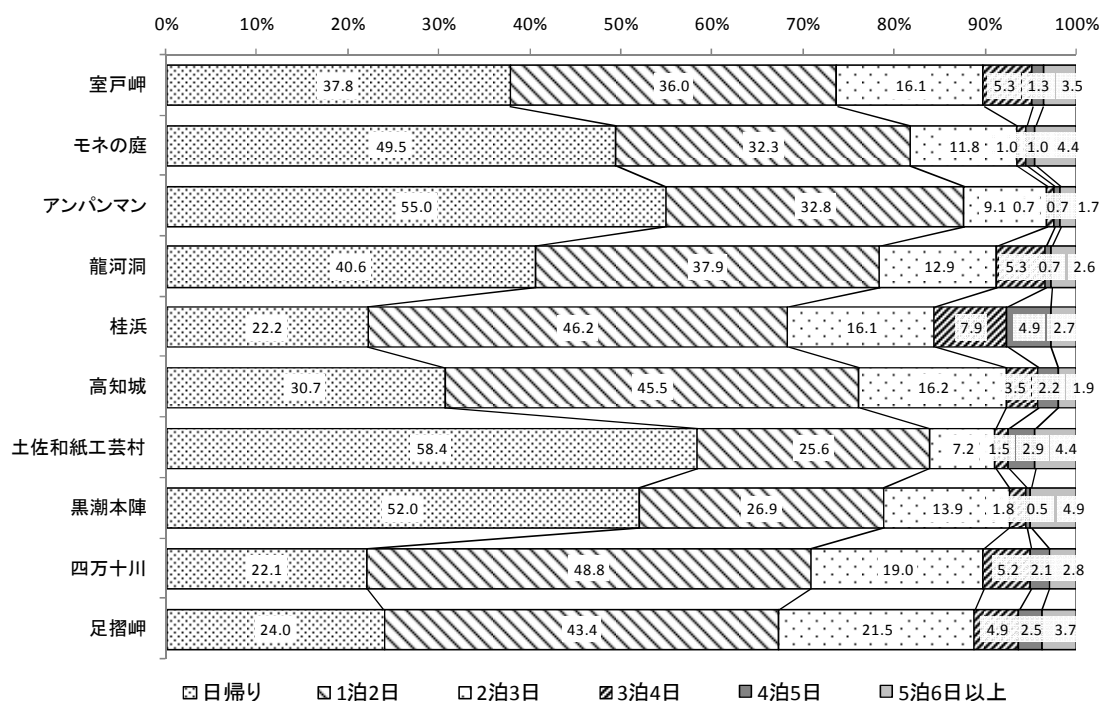
		日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
冬	22年	198 34.9	193 34.0	102 18.0	37 6.5	19 3.4	18 3.2
	23年	289 41.5	245 35.2	90 12.9	33 4.8	13 1.9	26 3.7
春	22年	336 42.0	282 35.3	117 14.6	36 4.5	14 1.8	14 1.8
	23年	313 37.5	330 39.5	138 16.5	22 2.6	16 1.9	17 2.0
夏	22年	337 39.7	345 40.6	117 13.8	23 2.7	10 1.2	17 2.0
	23年	204 27.9	300 41.0	135 18.5	42 5.8	20 2.7	30 4.1
秋	22年	339 45.1	305 40.6	79 10.5	13 1.7	4 0.5	12 1.6
	23年	278 41.7	265 39.8	74 11.1	22 3.3	9 1.4	18 2.7

日帰り客と宿泊客の割合を平成19年度の調査から通してみると、「日帰り」旅行は過去2番目の多さ、「1泊2日」と「2泊3日」は過去2番目の少なさとなっており、「5泊6日以上」は過去最も多い割合となっている。

前年との比較では、「日帰り」が3.8ポイント減、「1泊2日」が1.1ポイント増、「2泊3日」が0.9ポイント増などと近年続いている『日帰り客割合の増加・宿泊客割合の減少』傾向が弱まった結果となっている。

日帰り客と宿泊客割合の四季別データを前年比較すると、冬期は「日帰り」が前年より6.6ポイント増、宿泊客では「2泊3日」が5.1ポイント減と目立って少なくなっている。春期は「日帰り」が4.5ポイント減、宿泊客では「1泊2日」が4.2ポイント増加している。夏期は「日帰り」の割合がさらに少なくなり、11.8ポイント減、宿泊客では「2泊3日」が4.7ポイント増加し、他の宿泊客項目でも全て増加しています。秋期は「日帰り」が3.4ポイントの減少、宿泊客では「3泊4日」が1.6ポイント増という結果となった。

(参考2) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [23 年]



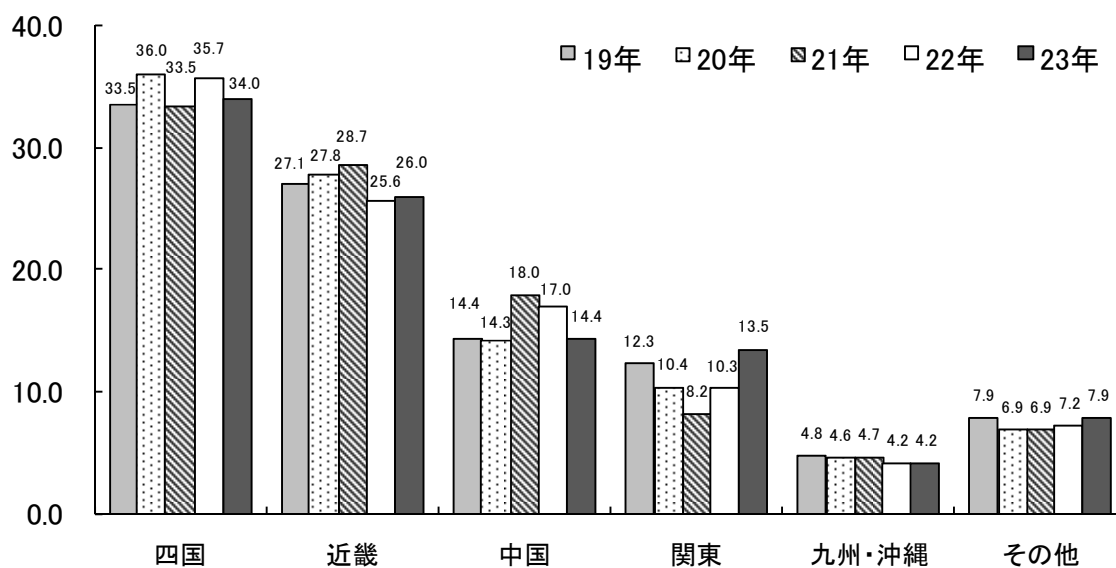
調査地別で日帰り客と宿泊客の割合（P9：参考2）をみると、土佐和紙工芸村、アンパンマンミュージアム、黒潮本陣では「日帰り」の割合が半数を超えている。一方で高知市内の桂浜と高知城、幡多地域の足摺岬と四万十川では、「日帰り」よりも「1泊2日」の割合が多くなっており、幡多地域では「2泊3日」も20%前後と多くなっている。

4 発地ブロック別入込割合

(表 4-1) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [23 年、過去 4 年間]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	その他
19年 (n=2316)	775 33.5	627 27.1	335 14.4	285 12.3	112 4.8	182 7.9
20年 (n=2352)	847 36.0	653 27.8	336 14.3	244 10.4	109 4.6	163 6.9
21年 (n=2362)	791 33.5	679 28.7	426 18.0	193 8.2	111 4.7	162 6.9
22年 (n=2967)	1059 35.7	759 25.6	505 17.0	306 10.3	124 4.2	214 7.2
23年 (n=2929)	995 34.0	762 26.0	423 14.4	395 13.5	124 4.2	230 7.9

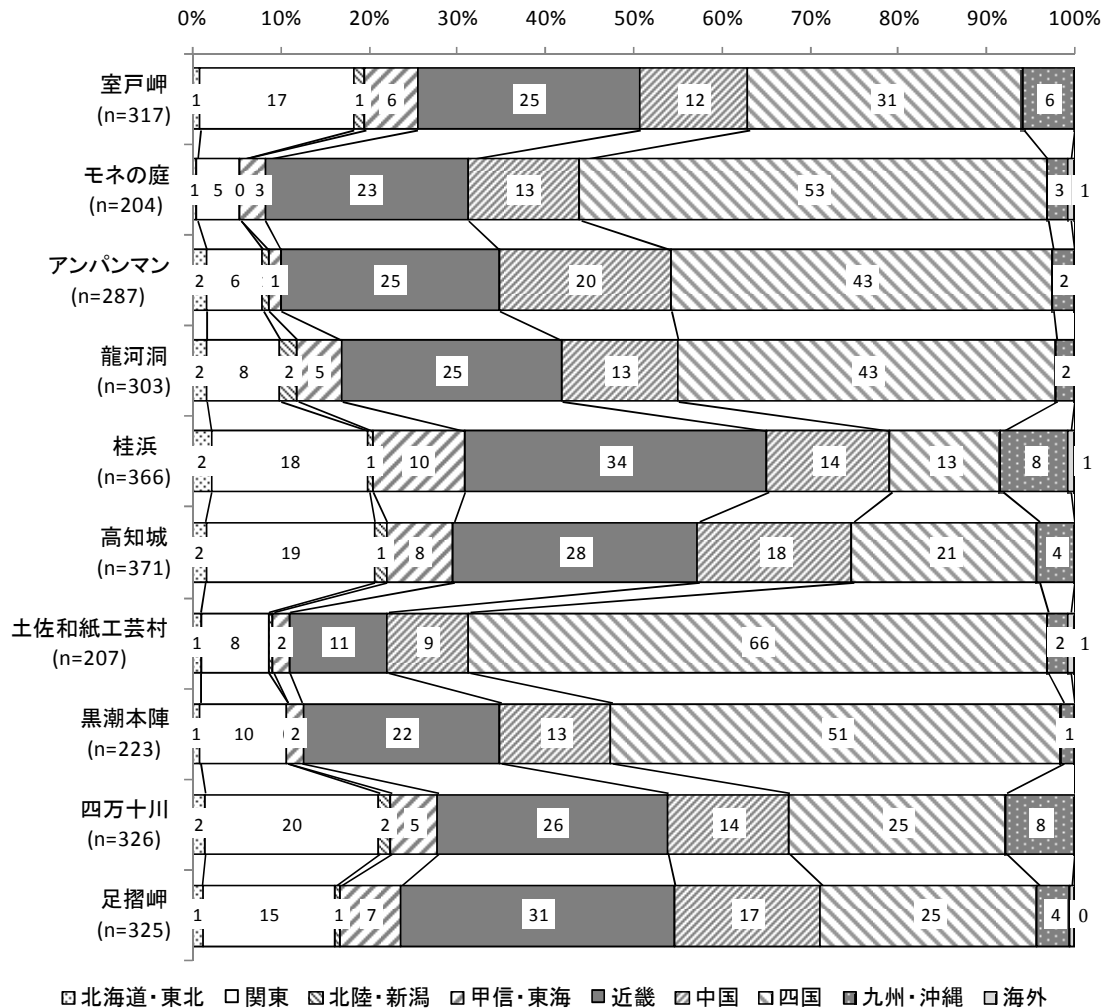
(図 4-2) 発地ブロック別入込割合(%) [23 年、過去 4 年間]



(参考 3) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [23 年、過去 4 年間 全地区データ]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	甲信・東海	北陸・新潟	東北	北海道	海外
19年 (n=2316)	775 33.5	627 27.1	335 14.4	285 12.3	112 4.8	137 5.9	23 1.0	13 0.6	9 0.4	0 0.0
20年 (n=2352)	847 36.0	653 27.8	336 14.3	244 10.4	109 4.6	123 5.2	18 0.8	13 0.5	9 0.4	0 0.0
21年 (n=2362)	791 33.5	679 28.8	426 18.0	193 8.2	111 4.7	117 5.0	20 0.8	20 0.8	5 0.2	0 0.0
22年 (n=2967)	1059 35.7	759 25.6	505 17.0	306 10.3	124 4.2	165 5.6	26 0.9	16 0.5	7 0.2	0 0.0
23年 (n=2929)	995 34.0	762 26.0	423 14.4	395 13.5	124 4.2	157 5.4	27 0.9	21 0.7	20 0.7	5 0.2

(参考 4) 調査地別発地ブロック別入込割合(%) [23 年]



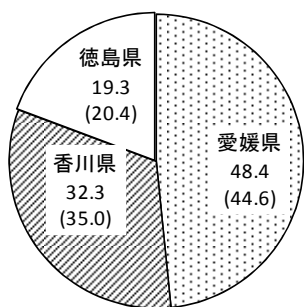
発地ブロック別入込割合を平成19年度の調査から通してみると、最も目立ったのは、ここ3年で唯一増加傾向にある関東からの旅行者の割合で、今回の調査では過去最高の13.5%となっている。四国（高知県を除く：以下同様）と中国が過去3番目、近畿と九州・沖縄は過去4番目の多さとなった。その他のブロック（参考3）では、北海道が過去最高の割合となっている。

前年との比較では、関東が3.2ポイント増、近畿が0.4ポイント増となり、九州・沖縄は横ばい、中国が2.6ポイント減、四国が1.7ポイント減となっている。

調査地別での入込割合を発地ブロックで見ると（参考4）、土佐和紙工芸村では四国からの入込が66%、モネの庭が53%、黒潮本陣が51%と半数を超えている。四国・中国・近畿の近隣3ブロック合計で占める割合をみると、モネの庭（89%）、アンパンマンミュージアム（88%）、土佐和紙工芸村（86%）、黒潮本陣（86%）などが多くなっている。人口の多い関東・近畿ブロック合計では、桂浜が52%と半数を超え、次いで高知城の47%、足摺岬と四万十川が46%と続いている。

なお、調査地別の入込割合一位は四国が6地点、近畿が4地点となっており、同二位は近畿が6地点、四国が3地点、関東が桂浜の1地点という結果となっている。

(図 4-3) ブロック別・四国(%)

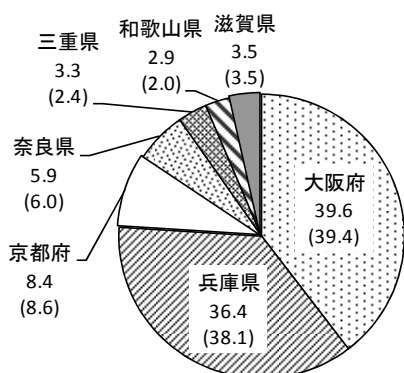


() は 22 年

前年と比べ、愛媛が 3.8 ポイント増。徳島が 1.1 ポイント減、香川が 2.7 ポイント減となった。

愛媛は全体の入込割合で一位、また 4 地区の調査地において入込割合の一位となり、特に土佐和紙工芸村では 55%を占めている。香川は全体の二位、龍河洞とアンパンマンミュージアムの一位となっている。徳島は全体の六位、室戸岬の一位という結果となっている (参考 5)。

(図 4-4) ブロック別・近畿(%)

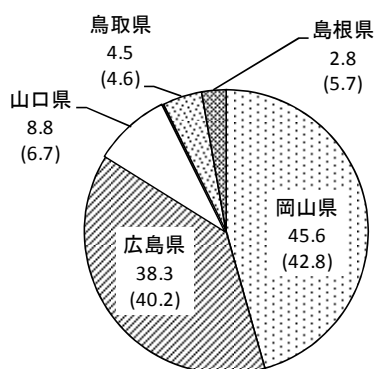


() は 22 年

前年と比べ、三重と和歌山が 0.9 ポイント増、大阪が 0.2 ポイント増。兵庫が 1.7 ポイント減、京都が 0.2 ポイント減、奈良が 0.1 ポイント減。滋賀は増減なし。大阪と兵庫の 2 府県で 76.0%と、近畿ブロックの約四分之三を占めている。

大阪は全体の入込割合で三位、桂浜と高知城の一位、足摺岬と室戸岬で二位となっている。兵庫は全体の四位、高知城、桂浜、足摺岬、四万十川で二位という結果となっている (参考 5)。

(図 4-5) ブロック別・中国(%)



() は 22 年

前年と比べ、岡山が 2.8 ポイント増、山口が 2.1 ポイント増。島根が 2.9 ポイント減、広島が 1.9 ポイント減、鳥取が 0.1 ポイント減となった。岡山と広島は 2 県で 83.9%と、中国ブロックの大半を占めている。

岡山は全体の入込割合で五位、調査地別ではアンパンマンミュージアム、高知城、足摺岬で多くなっている。広島は全体の八位、調査地別では高知城、桂浜、四万十川などで多いという結果となっている (参考 5)。

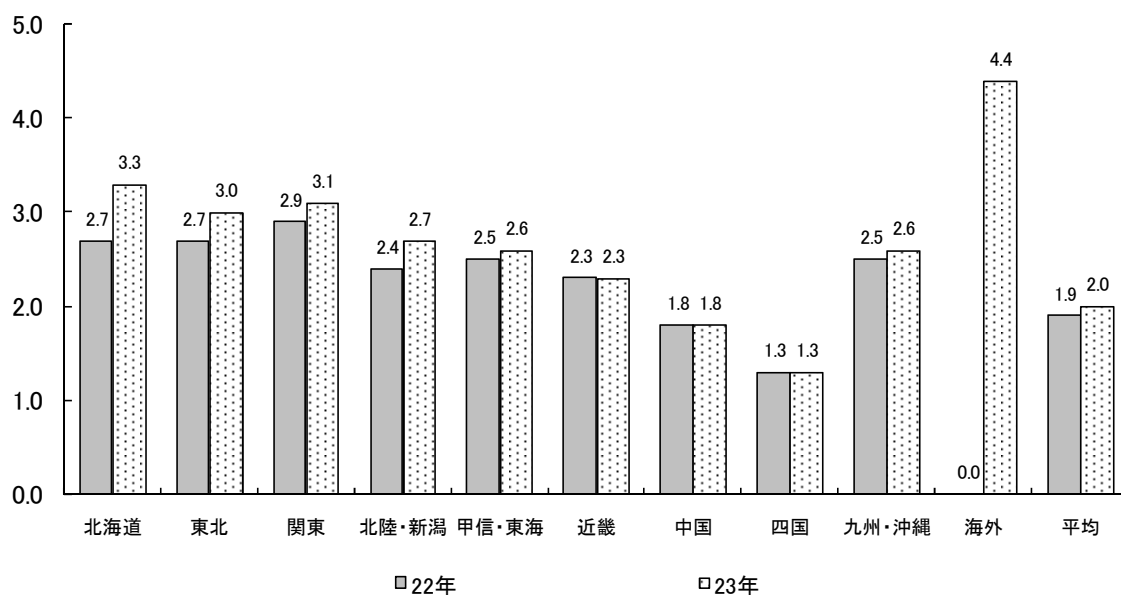
(参考5) 調査地別発地都道府県別入込(件) [23年]

調査地		室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬	全体	順位
発地													
県外合計		317	204	287	303	366	371	207	223	326	325	2929	-
北海道・東北	北海道	1	1	2	3	5	3	1	1	2	1	20	
	青森県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	岩手県	1	0	1	0	2	0	0	0	0	1	5	
	宮城県	0	0	0	1	0	2	1	0	1	2	7	
	秋田県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	山形県	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3	
福島県	0	0	1	0	1	0	0	0	2	0	4		
北海道・東北計		3	1	5	5	8	6	2	2	5	4	41	-
関東	茨城県	3	0	0	1	0	4	0	0	6	2	16	
	栃木県	0	0	0	1	2	1	0	0	1	1	6	
	群馬県	3	0	1	1	2	0	0	0	1	3	11	
	埼玉県	8	0	4	3	15	8	3	0	14	7	62	
	千葉県	6	0	1	2	6	5	2	2	6	4	34	
	東京都	18	9	5	10	30	33	9	14	26	16	170	7
神奈川県	17	1	7	7	10	20	2	6	10	16	96	10	
関東計		55	10	18	25	65	71	16	22	64	49	395	-
北陸・新潟	新潟県	1	0	0	1	0	2	1	0	0	1	6	
	富山県	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	4	
	石川県	2	0	2	1	1	2	0	0	2	0	10	
	福井県	1	0	0	3	0	0	0	0	2	1	7	
北陸・新潟計		4	0	2	6	2	5	1	0	5	2	27	-
甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	長野県	1	1	0	2	2	3	0	0	1	2	12	
	岐阜県	1	0	0	2	8	4	2	0	1	1	19	
	静岡県	3	1	2	1	6	2	0	1	3	4	23	
	愛知県	14	4	2	10	22	19	2	3	11	15	102	9
甲信・東海計		19	6	4	15	38	28	4	4	17	22	157	-
近畿	三重県	0	1	3	4	4	4	1	2	3	3	25	
	滋賀県	6	0	1	2	8	3	0	2	1	4	27	
	京都府	8	4	6	4	12	12	1	3	6	8	64	
	大阪府	35	24	24	32	53	36	8	18	35	37	302	3
	兵庫県	26	14	32	27	35	34	13	23	36	37	277	4
	奈良県	3	2	4	4	8	12	0	1	4	7	45	
和歌山県	2	2	1	3	6	2	0	1	0	5	22		
近畿計		80	47	71	76	126	103	23	50	85	101	762	-
中国	鳥取県	1	4	5	0	3	2	0	1	0	3	19	
	島根県	1	0	2	2	4	1	0	0	1	1	12	
	岡山県	18	13	31	22	13	27	6	19	17	27	193	5
	広島県	15	9	15	14	22	29	12	8	21	17	162	8
	山口県	4	0	3	2	9	6	1	0	6	6	37	
中国計		39	26	56	40	51	65	19	28	45	54	423	-
四国	徳島県	38	27	30	34	5	18	4	14	8	14	192	6
	香川県	28	29	53	53	15	29	19	41	26	28	321	2
	愛媛県	33	52	41	43	26	31	113	59	46	38	482	1
四国計		99	108	124	130	46	78	136	114	80	80	995	-
九州・沖縄	福岡県	14	4	5	2	16	6	4	1	13	3	68	11
	佐賀県	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	3	
	長崎県	1	0	0	0	0	2	1	1	1	3	9	
	熊本県	1	1	0	1	1	0	0	0	4	1	9	
	大分県	1	0	0	0	4	2	0	0	6	3	16	
	宮崎県	1	0	0	2	1	1	0	1	0	1	7	
鹿児島県	0	0	1	1	4	2	0	0	1	1	10		
沖縄県	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2		
九州・沖縄計		18	5	7	6	28	15	5	3	25	12	124	-
海外		0	1	0	0	2	0	1	0	0	1	5	-
高知県		83	196	113	97	34	29	193	177	74	75	1071	-

5 旅行日数

5.1 発地ブロック別県内旅行日数

(図 5-1) 発地ブロック別県内旅行日数(日) [23 年、22 年]



23年の県内旅行日数の平均は、前年から0.1日増の2.0日となった。発地ブロック別にみると、横ばいの四国、中国、近畿をのぞいた全てのブロックで増加している。

入込上位11位までの都道府県別に県内旅行日数の割合をみると(参考6)、関東(東京・神奈川)は「1泊2日」と「2泊3日」の割合が多くなっている。愛知、近畿(大阪・兵庫)、福岡は「1泊2日」が突出して多く、中国(岡山・広島)は「日帰り」と「1泊2日」ともに多く、四国は「日帰り」が大半を占めている。

この都道府県別の旅行日数割合が前年からどのように増減したかをみると(参考8)、近畿は「日帰り」が減少し、「2泊3日」が増加している。中国は「1泊2日」が増加し、他の項目で横ばい、または減少。四国では「1泊2日」が増加し、「日帰り」の減少した香川以外はほぼ横ばいとなっている。

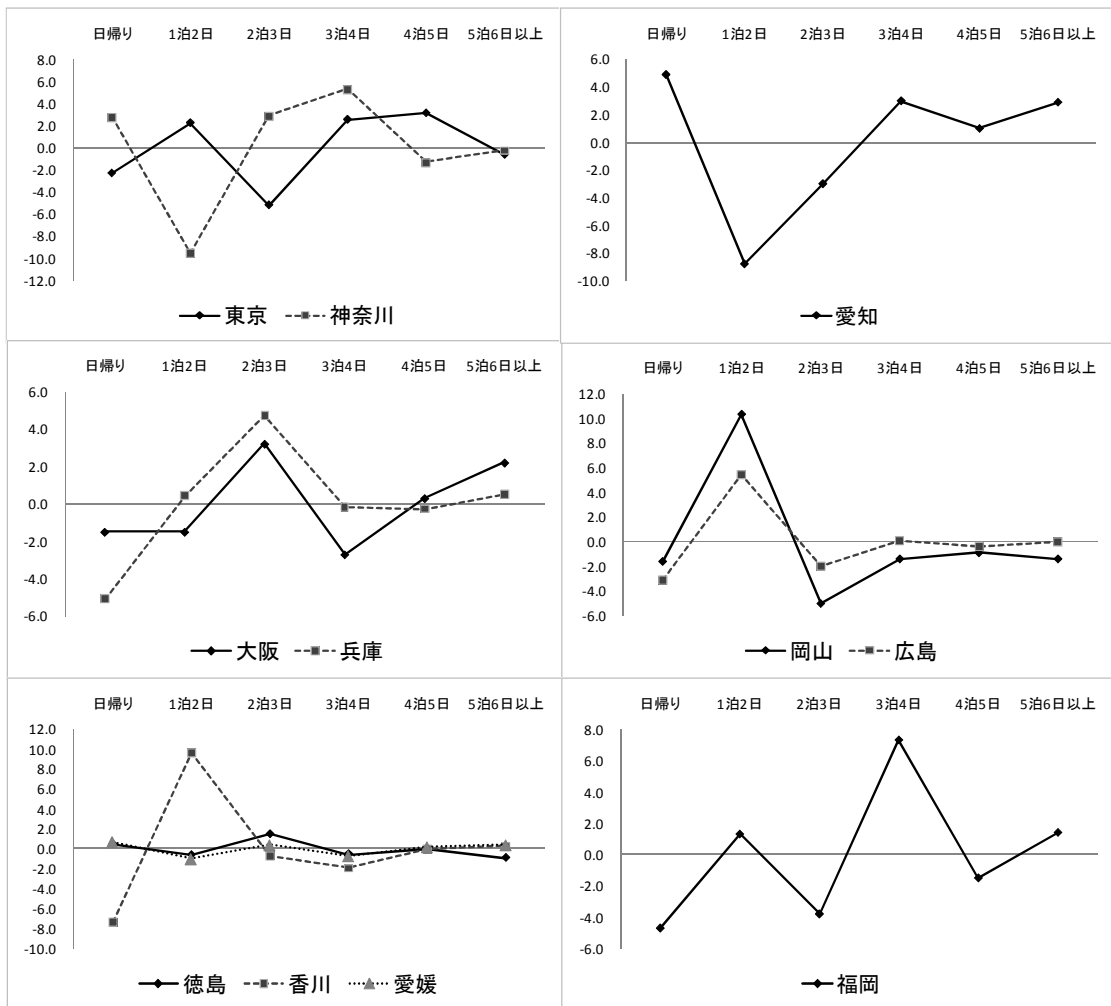
(参考6) 発地別県内旅行日数割合(%) [23年 上位11位まで]

	東京	神奈川	愛知	大阪	兵庫	岡山	広島	徳島	香川	愛媛	福岡
日帰り	3.5	4.2	14.7	15.9	19.5	46.1	35.8	74.5	69.2	78.2	5.9
1泊2日	36.5	30.2	47.1	50.0	52.7	48.7	53.7	19.8	26.8	19.1	54.4
2泊3日	30.6	38.5	19.6	22.2	21.3	4.2	9.3	5.2	3.1	1.5	23.5
3泊4日	11.8	13.5	6.9	5.0	2.9	0.5	0.6	0.0	0.3	0.2	10.3
4泊5日	8.2	4.2	3.9	3.0	0.7	0.0	0.6	0.5	0.3	0.6	1.5
5泊6日以上	9.4	9.4	7.8	3.9	2.9	0.5	0.0	0.0	0.3	0.4	4.4

(参考7) 発地別県内旅行日数割合(%) [22年 上位11位まで]

	東京	神奈川	愛知	大阪	兵庫	岡山	広島	徳島	香川	愛媛	福岡
日帰り	5.8	1.4	9.8	17.4	24.6	47.7	38.9	74.0	76.5	77.5	10.6
1泊2日	34.2	39.7	55.9	51.5	52.3	38.4	48.3	20.4	17.2	20.1	53.1
2泊3日	35.8	35.6	22.6	19.0	16.6	9.2	11.3	3.7	3.8	1.1	27.3
3泊4日	9.2	8.2	3.9	7.7	3.1	1.9	0.5	0.5	2.2	0.9	3.0
4泊5日	5.0	5.5	2.9	2.7	1.0	0.9	1.0	0.5	0.3	0.4	3.0
5泊6日以上	10.0	9.6	4.9	1.7	2.4	1.9	0.0	0.9	0.0	0.0	3.0

(参考8) 発地別県内旅行日数割合(%) [23年と22年の差]



5.2 年代別旅行日数

(表 5-2) 年代別県内旅行日数 [加重平均] (日) [23 年、過去 4 年間]

年代 \ 年	19年	20年	21年	22年	23年
10 代	2.3	1.9	2.0	2.0	2.1
20 代	2.2	2.1	2.1	1.9	2.1
30 代	2.1	2.2	2.3	2.0	2.0
40 代	2.1	2.4	2.3	2.0	2.1
50 代	2.0	2.0	2.1	1.8	1.9
60代以上	2.1	2.1	2.1	1.9	2.1
全 体	2.1	2.2	2.2	1.9	2.0

県内旅行日数について年代別では、10代と20代が過去2番目に多く、30代と50代が過去2番目に少なく、40代が過去3番目の多さ、60代以上は過去最高（同率）となった。

前年との比較では、横ばいの30代をのぞく年代では増加している。20代と60代以上で0.2日の増加、10代、40代、50代が0.1日の増加となっている。

6 旅行目的

(表 6-1) 旅行形態別旅行目的割合(%) [23 年、過去 2 年間]

		自然見物 ・町歩き	名所旧跡 観光施設	休養・慰安	食べ物	神仏 霊場巡り	その他
1人	21年 (n=139)	16.6	16.6	1.4	0.7	2.9	61.8
	22年 (n=206)	15.5	25.3	2.9	1.0	7.3	48.0
	23年 (n=298)	24.8	14.1	1.7	2.7	12.8	43.9
家族	21年 (n=1610)	23.0	30.3	5.4	11.1	2.8	27.4
	22年 (n=2206)	16.8	49.8	5.5	5.5	3.4	19.0
	23年 (n=2101)	28.3	34.6	4.4	7.0	3.4	22.3
友人 知人	21年 (n=548)	21.7	25.5	2.9	11.9	1.6	36.4
	22年 (n=503)	17.1	38.3	3.2	8.1	0.8	32.5
	23年 (n=474)	27.8	26.4	4.0	10.8	1.3	29.7
団体	21年 (n=60)	11.7	16.7	46.7	6.7	0.0	18.2
	22年 (n=33)	3.0	60.6	15.2	0.0	0.0	21.2
	23年 (n=24)	8.3	50.0	4.2	4.2	8.3	25.0
その他	21年 (n=5)	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0
	22年 (n=19)	15.8	42.0	0.0	5.3	5.3	31.6
	23年 (n=32)	9.4	21.9	0.0	0.0	9.4	59.3
全体	21年 (n=2362)	22.1	28.0	5.6	10.5	2.5	31.3
	22年 (n=2967)	16.6	46.2	5.0	5.6	3.2	23.4
	23年 (n=2929)	27.5	31.1	4.0	7.1	4.1	26.2

旅行目的の全体割合をみると、「名所旧跡」が前年から 15.1 ポイント減少したものの 31.1%と最も多く、次いで「自然見物」が前年比 10.9 ポイント増で 27.5%、「帰省・仕事」が 0.3 ポイント増で 9.7%、「なんとなく」が 0.2 ポイント減で 8.2% (参考9) などとなっている。

旅行形態別に旅行目的の前年比をみると、“一人旅”の「自然見物」が 9.3 ポイント増、「霊場巡り」が 5.5 ポイント増、「名所旧跡」は 11.2 ポイント減などとなっている。特に目立ったのが「霊場巡り」で、平成 21 年度の 2.9%から平成 22 年度が 7.3%、平成 23 年度が 12.8%と 2 年続けて大きく増加している。“家族旅行”では、「自然見物」が 11.5 ポイント増、「名所旧跡」が 15.2 ポイント減となり、“友人・知人との旅行”でも、「自然見物」が 10.7 ポイント増、「名所旧跡」が 11.9 ポイント減となった。

(参考9) 旅行形態別旅行目的割合(%) [23年、過去2年間 全項目]

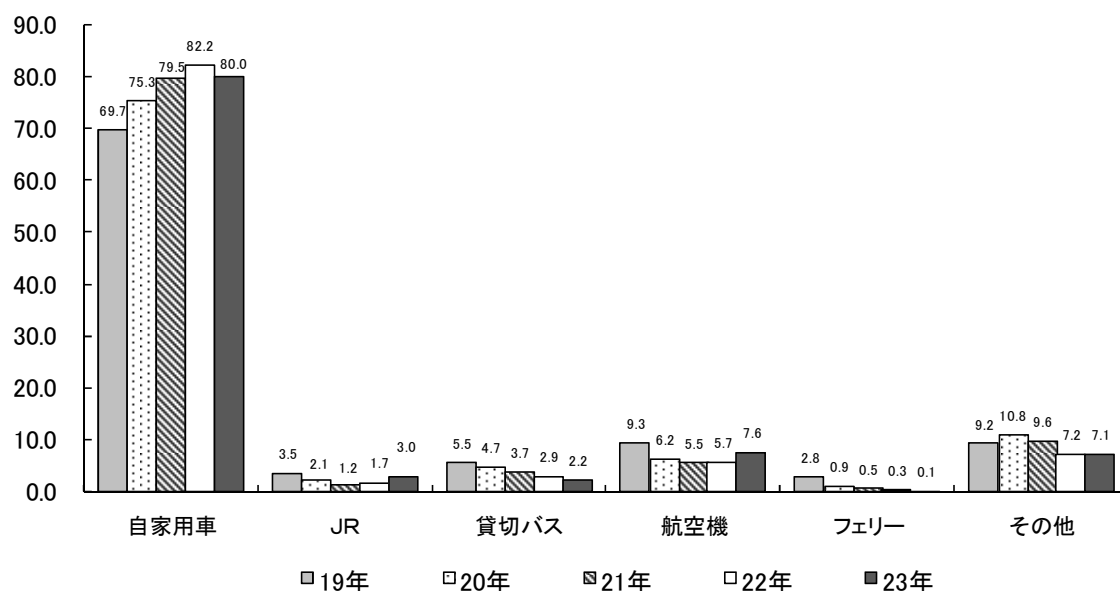
		自然見物 ・町歩き	休養・慰安	イベント	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏 霊場巡り	買い物	名所旧跡 観光施設	なんとなく	帰省・仕事	その他
1人	21年	16.6	1.4	0.0	4.3	0.0	0.7	2.9	0.0	16.6	31.6	18.7	7.2
	22年	15.5	2.9	0.0	2.4	1.5	1.0	7.3	0.5	25.3	18.4	16.0	9.2
	23年	24.8	1.7	3.7	1.0	0.7	2.7	12.8	0.3	14.1	15.4	20.8	2.0
家族	21年	23.0	5.4	0.5	4.0	0.1	11.1	2.8	0.9	30.3	4.0	15.7	2.2
	22年	16.8	5.5	0.3	1.4	0.3	5.5	3.4	1.0	49.8	4.9	9.6	1.5
	23年	28.3	4.4	2.7	2.2	0.4	7.0	3.4	1.1	34.6	5.9	8.5	1.5
友人 知人	21年	21.7	2.9	0.2	6.0	2.8	11.9	1.6	0.7	25.5	20.8	3.3	2.6
	22年	17.1	3.2	0.4	3.6	0.6	8.1	0.8	0.8	38.3	19.5	5.4	2.2
	23年	27.8	4.0	4.6	3.0	0.4	10.8	1.3	0.6	26.4	14.4	6.3	0.4
団体	21年	11.7	46.7	0.0	5.0	0.0	6.7	0.0	0.0	16.7	3.3	8.3	1.6
	22年	3.0	15.2	0.0	3.0	6.1	0.0	0.0	0.0	60.6	0.0	9.1	3.0
	23年	8.3	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	8.3	0.0	50.0	0.0	16.6	0.0
その他	21年	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
	22年	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	42.0	15.8	15.8	0.0
	23年	9.4	0.0	6.2	0.0	6.2	0.0	9.4	0.0	21.9	3.1	31.3	12.5
全体	21年	22.1	5.6	0.4	4.6	0.7	10.5	2.5	0.8	28.0	9.5	12.8	2.5
	22年	16.6	5.0	0.3	1.8	0.5	5.6	3.2	0.9	46.2	8.4	9.4	2.1
	23年	27.5	4.0	3.1	2.2	0.5	7.1	4.1	1.0	31.1	8.2	9.7	1.5

7 入込利用交通機関

(表 7-1) 入込利用交通機関別割合(上段:件 下段:%) [23 年、過去 4 年間]

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他
19年 (n=2316)	1613 69.7	80 3.5	127 5.5	216 9.3	65 2.8	54 2.3	15 0.6	127 5.5	19 0.8
20年 (n=2352)	1771 75.3	50 2.1	110 4.7	146 6.2	21 0.9	65 2.8	14 0.6	164 7.0	11 0.4
21年 (n=2362)	1877 79.5	29 1.2	88 3.7	129 5.5	12 0.5	63 2.7	9 0.4	143 6.0	12 0.5
22年 (n=2967)	2439 82.2	51 1.7	87 2.9	168 5.7	8 0.3	60 2.0	49 1.7	95 3.2	10 0.3
23年 (n=2929)	2344 80.0	86 3.0	65 2.2	221 7.6	4 0.1	56 1.9	45 1.5	91 3.1	17 0.6

(図 7-2) 入込利用交通機関別割合(%) [23 年、過去 4 年間 主要項目のみ]



入込利用交通機関は、今回の調査でも「自家用車」が 80.0%と大半を占めたが、前年の 82.2%からは 2.2 ポイント減少している。一方で、「航空機」が前年比 1.9 ポイント増の 7.6%と過去 2 番目の多さになっている。その他、割合が多かった項目は、「バイク」が前年比 0.1 ポイント減の 3.1%、「JR」が前年比 1.3 ポイント増の 3.0%、「貸切バス」が前年比 0.7 ポイント減の 2.2%と続いている。

「自家用車」の減少と「航空機」や「JR」の増加は、平成 23 年 6 月に高速道路休日 1,000 円の特別割引制度の廃止による影響を受けていると考えられる。

8 旅行形態

(表 8-1) 年代別旅行形態割合(%) [23 年、22 年]

		1人	家族	友人知人	団体	その他
10 代	22年 (n=36)	2.8	41.7	55.5	0.0	0.0
	23年 (n=44)	11.4	72.7	15.9	0.0	0.0
20 代	22年 (n=494)	9.5	39.9	48.4	1.4	0.8
	23年 (n=452)	13.5	38.3	47.4	0.4	0.4
30 代	22年 (n=768)	6.9	76.0	15.8	0.9	0.4
	23年 (n=794)	8.8	72.4	16.6	1.3	0.9
40 代	22年 (n=615)	7.0	83.2	8.8	0.7	0.3
	23年 (n=570)	9.5	82.6	6.7	0.5	0.7
50 代	22年 (n=554)	5.6	86.1	6.5	1.4	0.4
	23年 (n=492)	9.4	80.9	7.7	1.0	1.0
60代以上	22年 (n=500)	6.2	84.2	6.6	1.4	1.6
	23年 (n=577)	10.8	78.3	7.8	0.7	2.4
全 体	22年 (n=2967)	6.9	74.4	17.0	1.1	0.6
	23年 (n=2929)	10.2	71.7	16.2	0.8	1.1

(表 8-2) 年代別同行者数割合(%) [23 年、22 年]

		1人	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10 代	22年 (n=36)	2.8	61.1	30.6	5.5	0.0
	23年 (n=44)	11.4	36.4	34.1	15.9	2.2
20 代	22年 (n=494)	9.5	71.0	14.0	4.5	1.0
	23年 (n=452)	13.5	72.3	11.1	2.9	0.2
30 代	22年 (n=768)	6.9	59.8	27.7	4.8	0.8
	23年 (n=794)	8.8	60.4	24.1	5.9	0.8
40 代	22年 (n=615)	7.0	58.0	31.1	3.2	0.7
	23年 (n=570)	9.5	55.3	26.8	7.0	1.4
50 代	22年 (n=554)	5.6	69.7	19.3	4.0	1.4
	23年 (n=492)	9.4	71.3	14.2	3.7	1.4
60代以上	22年 (n=500)	6.2	69.0	14.6	7.6	2.6
	23年 (n=577)	10.8	65.8	14.4	6.8	2.2
全 体	22年 (n=2967)	6.9	64.7	22.4	4.8	1.2
	23年 (n=2929)	10.2	63.8	19.2	5.6	1.2

(参考 10) 年代別旅行形態・同行者数(件) [23 年]

	1人	家族				友人知人				団体				その他			
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10代	5	12	15	5		4		2	1								
20代	61	129	34	10		195	16	2	1	1		1		2			
30代	70	355	181	39		118	10	4		3		2	5	4		2	1
40代	54	287	148	35	1	27	5	4	2				3	1		1	2
50代	46	325	58	14	1	24	10	3	1				5	2	2	1	
60代以上	62	355	68	28	1	24	11	8	2			1	3	1	4	2	7

(参考 11) 年代別旅行形態・同行者数割合(%) [23 年と 22 年の差]

	1人	家族				友人知人				団体				その他			
		2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10代	8.6	7.8	14.6	8.6		-32.6	-11.1	1.8	2.3								
20代	4.0	0.6	-2.0	-0.0	-0.2	1.0	-0.9	-1.4	0.2	0.0		-0.2	-0.8	-0.4			
30代	1.9	-1.1	-2.9	0.6	-0.3	1.5	-0.6	0.1	-0.1	0.2	-0.3	0.1	0.2	0.1		0.3	0.1
40代	2.5	-0.4	-4.1	3.9	0.0	-2.3	-0.1	-0.1	0.4	-0.2			0.0	0.0		0.0	0.4
50代	3.8	1.4	-6.1	-0.8	0.2	0.0	0.8	0.6	-0.2		-0.2	-0.4	0.1	0.2	0.4	0.2	-0.2
60代以上	4.5	-3.1	-1.2	-1.5	-0.0	-0.0	0.5	0.6	0.1	-0.2		0.2	-0.7	0.2	0.5	-0.1	0.2

※ 各年代ごとに合計 100%になるよう割合を算出し、23 年の割合から 22 年の割合を差し引いたもの。

旅行形態割合は、全体では「1人」が前年比 3.3 ポイント増の 10.2%、「家族」が同 2.7 ポイント減の 71.7%、「友人知人」が同 0.8 ポイント減の 16.2%、「団体」が同 0.3 ポイント減の 0.8%となりました。「1人」旅行はすべての年代で前年から増加している反面、「家族」旅行は 10 代をのぞく各年代で減少となっている。

同行者数割合は、全体では「2~3人」が前年比 0.9 ポイント減の 63.8%、「4~5人」が同 3.2 ポイント減の 19.2%、「6~10人」が同 0.8 ポイント増の 5.6%、「11人以上」が増減なしの 1.2%となった。

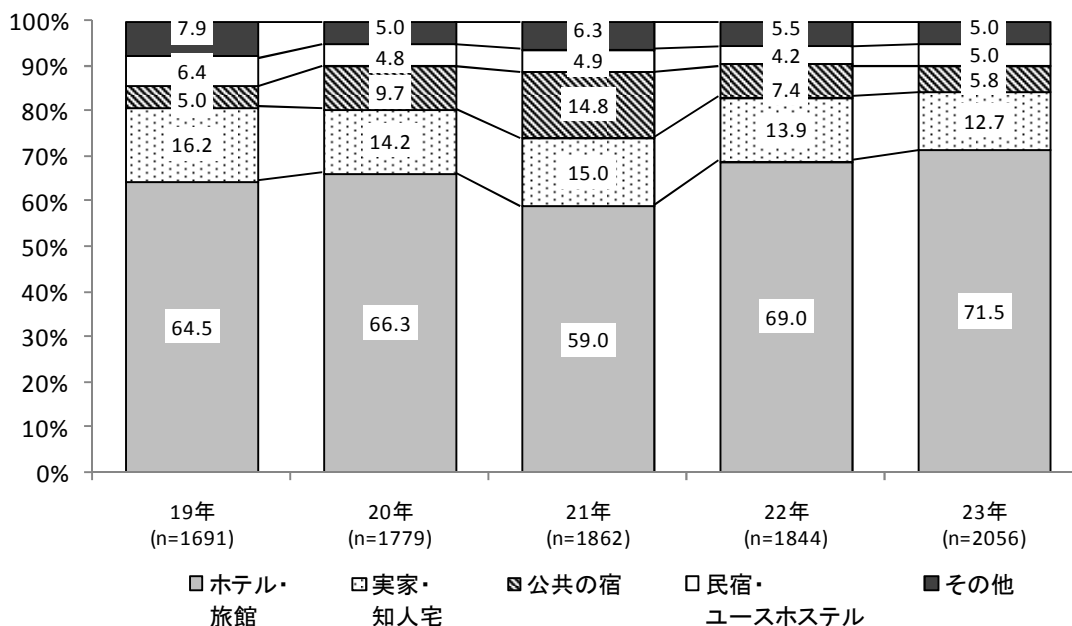
年代別に旅行形態と同行者数の関係を見ると(参考 10)、10 代では 2~3 人、または 4~5 人の家族旅行で大半を占め、20 代で多い組み合わせは 2~3 人の友人との旅行、または 2~3 人の家族旅行となっている。30 代は 2~3 人の家族旅行が多く、続いて 4~5 人の家族旅行、2~3 人の友人との旅行。40 代は 2~3 人、または 4~5 人の家族旅行が大半、50 代と 60 代以上は 2~3 人の家族旅行が大半を占めるという結果となっている。

前年との差をみると(参考 11)、主に 40、50 代を中心に 4~5 人の家族旅行、60 代以上で 2~3 人の家族旅行が減少している。

9 利用宿泊施設

9.1 年間

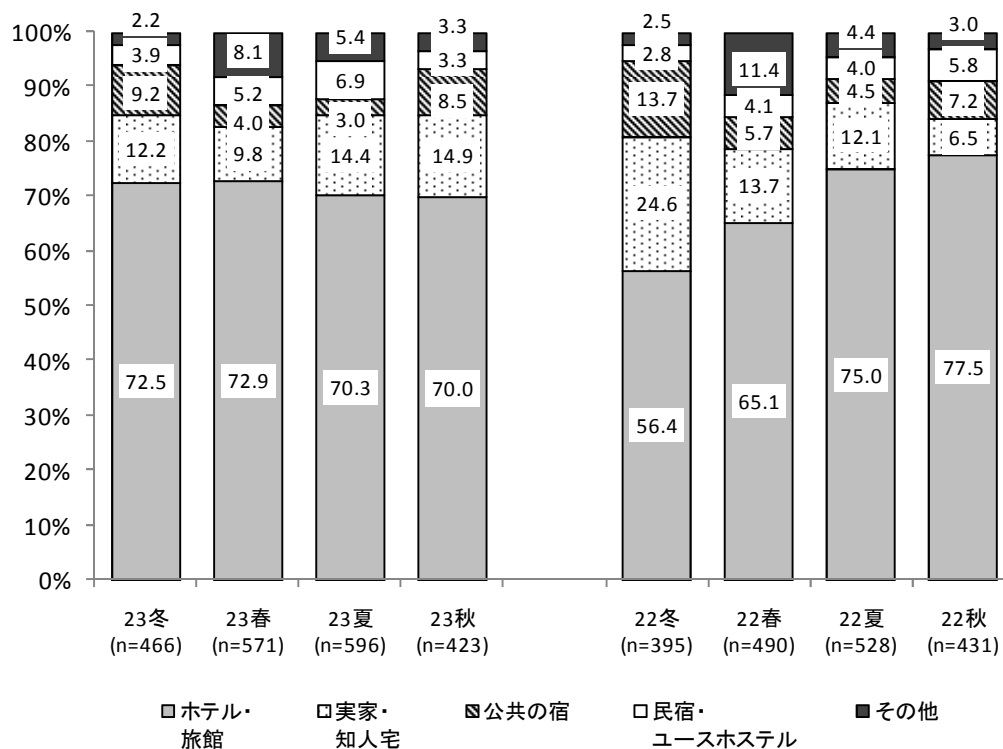
(図 9-1) 県内利用宿泊施設割合(%) [23 年、過去 4 年間]



県内で利用された宿泊施設の割合は、「ホテル・旅館」が過去最高の71.5%で最も多くなった。次いで「実家・知人宅」が12.7%、「公共の宿」が5.8%、「民宿・ユースホステル」と「その他」が5.0%となっている。

9.2 四季別

(図 9-2) 四季別県内利用宿泊施設割合(%) [23 年、22 年]



四季別に県内利用宿泊施設の割合をみると、「ホテル・旅館」の占める割合が年間通じて70%以上という結果となり、前年と比較すると、四季ごとで各項目の差が少なくなっている。

今回調査の詳細をみると（参考 11）、冬期は「公共の宿」が 43 件で 9.2%と年間では最も多い割合を占めた。前年と比較すると、「実家・知人宅」の割合が 12.4 ポイント減と大きく減少している。

春期は「ホテル・旅館」の割合が 416 件で 72.9%と年間で最も多い割合を占めた。また、「車中泊」が 27 件と年間で最も多く、年間で 2 番目に多い「キャンプ場」の 12 件とともに、「その他」を 8.1%まで押し上げる要因となっています。

夏期は「民宿・ユースホステル」が 41 件で 6.9%と年間で最も多く、「公共の宿」は 18 件で 3.0%と最も少なくなった。他の項目では、「キャンプ場」の 17 件が年間で最も多くなっている。

秋期は「実家・知人宅」の割合が 63 件で 14.9%と年間で最も多い割合となった。また、「公共の宿」も 36 件で 8.5%と冬期に次いで多くなっている。

(参考 12) 四季別県内利用宿泊施設(件) [23 年]

	実家・ 知人宅	旅館	ホテル	民宿	保養所	キャンプ	車中泊	別荘	会員制	ユースH	公共の宿	その他
冬 (n=466)	57	70	268	18	0	1	6	0	0	0	43	3
春 (n=571)	56	62	354	24	0	12	27	1	0	6	23	6
夏 (n=596)	86	67	352	39	0	17	6	0	0	2	18	9
秋 (n=423)	63	40	256	13	0	2	10	0	0	1	36	2
全体 (n=2056)	262	239	1230	94	0	32	49	1	0	9	120	20

9.3 年代別宿泊施設割合

(表 9-3) 年代別県内利用宿泊施設割合(%) [23 年、22 年]

		ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ ユースホステル	その他
10 代	22年 (n=13)	30.8	53.8	7.7	0.0	7.7
	23年 (n=29)	58.6	27.6	0.0	10.3	3.5
20 代	22年 (n=289)	64.4	19.0	3.8	4.5	8.3
	23年 (n=323)	66.9	16.4	3.1	6.5	7.1
30 代	22年 (n=513)	67.5	13.8	9.2	3.9	5.6
	23年 (n=547)	71.8	13.2	5.1	4.8	5.1
40 代	22年 (n=388)	68.8	15.2	7.0	3.1	5.9
	23年 (n=418)	73.9	11.7	4.8	4.1	5.5
50 代	22年 (n=325)	73.2	12.3	6.8	4.0	3.7
	23年 (n=335)	73.1	10.1	8.1	5.7	3.0
60代以上	22年 (n=314)	72.9	7.6	9.2	6.1	4.2
	23年 (n=404)	71.5	11.4	8.7	4.2	4.2

年代別に利用宿泊施設割合の前年比をみると、「ホテル・旅館」の割合は、“10 代”から“40 代”の年代で増加、“50 代”はほぼ横ばい、“60 代以上”で 1.4 ポイント減となった。「実家・知人宅」は、3.8 ポイント増の“60 代以上”をのぞく年代で減少、「公共の宿」は 1.3 ポイント増の“50 代”をのぞく年代で減少している。「民宿・ユースホステル」は、1.9 ポイント減の“60 代以上”をのぞく年代で増加という結果となった。

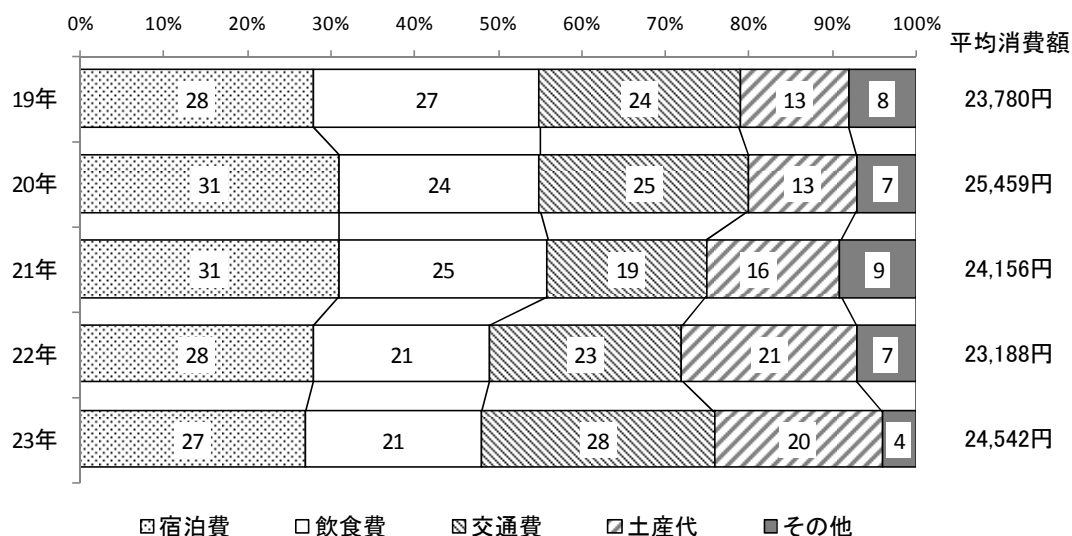
サンプル数の少ない“10 代”をのぞく年代では、前年比で 10 ポイント以上の増減はなく、前年と似通った傾向となっている。

10 県内消費額

10.1 県内消費額費目別割合・平均消費額

10.1.1 年間

(図 10-1) 県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [23 年、過去 4 年間]



(参考 12) 県内平均消費額費目別内訳(円) [23 年、過去 2 年間]

	宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他
21年	7,690	6,020	4,485	3,806	2,155
22年	6,490	4,948	5,345	4,909	1,496
23年	6,540	5,064	6,990	4,911	1,037

県内消費額の年間平均金額は、前年比 1,354 円の増加で 24,542 円と平成 19 年度の調査から通してみると、過去 2 番目の高さとなった。費目別の割合では、「宿泊費」「飲食費」「その他」が過去最低、「土産代」が過去 2 番目の多さ、「交通費」が過去最高となっている。

「交通費」の増加は、高速道路休日 1,000 円の特別割引制度の廃止の影響と考えられる。

費目別の平均消費額をみると(参考 12)、「宿泊費」が 50 円増、「飲食費」が約 120 円増、「交通費」が約 1,650 円増、「土産代」がほぼ横ばい、「その他」が約 460 円減という結果となっている。

(参考 13) 調査地別県内平均消費額(円) [23 年、22 年]

調査地	室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙 工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬
22年	22,314	20,143	17,676	21,396	24,164	27,623	18,155	20,525	28,748	29,602
23年	25,422	20,569	18,010	22,919	29,064	26,924	16,690	21,387	30,122	28,517
前年との差	3,108	426	334	1,523	4,900	▲ 699	▲ 1,465	862	1,374	▲ 1,085

調査地別の年間平均消費額は(参考 13)、「四万十川」が 30,122 円で最も高く、「土佐和紙工芸村」が 16,690 円で最も低くなった。

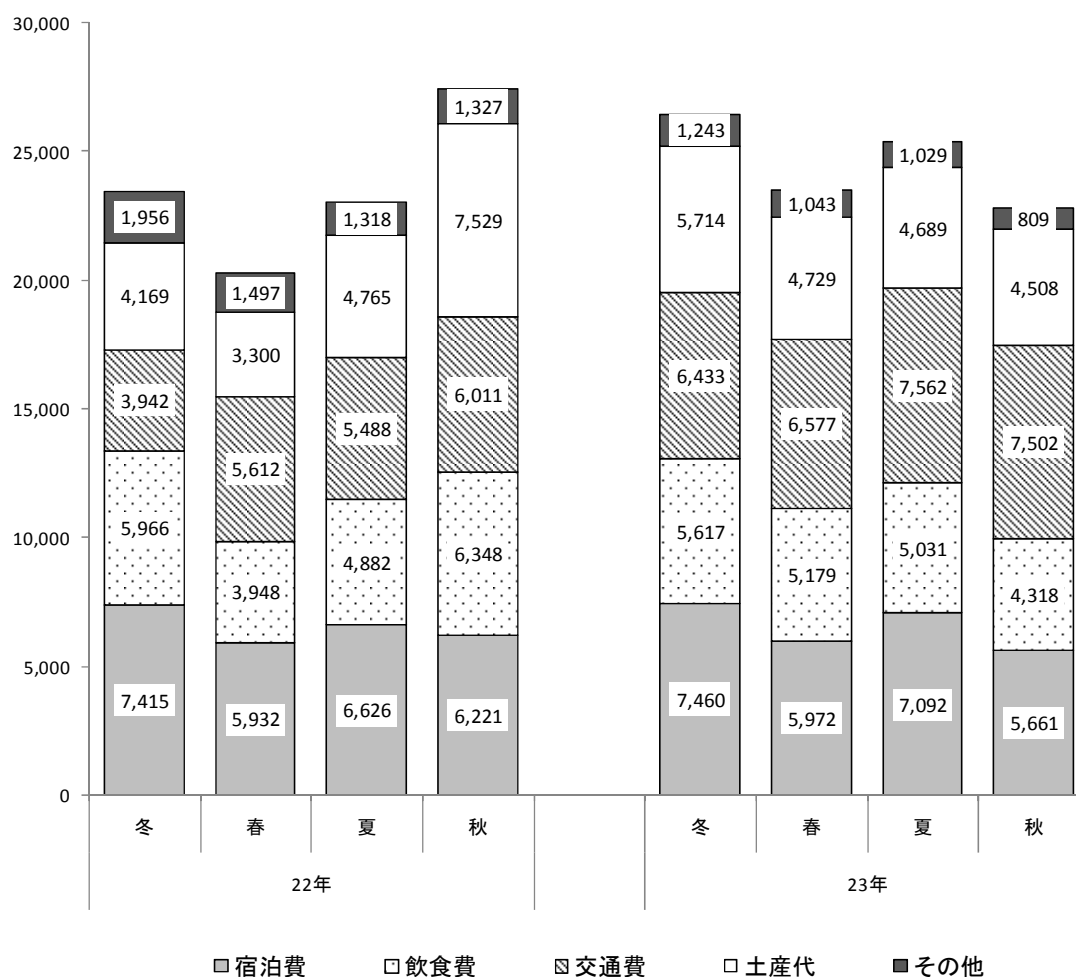
日帰り客と宿泊客の割合(参考 2)で、宿泊客の割合が多かった「四万十川」や「桂浜」などでは平均消費額が高くなっている。しかし、発地ブロック別入込割合(参考 4)で中四国からの入込割合が多く、日帰り客の割合も多かった「土佐和紙工芸村」や「モネの庭」、「アンパンマンミュージアム」などでは平均消費額が低くなっている。

10.1.2 四季別

(表 10-2) 四季別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [23 年、22 年]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均消費額	前年差
冬	22年	32	25	17	18	8	23,447円	3,019円
	23年	28	21	24	22	5	26,466円	
春	22年	29	20	28	16	7	20,288円	3,212円
	23年	25	22	28	20	5	23,500円	
夏	22年	29	21	24	20	6	23,079円	2,324円
	23年	28	20	30	18	4	25,403円	
秋	22年	23	23	22	27	5	27,435円	▲ 4,638円
	23年	25	19	33	20	3	22,797円	

(図 10-3) 四季別県内消費額費目別平均消費額(円) [23 年、22 年]



四季別の平均消費額を前年と比較すると、4,638円減少した秋期以外で増加となり、冬期が3,019円、春期が3,212円、夏期が2,324円の増加となっている。

それぞれの費目で割合が最も多くなった時期は、「宿泊費」が冬・夏期、「飲食費」が春期、「交通費」が秋期、「土産代」が冬期、「その他」が冬・春期となっている。また、それぞれの費目の消費額が最も高くなった時期は、「宿泊費」「飲食費」「土産代」「その他」は冬期、「交通費」は夏期という結果となった。

10.2 年代別費目割合・平均消費額

(表 10-4) 年代別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [23年、22年]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均金額	前年差
10代	22年	17	28	28	21	6	16,557円	2,206円
	23年	17	22	32	21	8	18,763円	
20代	22年	21	25	25	22	7	21,348円	2,493円
	23年	23	23	31	18	5	23,841円	
30代	22年	29	21	22	21	7	23,586円	▲ 305円
	23年	26	21	28	20	5	23,281円	
40代	22年	28	21	23	21	7	23,521円	1,857円
	23年	29	21	26	19	5	25,378円	
50代	22年	28	20	23	23	6	21,761円	2,392円
	23年	26	21	28	21	4	24,153円	
60代以上	22年	33	18	23	21	5	26,282円	608円
	23年	31	20	24	21	4	26,890円	

年代別の平均消費額は、305円減少した30代以外の年代で増加となった。

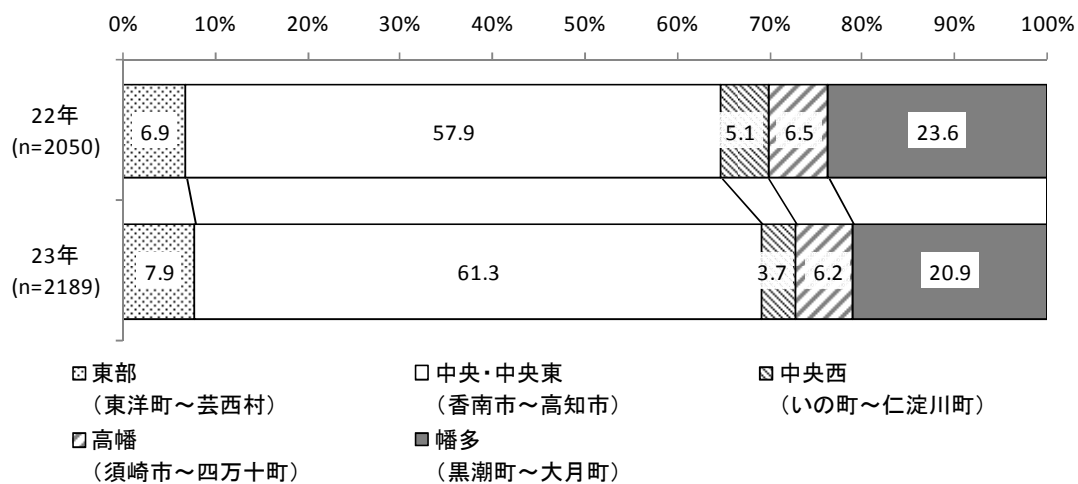
費目別の割合を前年と比較すると、「宿泊費」は10代が横ばい、20代と40代で増加、30代と50代、60代以上で減少している。「飲食費」は10代と20代が減少、30代と40代は横ばい、50代と60代以上で増加。「交通費」は全ての年代で増加しており、「土産代」は20代から50代まで減少、10代と60代以上は横ばい。「その他」は10代をのぞく全ての年代で減少という結果となっている。

(参考)動態調査による県外観光客一人当たりの県内消費額及び経済波及効果

	H20	H21	H22	(H20~22平均)	H23
県外観光客総数(人)	3,053,196	3,155,791	4,359,415	3,522,801	3,882,268
県外観光客一人当たり消費額(円)	25,459	24,156	23,188	24,268	24,542
<内訳> 宿泊費	7,907	7,690	6,490	7,362	6,540
飲食費	6,100	6,020	4,948	5,689	5,064
交通費	6,486	4,485	5,345	5,439	6,990
土産	3,291	3,806	4,909	4,002	4,911
その他	1,675	2,155	1,496	1,775	1,037
県外観光客の総消費額(百万円)	77,731	76,231	101,086	85,016	95,279
生産誘発効果(百万円)	125,669	123,004	153,421	134,031	144,705
生産誘発倍率(倍)	1.62	1.61	1.52	1.58	1.52

1 1 県内宿泊地域割合

(図 11-1) 県内宿泊地域割合(%) [23 年、22 年]

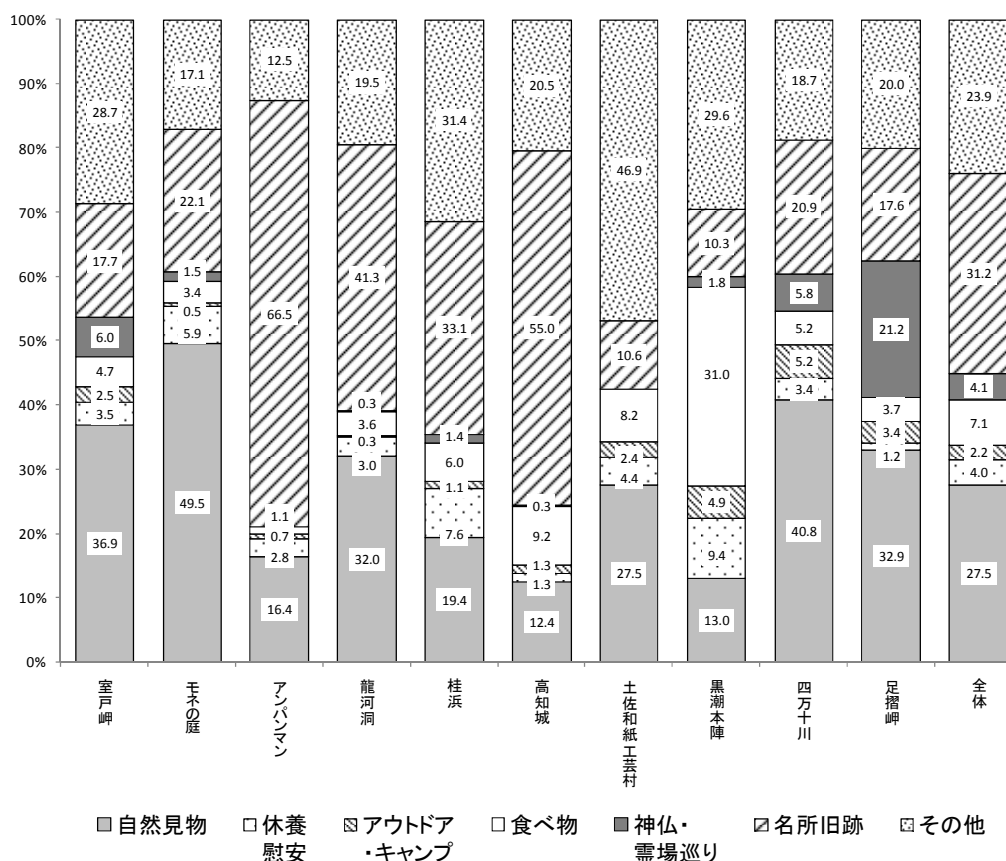


県内での宿泊地域の割合は、「中央・中央東」が前年比 3.4 ポイント増の 61.3%で最も多くなった。次いで「幡多」が同 2.7 ポイント減の 20.9%、「東部」が同 1.0 ポイント増の 7.9%、「高幡」が同 0.3 ポイント減の 6.2%、「中央西」が同 1.4 ポイント減の 3.7%となっている。

12 調査地別分析

12.1 旅行目的割合

(図 12-1) 調査地別旅行目的割合(%) [23 年]



(表 12-2) 調査地別旅行目的割合(%) [23 年]

	自然見物	休養 慰安	アウトドア ・キャンプ	食べ物	神仏・ 霊場巡り	名所旧跡	その他
室戸岬	36.9	3.5	2.5	4.7	6.0	17.7	28.7
モネの庭	49.5	5.9	0.5	3.4	1.5	22.1	17.1
アンパンマン	16.4	2.8	0.7	1.1	0.0	66.5	12.5
龍河洞	32.0	3.0	0.3	3.6	0.3	41.3	19.5
桂浜	19.4	7.6	1.1	6.0	1.4	33.1	31.4
高知城	12.4	1.3	1.3	9.2	0.3	55.0	20.5
土佐和紙工芸村	27.5	4.4	2.4	8.2	0.0	10.6	46.9
黒潮本陣	13.0	9.4	4.9	31.0	1.8	10.3	29.6
四万十川	40.8	3.4	5.2	5.2	5.8	20.9	18.7
足摺岬	32.9	1.2	3.4	3.7	21.2	17.6	20.0
全体	27.5	4.0	2.2	7.1	4.1	31.2	23.9

※ 背景色+太字は旅行目的ごとの上位2位。

「室戸岬」と「四万十川」は“自然見物”が最も多く、“その他（ドライブを含む）”や“名所旧跡”も多くなっている。また、足摺岬と同様に他の調査地と比べ、“神仏・霊場巡り”も多くなっている。

「桂浜」は“名所旧跡”と“その他”が多く、全体の割合に近くなっている。桂浜を旅行の起点として、高知城周辺や幡多地域、東部など他のエリアに向かう旅行者も多く見られた。

「足摺岬」は“自然見物”と“神仏・霊場巡り”が多く、特に金剛福寺が近くにあるため、八十八ヶ所の巡礼に合わせて観光する旅行者が多く見られた。

「高知城」は“名所旧跡”で半数以上を占めており、日曜市や桂浜周辺などの主要観光地と合わせて訪問する旅行者が多く見られた。また、“食べ物”も黒潮本陣に次いで多く、ひろめ市場などの高知市内の食事処とセットで訪問する旅行者が多く見られた。

「アンパンマンミュージアム」と「龍河洞」も“名所旧跡”で多数を占めており、のいち動物公園や龍馬歴史館など、周辺の観光施設と合わせて観光するケースも多く見られた。

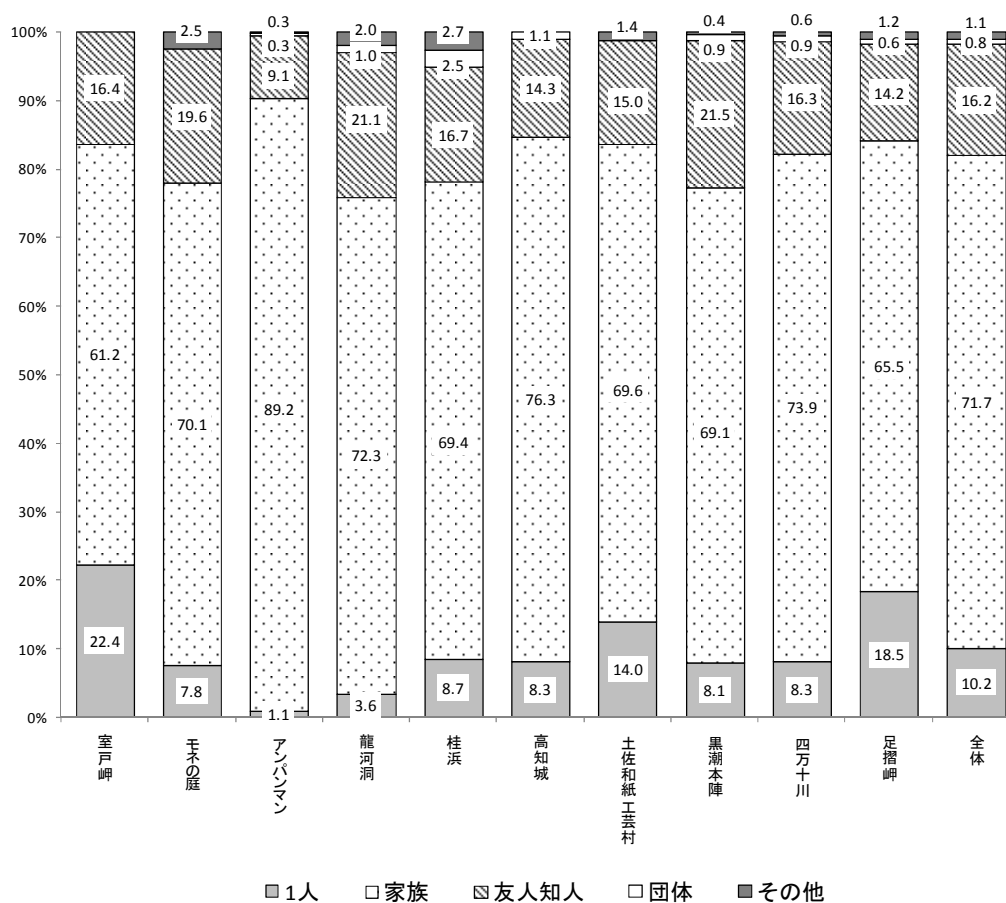
「土佐和紙工芸村」は“その他”が半数近くを占め、“自然見物”や“食”も多くなっている。ドライブやツーリングの立寄り地点、高知市内や幡多地域などの中継地点になっている旅行者が大半であった。

「モネの庭」は“自然見物”の割合が調査地別で最も多く、次いで“名所旧跡”となった。女性の旅行者を中心に、モネの庭を主な目的として訪問するケースが多く、室戸岬や中岡慎太郎館などと合わせて観光する旅行者も見られた。

「黒潮本陣」は、“食べ物”と“休養慰安”の割合が調査地別で最も多くなった。カツオ料理や薫焼き体験、久礼大正町市場での海産物などが目的の旅行者が多く、黒潮本陣での宿泊や温泉を主な目的に訪問した旅行者もいた。

12.2 旅行形態割合

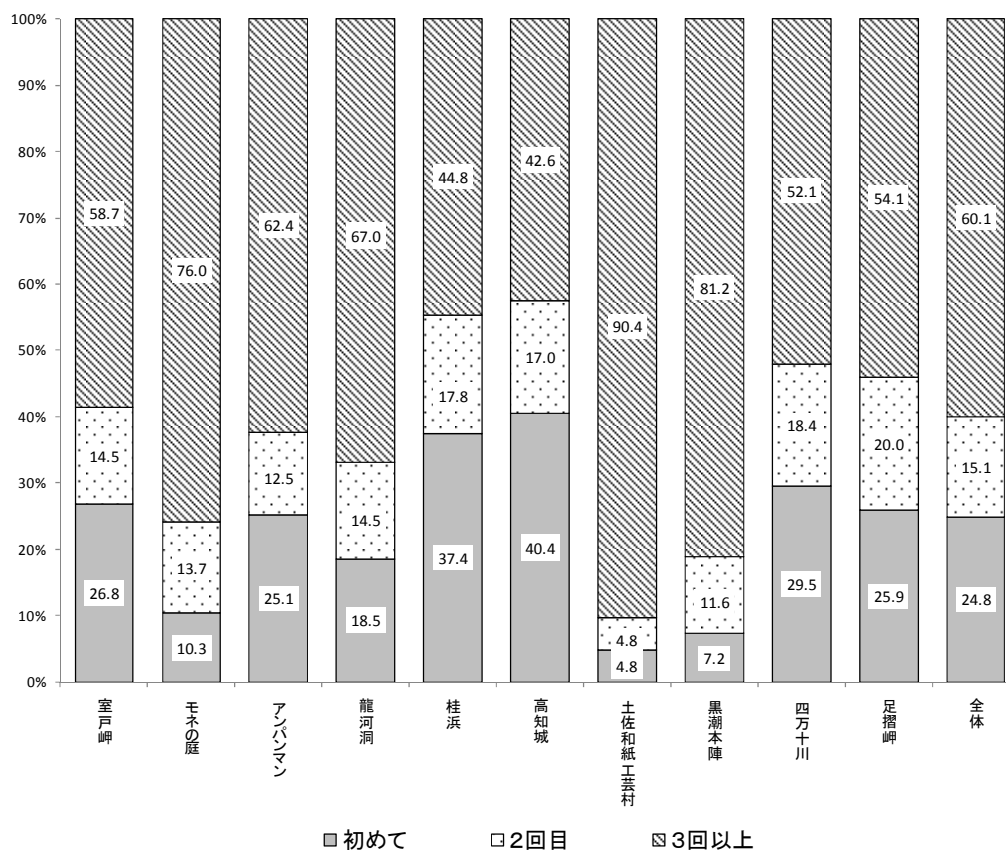
(図 12-3) 調査地別旅行形態割合(%) [23 年]



調査地別の旅行形態割合を項目別にみると、「1人」は室戸岬、足摺岬、土佐和紙工芸村で10%を超えており、「家族」はアンパンマンミュージアムが89.2%と群を抜いて多く、高知城、四万十川が続いて多くなっている。「友人知人」は黒潮本陣、龍河洞、モネの庭で約20%、「団体」は桂浜が最も多くなっている。

12.3 過去来県回数割合

(図 12-4) 調査地別過去来県回数割合(%) [23 年]



(参考 14) 過去来県回数割合(%) [23 年、過去 3 年間]

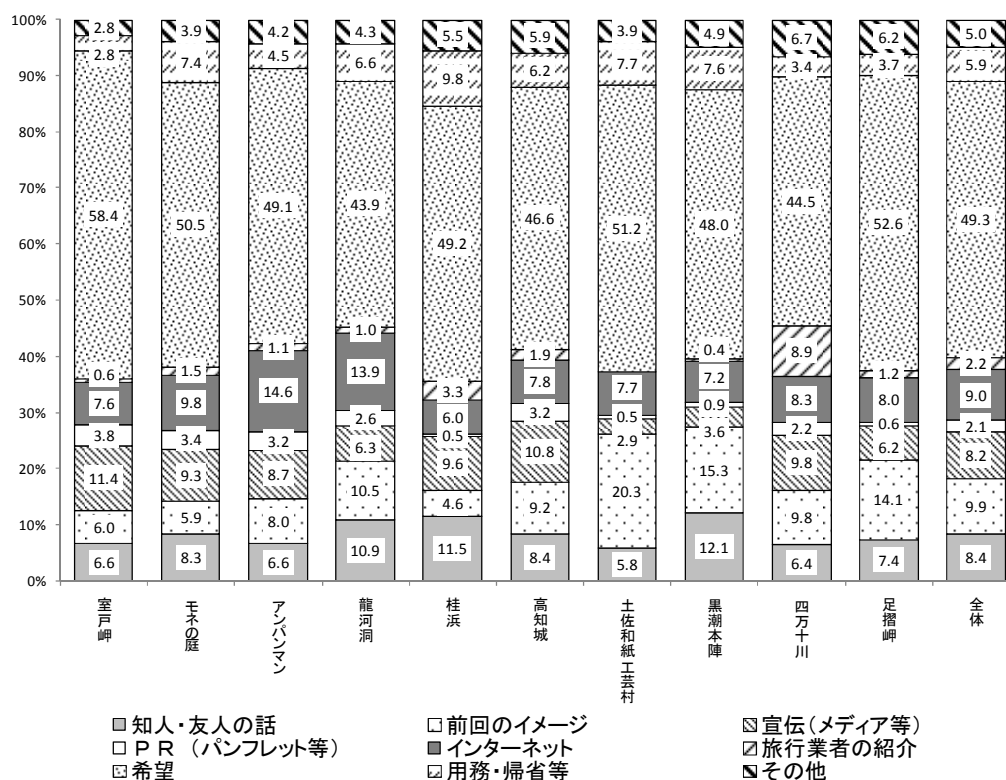
	初めて	2回目	3回以上
20年	22.4	21.7	55.9
21年	22.4	21.6	56.0
22年	21.9	17.4	60.7
23年	24.8	15.1	60.1

全体の過去来県回数は、「初めて」の旅行者が 24.8%、「2回目」が 15.1%、「3回以上」が 60.1%という結果となった。平成 20 年度の調査から通してみると（参考 14）、「初めて」の割合は過去最高となり、前年比で 2.9 ポイント増加している。「2回目」は前年比 2.3 ポイント減で過去最低、「3回以上」は前年とほぼ同じ水準となった。

過去来県回数別で割合の多い調査地は、「初めて」は高知城と桂浜、「2回目」は足摺岬と四万十川、「3回以上」は土佐和紙工芸村と黒潮本陣となっている。

12.4 動機割合

(図 12-5) 調査地別動機割合(%) [23 年]



(表 12-6) 調査地別動機割合(%) [23 年]

	知人・友人の話	前回のイメージ	宣伝(メディア等)	PR (パンフレット等)	インターネット	旅行業者の紹介	希望	用務・帰省等	その他
室戸岬	6.6	6.0	11.4	3.8	7.6	0.6	58.4	2.8	2.8
モネの庭	8.3	5.9	9.3	3.4	9.8	1.5	50.5	7.4	3.9
アンパンマン	6.6	8.0	8.7	3.2	14.6	1.1	49.1	4.5	4.2
龍河洞	10.9	10.5	6.3	2.6	13.9	1.0	43.9	6.6	4.3
桂浜	11.5	4.6	9.6	0.5	6.0	3.3	49.2	9.8	5.5
高知城	8.4	9.2	10.8	3.2	7.8	1.9	46.6	6.2	5.9
土佐和紙工芸村	5.8	20.3	2.9	0.5	7.7	0.0	51.2	7.7	3.9
黒潮本陣	12.1	15.3	3.6	0.9	7.2	0.4	48.0	7.6	4.9
四万十川	6.4	9.8	9.8	2.2	8.3	8.9	44.5	3.4	6.7
足摺岬	7.4	14.1	6.2	0.6	8.0	1.2	52.6	3.7	6.2
全体	8.4	9.9	8.2	2.1	9.0	2.2	49.3	5.9	5.0

※ 背景色+太字は動機ごとの上位2位。

全体の動機割合は、「本人・家族の希望」が49.3%と約半数を占め、最も多くなった。次いで「前回のイメージ」が9.9%、「インターネット」が9.0%、「知人・友人の話」が8.4%、「宣伝（メディア等）」が8.2%などと続いている。

項目別で割合が多くなった調査地をみると、「知人・友人の話」は黒潮本陣や桂浜、「前回イメージ」は土佐和紙工芸村や黒潮本陣、「宣伝（メディア等）」は室戸岬や高知城、「PR（パンフレット等）」は室戸岬やモネの庭、「インターネット」はアンパンマンミュージアムや龍河洞、「旅行業者の紹介」は四万十川や桂浜、「本人・家族の希望」は室戸岬や足摺岬、「用務・帰省等」は桂浜などとなっている。

13 総括

今回の調査を振り返り、高知県観光がさらなる発展を遂げるため、特に以下の3点が必要と考えられる。

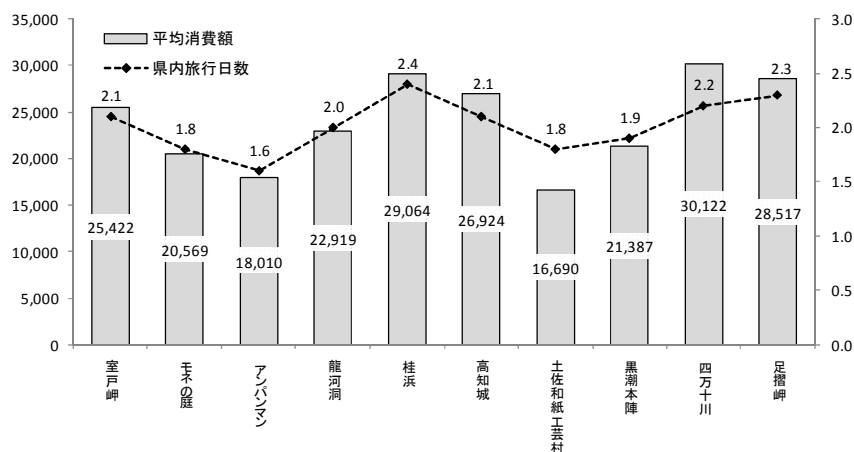
1. 宿泊客の割合、および宿泊日数の増加

県内旅行日数と平均消費額の関係は、ほぼ比例している。そのため、消費額を上げるためには宿泊日数を増加させる取り組みが有効的となる。

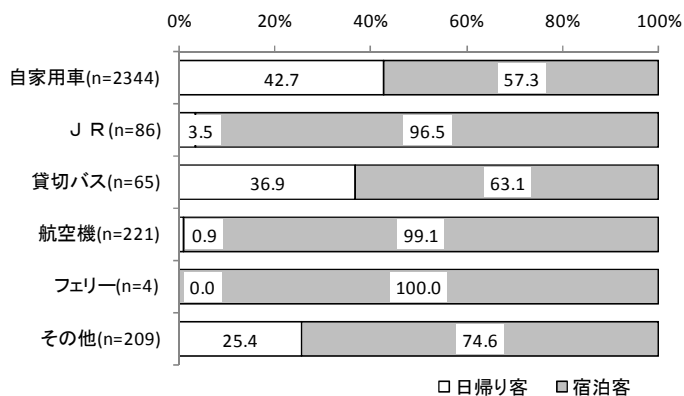
例えば、家族連れの旅行者に対し家族で楽しめる観光スポットなどの情報提供と、子供同伴でも気兼ねなく宿泊できる良質な施設の提供をすることで旅行日数を増やし、消費額を増加させる取り組みなどが考えられる。

また、魅力的な観光スポットや、宿泊することを前提とした夜型イベントなどの情報提供も考えられる。

(図 13-1) 調査地別県内平均消費額(円)、県内旅行日数(日) [23 年]



(図 13-2) 入込交通機関別日帰り客・宿泊客割合(%) [23 年]



2. 旅行費用を消費できる環境の整備

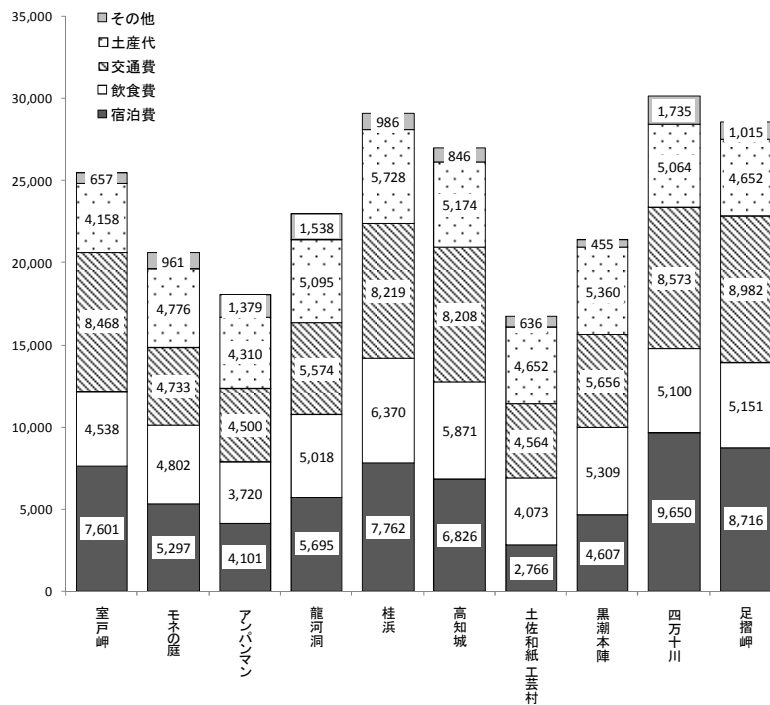
調査地別の県内平均消費額（図 13-3）を費目別で見ると、室戸岬の土産代 4,158 円、アンパンマンミュージアムは飲食費 3,720 円、土産代 4,310 円などが目立って少ないことが分かる。

室戸岬は世界ジオパーク認定という話題性で集客力が高まっている一方で、訪れた旅行者は飲食や土産など消費する機会がないために費用（予算）を使わず旅行を終えてしまった可能性もある。

アンパンマンミュージアムでも、アンケートに「施設周辺に家族向けの食事処が欲しい」という要望が多くあった。

こういった機会の損失を取り除くためには、地域の特産品を活かした魅力のある土産物、話題にあわせた記念品などの商品開発や販売機会の整備、家族向けの食事の提供、これらに関する旅行者への情報提供やPRなどが必要と考えられる。

（図 13-3）調査地別県内平均消費額(円) [23 年・費目別]



3. 旅行目的に対応した取り組み

旅行目的によって、旅行者の動向や消費の傾向は異なり、旅行目的別に平均消費額と県内旅行日数（図 13-4）をみると、観光目的に限った場合、平均消費額は 31,207 円の神仏・霊場巡りが最も高く、旅行日数では 2.7 日のアウトドアが最も多くなっている。反対に最も低かったのが買い物で、平均消費額 12,506 円、旅行日数 1.1 日となった。

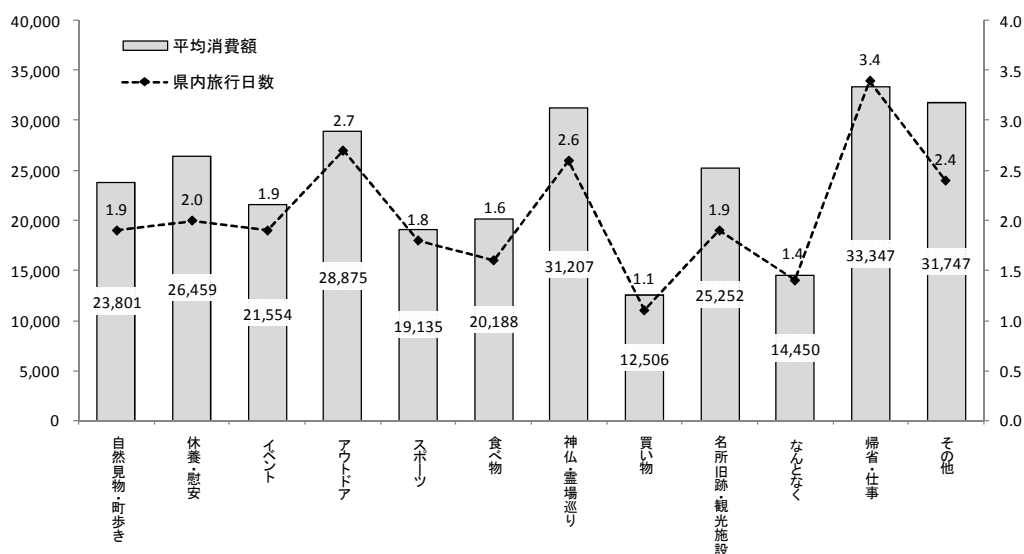
神仏・霊場巡りは2年続けて割合が増加（表 6-1）しており、平均消費額、旅行日数ともに全体平均を大きく上回っている。また、季節を問わず平均的に旅行者が訪れている（図 13-5）ことを考えると重要な観光資源となっている。そこで、霊場巡り以外の目的で再度来県してもらうためにも、訪れた旅行者に満足してもらうための取り組み、環境整備が重要となる。

アウトドア目的の旅行者は春と夏に集中しており（図 13-5）、四万十川や仁淀川周辺でのカヌーや川遊びなどが目立っていた。旅行日数が 2.7 日と最も長いため、滞在型観光のモデルケースになると思われる。アウトドア目的のニーズを掘り起こすために、気軽に参加・体験できるメニュー作りや、リピーターを増やすための満足度を上げる取り組みなどが考えられる。

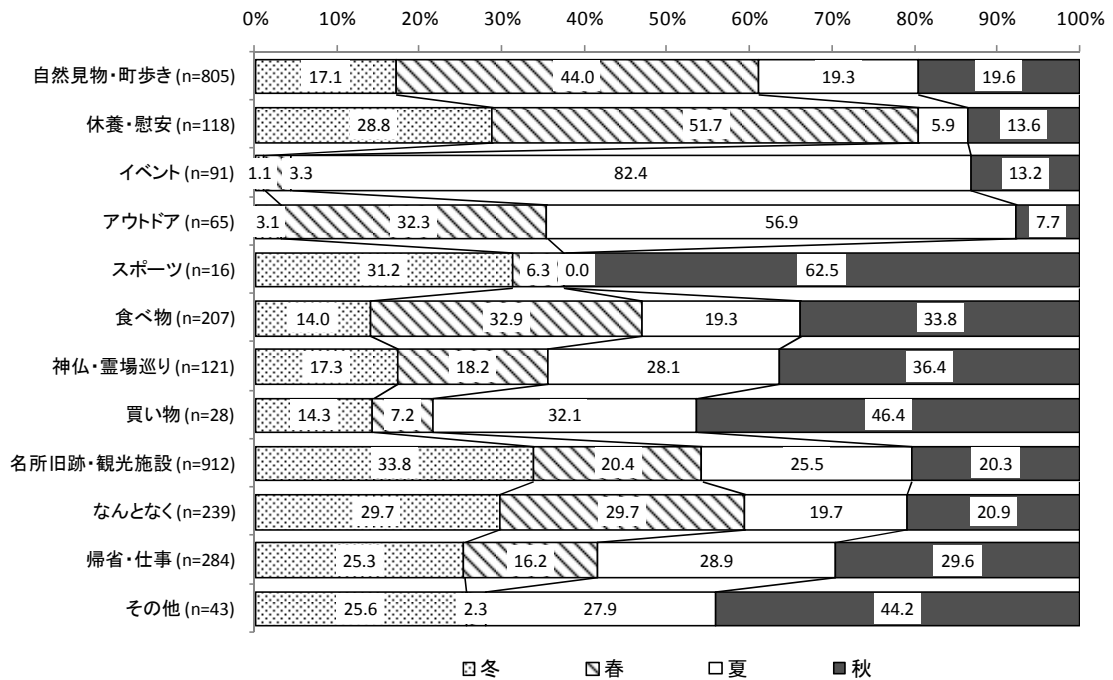
食べ物が目的の旅行者は、カツオのシーズンの春と秋に割合が多くなっている（図 13-5）。全体で 7.1%を占める旅行目的になっているが、平均消費額は 20,188 円、旅行日数が 1.6 日と全体平均を下回っている。その大きな要因は、54.1%と半数を超えている日帰り客の割合にある（図 13-6）。そのため、宿泊客の割合を増加させることが平均消費額の増加に効果的と考えられる。居酒屋巡りや屋台ツアーなど、宿泊が前提になる夜型の食イベントの企画に取り組むことも必要と考えられる。

旅行目的割合が合わせて 58.6%と高知県観光の大きな役割を担っている自然見物や名所旧跡は、旅行日数が 1.9 日となっている。日帰り客の割合はどちらも 35%程度であるため、1泊してもらう取り組みが有効となると考えられる。

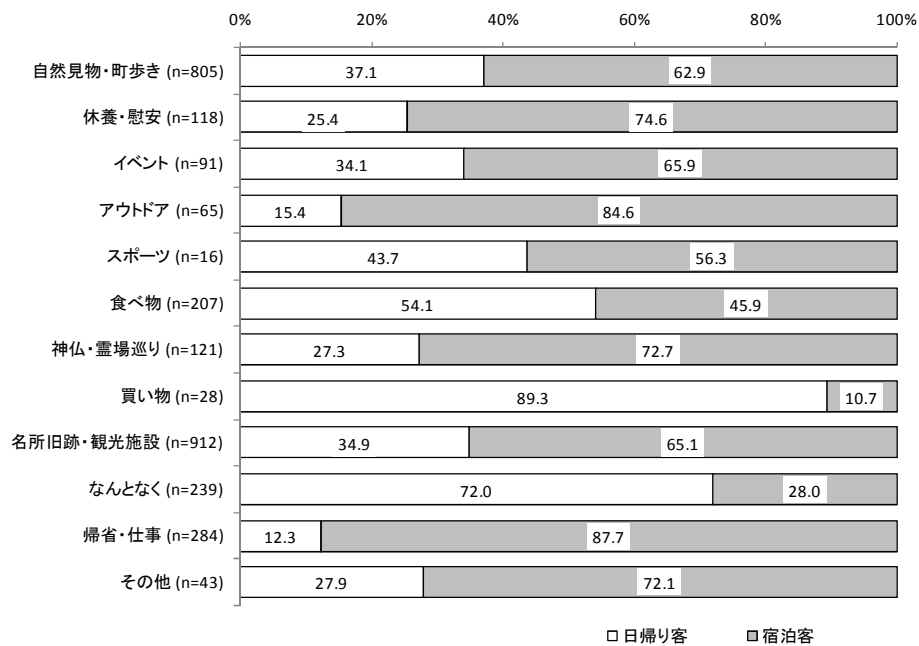
（図 13-4） 旅行目的別県内平均消費額(円)、県内旅行日数(日) [23 年]



(図 13-5) 旅行目的別調査時期割合(%) [23 年]



(図 13-6) 旅行目的別日帰り客・宿泊客割合(%) [23 年]



高知県観光客アンケート調査票

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、高知県内にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名: _____)	海外の場合 (国名: _____)
高知県内の場合 → (市町村名 _____)	

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性
年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代 6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどの地域の、どのような施設に何泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り 2. 宿泊	宿泊した施設の数 ↓ 宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 ⇒ 県内宿泊施設数 _____ 施設
-----------------	------------------------------------------------------------------

＜県内宿泊施設＞

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 実家や知人・親戚宅 () 泊 | 2. 旅館 () 泊 |
| 3. ホテル () 泊 | 4. ペンション・民宿 () 泊 |
| 5. 保養所・研修所 () 泊 | 6. キャンプ場 () 泊 |
| 7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊 () 泊 | |
| 8. 別荘・リゾートマンション () 泊 | 9. 会員制の宿泊施設 () 泊 |
| 10. ユースホステル・ライダーズイン () 泊 | 11. 公共の宿 () 泊 |
| 12. その他 () 泊 | |

＜県内宿泊場所＞

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 東部地域 (東洋町～芸西村) () 泊 | 2. 中央東地域 (香南市～南国市) () 泊 |
| 3. 中央地域 (高知市) () 泊 | 4. 中央西地域 (いの町～仁淀川町) () 泊 |
| 5. 高幡地域 (須崎市～四万十町) () 泊 | 6. 幡多地域 (黒潮町～大月町) () 泊 |

Q4. 今回のご旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス	「2 観光」を選んだ場合、今回のご旅行の主な目的を1つ教えてください。															
2. 観光	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">01 自然見物・町歩き</td> <td style="width: 33%;">02 休養・慰安</td> <td style="width: 33%;">03 祭り・イベント</td> </tr> <tr> <td>04 登山・アウトドア・キャンプ</td> <td>05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>06 食べ物 (味覚・酒)</td> <td>07 神仏・霊場巡り</td> <td>08 買い物</td> </tr> <tr> <td>09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽</td> <td>10 なんとなく (ドライブ等含む)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11 その他 ()</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	01 自然見物・町歩き	02 休養・慰安	03 祭り・イベント	04 登山・アウトドア・キャンプ	05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)		06 食べ物 (味覚・酒)	07 神仏・霊場巡り	08 買い物	09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽	10 なんとなく (ドライブ等含む)		11 その他 ()		
01 自然見物・町歩き	02 休養・慰安	03 祭り・イベント														
04 登山・アウトドア・キャンプ	05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)															
06 食べ物 (味覚・酒)	07 神仏・霊場巡り	08 買い物														
09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽	10 なんとなく (ドライブ等含む)															
11 その他 ()																
3. 帰省・知人訪問																
4. (1～3のどれでもない) その他																

Q5. 今回のご旅行のきっかけを教えてください。

1. 知人・友人の話	2. 前回のイメージ	3. 宣伝 (TV・ラジオ・雑誌等)
4. PR (パンフレット・キャンペーン等)	5. インターネット (携帯電話含む)	
6. 旅行業者の紹介・ツアー参加	7. 来たかった・家族の希望	
8. 帰省	9. その他	

Q6. 今回のご旅行の企画・手配について教えてください。

1. 自分で旅行プランを立てて、宿泊・交通機関なども自分で手配した
2. 旅行プランを決めて、宿泊や高知への往復には旅行代理店のフリープランを使っている
3. 旅行代理店でコースが決められている添乗員付きの旅行プランを使っている

Q7. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒にの旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

() 人
 2人以上の場合
 → 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q8. ご一緒のみなさん全員の、今いる観光地の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 () 人、2回目の人数 () 人
 3回目の人数 () 人、4回目以上の人数 () 人

Q9. (県外にお住まいの方のみお答えください)

あなたは、高知県の訪問が何回目ですか。

1. はじめて 2. 2回目 3. 3回目以上

Q10. (県外にお住まいの方のみお答えください)

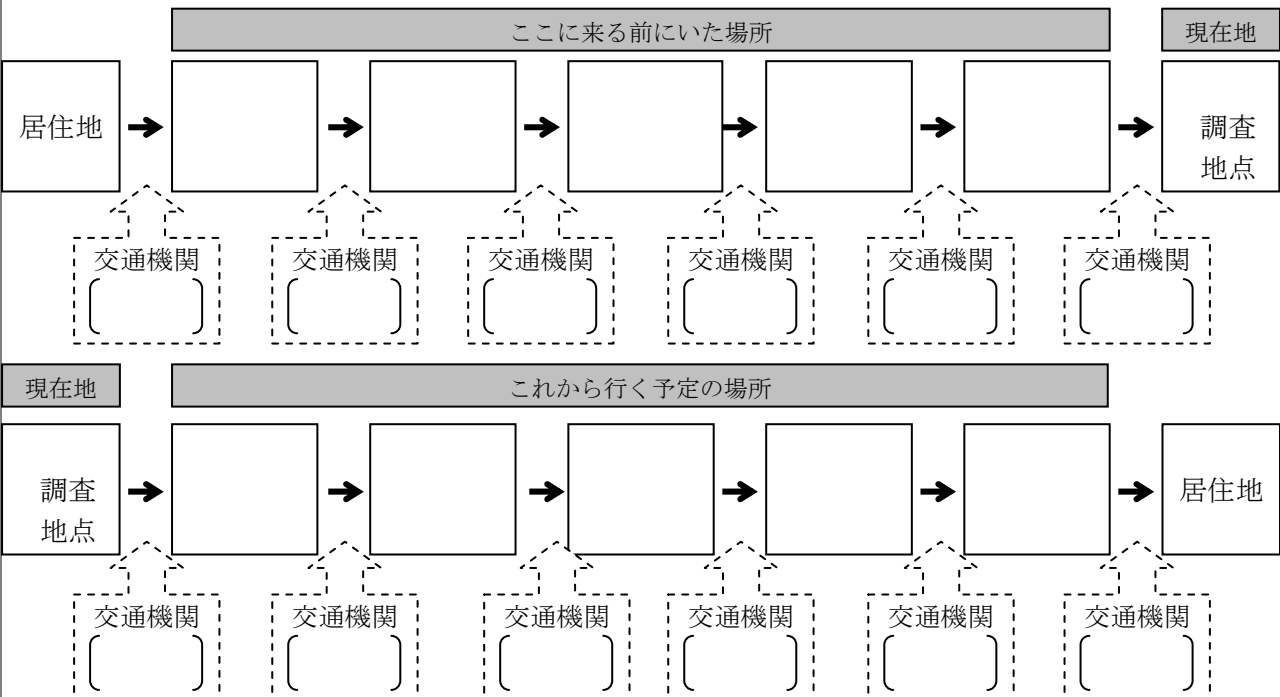
ご一緒のみなさん全員の、高知県の訪問が何回目かご存じですか。※回答の合計はQ7と一致

1. 知らない 2. 知っている → 1回目の人数 () 人、2回目の人数 () 人
 3回目の人数 () 人、4回目以上の人数 () 人

Q11. 今回の旅行で訪れた県内の観光地と移動に用いた交通機関をご記入下さい。これから訪問する観光地についても予定をご記入下さい。※観光地は一覧表より、交通機関は下表より番号をお選び下さい。

また、この県を訪れる前・後に立ち寄った(立ち寄る予定の)都道府県があれば記入下さい。

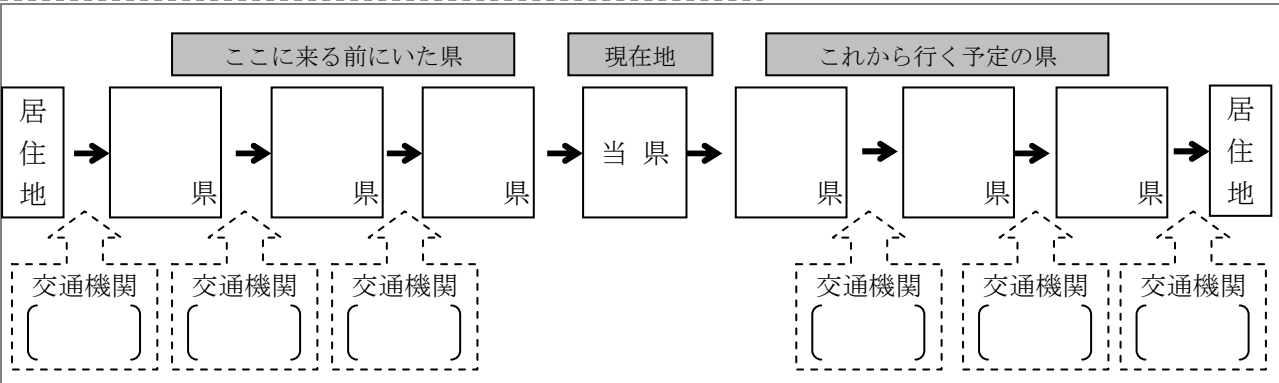
高知県までの主な交通機関 [] 高知県内での主な交通機関 []



【表】交通機関

- | | | | | |
|----------------------|-------------|-------------|---------------|-----------|
| ① J R 新幹線 | ② J R 在来線 | ③ 私鉄・地下鉄 | ④ モノレール | ⑤ -1 貸切バス |
| ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む) | ⑥ 高速バス | ⑦ 市内バス・路線バス | | |
| ⑧ 路面電車 | ⑨ タクシー・ハイヤー | ⑩ レンタカー | ⑪ 自家用車、社用・公用車 | |
| ⑫ 飛行機 | ⑬ フェリー | ⑭ バイク | ⑮ その他 | |

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入ください



【表】交通機関

- ① J R 新幹線 ② J R 在来線 ③ 私鉄・地下鉄 ④ モノレール ⑤ -1 貸切バス
- ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む) ⑥ 高速バス ⑦ 市内バス・路線バス
- ⑧ 路面電車 ⑨ タクシー・ハイヤー ⑩ レンタカー ⑪ 自家用車、社用・公用車
- ⑫ 飛行機 ⑬ フェリー ⑭ バイク ⑮ その他

Q12. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※ ←表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用
①交通費	(県内分) 円	(県外分)	円
②宿泊費	(県内分) 円		
③土産代	(県内分) 円		
④飲食費	(県内分) 円		
⑤入場料	(県内分) 円		
⑥その他	(県内分) 円		
⑦パック料金			円
		<input type="checkbox"/> 県内分のみ	もしくは <input type="checkbox"/> 県外分含む

Q13. ご意見・ご感想（他県と比べて良い点、悪い点等もお聞かせください）

- ※ 冬期は特に、この季節に高知へ来られた理由、高知の魅力など（冬季対策の参考意見として）をお聞かせください

☆☆ 調査内容は以上です。ご協力、ありがとうございました。☆☆

※調査票コード
1. 観_共通_日

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

IV 高知県観光客満足度調査

1 概要

●はじめに

県内の観光地を訪れた観光客を対象に、四季別に年4回、各調査地とも1季節ごと50人に対し、直接聞き取り調査を実施した。

【調査地点】

中部（高知龍馬空港、道の駅・南国風良里、高知駅・幕末志士社中、高知城）

東部（キラメッセ室戸、安芸駅・観光情報センター、ヤシィ・パーク）

西部（梶原・維新の道社中、四万十川観光開発遊覧船乗場、足摺岬）

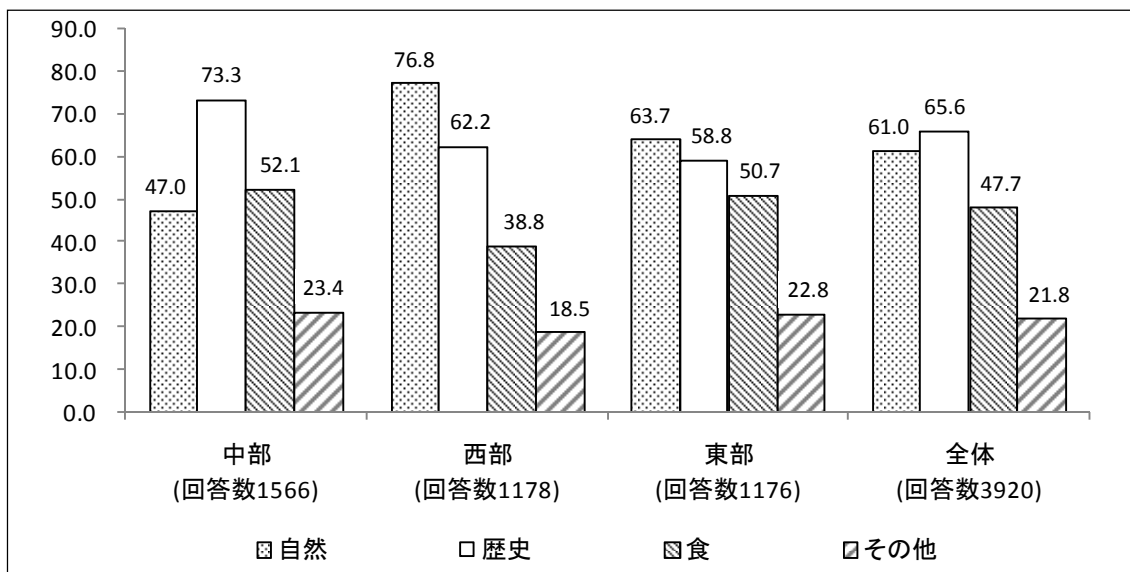
●旅行者の概要

高知県観光客満足度調査では、近畿から約24%、四国から約32%、関東から約17%、中国から約14%、甲信・東海から約5%、九州・沖縄から約4%、北海道・東北から約3%、北陸・新潟から0.9%、海外から0.6%の観光客にアンケートを答えていただいた。

「高知にもう一度来たいか？」への回答は、「ぜひ来たい」が62.6%、「来たい」が34.1%となり、「ぜひ来たい」と「来たい」を合計した再来訪意向は、96.7%と前年の95.2%から1.5ポイント増加している。「ぜひ来たい」の割合も前年の53.0%から約10%以上上昇しており、前年に比べ再来訪意向は大きく改善している。

2 高知県のイメージ

(図 4-1-1) 地域別高知県イメージ割合 (%) [分類別・23 年]



(注) あてはまるもの2つまで回答。

分類は以下の通り。

「自然」… 自然、太平洋、四万十川、四国カルスト、台風

「歴史」… 歴史、坂本龍馬、長宗我部元親、山内一豊、板垣退助

「食」… 食、かつおのタタキ、フルーツマト、酒、文旦

「その他」… 明るい、南国・暖かい、よさこい祭り、人情・温かさ、路面電車、その他

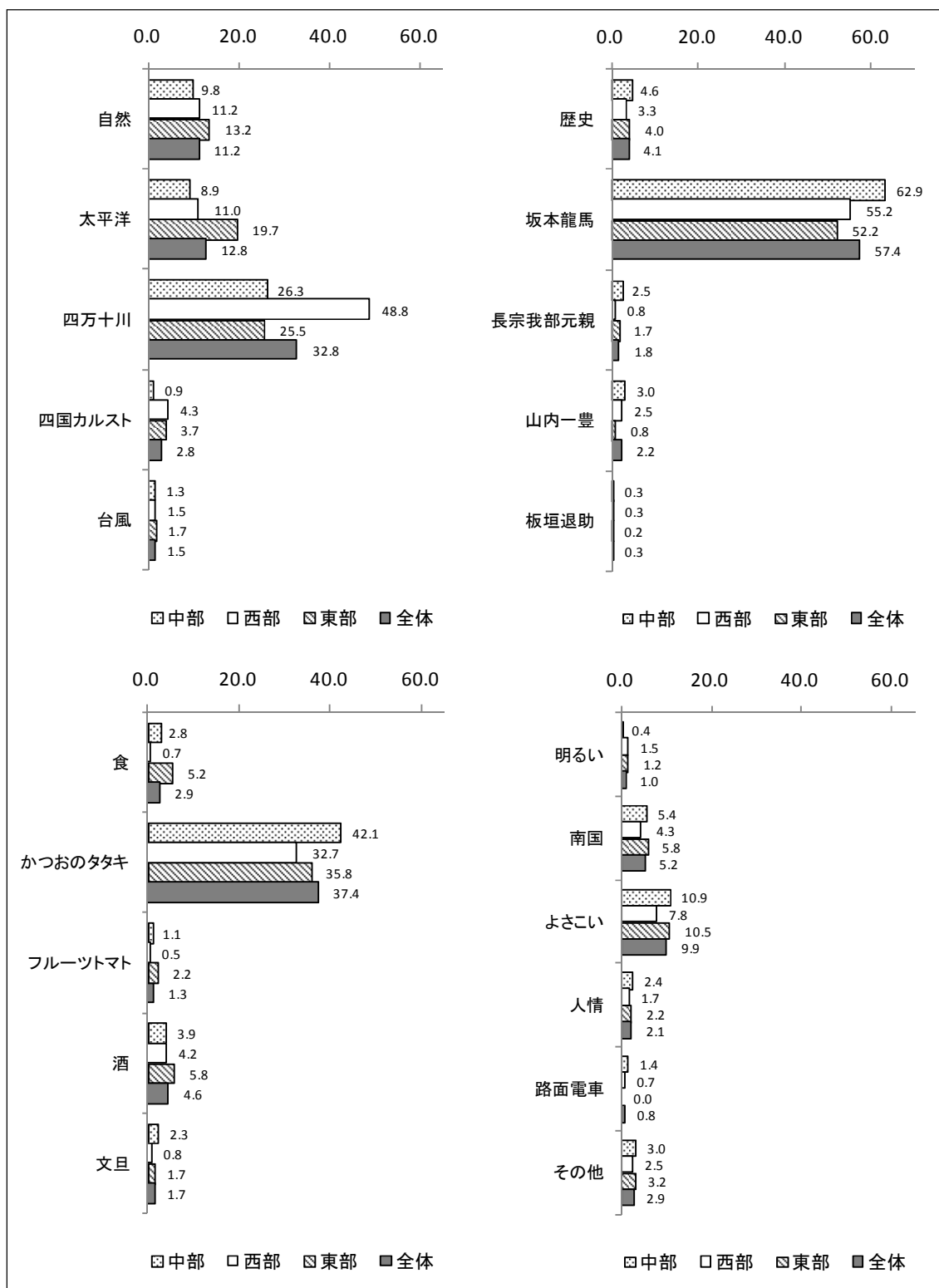
高知県にどのようなイメージを持っているかについて、高知県全体での集計では、「歴史」関連が 65.6%、「自然」関連が 61.0%、「食」関連が 47.7%という割合になった。回答の多かった項目は、“坂本龍馬”の 57.4%、“かつおのタタキ”の 37.4%、“四万十川”の 32.8%と続く。

中部の分類別では「歴史」が最も多く、次いで「食」「自然」の順で多く、歴史への関心が他の項目を大きく引き離す結果になった。特に 62.9%の調査対象者が“坂本龍馬”と回答している。

西部の分類別では「自然」「歴史」「食」の順で回答が多く、項目別でみると 48.8%の調査対象者が“四万十川”と回答している。中・東部と比べると、“四万十川”の回答割合は約2倍になっている。

東部の分類別も西部と同様に「自然」「歴史」「食」の順で回答が多くなったが、項目ごとの差は西部と比べて少くない。項目別では、“太平洋”の 19.7%、“自然”の 13.2%などが他の地域と比べ目立つ結果となった。

(図 4-1-2) 地域別高知県イメージ割合 (%) [項目別]



(注) あてはまるもの2つまで回答。

3 旅行の満足度

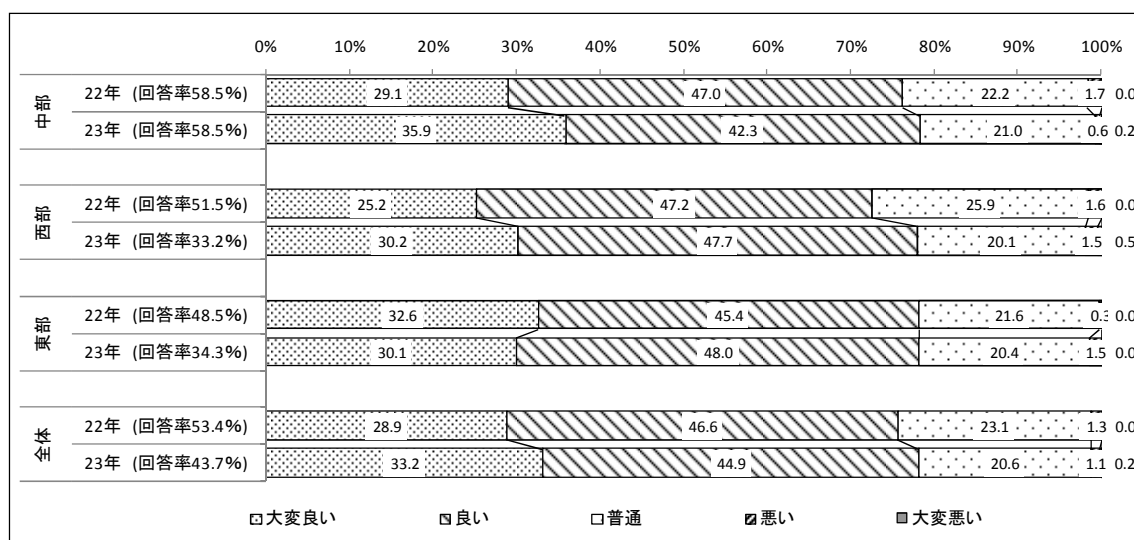
3-1 宿泊先

(表 4-2-1) 地域別宿泊先満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率58.5%)	29.1	47.0	22.2	1.7	0.0
	23年 (回答率58.5%)	35.9	42.3	21.0	0.6	0.2
西部	22年 (回答率51.5%)	25.2	47.2	25.9	1.6	0.0
	23年 (回答率33.2%)	30.2	47.7	20.1	1.5	0.5
東部	22年 (回答率48.5%)	32.6	45.4	21.6	0.3	0.0
	23年 (回答率34.3%)	30.1	48.0	20.4	1.5	0.0
全体	22年 (回答率53.4%)	28.9	46.6	23.1	1.3	0.0
	23年 (回答率43.7%)	33.2	44.9	20.6	1.1	0.2

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-2-2) 地域別宿泊先満足割合 (%) [23 年、22 年]



宿泊先の満足度への回答率は、高知県全体で 43.7% (前年 53.4%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 4.3 ポイント増で 33.2%、「良い」が同 1.7 ポイント減の 44.9%、「普通」が同 2.5 ポイント減の 20.6%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 78.1%と、前年の 75.5%から 2.6 ポイント増加している。

良い評価をした理由としては、“設備や部屋がきれいである”などの施設について、“従業員の接客やサービスが良い”などのサービスについて、“リーズナブルな価格”などの料金・プランについてなどが多く挙げられている。その他では、“景色景観”、“便利な立地”、“居心地の良さ”、“温泉・浴場”などもあった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“料金の割にサービスや施設の質が劣る”、“清掃が不足している”という記載があった。

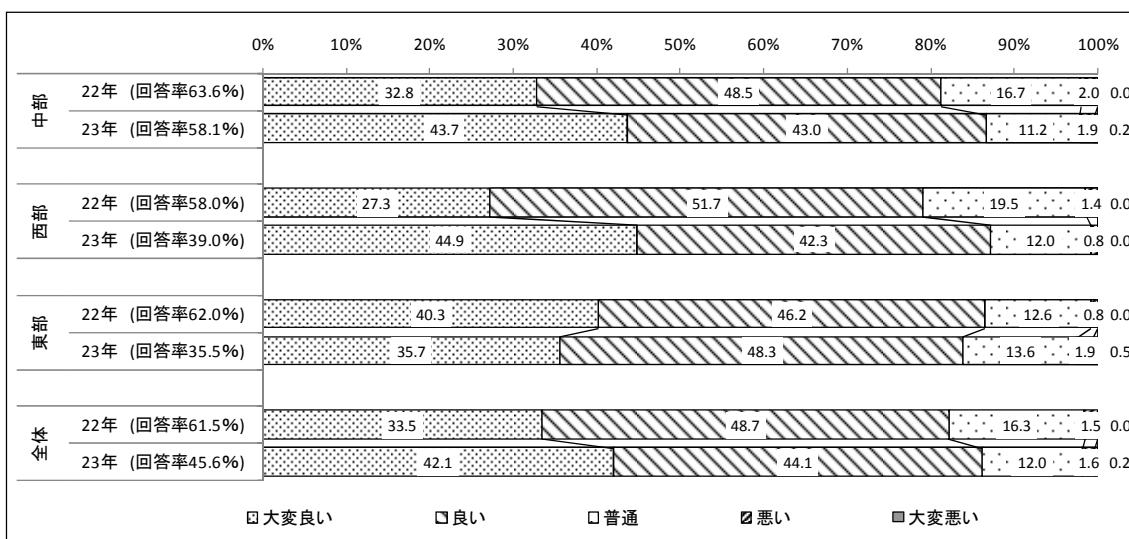
3-2 食事・料理店

(表 4-3-1) 地域別食事・料理店満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率63.6%)	32.8	48.5	16.7	2.0	0.0
	23年 (回答率58.1%)	43.7	43.0	11.2	1.9	0.2
西部	22年 (回答率58.0%)	27.3	51.7	19.5	1.4	0.0
	23年 (回答率39.0%)	44.9	42.3	12.0	0.8	0.0
東部	22年 (回答率62.0%)	40.3	46.2	12.6	0.8	0.0
	23年 (回答率35.5%)	35.7	48.3	13.6	1.9	0.5
全体	22年 (回答率61.5%)	33.5	48.7	16.3	1.5	0.0
	23年 (回答率45.6%)	42.1	44.1	12.0	1.6	0.2

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-3-2) 地域別食事・料理店満足割合 (%) [23 年、22 年]



食事・料理店の満足度への回答率は、高知県全体で 45.6% (前年 61.5%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 8.6 ポイント増で 42.1%、「良い」が同 4.6 ポイント減の 44.1%、「普通」が同 4.3 ポイント減の 12.0%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 86.2%と、前年の 82.2%から 4.0 ポイント増加している。

良い評価をした理由としては、“かつおのタタキが美味しかった” というものが大半を占めている。その他では“海鮮類の料理や鮮度が良かった”、“品数やボリュームが豊富で満足した”、“従業員の接客が良かった”、“店の雰囲気や居心地が良かった”などの記載もあった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“価格が高い”、“味付けが口に合わなかった”、“魚の鮮度が悪かった”という記載があった。

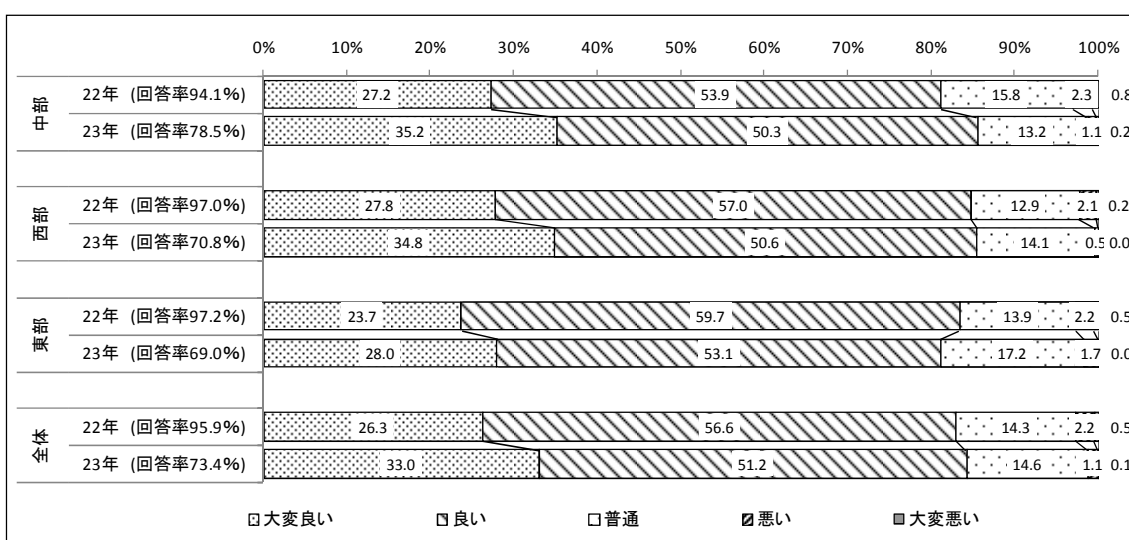
3-3 観光施設

(表 4-4-1) 地域別観光施設満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率94.1%)	27.2	53.9	15.8	2.3	0.8
	23年 (回答率78.5%)	35.2	50.3	13.2	1.1	0.2
西部	22年 (回答率97.0%)	27.8	57.0	12.9	2.1	0.2
	23年 (回答率70.8%)	34.8	50.6	14.1	0.5	0.0
東部	22年 (回答率97.2%)	23.7	59.7	13.9	2.2	0.5
	23年 (回答率69.0%)	28.0	53.1	17.2	1.7	0.0
全体	22年 (回答率95.9%)	26.3	56.6	14.3	2.2	0.5
	23年 (回答率73.4%)	33.0	51.2	14.6	1.1	0.1

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-4-2) 地域別観光施設満足割合 (%) [23 年、22 年]



観光施設の満足度への回答率は、高知県全体で 73.4% (前年 95.9%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 6.7 ポイント増で 33.0%、「良い」が同 5.4 ポイント減の 51.2%、「普通」が同 0.3 ポイント増の 14.6%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 84.2%と、前年の 82.9%から 1.3 ポイント増加している。

良い評価をした理由としては、“自然や景観の良さ”を挙げている回答が大半を占めている。その他では“ガイドや案内役のスタッフが良かった”、“展示物や資料が分かりやすく、歴史や文化が良く理解できた”、“企画や体験などの内容が面白かった”、“地元の人とのふれ合い、親切にもらった”などの記載もあった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“駐車場の不足、トイレ (バリアフリー) など設備の不満”、“案内表示の不足”などの記載があった。

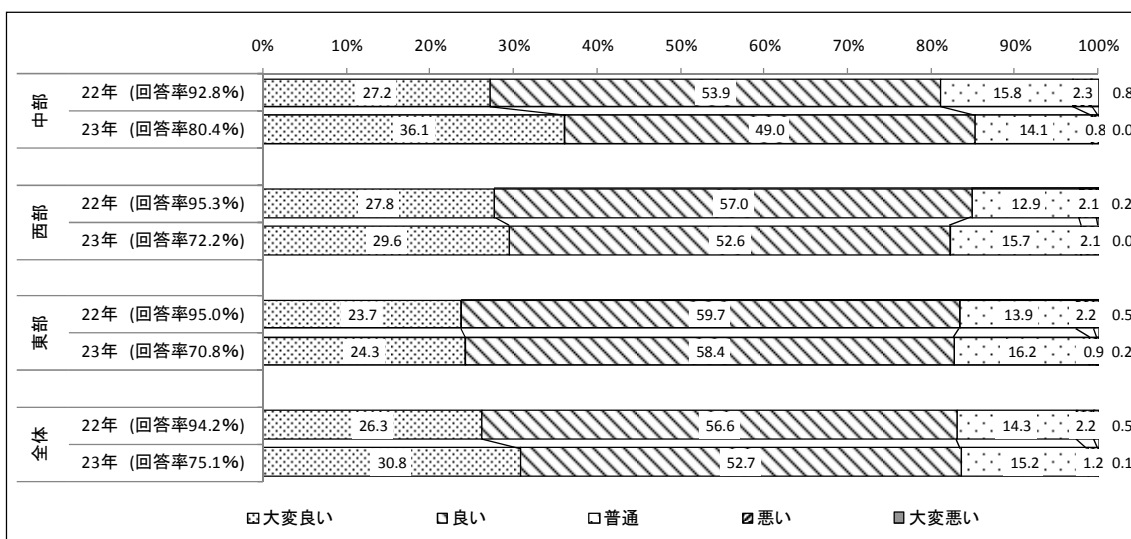
3-4 観光地の美化

(表 4-5-1) 地域別観光地の美化満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率92.8%)	27.2	53.9	15.8	2.3	0.8
	23年 (回答率80.4%)	36.1	49.0	14.1	0.8	0.0
西部	22年 (回答率95.3%)	27.8	57.0	12.9	2.1	0.2
	23年 (回答率72.2%)	29.6	52.6	15.7	2.1	0.0
東部	22年 (回答率95.0%)	23.7	59.7	13.9	2.2	0.5
	23年 (回答率70.8%)	24.3	58.4	16.2	0.9	0.2
全体	22年 (回答率94.2%)	26.3	56.6	14.3	2.2	0.5
	23年 (回答率75.1%)	30.8	52.7	15.2	1.2	0.1

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-5-2) 地域別観光地の美化満足割合 (%) [23 年、22 年]



観光地美化への満足度への回答率は、高知県全体で 75.1% (前年 94.2%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 4.5 ポイント増で 30.8%、「良い」が同 3.9 ポイント減の 52.7%、「普通」が同 0.9 ポイント増の 15.2%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 83.5%と、前年の 82.9%から 0.6 ポイント増加している。

良い評価をした理由としては、“ゴミが落ちていない、十分に清掃されている”という回答が大半を占めている。評価の対象になった観光地は、高知城や桂浜、足摺岬、四万十川、室戸岬といった高知県を代表する場所が多く選ばれている。

悪い評価をした理由や指摘としては、“目立たない場所の清掃が不十分”などの記載があった。

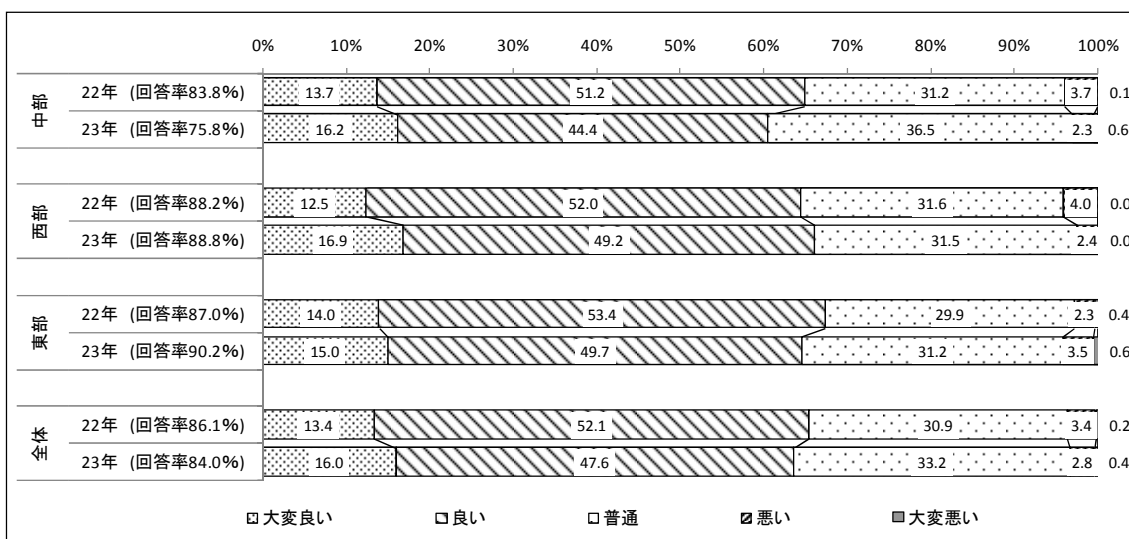
3-5 公共トイレ

(表 4-6-1) 地域別公共トイレ満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率83.8%)	13.7	51.2	31.2	3.7	0.1
	23年 (回答率75.8%)	16.2	44.4	36.5	2.3	0.6
西部	22年 (回答率88.2%)	12.5	52.0	31.6	4.0	0.0
	23年 (回答率88.8%)	16.9	49.2	31.5	2.4	0.0
東部	22年 (回答率87.0%)	14.0	53.4	29.9	2.3	0.4
	23年 (回答率90.2%)	15.0	49.7	31.2	3.5	0.6
全体	22年 (回答率86.1%)	13.4	52.1	30.9	3.4	0.2
	23年 (回答率84.0%)	16.0	47.6	33.2	2.8	0.4

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-6-2) 地域別公共トイレ満足割合 (%) [23 年、22 年]



公共トイレの満足度への回答率は、高知県全体で 84.0% (前年 86.1%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 2.6 ポイント増で 16.0%、「良い」が同 4.5 ポイント減の 47.6%、「普通」が同 2.3 ポイント増の 33.2%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 63.6%と、前年の 65.5%から 1.9 ポイント減少、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は 3.2%と、前年の 3.6%から 0.4 ポイント減少という結果となった。

良い評価をした理由としては、“至るところにあり便利”、“よく清掃がなされている”、“数が多い”という回答があった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“洋式トイレの不足、不備”、“ウォシュレットの不備”、“多目的トイレまでの段差”、“清掃の不足”、“照明などの不足”などがあった。

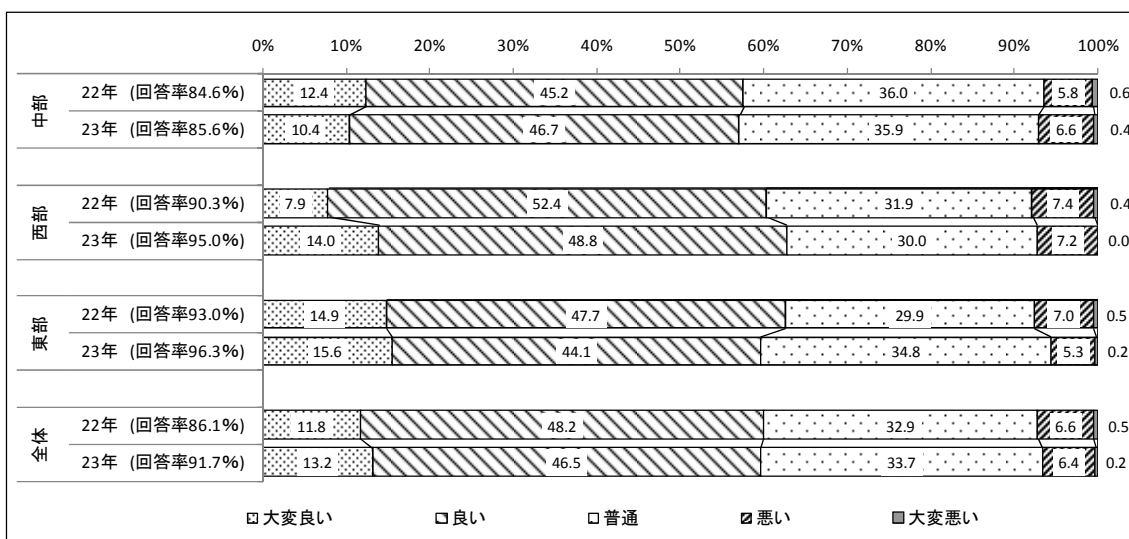
3-6 案内標識

(表 4-7-1) 地域別案内標識満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率84.6%)	12.4	45.2	36.0	5.8	0.6
	23年 (回答率85.6%)	10.4	46.7	35.9	6.6	0.4
西部	22年 (回答率90.3%)	7.9	52.4	31.9	7.4	0.4
	23年 (回答率95.0%)	14.0	48.8	30.0	7.2	0.0
東部	22年 (回答率93.0%)	14.9	47.7	29.9	7.0	0.5
	23年 (回答率96.3%)	15.6	44.1	34.8	5.3	0.2
全体	22年 (回答率86.1%)	11.8	48.2	32.9	6.6	0.5
	23年 (回答率91.7%)	13.2	46.5	33.7	6.4	0.2

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-7-2) 地域別案内標識満足割合 (%) [23 年、22 年]



案内標識の満足度への回答率は、高知県全体で 91.7% (前年 86.1%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 1.4 ポイント増で 13.2%、「良い」が同 1.7 ポイント減の 46.5%、「普通」が同 0.8 ポイント増の 33.7%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は同 0.3 ポイント減の 59.7%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は同 0.5 ポイント減の 6.6%という結果となった。

良い評価をした理由としては、“以前に比べると良くなったと感じる”、“交差点のアルファベット表記 (ココ! マーク) が分かりやすい”などの回答があった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“駐車場の案内表示が不足”、“路面電車の利用方法が分かりにくい”、“交差点の住所表記が不足”、“遍路道の案内が不足”、“公共交通機関を利用した際、目的地に行くために最適な降車場所が分かりにくい”、“外国人向けの英語表記を整備して欲しい”などがあった。

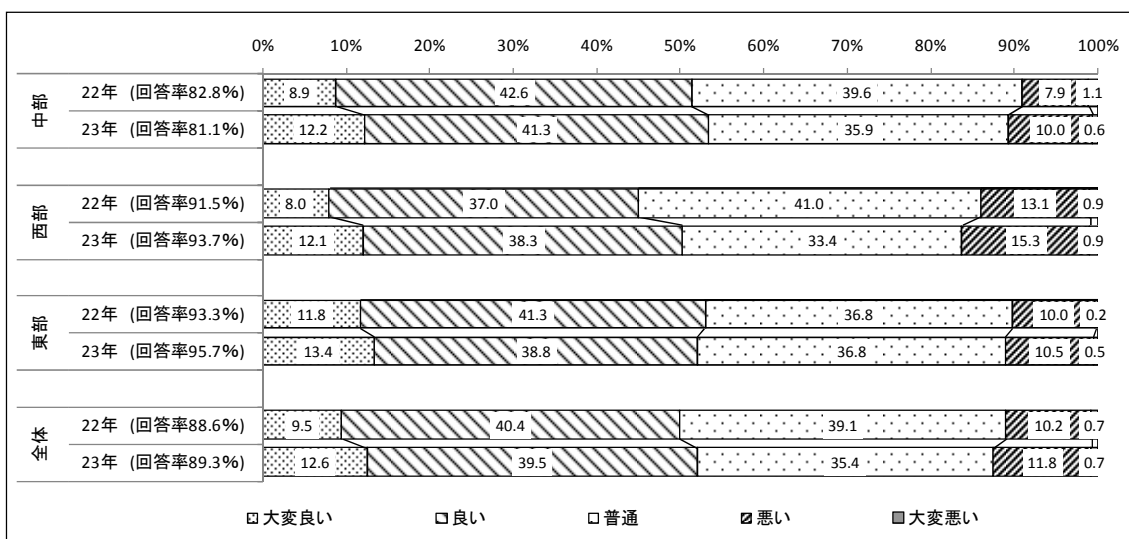
3-7 道の走行しやすさ

(表 4-8-1) 地域別道の走行しやすさ満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率82.8%)	8.9	42.6	39.6	7.9	1.1
	23年 (回答率81.1%)	12.2	41.3	35.9	10.0	0.6
西部	22年 (回答率91.5%)	8.0	37.0	41.0	13.1	0.9
	23年 (回答率93.7%)	12.1	38.3	33.4	15.3	0.9
東部	22年 (回答率93.3%)	11.8	41.3	36.8	10.0	0.2
	23年 (回答率95.7%)	13.4	38.8	36.8	10.5	0.5
全体	22年 (回答率88.6%)	9.5	40.4	39.1	10.2	0.7
	23年 (回答率89.3%)	12.6	39.5	35.4	11.8	0.7

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-8-2) 地域別道の走行しやすさ満足割合 (%) [23 年、22 年]



道の走行しやすさの満足度への回答率は、高知県全体で 89.3% (前年 88.6%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 3.1 ポイント増で 12.6%、「良い」が同 0.9 ポイント減の 39.5%、「普通」が同 3.7 ポイント減の 35.4%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は同 2.2 ポイント増の 52.1%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は同 1.6 ポイント増の 12.5%という結果となった。

良い評価をした理由としては、“交通量や渋滞が少なく走りやすい”、“信号が少なくスムーズに走れる”、“安全運転の車が多く安心して運転できる”などの回答があった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“1 車線しかない道路では、遅い車を先頭に混み合う”、“国道に歩道を付けて欲しい”、“路面電車の通行する道路では、右折の際に怖さを感じる”、“路面の状態が悪い”などが多くあった。

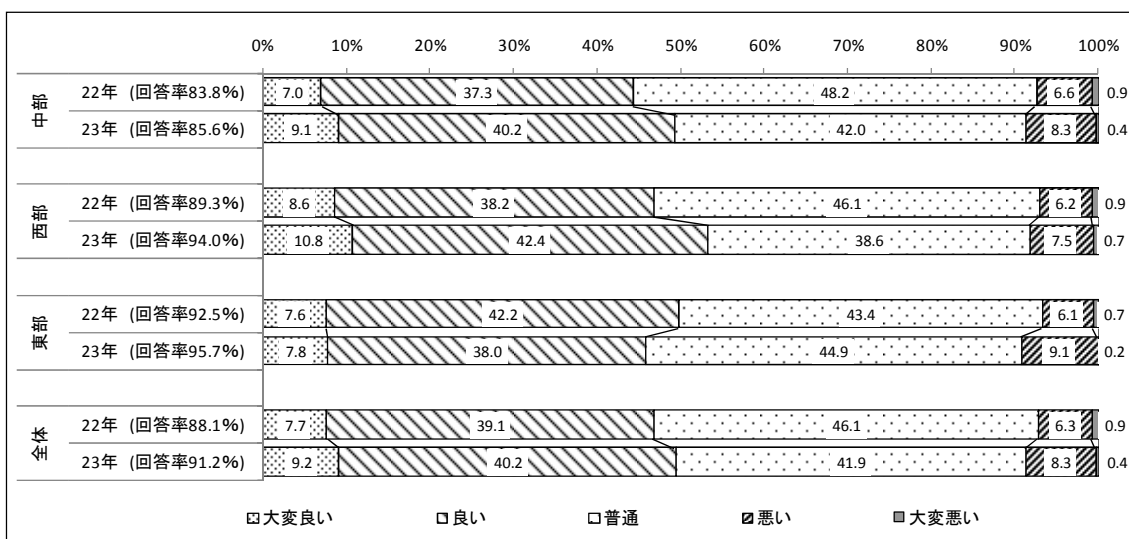
3-8 交通マナー

(表 4-9-1) 地域別交通マナー満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率83.8%)	7.0	37.3	48.2	6.6	0.9
	23年 (回答率85.6%)	9.1	40.2	42.0	8.3	0.4
西部	22年 (回答率89.3%)	8.6	38.2	46.1	6.2	0.9
	23年 (回答率94.0%)	10.8	42.4	38.6	7.5	0.7
東部	22年 (回答率92.5%)	7.6	42.2	43.4	6.1	0.7
	23年 (回答率95.7%)	7.8	38.0	44.9	9.1	0.2
全体	22年 (回答率88.1%)	7.7	39.1	46.1	6.3	0.9
	23年 (回答率91.2%)	9.2	40.2	41.9	8.3	0.4

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-9-2) 地域別交通マナー満足割合 (%) [23 年、22 年]



交通マナーの満足度への回答率は、高知県全体で 91.2% (前年 88.1%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 1.5 ポイント増で 9.2%、「良い」が同 1.1 ポイント増の 40.2%、「普通」が同 4.2 ポイント減の 41.9%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は同 2.6 ポイント増の 49.4%、「大変悪い」と「悪い」をあわせた割合は同 1.5 ポイント増の 8.7%という結果となった。

良い評価をした理由としては、“安全運転、のんびりしている”、“譲り合いがあって良いと思う”などの回答があった。

悪い評価をした理由や指摘としては、“方向指示器を出さない”、“急な車線変更や無理な割り込みが多い”、“一時停止無視や信号無視が多い”、“速度を出し過ぎている”、“車間距離が短い”、“携帯電話を使用しながら運転をしている”、“お年寄りの不注意”、“自転車の飛び出しが怖かった”などが多くあった。

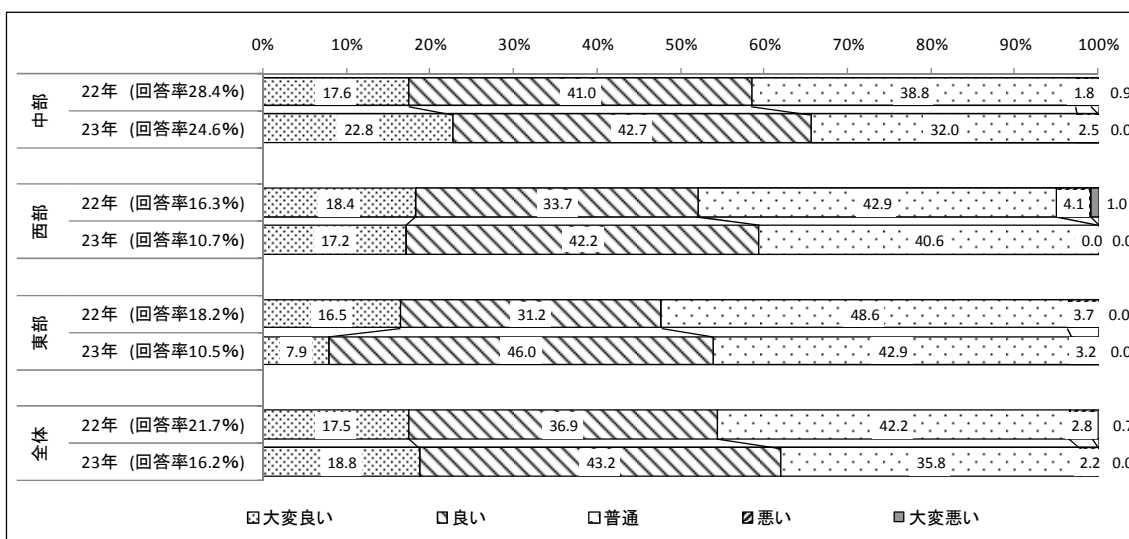
3-9 タクシーの接客マナー

(表 4-10-1) 地域別タクシーの接客マナー満足割合 (%) [23 年、22 年]

		大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い
中部	22年 (回答率28.4%)	17.6	41.0	38.8	1.8	0.9
	23年 (回答率24.6%)	22.8	42.7	32.0	2.5	0.0
西部	22年 (回答率16.3%)	18.4	33.7	42.9	4.1	1.0
	23年 (回答率10.7%)	17.2	42.2	40.6	0.0	0.0
東部	22年 (回答率18.2%)	16.5	31.2	48.6	3.7	0.0
	23年 (回答率10.5%)	7.9	46.0	42.9	3.2	0.0
全体	22年 (回答率21.7%)	17.5	36.9	42.2	2.8	0.7
	23年 (回答率16.2%)	18.8	43.2	35.8	2.2	0.0

(注) 調査地域と評価対象の地域が一致しない場合がある。

(図 4-10-2) 地域別タクシーの接客マナー満足割合 (%) [23 年、22 年]



タクシーの接客マナーの満足度への回答率は、高知県全体で 16.2% (前年 21.7%) となった。

全体の結果を前年と比べると、「大変良い」が前年比 1.3 ポイント増で 18.8%、「良い」が同 6.3 ポイント増の 43.2%、「普通」が同 6.4 ポイント減の 35.8%となっている。「大変良い」と「良い」をあわせた割合は 62.0%と、前年の 54.4%から 7.6 ポイント増加している。

良い評価をした理由としては、“気さくで親切な人柄”、“飲食店や観光に関する情報を提供してくれる”、“土佐弁で話してくれる”などの回答があった。

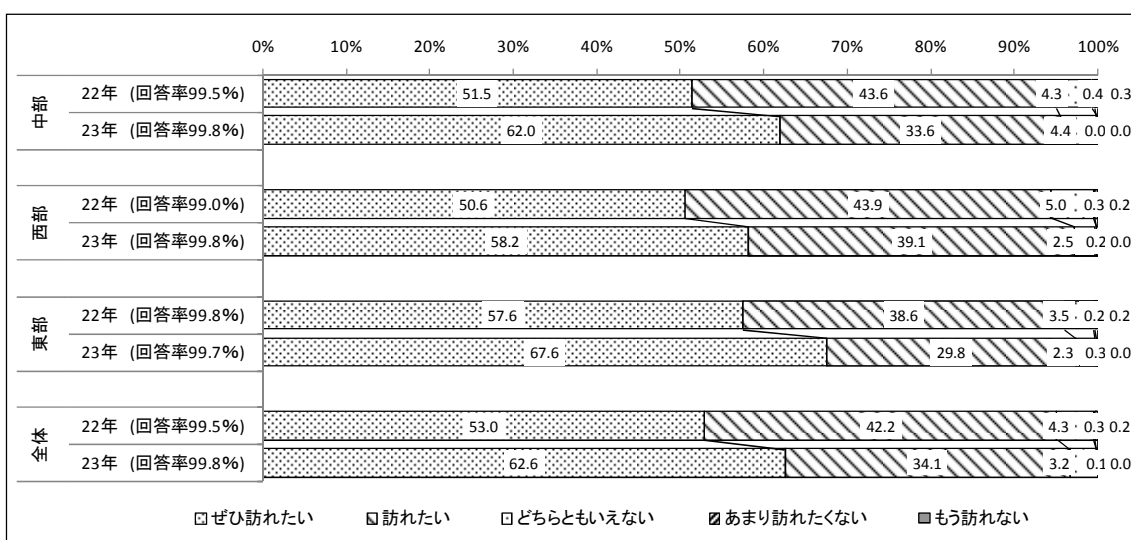
悪い評価をした理由や指摘としては、“運転や言葉遣いが荒い”、“料金が高い”、“機械的な対応で残念だった”、“もっと土佐弁で話して欲しかった”などの記載があった。

3-10 高知県にもう一度来たいですか

(表 4-11-1) 地域別高知県再訪希望割合 (%) [23 年、22 年]

		ぜひ訪れたい	訪れたい	どちらともいえない	あまり訪れたくない	もう訪れない
中部	22年 (回答率99.5%)	51.5	43.6	4.3	0.4	0.3
	23年 (回答率99.8%)	62.0	33.6	4.4	0.0	0.0
西部	22年 (回答率99.0%)	50.6	43.9	5.0	0.3	0.2
	23年 (回答率99.8%)	58.2	39.1	2.5	0.2	0.0
東部	22年 (回答率99.8%)	57.6	38.6	3.5	0.2	0.2
	23年 (回答率99.7%)	67.6	29.8	2.3	0.3	0.0
全体	22年 (回答率99.5%)	53.0	42.2	4.3	0.3	0.2
	23年 (回答率99.8%)	62.6	34.1	3.2	0.1	0.0

(図 4-11-2) 地域別高知県再訪希望割合 (%) [23 年、22 年]



高知にもう一度来たいですかという質問への回答率は、全体で 99.8% (前年 99.5%) であった。

全体で「ぜひ訪れたい」は前年比 9.6 ポイント増の 62.6% となった。「ぜひ訪れたい」に「訪れたい」をあわせた割合は 96.7% と、前年の 95.2% から 1.5 ポイント増加という結果となった。

(参 考) 今回調査で得られた結果と観光客からの意見

1. 多様な観光ポイントの創出

県外旅行者が本県に対して持っているイメージの大半が「坂本龍馬」である（図 4-1-2）ように、現状は龍馬が県観光の核になっている。しかしながら、“龍馬に頼りすぎ”や“龍馬以外の良い物をアピールしてください”という旅行者からの意見もあり、龍馬以外の観光も望まれている。

本県観光客の多くを占めるリピーターに旅行を楽しんでもらう、満足してもらうためには、龍馬以外の目新しい観光PRポイントを創出、育成することも必要と考えられる。

2. 地域ごとのエントランス

旅行者からの声で、“高知だけの市販ガイドブックがあれば良い”、“食事処のマップを充実させてほしい”、“案内板を増やしてほしい”など観光情報の発信力強化に関する要望があり、アンケートを実施する中でも、近くで面白いところがあるかと調査員が尋ねられることが少なからずあった。

このような、“何がどこにあるのか分からない”といった旅行者の不便を解消するためには、地域の情報が集まった地域ごとのエントランス施設の整備により広域・地域内での周遊を促すことなどが必要と考えられる。

高知県観光客満足度調査票

Q1. 今回の高知県内のご旅行は何日間のご予定ですか。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 日帰り | 2. 1泊2日 | 3. 2泊3日 | 4. 3泊4日 |
| 5. 4泊5日 | 6. 5泊以上 | | |

Q2. 今回の高知県を訪れるのは何回目ですか。

1. はじめて 2. 2回目 3. 3回以上の場合回数を記載してください→【 】回

Q3. あなたも含めて、何人での、どなたと一緒にの旅行ですか。※子供や乳幼児も含む

- ()人 うち子供()人
- ↳ 2人以上の場合
→ 1. 家族 2. 友人 3. 職場・学校等の団体旅行 4. その他

Q4. あなたは、高知県にどのようなイメージをもっていますか。※2つまで選択

- | | | | | |
|---------------|-------------|-------------|------------|----------|
| 1. 自然 | 2. 太平洋 | 3. 四万十川 | 4. 四国カルスト | 5. 台風 |
| 6. 歴史 | 7. 坂本龍馬 | 8. 長宗我部元親 | 9. 山内一豊 | 10. 板垣退助 |
| 11. 食 | 12. かつおのタタキ | 13. フルーツトマト | 14. 酒 | 15. 文旦 |
| 16. 明るい | 17. 南国・暖かい | 18. よさこい祭り | 19. 人情・温かさ | 20. 路面電車 |
| 21. その他() | | | | |

Q5. 他の都道府県と比較した結果、高知県を訪れようと思った理由は何ですか。※2つまで選択

- | | |
|--------------------------------|-----------------------|
| 1. 自然や風景に惹かれたから | 2. 食べたい(買いたい)ものがあるから |
| 3. 名所・旧跡(博物館・資料館などを含む)を訪問したいから | |
| 4. アウトドア・キャンプなどの自然体験をしたいから | |
| 5. 高知の歴史や文化を肌で感じたいから | 6. 以前来たときの印象がよかったから |
| 7. 移動距離も短く気軽に来られるから | 8. 買い物 |
| 9. 旅費が手頃だったから | 10. 何となく面白そうだから(イメージ) |
| 11. その他() | |

Q6. 具体的に訪問した(する予定)の観光地を教えてください。

Q7. 今回のご旅行の情報源を教えてください。※2つまで選択

- | | | |
|-----------------------|--------------------|-------------------|
| 1. 知人・友人の話・紹介 | 2. 前回のイメージ | 3. 宣伝(TV・ラジオ・雑誌等) |
| 4. PR(パンフレット・キャンペーン等) | 5. インターネット(携帯電話含む) | |
| 6. 旅行業者の紹介・ツアー参加 | 7. ブログコンクール | |
| 8. その他() | | |

Q8. ご旅行中の満足度についてお聞きします。

○宿泊先について

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

施設名等 [] 理由 []

○食事・料理店について

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

施設名等 [] 理由 []

○観光施設について

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

施設名等

〔

〕

理由〔

〕

○観光地の美化について

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

施設名等

〔

〕

理由〔

〕

○公共トイレの快適性について

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

施設名等

〔

〕

理由〔

〕

○案内標識について

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

施設名等

〔

〕

理由〔

〕

○高知の道は走行しやすいですか？

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

理由

〔

〕

○交通マナーについて

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

理由

〔

〕

○タクシーの接客マナーについて

1. 大変良い 2. 良い 3. 普通 4. 悪い 5. 大変悪い

理由

〔

〕

Q9. 高知県にもう一度来たいですか

1. ぜひ訪れたい 2. 訪れたい 3. どちらともいえない
4. あまり訪れたくない 5. もう訪れない

Q10. その他お気づきのこと、ご意見などがありましたらお書きください。

--

Q11. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、この調査実施県にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名： _____) 海外の場合 (国名： _____)

Q12. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

- 性別 : 1. 男性 2. 女性
年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代
 6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

V お客様の声アンケート

● 概 要

2名のスタッフが「お客様の声アンケートはがき」を138の観光施設等を訪問し配布した。以後、定期的に配布・設置のお願いに伺った。

この報告書は平成23年2月から平成24年2月の間に返信された観光客からの声を集計したものである。

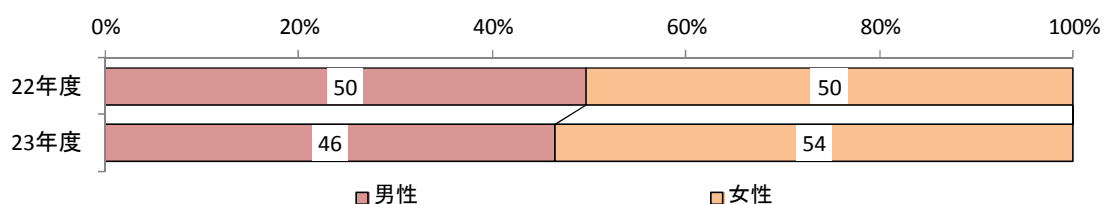
返信総数 939通 (内訳：春203件、夏325件、秋267件、冬144件)

1. 「お客様の声」 回答者基礎データ

1-1. 男女別割合

回答者男女別割合

	男性	女性	未回答	合計
22年度	360	365	28	753
23年度	427	492	20	939



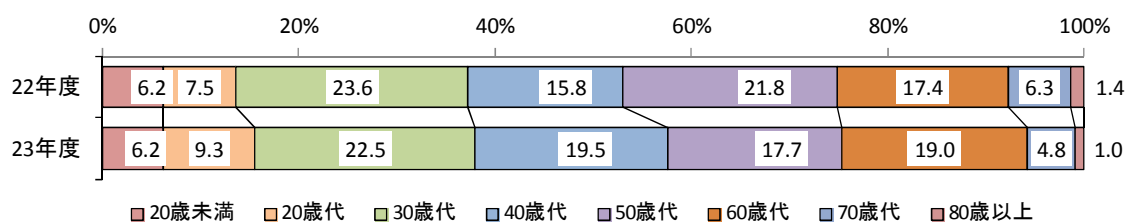
(注：以下・未回答の数は全てのグラフに含んでいません)

アンケートハガキの投函は、男女別では男性 46%（前年度 49%）、女性 53%（前年度 51%）と、若干女性の割合が多くなっている。

1-2. 年代別割合

回答者年代別割合

年代	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答	合計
22年度	44	53	168	112	155	124	45	10	42	753
23年度	56	84	203	176	160	171	43	9	37	939



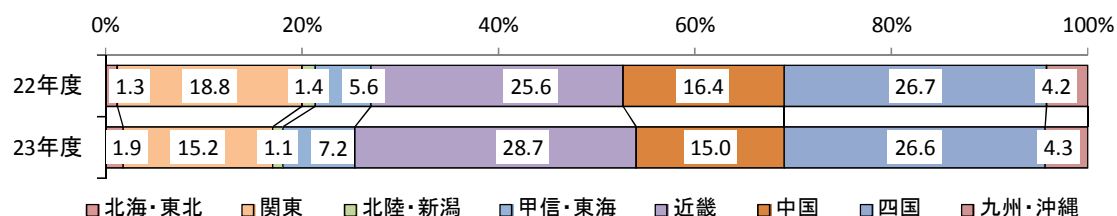
本年度の年代別割合では 30 代が最も多く 22.5%、次いで 40 代が 19.5%、60 代が 19.0%、50 代が 17.7%という結果だった。

前年度と比べると、40 代と 60 代の割合が増加し、30 代がマイナス 1.1 ポイント、50 代がマイナス 4.1 ポイントと減少が目立った。又、返信数増加の為に、施設でのハガキの置き場所、施設員への奨励、動向調査員による配布などの工夫も必要と考えられる。

1-3 出発地

出発地ブロック別割合

出発地	北海道・東北	関東	北陸・新潟	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	未回答	合計
22年度	9	134	10	40	183	117	191	30	39	753
23年度	17	139	10	66	262	137	243	39	26	939

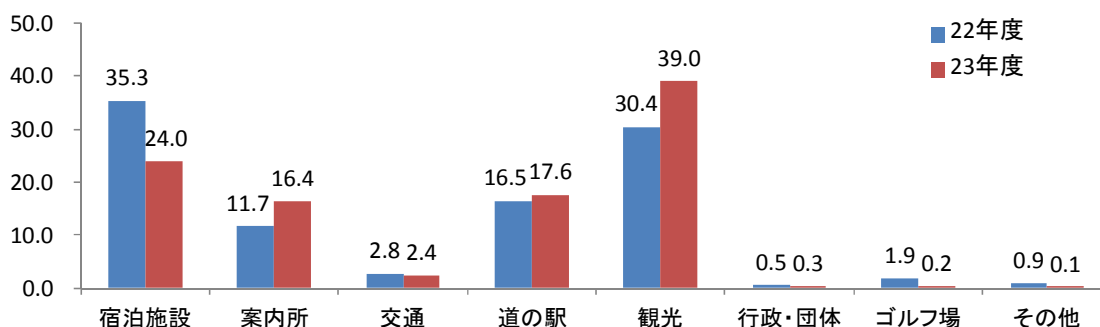


出発地ブロック割合は、近畿が262件で28.7%と1番多く、2番目に多かったのは四国で243件の26.6%だった。次いで関東が139件、中国が137件、甲信・東海が66件、九州・沖縄が39件となっている。北海道・東北、北陸・新潟の観光客からの返信は少数であった。

1-4. 返信されたハガキの設置箇所

ハガキ設置箇所別返信割合

分類	宿泊施設	案内所	交通	道の駅	観光	行政・団体	ゴルフ場	その他	合計
22年度	266	88	21	124	229	4	14	7	753
23年度	225	154	23	165	366	3	2	1	939



返信されたハガキは、観光が366件、次いで宿泊施設が225件、道の駅が165件、案内所が154件、交通が23件と続く形となっている。

前年と比べ、観光や案内所からの返信数が増加した理由として、委託先アンケート調査（観光統計調査・満足度調査）の際、調査員が粗品と共に調査ハガキ「お客様の声」の配布を行った効果が出たためと思われる。

2. 「お客様の声」 満足度について

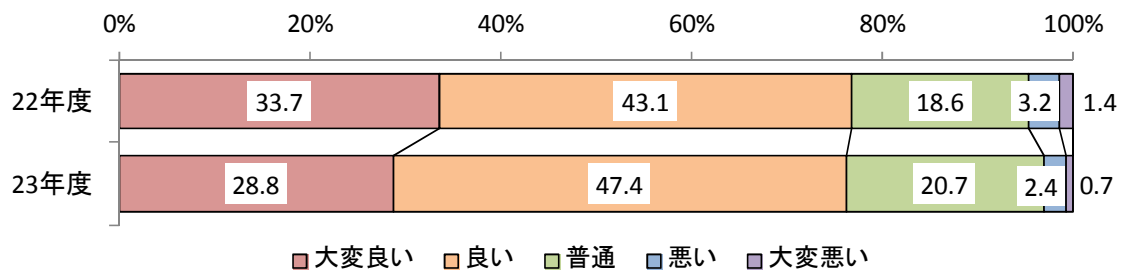
* 平均点数について

5=大変満足、4=満足、3=やや満足、2=やや不満、1=不満 として算出している。

5点満点で点数が高いほど、満足度が高くなっている。なお、未回答はグラフには含んでいない。

2-1. 宿泊先の満足度

評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	214	273	118	20	9	119	753	4.05
23年度	230	379	165	19	6	140	939	4.01



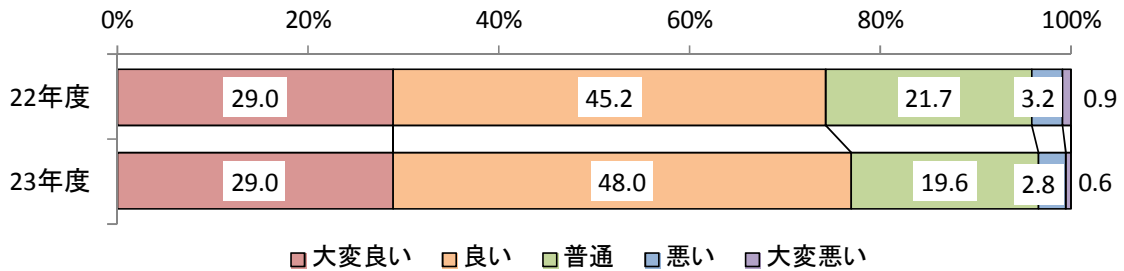
宿泊先の満足度は件数の多い順に“良い”が379件、約47%、“大変良い”が230件、約29%で、“普通”が165件、約20%となっている。“大変良い”と“良い”のお客様は合計609件、76.2%を占め一定の評価を得ている。好意的な声として「県産品のバイキングが良かった」「親切、丁寧、気さく、食事が美味しい」「施設が清潔。サービスもいい。何より親切」などがあつた。

“普通”のお客様は165件、20.7%となっており、“普通”や“悪い”を選んだお客様の中には「設備が古く時代おくれで、布団はひどくせんべい布団で痛かった」「料理の味、魚の鮮度が悪い」「古いし、清潔感なし」などのご意見があつた。また、前年と比べ未回答の件数が多いのは、日帰りや帰省のお客様からの回答が多かったためと考えられる。

前年と比べ“悪い”“大変悪い”の割合が減少しているが、“大変良い”の割合が約5ポイント減少しており、平均点では、若干の減少となっている。

2-2. 食事処・料理店の満足度

評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	201	314	150	22	6	60	753	3.98
23年度	257	425	174	25	5	53	939	4.02



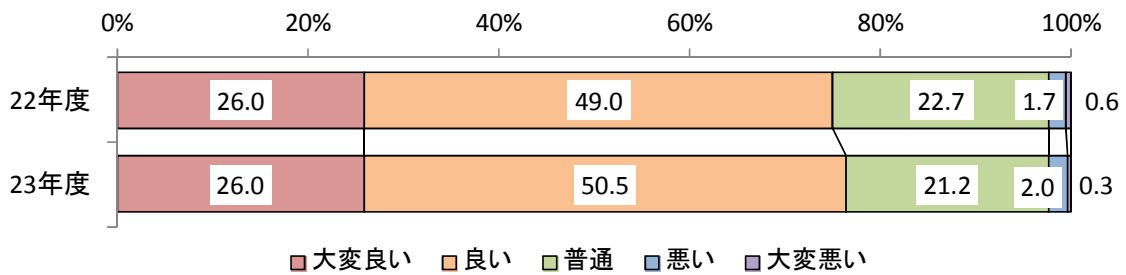
食事処・料理店の満足度は件数の多い順に“良い”が425件、約48%、“大変良い”が257件、約29%で、“普通”が174件、約20%となっている。“大変良い”と“良い”を選んだお客様は合計で682件、77.0%を占め一定の評価を得ている。好意的な声として「カウンターでの地元の人とのふれあい」「かつお、果物、芋けんぴのファンです」「種類が多く、土地ならではの料理が楽しめました」「ネタが新鮮で、リーズナブルに頂ける」「季節感があり、料理が美味しかった」などがあつた。

“悪い”と“大変悪い”を選んだお客様は合計30件で3.4%だった。理由としては「味はそこそこだが、接客マナーは最悪」「タバコの煙」「名物を食べられる所が少ない」といったご意見があつた。

前年比では“悪い”と“大変悪い”が減少し、“良い”が約2.8ポイント増加したため、全体の平均点では若干の増加となっている。

2-3. 観光施設の満足度

評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	187	352	163	12	4	35	753	3.98
23年度	234	455	191	18	3	38	939	4.00



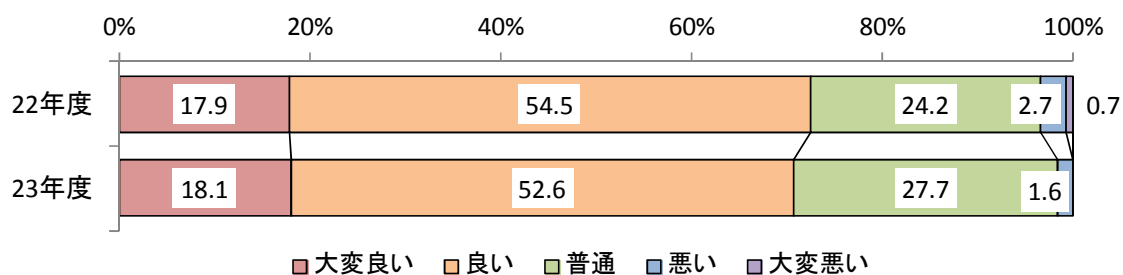
観光施設の満足度は件数の多い順に“良い”が455件、約51%、“大変良い”が234件、約26%で、“普通”が191件、約21%となっている。“大変良い”と“良い”を選んだお客様は合計で689件、76.5%を占め一定の評価を得ている。好意的な声として「高知弁がたのしかった」「ボランティアガイドの方の説明が良い」「資料が豊富で、展示の仕方も良い」「雄大で、穏やかな気持ちになれる。家族向けで良い」などがあつた。

一方で“悪い”を選んだお客様は約2%で「交通の便が悪過ぎて大変」「思った所とのイメージの差が大きい」などのご意見があつた。

前年と比べ、全体平均では、ほぼ横ばいとなっている。

2-4. 観光施設の美化の満足度

評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	128	391	173	19	5	37	753	3.86
23年度	161	469	247	14	0	48	939	3.87



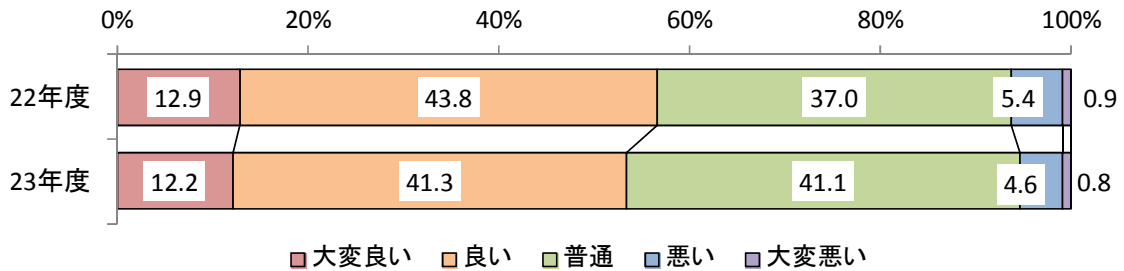
観光施設の美化の満足度は件数の多い順に“良い”が469件、約53%、“大変良い”が161件、約18%で、“普通”が247件、約28%となっている。「掃除、手入れが行き届いている」や「ゴミを見かけなかった」などの好意的な声が多く、“大変悪い”の評価はなかった。

“悪い”を選んだお客様は14件、約1.6%で、ご意見としては「さびれている。もったいない」「以前より、ゴミの量が増えた」などがあつた。

前年と比べ、全体の平均としては、ほぼ横ばいの評価となっている。

2-5. 公共トイレの快適性についての満足度

評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	90	306	258	38	6	55	753	3.62
23年度	106	361	358	40	7	67	939	3.60



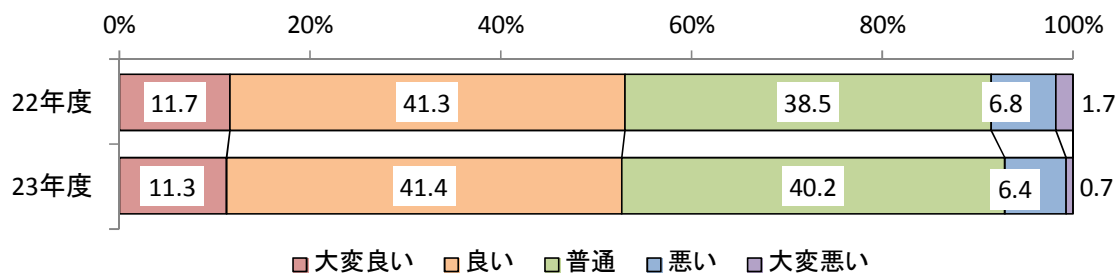
公共トイレの快適性についての満足度は件数の多い順に“良い”が361件、約41%、“普通”が358件、約41%、“大変良い”が106件、約12%でとなっている。「各所に車いす用トイレがあった」「トイレの数が多くキレイでした」という好意的な声がある反面「とても狭く、小さな子供を連れて入ると動けない」「虫がたくさんいて暗かった」等の否定的なご意見もあった。

前年比で見ると“大変良い”と“良い”が合計71件、3.2ポイント減少し、“普通”が100件、4.1ポイント増加する結果となったが、全体の平均点では、ほぼ横ばいとなっている。

観光客が厳しい目で評価する場所だけに、清掃・照明・臭い等に関するご意見、ご要望が多く、施設管理維持の向上が求められていると考えられる。

2-6. 案内標識の満足度

評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	84	296	276	49	12	36	753	3.55
23年度	102	373	363	58	6	37	939	3.56

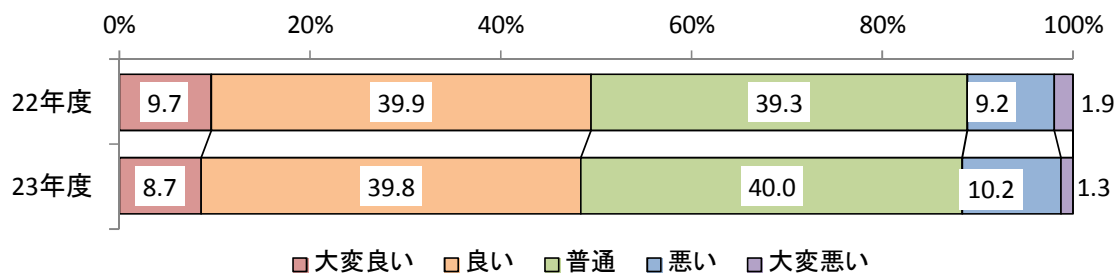


案内標識の満足度は件数の多い順に“良い”が373件、約41%、“普通”が363件、約40%で、“悪い”が58件、約6%となっている。「ブルーが基調の案内看板は、見た目以上に分かりやすい」「交差点表示のABC、地図との対比が分かりやすいので、場所がすぐ分かる」「高速道路からの案内が分かりやすかった」といった好意的なご意見が多くみられる一方、「看板を増やして欲しい」「分かりやすくして欲しい」などのご意見もあった。

前年比では、平均はほぼ横ばいで観光客にとって目に見える改善がなされているという状態ではないといえる。

2-7. 高知の道の満足度

評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	70	288	283	66	14	32	753	3.46
23年度	79	361	363	93	12	31	939	3.44

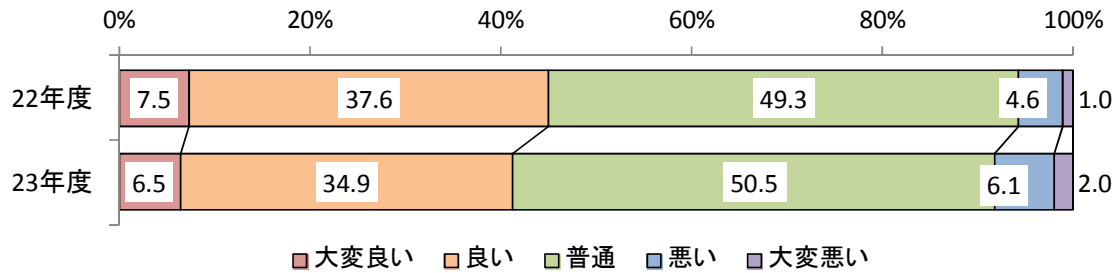


高知の道の満足度は件数の多い順に“普通”が363件、約40%、“良い”が361件、約40%で、“悪い”が93件、約10%となっている。「街灯がなく、道が細い」「狭い、すれ違いが怖い」「車線が少ない。制限速度がわかりにくい」などといったご意見があり、必ずしも観光客の方に満足していただけている状態にはない。

前年と比べ、全体の平均点では極端な変化はないが、「東西に広く観光地が離れている」「山道が多い」といった問題もあり、「高知自動車道の早期延長」「県道の整備」等、なお一層の道路整備が観光振興においても重要と考えられる。

2-8. 交通マナーの満足度

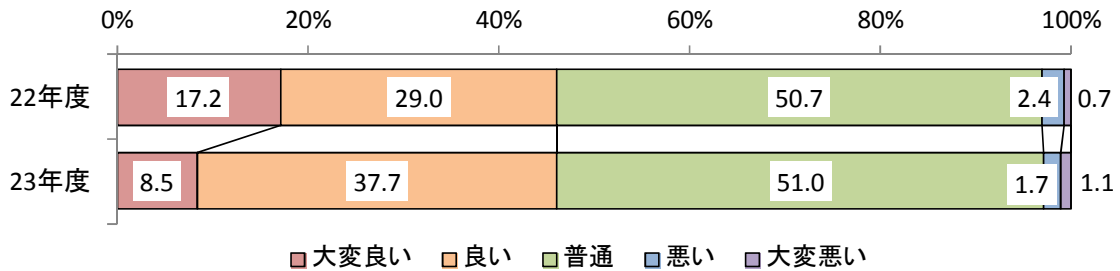
評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	52	261	343	32	7	58	753	3.46
23年度	58	314	454	55	18	40	939	3.38



交通マナーの満足度は、件数の多い順に“普通”が454件、約51%、“良い”が314件、約35%で、“大変良い”が58件、約7%となっている。「大型トラックがよけて走ってくれたり、減速して走ってくれたり、特にマナーが良い」「穏やかな運転ですね」「何処を走っても速度を守り、譲り合いがあり、とても良かったです」といった好意的な声もあるが、「運転中の携帯電話通話」「無理な追い越し」「スピードの出し過ぎ」等、交通違反への不満の声が多くあった。“悪い”と“大変悪い”の合計は58件、約8%となり、交通マナーの満足度は前年に比べ低下しており、県内ドライバーの交通マナーの向上のための啓蒙が必要と考えられる。

2-9. タクシーの接客マナーの満足度

評価	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
22年度	51	86	151	7	2	456	753	3.60
23年度	30	134	181	6	4	584	939	3.51

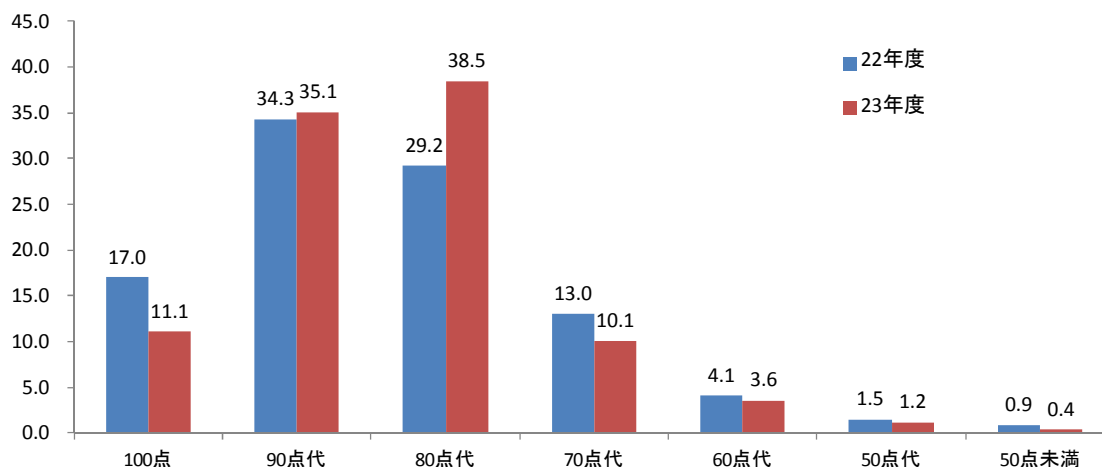


タクシーの接客マナーでは、本年度も未回答が 584 件と他の設問と比べて多くなっている。観光客の県内移動手段として自家用車が多く、タクシー利用者が限られているためと考えられる。タクシーの接客マナーの満足度は、件数の多い順に“普通”が 181 件、約 51%、“良い”が 134 件、約 38%で、“大変良い”が 30 件、約 9%となっている。“大変良い”や“良い”の理由としては「近くでも、どこでも気持ちよく接してくれました」「ドライバーさんが写真を撮ってくれたり、とても親切だった」「歴史説明が詳しい」などのご意見が挙げられている。

前年比では“大変良い”が約 8.7 ポイント減少し、その反面で“良い”が約 8.7 ポイント増加している。“悪い”“大変悪い”は前年から合計約 0.3 ポイントの減少が見られ、“普通”での評価が約 0.3 ポイント増加している。

2-10. 旅行の満足度点数

点数	100点	90点代	80点代	70点代	60点代	50点代	50点未満	未回答	合計	平均点数
22年度	116	234	199	89	28	10	6	71	753	84.6
23年度	100	315	344	91	32	11	4	42	939	84.5



本年度の旅行の満足度の平均点数は 84.5 点で、80 点代が 38.5%と最も多く、次いで 90 点代が 35.1%、100 点代が 11.1%、70 点代が 10.1%となっている。

本年度の旅行の満足度の平均点数は前年度とほとんど変化が無いという結果になっている。

各項目毎の満足度は、平均点で見ると前年から横ばい傾向のものが多いが、満足度の内訳としては“大変良い”が減少し“良い”“普通”等が増加しており、「まあまあだった」「悪くは無かった」等、可もなく不可もなくという評価がされていると思われ、再訪を期待できる結果ではない。

“大変満足した”“大変良かった”の評価を如何にして頂くかが今後の課題であり、おもてなしの心、観光地やトイレの美化、各施設の見直し、交通面での整備など、1つ1つの向上がより一層求められている。

＜観光施設＞

- 歴史あり、自然あり、高知の魅力にたくさん触れることができました。また、是非来たいと思います。
- フランスのモネの庭を再現したモネの庭、とても素晴らしかった。最高の旅行でした。
- 四万十川の沈下橋がとてもいい。大切にしてほしい。
- 桂浜は、あまり観光地化されず、自然がそのままの状態が残っているので良いと思います。また来たいです。
- 何処に行くにも、しっかりと案内板があり助かります。どなたも温かく、親切な方々ばかりで気に入りました。四国はマラソンばかりですが、それ以外でまた来たいと思います。
- 寒風山を越えて、木の香温泉へ行ってきました。紅葉は今一つでしたが、美味しい空気を吸って気分転換になりました。
- ツアーでモネの庭散策とガーデニング教室に参加したのですが、すごく良かったので、またモネの庭へ行きたいと思っています。ただ雨の日だったので、ほぼ外の散策なので残念でした。雨の日でも十分満足できるよう何かしてくれるとうれしいです。
- 昨年初めて桂浜へ行き、すっかりその壮大さ優しさ美しさの虜になり、今年、会社の人とバス1台をチャーターして再び桂浜荘に連泊して参りました。敬愛する龍馬さんを育まれた土佐・高知が日本で1番好きな土地となりました。感謝します。ありがとう。
- 10年くらい前は、よく高知県に遊びに行っていました。(日帰り、宿泊共に)今回久しぶりに2日過ごし、以前より車で移動しやすく、県全体がきれいでびっくりしました。また遊びに行きたいです。
- 子供(7歳・5歳)は初めての洞窟で、とても喜んでいました。私は20年近く前に来ていたが、資料館などは、年をとり新たな発見があり面白かった。
- 各お寺とも何処も大変きれいに掃除等をされていて、気持ち良く参拝させて頂きました。
- レンタカーでの移動でしたが、道の駅に数か所寄りました。地元の特徴が出ていて大変良かったし、トイレもきれいで良かった。
- どうしても土佐犬が見たくて、土佐犬センターに行きました。初めて闘犬を見たのですが、少しかわいそうになってしまいました。子犬はかわいかったです。抱っこしたかったです。高知県、一回で好きになりました。9月の休みに、また行きたいです。
- のいち動物園に初めて行きましたが充実度に驚きました。スコールの演出などとても良かったです。
- 四国カルストは初めてです。高知にこんな澄みきった場所があるなんて…。ミストがかかったカルストも最高でした。のんびり牛さんが可愛かったです。また来ます！
- △ 他県と比べ「道の駅」の中身・種類・量など、規模が小さいように思われる。
- △ 龍河洞は、とても良かったのですが、少しさびれてる印象でした。もっとアピールしても良いと思いました。
- △ 高知県は、夏に行く所は多いですが、冬にはあまり・・・高知城も行きましたが、ベビーカーでは登れず担いで登りました。

- △ 憧れのはりまや橋、行かない方がよかったかも。3日間の高知滞在で1番がっかりした。
- △ 小説を観光化するには疑問が。歴史上の事実を観光化すべきではないでしょうか。幕末志士社中は最悪、入館料が高い。それ以外は、一生懸命観光に力を入れているのを感じられる。
- △ 坂本龍馬を訪ねての旅行でした。高知の方々は、「龍馬さん」と呼ばれることに感動しました。坂本家の墓所のお参りした際、白い花が咲いていてきれいでした。何の花か知りたくて高知市観光課に問い合わせたところ「わからない」と言う返事にガッカリ。今回の旅行の唯一残念な所です。
- △ 白山洞門は素晴らしい所でしたが、台風後に行ったので海辺に沢山のゴミがあったので片付けられたらもっとステキだと思いました。
- △ 四万十川の沈下橋の辺りは観光スポットや店が少なかった。
- △ 真夏でとても暑かった。もう少し木陰やベンチがあり、休める場所がほしかった。高知の人は大好きです。がんばってください。
- △ 日曜市でもう少し試食があれば良かった。味が分かれば買う気になる。
- △ 橋原の町中をもっとゆっくり散策したいと思いました。高知駅の像はいまいち感心しない。
- △ 室戸岬はもっと活気があると思って来たのですが、案外静かで、海岸の遊歩道は大岩石に比べ低く、展望がきかない。もっと太平洋の大きなうねりを見ることができるといいのでは。
- △ ずっと以前、竜串海岸に行って大変良かったので再度行きたいと長年思っていて、行ってみたが、整備されすぎていてがっかりして帰った。
- △ 室戸市観光協会にある展望台は時間外に利用できません。常時利用できるようにしてください。
- △ 足摺、四万十は雨で、天候が悪いと素晴らしさが半減してしまい、室内で楽しめる所が少なく残念でした。天気の良い悪しで満足度の差が大きい。
- △ 竜串海岸は車いすがまったく入れませんでした。案内もなく、大変がっかりしました。
- △ ひろめ市場、楽しかったのですが、なんとかもう少し座席数を増やせませんか？探すのが大変です。
- △ 観光施設が少し少ない。高知駅周辺にだけでも施設を増やしてほしい。

<交通>

- 台風で南風22号が遅れた時、南風22号の車掌さんが乗り換え駅で走り回って、一生懸命に対応して下さいました。お陰様で気持ちよく帰る事が出来ました。車掌さんに感謝!!名古屋栄中日ビルの高知県案内の方も親切で、感じが良かったです。次回は、仁淀川流域に行きたい。
- 路面電車が大変便利でした。
- 昔、高知県は悪路で有名だったが、今回バスで走ってみて、道路が良くなっているのが分かった。
- アンパンマンミュージアムとバス、電車の交通の便が良くて、スムーズに乗り換えることができました。暑かったのもう少し涼しくなったらまた行きたい。
- 高知駅が以前より大変きれいになっていて驚きました。これからも、高知の玄関として整備してほしいです。

- △ 天狗高原は、せっかく素晴らしい山々が見えるのに、その名称や標識がない。色々な道で高原へは行けるが、安全な幹線道路が分からない。
- △ 四万十川沿いの公共交通が不十分で、車を運転しない私には不便であった。
- △ 歴史スポットへの案内図、看板がいま一つわかりにくいです。和霊神社になかなかたどりつけなかった。
- △ お遍路で行った時、標識に気づかず迷ってしまった事がありました。
- △ 日曜市に無料駐車場がない！（徳島日曜市にはあるのに）
- △ 路面電車は、本数も多く便利。バスの本数が少ないのが少し不便。以前は車での来高が多かったのですが、今回はJRで訪れ、桂浜への往復が少し不便な気がしました。
- △ 高知は、グルメ・観光ともに満足ですが、歩いて観光している時、道の車が怖かった。
- △ 名所までの距離や駐車場の場所の有無等を、ホテルの目立つ所に記載してほしい。
- △ 公共交通を利用して東部に行ったのですが、中央エリアからの乗り継ぎが悪かった。
- △ 駐車料金は、サービスしてほしい。料金が安い。
- △ 村営バスの本数が少なすぎます。東部エリアの海岸線、岸辺にゴミが所々あってガッカリ。ハトのフンが所々にあった。
- △ 高知県は、東部から西部までの長い土地になっていますので、車での移動が条件的な事を考えると、道路開発の推進を希望致します。
- △ 交通手段がバスと電車だけなので、もっと頻繁に運行してほしいです。
- △ 高速道路を全線開通してもらいたい。
- △ 景観のいい観光地がたくさんあるのに、公共の乗り物の便数が少ない。料金が安いので考えて欲しいです。路面電車は便利でした。
- △ 高知の方々は、大変気さくで親切な方が多い。残された自然が楽しめるよう、四国一周出来る遊歩道・自転車専用道等が出来れば、四国は自然を満喫できる良い観光地になる。
- △ 一人旅なので東京の電車感覚とのずれを感じた。
- △ 一部のJRの駅員と路面電車・MY遊バスの運転手の対応があまり良くなかったのがとても残念です。
- △ 観光地全体がわかる案内板が随所に欲しい。また、案内は多くして欲しい。自転車は、どこを歩いても危険を感じる。
- △ 乗り換えても市内均一だったので、土佐電は便利でしたが、乗り方が分からなかったので案内板が電車にもあった方がいい。
- △ アルファベットの交差点がわかりづらかった。
- △ バイクでツーリングをしていたのですが、その中でこの夏の暑さでアスファルトが温かくなり過ぎてバイクスタンドがめり込み、倒れ、走行不能になるバイクを見ました。バイクの駐輪場の整備をもう少ししてほしいです。
- △ 高速道路料金が安く、景色が悪い。観光地の駐車料金が安い。運転マナーが悪い。接客は丁寧です。
- △ ホテルの方の対応は皆さん良かったです。足摺岬や黒潮町の遊歩道の整備が不十分で歩けなかった事がとても残念でした。
- △ 新しい道路の標識がわかりにくい。何処へ行く線か、もっと案内があってもいいのでは。
- △ 信号の交差点がローマ字で地名が入っていない箇所がある。

- △ 道の駅がたくさんあり、それぞれに魅力があって、楽しめるのでつい寄りたくなりました。また、道の駅に、赤ちゃん広場や、授乳室の完備を望みます。長距離ドライブなので休憩をよく取るのであると助かります。
- ◇ 人が道いっぱい広がっている中を、上手に運転するタクシーばかりに驚きました。また来たいです。

<食>

- ひろめ市場でかつおのタタキ定食を頂いたが、とても美味しく、やっぱりその土地で食べてこそと思いました。
- 料理に感動しました。うつぼ、カツオの塩たたきにハランボ、チチコ、酒盗。マンボウもありましたね。イヌゴロシも珍しかった。みな、とても美味しくて良い思い出になりました。また、近いうちに食べに行きたいです。
- 久礼のカツオのたたき、美味しかったです。
- 高知のリュウキュウ、チャーテなどの野菜は、とても美味しいです。
- イベントに参加しました。高知の食べ物はとても美味しく、高知県民の方は、皆親切な方が多かったです。
- サバが今年不漁との事で残念だった。お遍路もいつかやりたい。ひろめ市場が良い。ぼうしパン・芋けんぴ・かつお美味しい。
- 今回初めて高知を訪れました。思った以上に全てに満足しました。食べ物は驚くほど美味しく（カツオのたたき最高です。清水サバ美味しくって涙が出ます）景色はどこも美しく、人はどこまでも温かく、本当に大満足でした。ありがとう。高知の思い出いっぱいです。
- 鯨のお寿司がすごく美味しかった。日曜市は迫力があり、市場の食べ物が良かった。又来たいです。
- お土産でゆず茶やジュースがありますが、ボトルだとかさばり重いので、避けてしまいがちです。1袋ずつ小分けやポーションタイプにして、5ケ入り 300円くらいだと複数購入しようという気持ちになるので、実現化をお願いします。
- 生カツオのお刺身が初めて食べて美味しくてびっくりしました。タタキ以外で食べたのが新鮮。マグロみたいで二重丸でした。
- 大正市場の生のカツオがとても美味しかった。少し高いけれど添加物の入っていない文旦、小夏、などがとても美味しかったです。
- △ 足摺方面で夕方、夕食を食べようにも、閉店が多くて困った。
- △ 見慣れない地元食材(特に魚)の調理方法等のPRがあると良いと思いました。
- △ 須崎～足摺方面の公衆トイレの増設希望。食事処の多くが閉鎖されていて困った。
- △ お店がもう少し夜も営業していて欲しかった。
- △ 高知ならではの昔ながらの雰囲気や、手作り感をこれからも大切にしてほしい。
- △ 須崎名物の鍋焼きラーメンが好きなので、高速のSAで食べようと思ったら冬しか販売しておらず残念でした。夏も販売して欲しいと思います。
- △ 料理がどこへ行ってもカツオのたたきばかりで、初めは良かったが、少し飽きてしまった。他にはないのでしょうか。
- △ 三原村のどぶろく酒が西方面でも買える所ができれば良いなと思います。
- △ どうしても山道が多く、運転には疲れました。自然は最高ですが、食事処が少ないのでは？ファミレスなど見かけなかったような・・・。また来たいです。

<情報・PR>

- 観光パンフ、駐在スタッフと、大変行き届いているなと思いました。道路は、路面電車との兼ね合いで、狭く感じる所がありました。
- 日本各地を旅行する前には、各縣市町村にパンフレットを頂きます。その時の対応、説明等が貴県は大変良かった。県が「力」を入れている表れだと感じ、それが各観光地の方まで通じていると今回の旅で思いました。ガンバレ。
- とさてらずに置いてある観光案内チラシや、道の駅などに置いている冊子など、高知県は楽しい物を作成されていて参考になります。
- 自然、グルメ、施設、交通文句なし。芋ケンピをぜひ関西で、もっとアピールしてほしい。
- 駅などに置いてある無料のガイドブックが、とても良く作ってあると思いました。
- 高知県おもてなし課から、多数のパンフレットを送って頂き大変参考になった。高知市の夜景モニターツアーは良かった。高知市内の日曜日にも営業している、飲食店のリストとかがあれば良かったかも。
- △ 高知の温泉ガイドがあったらいいなと思います。北川村の途中の道路は、広くて整備されていると思いました。
- △ 四万十川は良かった。もう一度訪れたい。高知市内は、いつまでも龍馬ではリピート訪問が無い。女性の目で見て再検討されてはいかがでしょう。
- △ 中津渓谷の自然の良さをもっとアピールしてほしい。大自然のありがたさを感じ、癒される事ができるので産地直売所等を充実し、観光客を集めてほしい。
- △ 龍馬以外にも、見残し海岸という素晴らしい場をネットで見つけて行き、すごく良かったです。でも、今まで知らなかったの、宣伝が足りないと思います。今までたくさん旅行した中で一番良かった程です。皆に知ってほしいです。
- △ 公共交通（バス割引旧券等）のインターネット情報が分かりにくいです。市内観光の人向け公共交通ホームページがあれば分かりやすい。
- △ 交通機関に英語標識が少ない。外国の人は困るのではないのでしょうか。
- △ 竜串の遊歩道や白山洞門がすごく良かったです。もっと大々的に広報すれば良いのに、もったいないと思いました。竜串の売店が閉まっていて残念でした。
- △ 高知城への車いす用案内地図の案内板などが欲しい。正面から入り、とてもきつかった。帰りに道案内をして下さって、車いす障害者への配慮だけでなく、すべての方に快い対応のできる方だなと感心し、感謝しています。
- △ 景品付きのスタンプラリー等の企画をたくさんやってほしいです。
- △ フリーペーパーで、期限切れのクーポンの者をそのまま置いてあったりしたので、最新版の情報に変える心配りを。
- △ 高知ならではの物を食べたいと探しました。フリーペーパーで鍋焼きラーメンを見つけましたが、場所を探すのが苦労しました。道の駅等で宣伝したらと思います。
- △ 日本一の清流「仁淀川」を愛媛と協力して全国にPRしてほしい。道路沿いの空き家（かつてのレストラン等）対策も必要。道の駅の商品ももっと工夫を！どこも同じでは興ざめです。
- △ 龍馬の生まれたまち記念館から和霊神社へ行く案内地図を頼りに出かけたが、案内板がわからず20分位迷ってやっとたどり着いた。
- ◇ 自然、人を感じることができる高知、四万十、カルスト地域の大事な所をPRして、地域活性化につなげたらと思いました。

<おもてなし>

- 民宿で昼食をご用意して頂き、遍路にとっては、多大なる事です。感激しました。
- 分からない事などを聞くと親切に教えてくれ、これは、今回の旅行で何度も感じました。やっぱり“お接待”の風土があるからかなと思いました。
- 龍馬ふるさと博の皆様方（スタッフ）は、大変親切でした。気持ち良く見学させて頂きました。龍馬記念館では、ガイド案内があればいいと思います。
- 土佐の方言で歓迎している所は、大変面白く好感が持てる。
- 豊かな自然と、キレイな街並みが気に入りました。地産の野菜を使った食事を、もっと頂きたかったです。地元の方々の人柄に惹かれました。また来ます。
- みなさん、何を聞いてもとても親切に対応してくださり、さすが四国お遍路さんの県ですね。うれしかったです。
- ひろめ市場内にて土産を買った際に、買ったものとは関係ない「輪ゴム」をお願いしたが、快くくださり、高知県の人温かさに触れた気がしました。今回は、西部エリアへ行けませんでした。近いうちに絶対また来ようと思います。
- 宿泊した宿の皆さんや出会った方々、全てに共通して言えるのは、皆さん大変大らかで旅行者にとっても親切で、心温まる1泊2日の旅でした。高知の良さを実感、再認識しました。
- 旅の良さとして、人とのふれあいがあると思いますが、行く先々の街の人が、笑顔で対応して下さいました。
- フロントの男性の笑顔、そして言葉、丁寧で良かったです。家族でまた来たいと思います。
- 出張で初めて高知を訪れました。東京等に比べると、人情が厚いというか、皆さん親切で特に路面電車に乗車の際は色々お世話になりました。観光の際、1日乗車券は安くて便利でした。人情の厚さ、温かさをもっともっと他県にアピールして下さい。
- 優しい、丁寧、村人の気配り、最高でした。
- 道を尋ねた時の高知市民は大変感じが良く感動しました。
- 高知城での冷たいおしぼりサービスがとても良く、おもてなしの心が伝わった。路面電車が日常的に走っているのもいいし、ノスタルジックな気分にさせてくれました。
- 各観光施設のスタッフさんが他の県よりも非常に思いやり、気遣いがあり温かい気持ちになれました。
- 高知駅でボランティアの方に地図、その他の案内をして頂き、楽しく旅行をする事ができました。
- モネの庭は見応えがあり、大変良かったです。係りの方の感じが良かったです。
- 安芸の町ではボランティアの人に親切にしてもらって嬉しかった。古い街並みも良かった。室戸岬も雄大で素晴らしかったです。
- とっても良かったです。道を尋ねてもとても親切に教えてくれました。日曜市も活気が合って、良かったです。安いし、安心だし、またぜひ遊びに行きたいと思いました。
- どの施設へ行っても観光客をすごく歓迎していて、係りの人が親切でどの県よりも観光に力を入れているという感じがしてとても気持ちが良い旅ができました。
- タクシーの運転手さんがとても親切に食事処などを教えて下さった。とても助かりました。
- 立ち寄ったお店の店員の方が、親切だった。四国ではゆっくりと過ごすことができました。
- 道の駅の数やイベント等を見ても、観光地としての取り組み方を自治体がしっかり音頭を取って行われていると感じました。また来させていただきたいと思います。

- △ 温泉は暑くて入れない、電気は全部消されている。部屋には蚊が3匹。懐石料理の食事中、醤油を下げるのに食事中の皿の上を手でまたいで回収。席についても飲み物を聞いてこない。今までに経験したことのない最悪なホテルでした。もう2度と来ません。誰にも勧めません。
- △ 公衆トイレ内のゴミ、クモの巣をきれいにしてほしい。虫嫌いの人には使用できない。
- △ もっと田舎を感じたかった。ガイドさんも方言で説明してほしいですね。
- △ 旅行前にパンフレット請求をしました。すぐに送って下さったのは助かりましたが、パンフだけドサッと入っていて少しがっかりしました。松山の方は「ぜひおいで下さい」と一言入っていたし、四国全体で使えるクーポンが入っていたり、道後温泉の地図だとか、ちゃんとツボがおさえてあった。ネットで請求する時、有川浩の事など書いたのに、なんか反応薄いですね。
- △ MY遊バス協賛店の盛り上げ方というか、接客案内がいま一つの感がありますね。ホテルでの案内不足、観光施設でのサービス案内不足。
- △ おもてなし日本一を目指しておられるなら、観光政策として利用者の評判が悪い宿泊施設に対して、改善指導をされるべきです。「高知の恥」です。一度泊まれば言いたい事は、全てわかって頂けます。

<マナー>

- 接客に対するマナー向上に努めている点が、たびたび感じられました。
- 「交通マナー」でも書きましたが、ほとんどの車が少し離れて走ってくれたり、減速してくれたりして、とてもうれしかった。他県ではなかった。
- △ ジオパークに置いてある屑かごは、無いほうがよいのではないか。ゴミは、持ち帰りが原則としたらよいと思う。山でもすべて持ち帰るので。
- △ とにかくドライバーの運転がひどく、片道1車線を60キロで走行中80キロくらいで追いつく人が多数いた。それがなければ、100点に近かったと思います。

<その他>

- オリックスパツファローズの秋季キャンプを見学に来ました。間近で選手を見る事が出来て、良かったです。春もぜひ、来てもらいたいです。
- 車椅子利用の方も旅行されたので、ホテルも食堂もバリアフリー、観光地のトイレ、四万十川の川の観光など不自由無く旅行出来ました。高知が一番安心して行ける所です。
- また来たいと思うところで、とても満足しました。WiFi通信もできてゲーマーの主人はとても喜んでいました。
- よさこい踊りは大変満足しました。暑い中、大変な踊りで感心しました。
- ライダーズイン雲の上を利用しました。管理人の方に親切に頂きました。ライダーにとって大変有難い施設であり、もっとこのような施設を増やしてほしいです。ありがとうございました。また四国へ行きます。
- 有川浩先生の「県庁おもてなし課」を私と息子(高1)が気に入り、伺いましたが、主人が路面電車にいっぱい乗ってごきげんでした。高知城の係りの方はとても感じが良かったです。
- 自然が素晴らしく、日本の原風景が随所にありました。天気が良ければもっと良かったです。
- △ 高知へは、歴史散策・グルメ巡りと、2ヶ月に1度は行きます。官民一体となり、観光地として工夫・努力を感じます。一般的ですが、津波・山間部の災害対策が遅れている様に感じました。
- △ 西部・四万十川流域にも今度行きたいです。各施設も駐車場料金が安い。施設の料金を払うのだから、サービスでよい。

- △ 核になる観光＋街角めぐりのようなプランの提案を、いくつも出したらよいのではないか。例、ホビー館＋窪川味めぐり（駒島でラーメンを食べて・松鶴堂で栗まんを食べて・中平で抹茶、あるいは淳でコーヒーを飲むとか）観光＋食べ物があると、人は集まってくると思う。
- △ 今回泊まった民宿は、大体 6000 円前後であったが、施設やサービスの格差が非常に大きかった。満足な宿も多かったが、ビジネスとして成り立たないような（部屋は汚い、料理はスーパーの総菜）宿もあった。
- △ 喫煙についての意識が特に低い。食堂では、禁煙がほとんど常識になりつつある中で、「高知は民度が低いんじゃないかと」煙草についての、他の旅行者の弁。道を広げて下さい。他は素晴らしい観光地です。
- △ 津波対策の事なのですが、今回東日本大震災で予想以上の津波が来たので、高知県も津波対策の見直しはなさらないのでしょうか？
- △ 積極的に子供を宿泊させてくれる宿がないように感じた。
- △ 最近、宿泊施設が満室の事が多いので、観光客が増加しているようであれば、ホテル等の誘致をお願いします。
- △ どこも人は親切で景色もきれいなのですが、あまり工夫がないので再び訪れようと思うことは難しいです。もったいない感じがします。
- △ 道の駅や・シィパーク、坂本龍馬記念館などに、お土産物が少なかった。お酒などが充実していましたが、子供関係、キャラクター物などが少なかった。
- △ 通期によさこい等のイベントを開いて頂ければ参加できたと思います。
- △ 観光地それぞれに持ち味があると思うが、どこへ行っても龍馬か、やなせ氏のキャラクターが目立つ。悪いとは言わないが、もう一工夫ほしいと思います。ミスマッチなこともあるので。
- △ 宿のクオリティが全体的に高くない。価格の幅により、差はあって然るべきだが、コストパフォーマンスという観点から見ると他エリアと比較して決して高くない。改善を期待します。
- △ 44 年ぶりに四国を訪れて何か違う空気を感じました。豊かな自然と人々の温かさがもう全く当時の事は何一つ覚えているわけでもなかったけれど、何がというわけではありませんが、ほっとしました。とても気持ちが幸せに満ち溢れる。旅して思うのはその土地のあったかさなり、人情であったり、食べ物であったり、さまざまだと思うのです。含み資産がたくさんあるように思えます。訪れる者を“ウェルカム”してもらえようような施策がとられたらもっともって素晴らしいと思います。
- ◇ もう少し活気があって欲しい。若人がいないのが寂しい。地場産業がないため。
- ◇ 高知はグルメの土地なので、B級グルメなどで発展してもらいたいです。

VI おもてなしの宿アンケート

● 概 要

2名のスタッフが「おもてなしの宿アンケートはがき」を45の宿泊施設を訪問し配布した。以後、定期的に配布・設置のお願いに伺った。

この報告書は平成23年2月から平成24年2月に返信された観光客からの声を集計したものである。

返信総数 237通（春71件、夏112件、秋37件、冬17件）

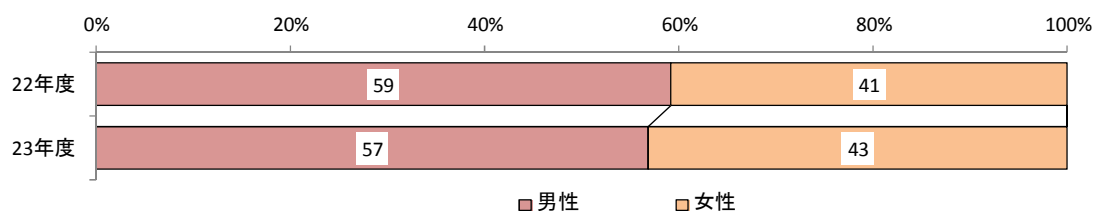
1. 「おもてなしの宿」 回答者基礎データ

1-1. 男女別割合

回答者男女別割合

	男性	女性	未回答	合計
22年度	152	105	17	274
23年度	124	94	19	237

(注：以下・未回答の数は全てのグラフに含んでいません)

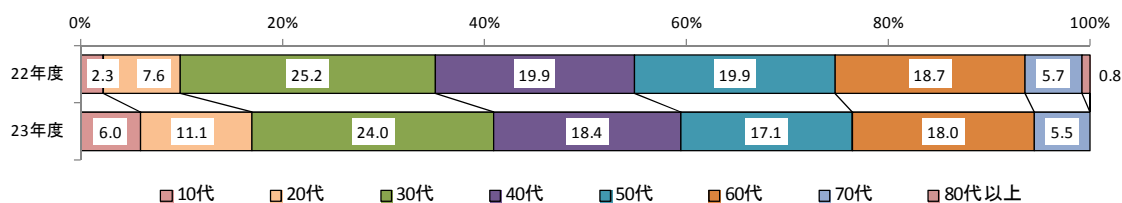


「おもてなしの宿」の返信男女別割合は、男性からの返信が約 57%（前年度約 59%）、女性が約 43%（前年度約 41%）という結果になり、前年度と同じく本年度も男性からの返信が多くなっている。

1-2. 年代別割合

回答者年代別割合

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
22年度	6	20	66	52	52	49	15	2	12	274
23年度	13	24	52	40	37	39	12	0	20	237



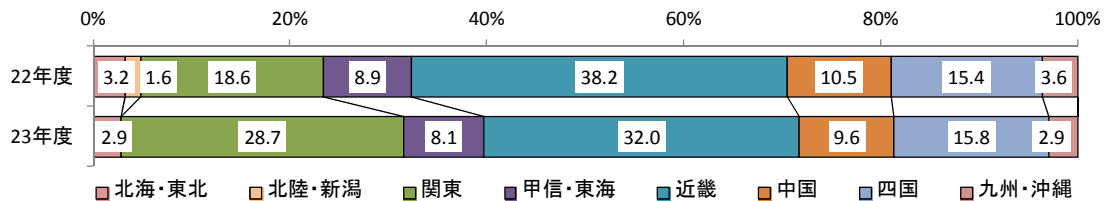
本年度の年代別割合は、30代が1番多く 24.0%で、次いで 40代が 18.4%、60代が 18.0%、50代が 17.1%、20代が 11.1%、10代と 70代は 10%以下という結果になっている。

又、前年度と比べ、10代、20代等若年層からの返信が目立ち、80歳代以上からの返信はなかった。

1-3. 出発地

出発地ブロック別割合

出発地	北海・東北	北陸・新潟	関東	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	未回答	合計
22年度	8	4	46	22	94	26	38	9	27	274
23年度	6	0	60	17	67	20	33	6	28	237

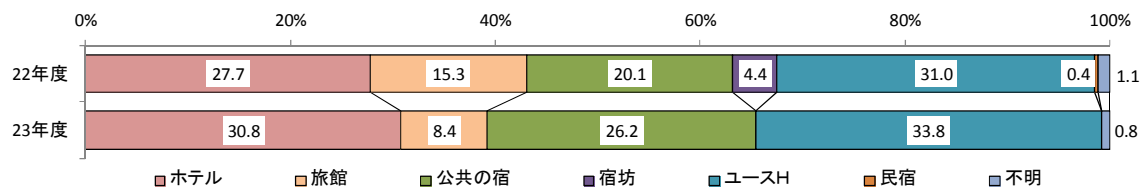


本年度も出発地ブロックでは近畿が最も多く 32.0%であった。次いで関東が 28.7%、四国が 15.8%となっている。

前年度と比べ関東からの返信数のみが増加し、その他の地域は減少している。中国、四国は日帰り圏内ということから、「おもてなしの宿」の返信者に占める割合は来県者の割合から考えると少なくなっている。

1-4. 返信された封筒の設置箇所

設置箇所	ホテル	旅館	公共の宿	宿坊	ユースH	民宿	不明	合計
22年度	76	42	55	12	85	1	3	274
23年度	73	20	62	0	80	0	2	237



アンケートが返信されてきた宿としては、ユースホステルが約 33.8%を占めている。次にホテル、公共の宿、旅館と続いている。

前年度と比べると旅館、宿坊からの返信が減少している。宿の関係者と宿泊者のコミュニケーションが「おもてなしの宿」の返信数につながっていると考えられ、ユースホステルや公共の宿、ホテルではそういった関係性が前年に引き続き、継続されていると考えられる。

2. 「おもてなしの宿」 満足度について

* 平均点数について

5=大変満足、4=満足、3=やや満足、2=やや不満、1=不満 として算出。
(未回答は含まない。)

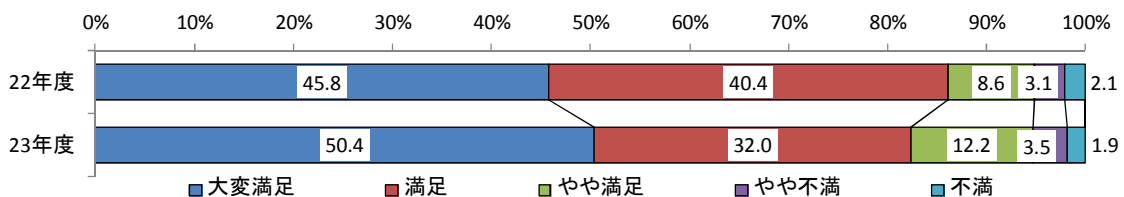
2-1. 予約係・フロント係のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均
対応	115	78	25	11	2	6	237	4.27	4.25
挨拶	136	62	22	9	2	6	237	4.39	
言葉づかい	131	74	24	2	1	5	237	4.43	22年度 (4.24)
身だしなみ	116	91	24	1	0	5	237	4.39	
自己紹介	74	58	44	17	16	28	237	3.75	

予約係・フロント係のサービスについては自己紹介の設問以外は平均が4点代と、満足度が高い結果となっている。自己紹介については“やや不満”“不満”“未回答”の件数が他より多い結果になっているが、自己紹介をしなかった事に対して、不満のコメントは少なく、自己紹介は特になくて良いと考えられる。

好意的な声としては、「電話予約の対応はとても丁寧で、好感が持てました」や「ネット予約でしたが、丁寧な情報で助かりました」「ペアレントの対応は、とても温かく満足のいくものでした」「駐車場の方が親切で印象深かった」などのご意見があり、どの設問も“大変満足”“満足”の割合が高くなっている。

反面、不満の声として「大きなホテルなのに、こんな物かと思った」「事務的な対応で温かみを感じられなかった」「駐車場が止めにくかった」など否定的な声もあった。



(注；各評価の回答数を設問全てで合計し、割合を算出したグラフです)

前年度比では、“満足”の割合が減少した分、“大変満足”と“やや満足”が増加し、全体平均では4.25点と前年度(4.24点)とほぼ同じ結果となっている。

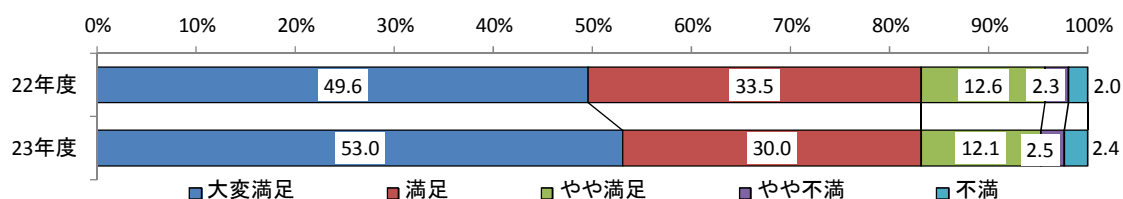
2-2. 客室係のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均	全体平均
館内説明	88	67	29	6	7	40	237	4.13	4.29
挨拶	108	57	22	4	4	42	237	4.34	
言葉づかい	110	56	25	1	4	41	237	4.36	22年度 (4.26)
身だしなみ	105	62	21	4	2	43	237	4.36	
気配り	107	51	21	9	6	43	237	4.26	

客室係のサービスについては他の設問より未回答が多いものの、満足度が高い結果となっている。未回答が多い原因としては、ビジネスホテルなど客室係がない施設などがあり、評価がつけられなかったためと考えられる。

客室係のいる施設では、「やわらかな高知弁が親しみやすく、何を聞いてもすぐに対応して頂けました」「部屋にベビーチェアを設置して下さってとてもありがたかったです」「部屋に案内していただく途中、きちんと顔を見ながら館内の説明をしていただきました」「各部屋や、お風呂などの説明を細かく丁寧にしていただきました」などの好意的な声があり、サービスが行き届いているとの回答が多く寄せられている。

気配りの設問では、“やや不満”、“不満”が合わせて15件あり、他の設問から比べて少し多く、「新人さんだったのか、あまり覇気がない感じだった」「気配り上手な方、気配りが慣れない方、やはり様々。経験を重ねると上手になるのでしょうか」などの声があり、更に丁寧な接客、従業員教育が求められている。



(注：各評価の回答数を設問全てで合計し、割合を算出したグラフです)

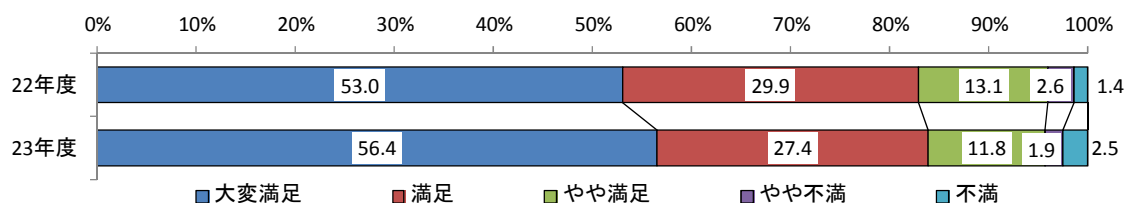
前年度比では、“大変満足”が増加しているが、全体平均では4.29点（前年度4.26点）で、ほぼ横ばいとなっている。

2-3. レストラン・食堂系のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均	全体平均
対応	125	64	23	5	9	11	237	4.29	4.34
挨拶	129	57	32	3	4	12	237	4.35	
言葉づかい	126	67	25	3	3	13	237	4.38	22年度 (4.31)
身だしなみ	126	66	26	3	3	13	237	4.38	
気配り	128	53	26	7	9	14	237	4.27	

レストラン・食堂系のサービスについては「料理の説明もきちんとしていたし、出すタイミングも一人一人違うので気配りが良いと思いました」「ありきたりのものでなく、高知の地物を活かした料理が非常に良かった」「感じよく食事の説明をしてくださり、一層美味しくいただきました」などの好意的声が多くあり、満足度も高くなっている。

反面、「部屋食でしたが、形式的な説明で親切さが全然感じられない係りだった」「バックヤードで係りの女性私語が多く、客室（レストラン）に聞こえてきて、不快でした」「通路を走らないで。お膳を下げる時は膝をついて」などの否定的な声もあった。



(注：各評価の回答数を設問全てで合計し、割合を算出したグラフです)

前年度比では、“大変満足”が3.4ポイント増加し、平均点はほぼ横ばいながらも高評価が得られ、安定したサービスが行われていると考えられる。

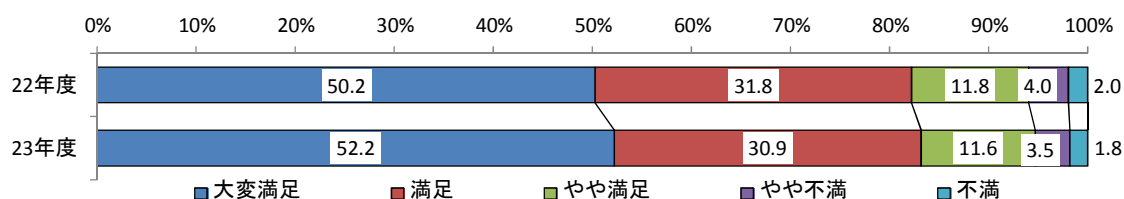
2-4. 施設について

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均	全体平均
雰囲気	114	82	26	9	2	4	237	4.27	4.28
館内表示	94	92	37	8	1	5	237	4.16	
分煙	107	71	33	7	2	17	237	4.25	
客室の清掃	121	78	19	8	7	4	237	4.28	
食堂の清掃	122	68	24	2	3	18	237	4.39	
サービス	128	64	19	7	8	11	237	4.31	22年度 (4.24)
食事の量	135	57	23	7	1	14	237	4.43	
食事のお味	139	51	26	6	3	12	237	4.41	
料理の説明	100	54	32	15	7	29	237	4.08	
休息	130	69	24	3	3	8	237	4.40	
音・臭い	102	80	24	15	8	8	237	4.10	

施設については、半数以上の方が「食事の量」「食事のお味」「食堂の清掃」「サービス」「休息」「客室の清掃」で“大変満足”を選び、“不満”は全ての項目で10件以下という少ない結果となっている。

平均点が一番低いのは「料理の説明」だが、未回答も29件あり、未回答の理由として外食利用、朝食バイキングのみの利用などが考えられる。

否定的な声としては「部屋の畳が古い」「エレベーターが2台しかなく、待ち時間が長い」などの設備面での不満や、「浴室には、カビ・臭気・髪の毛、不潔感たっぷり」「床や壁の汚れも多い」といった清掃面での不満があった。「音・臭い」に関しては、“やや不満”“不満”が合計23件あり、「エアコンの臭い」「エアコンの音が大きい」「タバコの臭い」などが挙げられている。



(注：各評価の回答数を設問全てで合計し、割合を算出したグラフです)

前年度比では、全体平均で4.28点（前年度4.24点）とほぼ横ばいとなっている。“不満”や“やや不満”のご意見・ご要望を参考にし、さらなる努力・改善が求められている。

【参考】意見の抜粋

(評価できる点=○・改善を望む点や要望など=△・その他=◇)

<接客・対応>

- 部屋は狭いけれどとても景色が良くて朝日が素晴らしかったです。スタッフもとても優しく親切で心配りが良く大変良かったと思います。
- 部屋はびっくりするほどではないがお茶受けが今までにないほど沢山。お手紙があり、寝具もきれい。浴場の広間が素晴らしかったり、エレベーター等でお会いしたホテル関係の方々の言葉遣い、姿、感心することだらけ。一番は若い人たちが生き生き働ける職場、いいですね。夕食の時のよさこいのサービスでその場を一層盛り上げました。
- 騒がしかったと思いますが暖かく迎えて下さり、ありがとうございました。とても楽しい思い出になりました。
- きめ細やかな対応や明るい笑顔など安心して過ごすことができました。一泊でしたが貴重な経験でした。本当にありがとうございました。
- 朝の笑顔でのお迎えがとても嬉しかったです。ありがとうございました。友人にも伝えたいと思います。日曜市も目の前ですごく満足でした。
- 全体的に料金に見合ったサービスだったので期待通りだった。
- 名残惜しい気持ちで帰れる旅ができてうれしいです。土地そのものの魅力ももちろんおもてなしをして下さった四万十YHの皆さんのおかげです。ぜひまた来たいです。大切な場所がまた一つ増えた感じです。ありがとうございました。
- 電話対応をして頂いたフロントの女性の方、頑張っている感じが好感を持ってました。
- 明るいペアレントさんに大変お世話になりました。あたたかい雰囲気癒されてゆっくりできました。また来たいです。
- 私は、四国大好き、高知大好きで、10回くらい行っています。名産センター「かつお船」の接待に心打たれました。誠意溢れていて忘れられません。今回もバス4台で行く事ができました。また、別のグループで行く機会を作ります。
- とても親切にもてなしてもらい、居心地良く過ごしました。こだわりの建物や室内は落ち着きを感じます。何度も来ていますが、また訪れたいです。
- 配慮が行き届いたサービスでした。とても気持ち良く楽しく過ごせました。
- ここの女将はすごい。料理作ってカヌー教えて作詞作曲ピアノ演奏、整体師で、なんでもやっている。忙しいのに、笑顔絶やさず、温かいもてなしに心打たれました。
- 山奥で交通が不便でも訪問して大変良かった。村民の柚子などにかける情熱が伝わりました。
- 施設も広くて、感じの良いスタッフがたくさんいたのでまた行きたい。
- 食事、レジャー、細やかな気配り、どれもとても素晴らしかったです。
- 夕方、突然の予約だったにもかかわらず、本当に感謝しています。館内もとても清潔でフレンドリーな雰囲気でした。
- 楽しく過ごさせていただいており、自分の家に戻ってきている気にもなりました。
- 館内の男性の方は、とってもハキハキしていて良かった。女性の方も丁寧でしたが、もう少し気を配って頂けると嬉しかったです。特に、食事会場。ただ、初めから温かいお茶が用意されていたのはうれしかったです。何かジュースなど頼まないといけない雰囲気になりがちですが、急須も大きくて各テーブルに置かれていたのは良いサービスです。
- 今回、日にちを間違えて行ったにも関わらず、すぐに対応していただき、ありがたかったです。スタッフの対応は良かったと思います。
- 一番印象に残ったのは、警備員さんの配慮ある対応です。

- 急な予約（当日予約）にもかかわらず、笑顔でテキパキ対応してもらいうれしかった。ありがとうございました。
- △ 立派な建物のAランクホテルでも暖かい気配りが欲しい。同じビジネスホテルでも東横インのホテルが布団はふかふかだし、気配りが行き届いている。生け花が一輪活けてあったり、メッセージが置いてある。ポットに水も入れてありズボンプレスーも置いてある。
- △ 何の気配りもしない、最低な宿でした。
- △ 従業員に「お客様、良く来ていただきました」という態度が感じられず、全員入れ替えてほしい。特に、レストランはひどいし、美味しく食べて頂くなんて考えていない。
- △ 公共の宿に泊まったが、前々日に泊まった民間ホテルに比べ、もっとサービスに努めるべきだと思う。料金もサービスにもその余地があると思う。高知城や桂浜の素晴らしい景色をもっと生かして頑張してほしい。
- △ 若いスタッフの教育ができていないようだ。行ってからビジネスホテルだと分かり、家族連れファミリーが楽しめないホテルだ。チェックアウト時にゆうパックを頼んだが、ホテルのミスで翌日受け取ることができなかった。とにかく、手違いのミスが多いホテルで驚いた。食事は良かったが、浴室は残念でした。
- △ 聞いたことには親切に答えてくれたが、知らない土地なのでホテル側から声をかけてくれるとありがたいし、旅も豊かになると思う。地元では当たり前でも旅人にとっては心を動かされることが多い。
- △ お布団があまりふかふかでなかったのが残念です。枕もぺちゃんこだったので、もう少し高さがあるとうれしいです。遅めのランチや郷土料理を頂けるレストラン、もしくはルームサービスが可能だとありがたいです。子供の浴衣を用意していただいていたのですが、浴衣は寝るとしわくちゃになるので、大人も子供も2枚ずつ用意していただけるともとうれしいです。
- △ あと少しの気配りや、心配り、清掃の係の方たちのプロ意識があれば、格段に良くなるホテルだと思うのに、とても残念です。ご自分達の眼で評価の良いホテルを見ることも必要なのではないのでしょうか。日曜日のビジネスホテルだった為か、活気が感じられなかった。

<食事>

- 朝食がとても気持ち良く頂きました。高知はいつ訪ねても食事が美味しくてうれしいのですが、今回の和食の朝食は大変満足でした。素敵な一日の始まりになりました。ありがとうございました。
- 夕食時にご主人とお酒を飲みながらの会話が楽しかった。他のお客さんへの気配りも完ぺき。朝夕の食事自分が宿泊したユースの中では最高クラスだと思います。次回来る時は孫とカヌーを楽しみたいと思います。
- 料理が大変美味しかった。カヌーは8歳の息子が体験させてもらい、沈下橋からも飛び込みができて、上手にご指導してくださり、感謝です。
- 結婚披露宴で利用させて頂きました。招待した方から、料理の味や量に対して絶賛して頂きました。スタッフの方々も本当によくして頂き、こちらを選んで良かったです。
- お部屋が素敵でした。お料理も美味しかったです。
- △ ご飯がおいしい。昼ごはんはサラダをつけて欲しい。
- △ ひとつ言えば、洋食、連泊の時、少し変化があれば良かった。例えばヨーグルトの味を変えるとか…。
- △ 製氷機があると良いと思う。朝食は、高知の特産品が一品あれば良かった。朝食にジュース・ヨーグルトが無かった。
- △ 朝食が多品種少量でしたが、少品種にして単品の量を考えてください。品数は多かったのですが、どれもおいしいなあと思う物がなかったです。

<施設>

- 部屋もきれいでお店の方もとても親切ですごく良かったです。またぜひ行きたいと思いました。
- とても雰囲気良くて何度も来たくなるようなYHでした。今度はゆっくり四万十川を満喫したいです。
- 館内が可愛くて使いやすく満足です。食事也非常に美味しく、次は両親にすすめます。
- ツアーでしたがプライベートで来ても車で来ても、駅にも近いし、とても便利の良い所なのでぜひまたよさこいに来てみたいと思いました。
- 客室が駅前側でしたので、龍馬の像と駅の建物が見渡せて一人シングル部屋でも寂しくなく、ぐっすりと眠れました。(シングルで泊まると、いつもなんとなく不気味に感じるホテルもあったりしますので)清潔感のある雰囲気も良かったです。
- 駅に近く便利です。心地良く2泊しました。ありがとうございました。部屋からの見晴らしが良く、楽しみました。
- カヌーも1日体験できて、ここに泊まって本当に良かったです。海外でユースを利用した事はあったのですが、日本では初めてとなり、どうかと思っていましたが、良かったです。
- この度はお世話になりました。とても癒されました。これから先もサービスが持続できれば、高知の1番の宿として間違いなく大成出来るのではないかなあとと思います。頑張ってください。文句なしに素晴らしい宿です。
- ホテルの客室も広々していて、落ち着いたので良かった。駅にも近く、駅周辺も窓から観察でき満足した。
- △ 他県でも海側の宿へ宿泊した時、同じカビ臭くて不愉快だったが料金が安かったので我慢した。料金が高いのに状態が悪いのは最悪だ！
- △ 空気清浄機があれば助かります。
- △ 施設全体はとても良いが、分煙の配慮が全くなされていないので、改善して欲しい。
- △ 駐車場が満車の時に少し遠いのが残念ですが、また宿泊したいと思いました。
- △ バスタオルとタオルがもう1セットあれば良かったです。布団がもう少しふかふかで軽ければと思いました。
- △ 客室や、浴室の換気が悪かったのが残念でした。また、枕が薄いものがあれば良いと思いました。浴室にコンセントがないのでドライヤーを室内でしか使えないのが残念でした。
- △ 同じタイプのホテルで、大浴場があるところはとても少なく、できるだけある場所を選んでいきます。こちらは3回目の宿泊ですが、女性の浴室が狭いのが少し残念ですが、夫は大満足でした。朝も大浴場が開いていればもっと嬉しいです。
- △ 朝のお風呂の時間が8時半までは早い。せめて9時までにしてほしい。
- △ ロビー前のエレベーター横にある売店の位置を変えた方がいいと思う。
- △ 冷蔵庫の電源が入っているかどうか全く分かりません。電源I Nの時はランプが点灯するタイプの物に変更してほしい。
- △ 小さな事ですが、障子紙が剥がれていたり、洋服ダンスの扉の開閉に難があった。
- △ 室内のエアコンのスイッチがわからず、説明等も無かったのが残念。室内の絨毯も傷んでおり、少し残念でした。

<清掃>

- 掃除や、設備など、手入れが行き届いていて気持ち良かったです。今後も全国のユースホステルを使ってみたいと思うきっかけになりそうです。
- △ クローゼットにあった布団が臭い。

- △ JTBのパンフレットから選んだので大丈夫だろうと思っていたが、あまり良くなかった。他県から泊まりに来る客に配慮した心配りをすべき。客の立場に立って清掃を心がけてほしい。
- △ 駅前という好立地の為、利用客はあるのですが、それに甘え過ぎて、そうじ・フロント等の人件費を切り詰め過ぎているのではないのでしょうか。もう二度とこのホテルを利用しないし、他の人にも絶対すすめません。古くても清潔で良い対応ならば、この立地なので多少高価でも利用すると思います。とても残念でした。
- ◇ 四万十川流域の国道、公衆トイレの手入れが良かった。泊まって遊びたくなる。

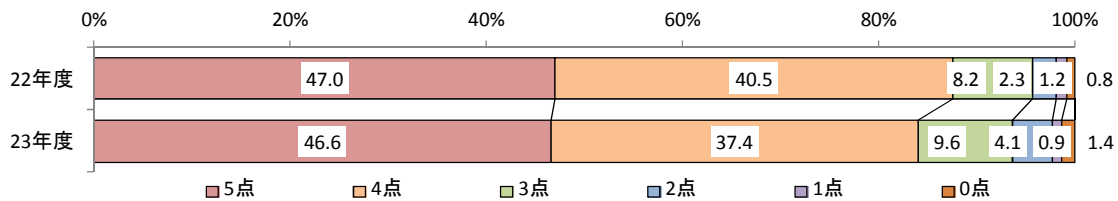
<その他>

- 蛍カヌー四万十ツアーなる素晴らしいツアーを企画されていてそれに参加しました。全くカヌーをした事がなかった私と友人ですが、昼間のカヌー体験を通して夜カヌーで蛍に出会う事ができました。本当にうれしかったです。
- 宿、食事、遊ぶ所（四万十川）と、全てが満足できる楽しい旅となりました。高知に来たのは初めてですが、こんなに素晴らしい所だとは思いませんでした。住みたいと思いました。
- お世話になりました。高知の方の人柄や食べ物は最高です。仕事でもプライベートで足を運んでいます、いつも大好きになって帰ります。「また行きます高知」ありがとうございました。高知の案内メールマガジン等あれば、ぜひ配信して下さい。
- 有川浩さん著「県庁おもてなし課」を読みました。随所に県民の皆さんの心配りが見えて、とても気持ちよく過ごせました。
- 観光マップが手作り大きく分かりやすく、とても良かった。
- △ フロントの目の前にお土産屋があり、常に監視されているようで落ち着いて買い物ができないのでどうにかしてほしい。浴室のシャワー、トイレ共に大浴場とは異なりあまり良くないと思う。狭すぎて窮屈に感じる。しかし、念願の足摺テルメに泊まれて本当に良かった。せっかく高い宿泊代金を払っているのだから、大浴場のマッサージ器は出来たら無料にして欲しい。
- △ ネットで予約しました。事前に宿舎その他・桂浜等のパンフレットを送って頂けると、より良いのではと思います。例えば、わざわざ桂浜の駐車場に車を止めなくても、宿舎から散策しながら桂浜に降りて行けるなどわかりませんでした。駐車場も龍馬記念館と併用しているなども案内して頂けたら迷わずに済んだのですが。
- △ 今回利用したホテルは、JTBを通じて紹介してもらいましたが、JTBから受け取ったMAPでは、周辺付近の細かい道や建造物があまり書いていなかったの、駐車場も含めもっと分かりやすい周辺MAPがあるといいと思います。
- △ ホテルの目の前が太平洋という景観は素晴らしいが、今となっては防災対策が気になる。「津波が来たら？」という質問には「諦めています」という返事だった。これでいいのだろうか、何か対策を考えられないのだろうか。
- △ 部屋の中のトイレに行くのに素足で行けないのが不都合でしたが、その他は大変良い。
- △ 交通に不便なところですが、よく工夫していると思います。河岸の道路は、すれ違いも難しい区間もあり、待避所を考えて頂きたい。事故が起きる前に、行政に一考してもらいたい。私は、YHのような雰囲気大好きです。
- ◇ 古くからのやり方を大事にするのもいいが合理的にできる所は合理的にして貰った方が何でも簡潔に済むのではないか？
- ◇ 高知ならではのストーリーのある観光を追及して下さい。

【その他】

その他 1. 当該施設を 5 点満点で評価していただくとすれば何点いただけますか

	5点	4点	3点	2点	1点	0点	未回答	合計	平均
22年度	121	104	21	6	3	2	17	274	4.28
23年度	102	82	21	9	2	3	18	237	4.21



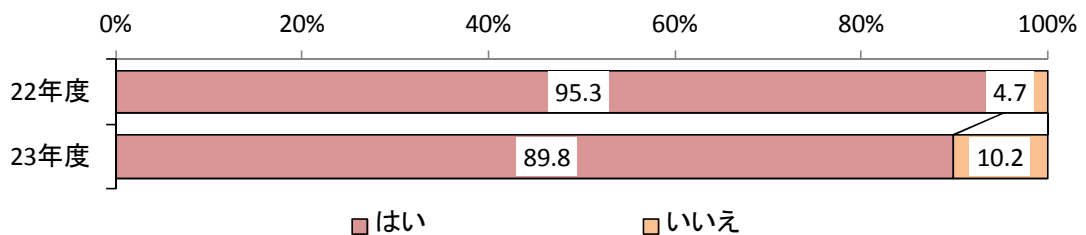
(* 4.5 点などの整数ではない評価も 4 点台に加えています)

評価の平均は 4.21 点で“5 点”“4 点”の評価は合計 84%となり、前年度比で 3.5 ポイント減少している。

満足度の設問では、前年比平均で減少した項目はないが、当該施設の平均点では、前年度比で 0.07 点減少している。

その他 2. 機会があれば当宿泊施設を再度ご利用いただけますか？

	はい	いいえ	未回答	合計
22年度	241	12	21	274
23年度	203	23	11	237

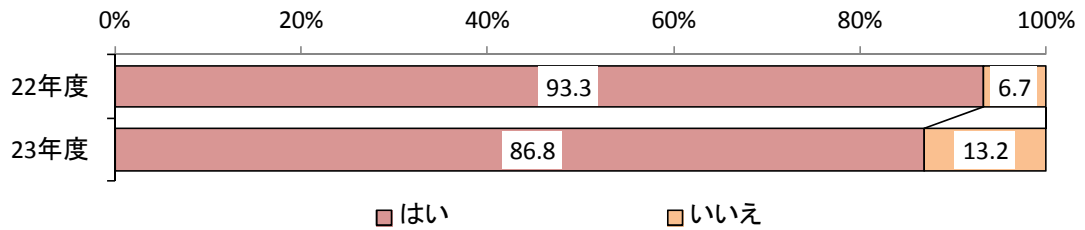


再度ご利用して頂けるお客様が 89.8%を占めており、“いいえ”を選んだお客様は「若いスタッフの教育ができていないようだ」「あと少しの気配りや、心配り、プロ意識があれば、格段に良くなるホテルだと思う」「駅前という好立地の為、それに甘え過ぎ」などの厳しい声があった。

前年比では、“いいえ”を選んだお客様が 5.5 ポイント増加しており、再度の利用意向が低下している。

その他 3. 当宿泊施設をお知り合いにご紹介していただけますか？

	はい	いいえ	未回答	合計
22年度	237	17	20	274
23年度	191	29	17	237



お知り合いにご紹介して頂けるお客様が約 86.8%を占めている。

また「再度ご利用」の項目で“いいえ”を選んだお客様が、この項目でも”いいえ”を選択しており、“いいえ”を選んだお客様は前年度比で 6.5 ポイント増加している。

満足度の設問では高評価を得ているが、全体的な設問での評価の低下を考えると、トータルで見るとまだまだ不十分な点があり、お客様の目線で引き続き改善に取り組むことが必要と考えられる。

VII 高知自動車道交通量調査

1 概要

●はじめに

平成23年4月より、四季ごとに休日および平日、高知自動車道【高知・南国・中土佐】のIC出口付近で、午前9:00から午後3:00までの6時間、発地別交通量を調査、集計した。

2011年 春 調査

- ・休日調査 5月3日(火) 高知IC、南国IC、中土佐IC
- ・平日調査 5月13日(金) 中土佐IC
5月18日(水) 高知IC
5月19日(木) 南国IC

2011年 夏 調査

- ・休日調査 8月13日(土) 高知IC、南国IC、中土佐IC
- ・平日調査 8月24日(水) 南国IC
8月26日(金) 高知IC
8月31日(金) 中土佐IC

2011年 秋 調査

- ・休日調査 10月29日(土) 高知IC、南国IC、中土佐IC
- ・平日調査 10月19日(水) 南国IC
10月20日(木) 高知IC
10月26日(月) 中土佐IC

2012年 冬 調査

- ・休日調査 1月14日(土) 高知IC、南国IC、中土佐IC
- ・平日調査 2月1日(金) 中土佐IC
2月3日(水) 南国IC
2月10日(木) 高知IC

2 2011年春調査

2-1 高知自動車道 休日

2-1-1 高知 IC 調査日 2011.5.3 (火)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	2	1	1	1	2	2	9
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	1	0	0	0	0	1
4		宮城県	0	0	0	1	0	2	3
5		秋田県	0	0	0	0	0	1	1
6		山形県	0	0	0	1	0	0	1
7		福島県	0	0	1	0	2	1	4
8	関東	茨城県	0	2	2	3	1	0	8
9		栃木県	0	1	0	2	0	0	3
10		群馬県	1	2	2	0	1	2	8
11		埼玉県	1	1	3	4	5	7	21
12		千葉県	2	2	3	5	1	6	19
13		東京都	5	6	6	4	9	2	32
14		神奈川県	7	3	10	8	2	5	35
15	北陸・新潟	新潟県	1	0	2	0	0	1	4
16		富山県	0	1	0	0	5	2	8
17		石川県	0	1	4	2	2	0	9
18		福井県	1	2	1	1	1	4	10
19	甲信・東海	山梨県	0	0	1	0	1	0	2
20		長野県	1	2	3	1	2	4	13
21		岐阜県	1	3	8	3	2	4	21
22		静岡県	5	0	4	3	1	3	16
23		愛知県	11	16	22	20	11	20	100
24	近畿	三重県	10	3	4	0	5	4	26
25		滋賀県	4	5	4	1	3	6	23
26		京都府	6	5	8	11	17	13	60
27		大阪府	45	54	75	53	53	63	343
28		兵庫県	39	47	62	72	56	54	330
29		奈良県	8	6	9	7	3	9	42
30		和歌山県	5	8	5	2	2	7	29
31	中国	鳥取県	6	5	4	13	8	5	41
32		島根県	3	5	5	10	2	12	37
33		岡山県	45	79	63	59	55	32	333
34		広島県	34	39	51	47	36	32	239
35		山口県	3	6	5	11	5	9	39
36	四国	徳島県	37	44	86	29	46	32	274
37		香川県	48	108	106	84	71	47	464
38		愛媛県	55	95	124	103	59	64	500
39		高知県	264	299	329	335	307	385	1919
40	九州・沖縄	福岡県	5	10	10	2	4	11	42
41		佐賀県	1	0	1	1	0	2	5
42		長崎県	0	1	0	4	2	2	9
43		熊本県	0	1	3	1	0	4	9
44		大分県	2	0	1	3	5	2	13
45		宮崎県	0	3	1	2	2	3	11
46		鹿児島県	1	0	1	3	3	0	8
47	沖縄県	0	0	0	0	0	0	0	
合計			659	867	1030	912	792	864	5124

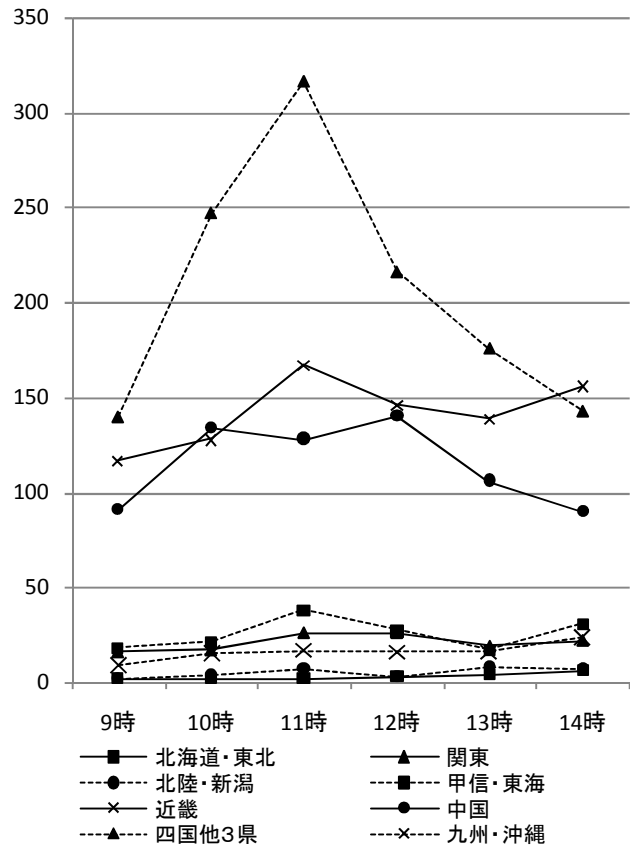
ブロック別時間帯交通量（台）

高知 IC 春・休日は 11 時台に 1030 台でピークを迎えており、春の調査の中で最も交通量が多くなっている。

全体の合計台数は 5124 台で、そのうち高知を除く上位 8 位までの都道府県（上位 8 県：以下同様）の占める割合が 50%で、高知は 37%を占めている。

ブロック別時間帯交通量では、11 時台に四国 3 県、近畿、12 時台に中国がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、10 時台に香川、岡山、11 時台に愛媛、大阪、徳島、12 時台に兵庫などとなっている。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	愛媛県	55	95	124	103	59	64	500
2	香川県	48	108	106	84	71	47	464
3	大阪府	45	54	75	53	53	63	343
4	岡山県	45	79	63	59	55	32	333
5	兵庫県	39	47	62	72	56	54	330
6	徳島県	37	44	86	29	46	32	274
7	広島県	34	39	51	47	36	32	239
8	愛知県	11	16	22	20	11	20	100
合計		314	482	589	467	387	344	2583

2-1-2 南国IC 調査日 2011.5.3 (火)

時間帯別交通量 (台)

No	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道	0	0	0	0	0	0	0
2	青森県	0	0	0	1	0	0	1
3	岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4	宮城県	0	0	0	0	0	0	0
5	秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6	山形県	1	1	0	0	0	0	2
7	福島県	0	0	0	0	0	1	1
8	茨城県	0	0	0	2	0	1	3
9	栃木県	0	0	1	0	0	0	1
10	群馬県	0	0	0	0	3	0	3
11	埼玉県	4	1	0	1	1	0	7
12	千葉県	1	2	1	1	1	1	7
13	東京都	1	5	5	5	2	4	22
14	神奈川県	0	2	2	2	4	5	15
15	新潟県	0	0	1	0	1	0	2
16	富山県	1	0	0	0	0	0	1
17	石川県	0	1	0	0	0	0	1
18	福井県	2	0	2	0	0	1	5
19	山梨県	0	0	0	0	0	0	0
20	長野県	2	4	0	1	0	0	7
21	岐阜県	3	0	0	0	1	1	5
22	静岡県	1	1	1	1	2	0	6
23	愛知県	9	7	8	4	8	5	41
24	三重県	2	3	2	1	2	2	12
25	滋賀県	5	5	1	0	2	2	15
26	京都府	8	3	8	8	5	16	48
27	大阪府	31	34	36	36	26	40	203
28	兵庫県	32	41	40	47	41	47	248
29	奈良県	3	5	4	5	2	5	24
30	和歌山県	3	4	0	1	4	5	17
31	鳥取県	4	4	6	3	0	2	19
32	島根県	8	6	2	1	3	4	24
33	岡山県	63	70	67	59	31	39	329
34	広島県	37	45	35	46	32	19	214
35	山口県	6	4	6	3	5	10	34
36	徳島県	57	67	54	19	33	24	254
37	香川県	101	118	123	126	55	48	571
38	愛媛県	101	141	127	92	50	43	554
39	高知県	178	158	177	171	154	226	1064
40	福岡県	5	6	4	1	4	6	26
41	佐賀県	1	0	1	1	0	0	3
42	長崎県	0	2	2	0	0	0	4
43	熊本県	1	4	0	1	1	3	10
44	大分県	4	2	2	0	1	3	12
45	宮崎県	2	3	1	1	0	0	7
46	鹿児島県	1	3	4	0	1	0	9
47	沖縄県	0	1	0	1	0	0	2
合計		678	753	723	641	475	563	3833

ブロック別時間帯交通量(台)

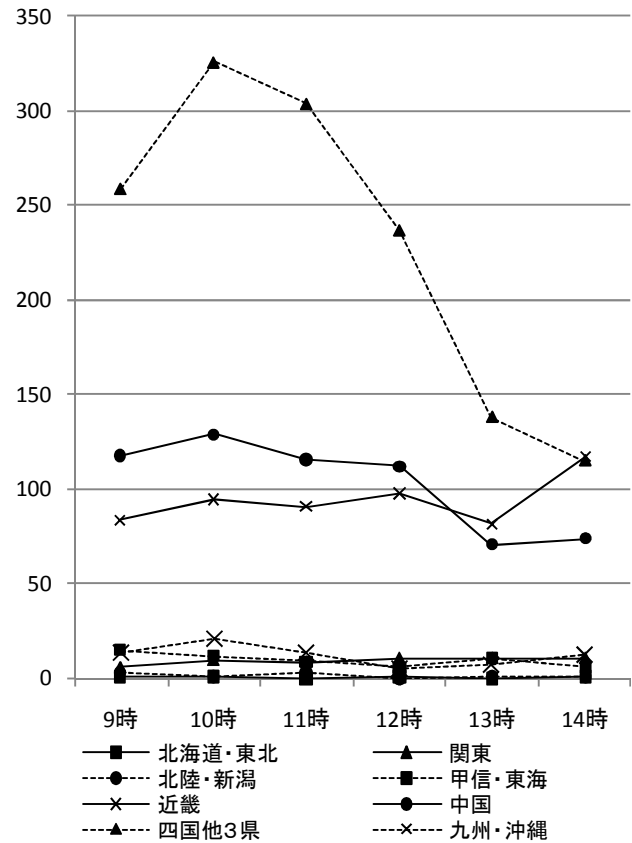
南国 IC 春・休日は 10 時台に 753 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 3833 台で、そのうち高知は 1064 台で全体の 28%を占めている。

調査地別通交通量を見ると、県外上位 8 位の割合が 63%と、春の調査の中で最も多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、10 時台に四国他 3 県と中国、14 時台に近畿がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、10 時台に愛媛、岡山、徳島、12 時台に香川、広島、14 時台に大阪、兵庫は 12 時台と 14 時台にピークを迎えている。



発地別交通量 (上位 8 県) (台)

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	101	118	123	126	55	48	571
2	愛媛県	101	141	127	92	50	43	554
3	岡山県	63	70	67	59	31	39	329
4	徳島県	57	67	54	19	33	24	254
5	兵庫県	32	41	40	47	41	47	248
6	広島県	37	45	35	46	32	19	214
7	大阪府	31	34	36	36	26	40	203
8	京都府	8	3	8	8	5	16	48
合計		430	519	490	433	273	276	2421

2-1-3 中土佐IC 調査日 2011.5.3 (火)

時間帯別交通量 (台)

No	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道	1	0	0	1	0	0	2
2	青森県	0	0	0	0	0	0	0
3	岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4	宮城県	1	0	2	1	0	0	4
5	秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6	山形県	1	0	0	0	0	0	1
7	福島県	0	1	0	0	0	0	1
8	茨城県	2	1	1	1	1	0	6
9	栃木県	3	0	1	0	1	0	5
10	群馬県	1	0	2	1	1	0	5
11	埼玉県	3	3	2	3	1	1	13
12	千葉県	3	2	1	1	3	2	12
13	東京都	2	7	5	5	7	7	33
14	神奈川県	6	3	4	6	4	6	29
15	新潟県	1	0	1	0	1	0	3
16	富山県	1	2	0	1	0	1	5
17	石川県	2	1	0	0	1	0	4
18	福井県	1	0	0	1	1	0	3
19	山梨県	1	1	0	1	1	0	4
20	長野県	3	1	0	0	2	2	8
21	岐阜県	3	2	3	1	2	2	13
22	静岡県	2	0	3	0	1	3	9
23	愛知県	17	8	6	5	10	8	54
24	三重県	1	1	5	4	2	2	15
25	滋賀県	3	1	2	2	3	1	12
26	京都府	7	4	2	9	6	6	34
27	大阪府	59	56	34	36	47	45	277
28	兵庫県	32	25	31	40	38	35	201
29	奈良県	6	3	4	1	5	1	20
30	和歌山県	0	2	1	0	1	0	4
31	鳥取県	2	1	1	2	2	3	11
32	島根県	1	1	1	4	2	0	9
33	岡山県	22	33	21	23	44	26	169
34	広島県	13	18	13	17	30	13	104
35	山口県	3	1	2	4	1	3	14
36	徳島県	17	10	20	17	19	22	105
37	香川県	36	34	51	36	56	25	238
38	愛媛県	34	24	36	42	36	29	201
39	高知県	400	510	414	430	333	451	2538
40	福岡県	3	2	4	4	6	1	20
41	佐賀県	0	0	0	1	1	0	2
42	長崎県	1	0	2	3	0	0	6
43	熊本県	1	0	1	0	2	0	4
44	大分県	0	0	0	0	1	2	3
45	宮崎県	1	2	1	0	1	0	5
46	鹿児島県	0	0	0	4	0	0	4
47	沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
合計		696	760	677	707	673	697	4210

ブロック別時間帯交通量(台)

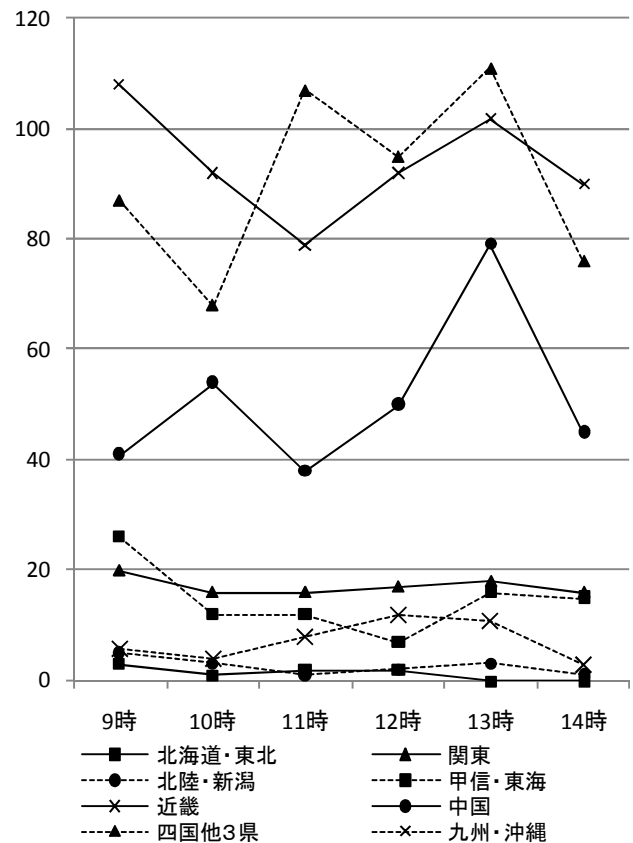
中土佐 IC 春・休日は 10 時台に 760 台でピークを迎えている。

全体の合計は 4210 台で、そのうち高知が 2538 台で全体の 60%を占めている。

調査地別ブロック交通量を見ると、春の調査の中で最も近畿の割合が多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に近畿、13 時台に四国他 3 県と中国がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯を見ると、9 時台に大阪、12 時台に兵庫、愛媛、13 時台に香川、岡山、広島などとなっている。



発地別交通量 (上位 8 県) (台)

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	大阪府	59	56	34	36	47	45	277
2	香川県	36	34	51	36	56	25	238
3	兵庫県	32	25	31	40	38	35	201
3	愛媛県	34	24	36	42	36	29	201
5	岡山県	22	33	21	23	44	26	169
6	徳島県	17	10	20	17	19	22	105
7	広島県	13	18	13	17	30	13	104
8	愛知県	17	8	6	5	10	8	54
合計		230	208	212	216	280	203	1349

2-2 高知自動車道 平日

2-2-1 高知 I C 調査日 2011.5.18 (水)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	0	0	0	0	0	0	0
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4		宮城県	0	0	1	0	0	0	1
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6		山形県	0	0	0	0	0	0	0
7		福島県	0	0	1	0	0	0	1
8	関東	茨城県	0	0	0	0	0	0	0
9		栃木県	0	0	0	0	0	0	0
10		群馬県	0	0	0	0	0	0	0
11		埼玉県	1	1	0	0	0	0	2
12		千葉県	0	0	0	1	0	0	1
13		東京都	3	0	0	1	0	1	5
14		神奈川県	3	1	1	0	1	2	8
15	北陸・新潟	新潟県	0	0	0	0	0	2	2
16		富山県	0	0	1	0	0	0	1
17		石川県	0	0	0	0	0	0	0
18		福井県	0	0	0	0	0	0	0
19	甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	0	0	0
20		長野県	0	0	0	0	0	0	0
21		岐阜県	0	1	1	0	0	1	3
22		静岡県	2	2	0	0	1	1	6
23		愛知県	2	4	2	4	3	1	16
24	近畿	三重県	1	0	0	0	0	0	1
25		滋賀県	0	0	1	0	0	0	1
26		京都府	0	4	1	2	1	3	11
27		大阪府	5	13	5	10	13	7	53
28		兵庫県	7	4	5	4	6	4	30
29		奈良県	0	1	0	0	1	1	3
30		和歌山県	1	0	0	1	1	2	5
31	中国	鳥取県	0	0	0	0	0	0	0
32		島根県	0	1	0	0	0	0	1
33		岡山県	7	13	11	7	5	10	53
34		広島県	9	9	3	5	6	7	39
35		山口県	0	2	1	0	2	1	6
36	四国	徳島県	12	6	8	4	7	11	48
37		香川県	56	59	45	36	35	46	277
38		愛媛県	40	37	35	31	24	28	195
39		高知県	292	222	230	211	205	218	1378
40	九州・沖縄	福岡県	1	2	3	0	0	1	7
41		佐賀県	0	0	0	0	0	0	0
42		長崎県	0	0	0	0	0	0	0
43		熊本県	0	0	0	0	1	2	3
44		大分県	0	0	0	1	0	0	1
45		宮崎県	1	0	0	0	0	0	1
46		鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0
47	沖縄県	0	0	1	0	0	0	1	
合計			443	382	356	318	312	349	2160

ブロック別時間帯交通量（台）

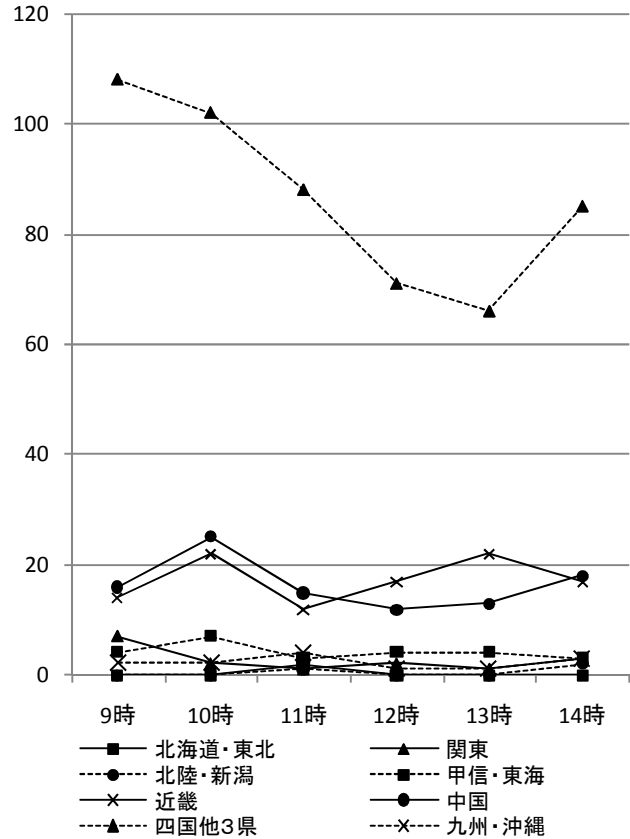
高知 IC 春・平日は9時台に443台でピークを迎えている。

すべての台数の合計が2160台で、このうち当県は全体の64%を占める結果となっている。

調査地別ブロック交通量の四国他3県の割合は66%と、南国 IC 平日について多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9時台に四国他3県、10時台に中国がピークを迎えている。

上位8県の交通量でピークを迎えた時間帯は、9時台に愛媛、徳島、10時台に香川、岡山が、大阪は10時と13時に、広島は9時と10時だった。



発地別交通量（上位8県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	56	59	45	36	35	46	277
2	愛媛県	40	37	35	31	24	28	195
3	大阪府	5	13	5	10	13	7	53
3	岡山県	7	13	11	7	5	10	53
5	徳島県	12	6	8	4	7	11	48
6	広島県	9	9	3	5	6	7	39
7	兵庫県	7	4	5	4	6	4	30
8	愛知県	2	4	2	4	3	1	16
合計		138	145	114	101	99	114	711

2-2-2 南国IC 調査日 2011.5.18 (水)

時間帯別交通量 (台)

No	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計	
1	北海道・東北	北海道	0	0	0	0	0	0	
2		青森県	0	0	0	0	0	0	
3		岩手県	0	0	0	0	0	0	
4		宮城県	0	0	0	0	0	0	
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	
6		山形県	0	0	0	0	0	0	
7		福島県	0	0	0	0	0	0	
8	関東	茨城県	0	0	0	0	0	0	
9		栃木県	0	0	0	0	0	0	
10		群馬県	0	0	0	0	0	1	
11		埼玉県	0	1	0	1	1	0	
12		千葉県	0	0	0	0	0	0	
13		東京都	0	0	2	0	1	0	
14		神奈川県	2	1	0	1	0	1	
15	北陸・新潟	新潟県	0	0	0	0	0	0	
16		富山県	0	0	0	0	0	0	
17		石川県	0	0	0	0	0	0	
18		福井県	0	0	0	0	0	0	
19	甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	0	0	
20		長野県	1	0	0	0	0	0	
21		岐阜県	0	1	0	0	0	1	
22		静岡県	0	0	0	1	0	0	
23		愛知県	1	2	0	3	1	0	
24	近畿	三重県	0	1	0	0	1	1	
25		滋賀県	0	1	2	2	0	0	
26		京都府	1	0	1	2	1	0	
27		大阪府	10	12	16	9	12	2	
28		兵庫県	4	5	2	1	2	2	
29		奈良県	0	1	0	0	1	0	
30		和歌山県	0	1	0	0	0	0	
31	中国	鳥取県	0	0	1	0	0	0	
32		島根県	0	0	0	0	0	0	
33		岡山県	8	9	9	7	5	1	
34		広島県	6	10	7	10	4	1	
35		山口県	1	1	1	0	0	1	
36	四国	徳島県	13	7	11	6	3	10	
37		香川県	52	49	43	35	33	18	
38		愛媛県	33	21	33	23	17	18	
39		高知県	122	120	87	101	95	116	
40	九州・沖縄	福岡県	1	2	1	0	0	1	
41		佐賀県	0	0	0	0	0	0	
42		長崎県	0	0	0	0	0	0	
43		熊本県	0	1	0	0	0	1	
44		大分県	1	0	0	0	0	1	
45		宮崎県	0	0	0	0	0	0	
46		鹿児島県	0	0	0	0	0	0	
47		沖縄県	0	0	0	0	0	0	
合計			256	246	216	202	177	176	1273

ブロック別時間帯交通量（台）

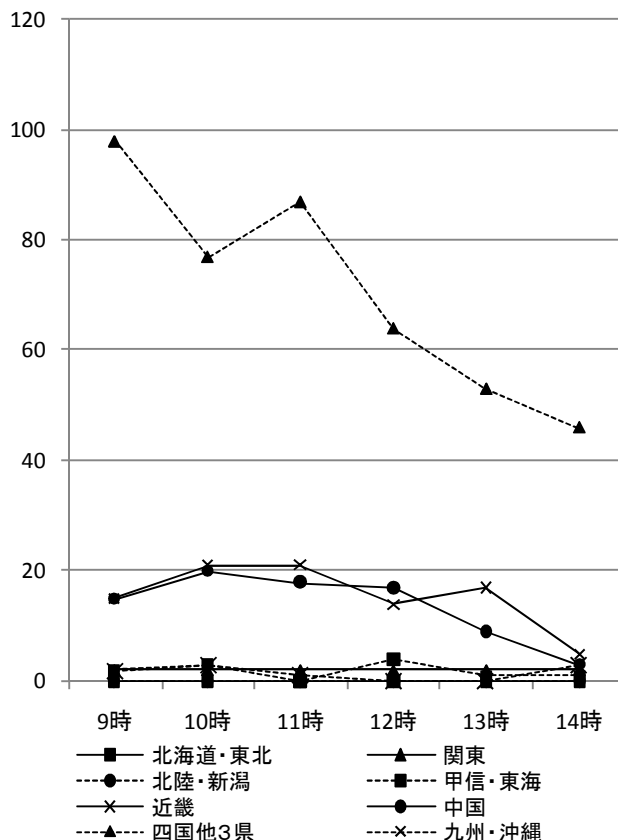
南国 IC 春・平日は9時台に256台でピークを迎えている。

すべての台数の合計は1273台で、春の調査の中で、最も台数が少ない結果となっている。そのうち、高知は641台で全体の50%を占めている。

調査地別ブロック交通量では四国他3県の割合が67%と、6回行った調査の中で最も多くなっている。

ブロック別時間帯交通量では、9時台に四国他3県、10時台に中国、近畿は10時と11時にピークを迎えている。

上位8県の発地別交通量でピークを迎えた時間帯をみると、9時台に香川、徳島、10時台に広島、11時台に大阪で、愛媛は9時と11時に、岡山は10時と12時だった。



発地別交通量（上位8県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	52	49	43	35	33	18	230
2	愛媛県	33	21	33	23	17	18	145
3	大阪府	10	12	16	9	12	2	61
4	徳島県	13	7	11	6	3	10	50
5	岡山県	8	9	9	7	5	1	39
6	広島県	6	10	7	10	4	1	38
7	兵庫県	4	5	2	1	2	2	16
8	愛知県	1	2	0	3	1	0	7
合計		127	115	121	94	77	52	586

2-2-3 中土佐 I C 平日 調査日 201.5.13 (金)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	0	0	1	0	0	0	1
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	0	0	0	0	1	1
4		宮城県	0	0	0	0	0	0	0
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6		山形県	0	1	0	0	0	0	1
7		福島県	0	0	0	0	0	0	0
8	関東	茨城県	0	0	0	0	0	0	0
9		栃木県	1	0	0	0	0	0	1
10		群馬県	0	0	1	0	0	0	1
11		埼玉県	0	0	0	0	0	0	0
12		千葉県	0	0	1	1	0	1	3
13		東京都	0	0	0	2	1	0	3
14		神奈川県	0	1	0	1	0	1	3
15	北陸・新潟	新潟県	0	0	0	1	0	0	1
16		富山県	0	0	0	0	0	0	0
17		石川県	0	0	0	0	0	1	1
18		福井県	2	0	0	0	0	0	2
19	甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	0	0	0
20		長野県	0	0	0	0	0	1	1
21		岐阜県	0	2	0	0	1	0	3
22		静岡県	0	1	0	0	0	0	1
23		愛知県	2	1	0	1	1	1	6
24		近畿	三重県	2	0	0	1	1	0
25	滋賀県		0	1	1	0	0	0	2
26	京都府		0	1	2	0	2	0	5
27	大阪府		2	4	4	1	8	7	26
28	兵庫県		1	5	3	2	5	3	19
29	奈良県		2	1	0	1	0	2	6
30	和歌山県		1	0	0	0	0	0	1
31	中国	鳥取県	0	0	0	0	2	0	2
32		島根県	0	0	0	1	0	0	1
33		岡山県	5	2	3	4	6	3	23
34		広島県	4	2	5	3	1	2	17
35		山口県	1	1	1	0	0	0	3
36	四国	徳島県	5	2	5	3	3	4	22
37		香川県	14	19	15	8	6	5	67
38		愛媛県	12	13	8	15	7	9	64
39		高知県	309	363	330	278	275	268	1823
40	九州・沖縄	福岡県	0	0	0	0	1	0	1
41		佐賀県	0	0	0	0	0	0	0
42		長崎県	0	0	0	0	0	0	0
43		熊本県	0	0	0	1	0	0	1
44		大分県	1	0	2	0	0	0	3
45		宮崎県	0	0	0	0	0	0	0
46		鹿児島県	1	0	0	0	0	0	1
47		沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
合計			365	420	382	324	320	309	2120

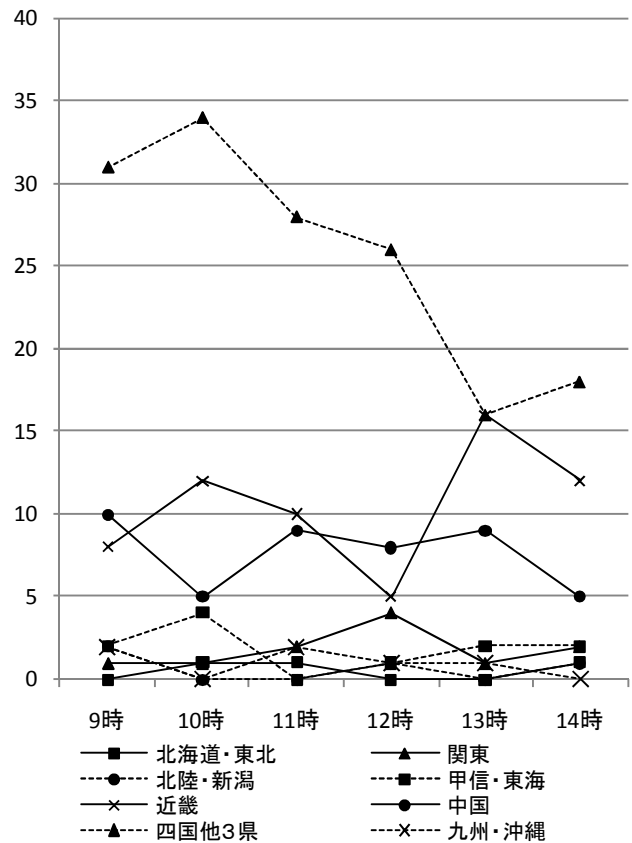
ブロック別時間帯交通量（台）

中土佐 IC 春・平日は、10 時台に 420 台でピークを迎えている。

すべての台数の合計が 2120 台で、そのうち高知が 86%を占めており、全調査の中で最も多い結果となっている。

ブロック別交通量では、10 時台に四国他 3 県、13 時台に近畿がピークを迎えている。

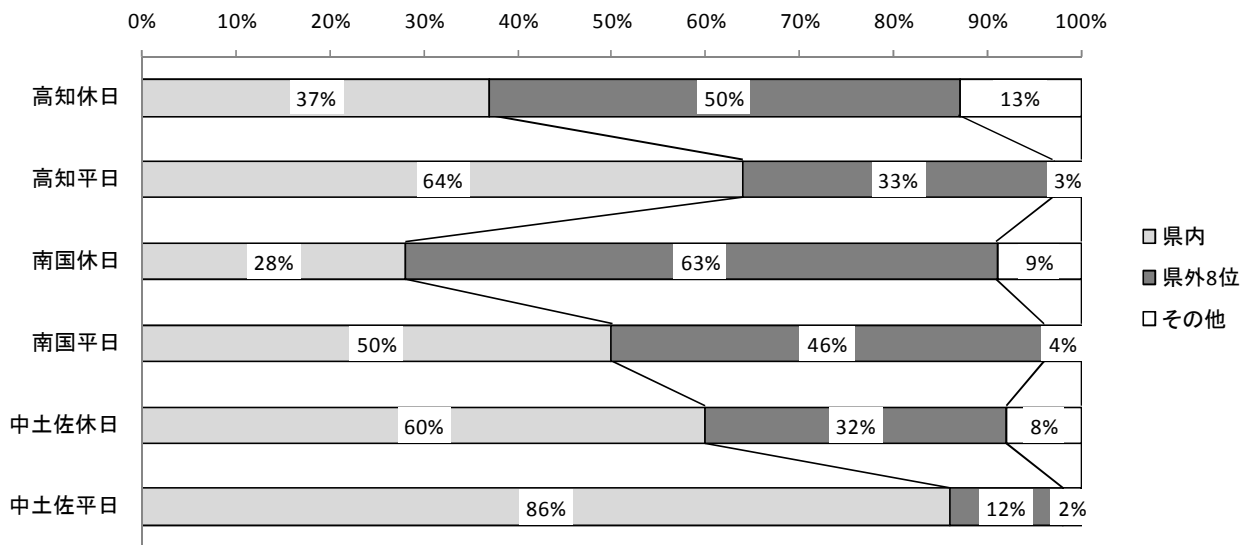
上位 8 県のピークを迎えた時間帯を見ると、10 時台に香川、兵庫、11 時台に広島、12 時台に愛媛、13 時台に大阪、岡山だった。



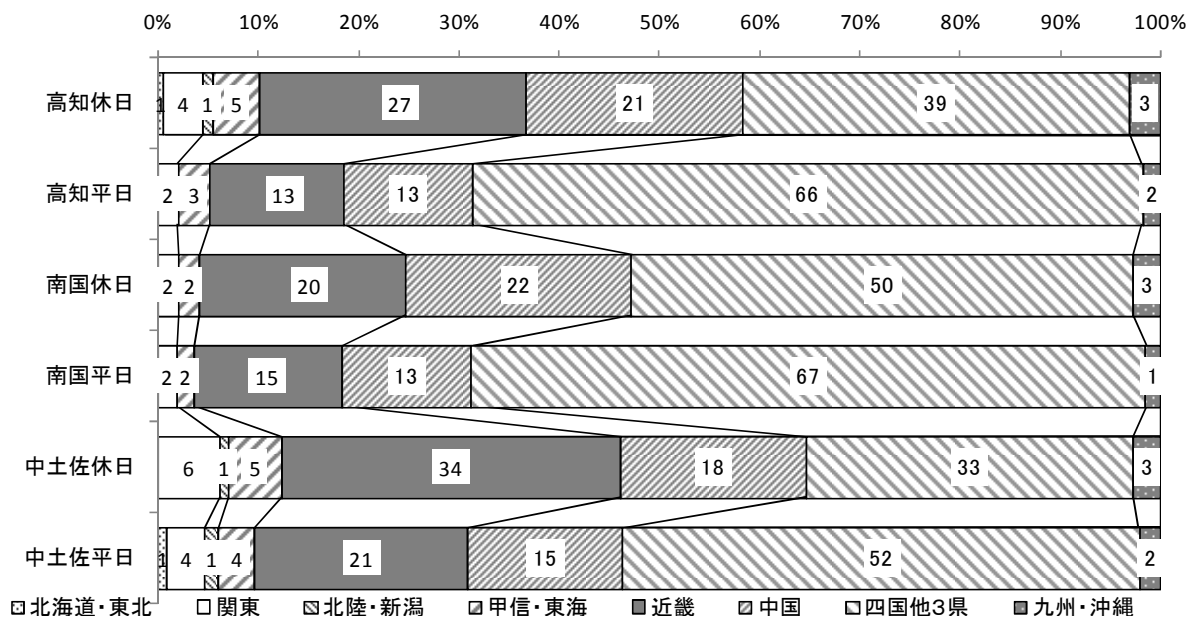
発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	14	19	15	8	6	5	67
2	愛媛県	12	13	8	15	7	9	64
3	大阪府	2	4	4	1	8	7	26
4	岡山県	5	2	3	4	6	3	23
5	徳島県	5	2	5	3	3	4	22
6	兵庫県	1	5	3	2	5	3	19
7	広島県	4	2	5	3	1	2	17
8	愛知県	2	1	0	1	1	1	6
8	奈良県	2	1	0	1	0	2	6
合計		47	49	43	38	37	36	250

(参考 1-1) 調査地別交通量割合 (%)



(参考 1-2) 調査地別ブロック交通量割合 (%)



3 2011年 夏 調査

3-1 高知自動車道 休日

3-1-1 高知IC 調査日 2011.8.13 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	0	0	1	0	1	1	3
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4		宮城県	0	0	0	2	0	1	3
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6		山形県	0	0	0	0	0	0	0
7		福島県	1	0	1	0	1	0	3
8	関東	茨城県	0	0	0	0	0	0	0
9		栃木県	0	0	0	0	0	0	0
10		群馬県	0	0	0	0	0	0	0
11		埼玉県	2	2	2	6	1	3	16
12		千葉県	0	2	2	3	1	2	10
13		東京都	2	4	6	3	2	7	24
14		神奈川県	3	6	6	2	1	3	21
15	北陸・新潟	新潟県	0	0	0	0	0	1	1
16		富山県	0	0	0	2	1	1	4
17		石川県	1	0	1	2	0	1	5
18		福井県	0	3	0	1	2	1	7
19	甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	1	0	1
20		長野県	1	1	0	0	0	0	2
21		岐阜県	0	2	4	3	1	0	10
22		静岡県	0	0	4	2	0	2	8
23		愛知県	10	8	12	12	5	9	56
24	近畿	三重県	2	1	3	0	1	1	8
25		滋賀県	0	1	3	0	1	3	8
26		京都府	4	6	8	9	5	12	44
27		大阪府	31	27	33	25	21	38	175
28		兵庫県	17	29	20	33	13	39	151
29		奈良県	3	10	0	2	4	4	23
30		和歌山県	1	0	1	1	2	2	7
31	中国	鳥取県	1	3	4	1	2	2	13
32		島根県	0	0	0	1	3	2	6
33		岡山県	7	20	22	27	10	22	108
34		広島県	5	15	16	14	11	25	86
35		山口県	0	1	1	2	4	3	11
36	四国	徳島県	14	25	27	23	19	10	118
37		香川県	34	49	53	49	37	39	261
38		愛媛県	37	46	60	39	17	25	224
39		高知県	156	244	225	178	202	228	1233
40	九州・沖縄	福岡県	1	2	2	3	3	4	15
41		佐賀県	0	1	0	1	2	1	5
42		長崎県	1	0	1	0	1	1	4
43		熊本県	0	0	3	1	0	1	5
44		大分県	1	0	1	2	0	3	7
45		宮崎県	0	0	0	0	2	1	3
46		鹿児島県	0	1	0	0	0	0	1
47		沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
合計			335	509	522	449	377	498	2690

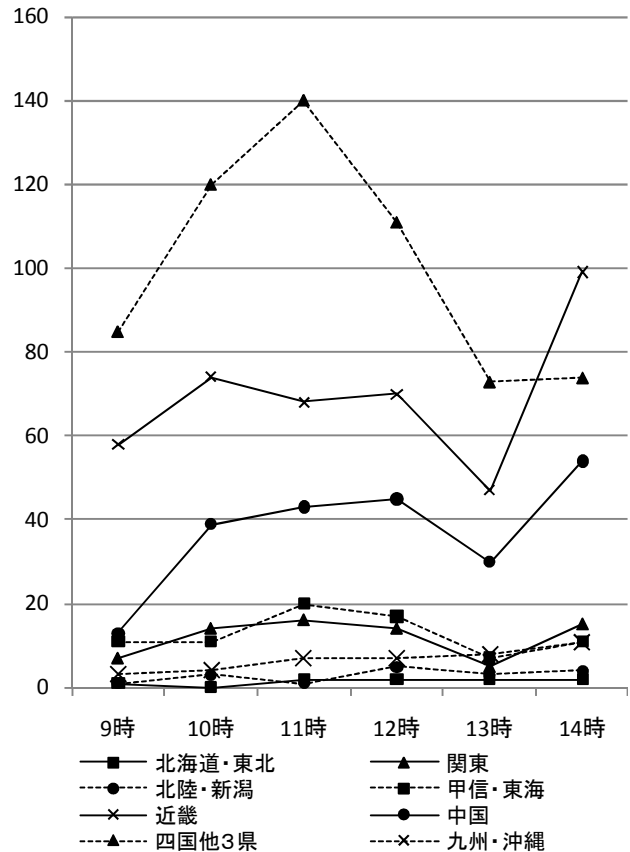
ブロック別時間帯交通量（台）

高知 IC 夏・休日は 11 時台に 522 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 2690 台で、そのうち高知を除く上位 8 位までの都道府県（上位 8 県：以下同様）の占める割合が 44%で、高知は 46%を占めている。

ブロック別時間帯交通量では、11 時台に四国他 3 県、甲信・東海、関東、14 時台に近畿、中国、九州・沖縄がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、11 時台に香川、愛媛、徳島、12 時台に岡山、14 時台に兵庫、大阪、広島などとなっている。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	34	49	53	49	37	39	261
2	愛媛県	37	46	60	39	17	25	224
3	大阪府	31	27	33	25	21	38	175
4	兵庫県	17	29	20	33	13	39	151
5	徳島県	14	25	27	23	19	10	118
6	岡山県	7	20	22	27	10	22	108
7	広島県	5	15	16	14	11	25	86
8	愛知県	10	8	12	12	5	9	56
合計		155	219	243	222	133	207	1179

3-1-2 南国IC 調査日 2011.8.13 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	0	1	1	0	0	2	4
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4		宮城県	0	1	1	0	0	1	3
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6		山形県	0	0	0	0	0	0	0
7		福島県	1	1	1	0	0	0	3
8	関東	茨城県	0	0	1	2	2	0	5
9		栃木県	0	0	0	1	0	0	1
10		群馬県	0	2	2	0	0	0	4
11		埼玉県	1	2	2	1	2	2	10
12		千葉県	2	3	1	1	3	4	14
13		東京都	3	1	3	3	2	1	13
14		神奈川県	4	6	13	3	8	4	38
15	北陸・新潟	新潟県	0	1	0	0	0	0	1
16		富山県	0	0	0	1	1	0	2
17		石川県	0	0	0	0	1	0	1
18		福井県	0	0	1	0	1	1	3
19	甲信・東海	山梨県	1	0	0	0	0	0	1
20		長野県	1	0	0	0	1	0	2
21		岐阜県	1	2	1	2	1	0	7
22		静岡県	1	4	1	1	0	1	8
23		愛知県	10	7	3	3	6	1	30
24	近畿	三重県	2	2	3	0	5	1	13
25		滋賀県	0	3	3	2	0	0	8
26		京都府	6	11	3	3	8	4	35
27		大阪府	29	52	56	27	28	39	231
28		兵庫県	25	32	30	20	25	24	156
29		奈良県	4	7	4	8	1	3	27
30		和歌山県	4	3	3	1	2	0	13
31	中国	鳥取県	1	2	1	1	0	0	5
32		島根県	0	1	3	2	1	1	8
33		岡山県	36	27	32	18	17	12	142
34		広島県	20	23	21	17	25	12	118
35		山口県	1	3	5	3	2	3	17
36	四国	徳島県	20	36	31	13	25	13	138
37		香川県	67	76	74	65	40	33	355
38		愛媛県	60	74	65	52	39	29	319
39		高知県	145	160	191	117	167	190	970
40	九州・沖縄	福岡県	2	4	3	4	2	5	20
41		佐賀県	0	0	1	0	0	0	1
42		長崎県	0	0	1	0	0	0	1
43		熊本県	1	2	0	1	0	1	5
44		大分県	3	0	0	0	0	0	3
45		宮崎県	2	1	1	2	1	1	8
46		鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0
47		沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
合計			453	550	562	374	416	388	2743

ブロック別時間帯交通量(台)

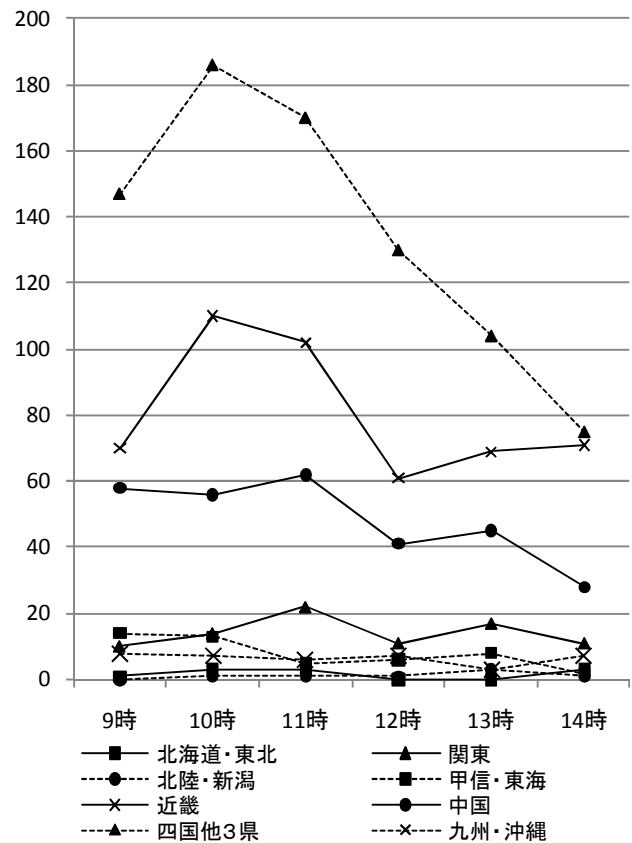
南国 IC 夏・休日は 11 時台に 562 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 2,743 台で、そのうち高知は 970 台で全体の 35%を占めている。

調査地別交通量を見ると、県外上位 8 位の割合が 55%と、今回の調査の中で最も多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に、甲信・東海、九州・沖縄、10 時台に四国他 3 県と近畿、11 時台に中国と関東がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、9 時台に岡山、10 時台に香川、愛媛、徳島、兵庫、11 時台に大阪、神奈川、13 時台に広島などとなっている。



発地別交通量 (上位 8 県) (台)

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	67	76	74	65	40	33	355
2	愛媛県	60	74	65	52	39	29	319
3	大阪府	29	52	56	27	28	39	231
4	兵庫県	25	32	30	20	25	24	156
5	岡山県	36	27	32	18	17	12	142
6	徳島県	20	36	31	13	25	13	138
7	広島県	20	23	21	17	25	12	118
8	神奈川県	4	6	13	3	8	4	38
合計		261	326	322	215	207	166	1497

3-1-3 中土佐 I C 調査日 2011.8.13 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	1	1	1	0	1	1	5
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4		宮城県	1	0	0	0	1	0	2
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6		山形県	0	0	0	0	0	0	0
7		福島県	0	0	0	0	0	0	0
8	関東	茨城県	0	0	2	1	1	0	4
9		栃木県	0	0	0	0	0	0	0
10		群馬県	0	0	0	0	1	0	1
11		埼玉県	2	1	3	1	0	0	7
12		千葉県	2	2	1	1	1	1	8
13		東京都	3	4	7	6	4	5	29
14		神奈川県	6	4	9	4	4	8	35
15	北陸・新潟	新潟県	0	0	0	0	0	0	0
16		富山県	1	0	0	0	0	0	1
17		石川県	1	0	0	1	0	0	2
18		福井県	0	1	0	0	0	0	1
19	甲信・東海	山梨県	2	0	0	1	0	0	3
20		長野県	3	0	0	1	1	1	6
21		岐阜県	2	2	2	1	0	3	10
22		静岡県	5	2	2	0	2	1	12
23		愛知県	13	5	8	15	14	4	59
24		近畿	三重県	3	4	1	0	0	1
25	滋賀県		4	1	2	2	2	2	13
26	京都府		11	8	6	7	4	7	43
27	大阪府		56	59	42	53	66	44	320
28	兵庫県		27	25	22	33	24	22	153
29	奈良県		5	5	4	2	2	3	21
30	和歌山県		2	1	0	2	1	0	6
31	中国	鳥取県	0	4	1	1	2	3	11
32		島根県	0	0	0	0	1	0	1
33		岡山県	23	23	24	32	20	14	136
34		広島県	8	9	3	9	12	15	56
35		山口県	2	2	2	3	3	0	12
36	四国	徳島県	5	14	15	16	10	16	76
37		香川県	43	35	53	45	43	29	248
38		愛媛県	21	17	16	10	16	16	96
39		高知県	486	414	397	439	469	513	2718
40	九州・沖縄	福岡県	1	2	4	3	2	2	14
41		佐賀県	1	0	1	0	0	0	2
42		長崎県	0	0	0	0	1	0	1
43		熊本県	0	0	1	0	1	0	2
44		大分県	1	1	1	1	0	0	4
45		宮崎県	1	1	1	0	0	0	3
46		鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0
47		沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
合計			742	647	631	690	709	711	4130

ブロック別時間帯交通量(台)

中土佐 IC 夏・休日は9時台に742台でピークを迎えている。

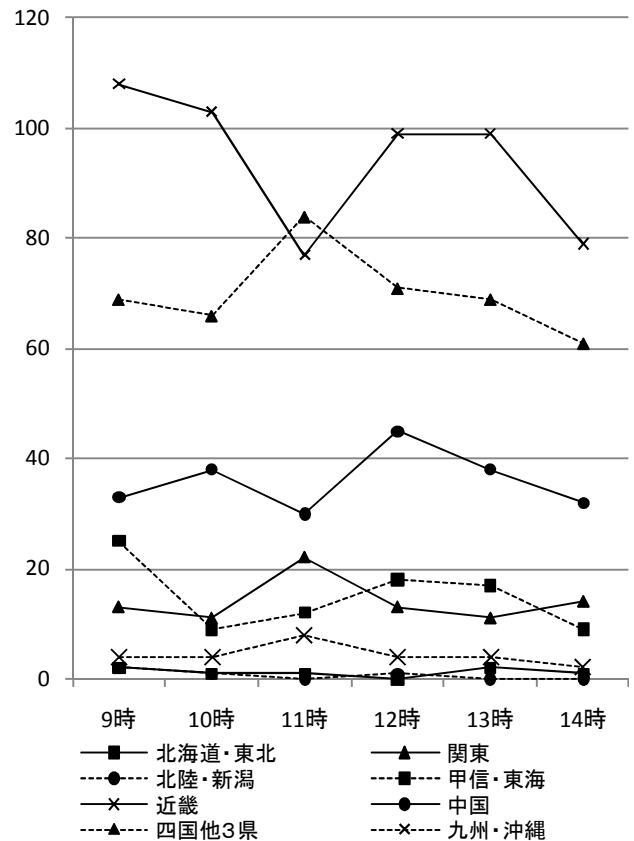
全体の合計台数は4130台で、そのうち高知は2718台で全体の66%を占めている。

調査地別ブロック交通量を見ると、近畿が40%と今回の調査では唯一、四国他3県を上回り、多くなっている。

ブロック別時間帯交通量では、9時台に近畿、甲信・東海、11時台に四国他3県と関東、12時台に中国がピークを迎えている。

上位8県の交通量でピークを迎えた時間帯を見ると、9時台に愛媛、11時台に香川、12時台に兵庫、岡山、愛知、13時台に大阪、14時台に広島などとなった。

また、今回の調査全体で見ると他のICはすべて1位が香川、2位が愛媛となっているが、中土佐 IC 夏・休日のみ大阪が1位となっている。



発地別交通量(上位8県)(台)

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	大阪府	56	59	42	53	66	44	320
2	香川県	43	35	53	45	43	29	248
3	兵庫県	27	25	22	33	24	22	153
4	岡山県	23	23	24	32	20	14	136
5	愛媛県	21	17	16	10	16	16	96
6	徳島県	5	14	15	16	10	16	76
7	愛知県	13	5	8	15	14	4	59
8	広島県	8	9	3	9	12	15	56
合計		196	187	183	213	205	160	1144

3-2 高知自動車道 平日

3-2-1 高知IC 調査日 2011.8.26 (金)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	0	0	0	1	0	0	1
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4		宮城県	0	0	0	0	0	0	0
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6		山形県	0	0	0	0	0	0	0
7		福島県	0	0	0	0	0	0	0
8	関東	茨城県	0	0	0	0	0	0	0
9		栃木県	0	0	1	1	0	0	2
10		群馬県	1	0	0	0	0	0	1
11		埼玉県	0	0	0	0	1	0	1
12		千葉県	0	2	0	0	1	0	3
13		東京都	2	1	2	1	0	1	7
14		神奈川県	0	1	1	0	3	0	5
15	北陸・新潟	新潟県	0	0	0	0	0	0	0
16		富山県	0	0	0	0	0	1	1
17		石川県	0	0	0	0	0	1	1
18		福井県	0	0	0	0	1	0	1
19	甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	0	0	0
20		長野県	0	0	0	0	0	0	0
21		岐阜県	0	1	0	0	2	1	4
22		静岡県	0	0	1	0	0	1	2
23		愛知県	1	1	0	0	1	1	4
24		三重県	0	0	1	0	1	1	3
25	近畿	滋賀県	0	2	0	0	1	1	4
26		京都府	2	4	1	1	5	2	15
27		大阪府	8	19	8	8	16	15	74
28		兵庫県	4	5	7	11	7	7	41
29		奈良県	0	1	2	1	2	0	6
30		和歌山県	1	2	1	1	0	0	5
31	中国	鳥取県	0	3	1	3	0	0	7
32		島根県	1	2	3	1	2	1	10
33		岡山県	18	11	3	6	6	5	49
34		広島県	14	14	7	5	2	3	45
35		山口県	2	1	0	1	0	1	5
36	四国	徳島県	7	24	13	9	11	8	72
37		香川県	71	81	45	61	39	31	328
38		愛媛県	47	39	44	32	31	16	209
39		高知県	175	173	177	162	141	174	1002
40	九州・沖縄	福岡県	1	3	1	2	2	2	11
41		佐賀県	0	1	1	1	0	0	3
42		長崎県	0	0	1	0	0	0	1
43		熊本県	0	1	0	0	0	0	1
44		大分県	0	0	0	0	2	0	2
45		宮崎県	0	0	0	0	0	0	0
46		鹿児島県	0	0	0	0	0	1	1
47		沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
合計			355	392	321	308	277	274	1927

ブロック別時間帯交通量（台）

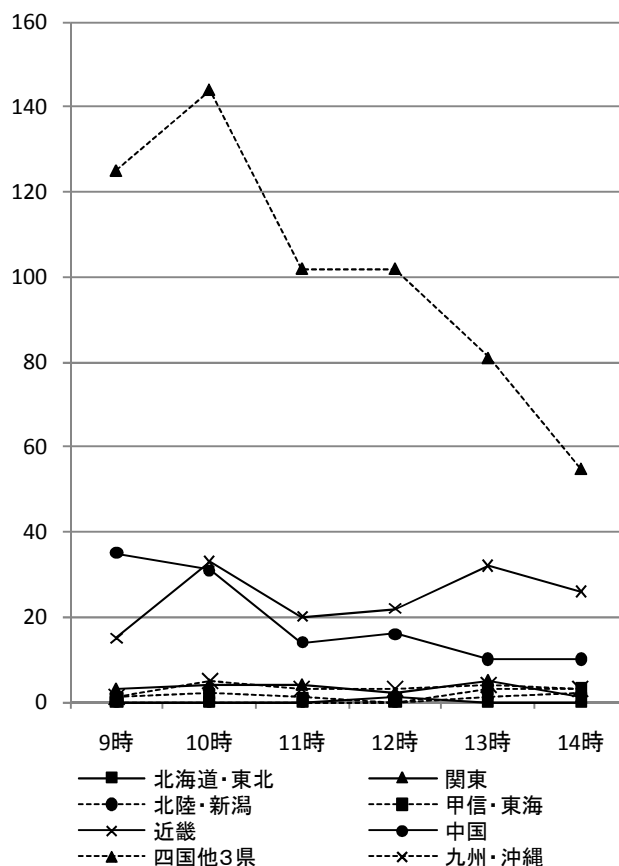
高知 IC 夏・平日は 10 時台に 392 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1927 台で、そのうち高知は 1002 台で、全体の 52%を占める結果となっている。

調査地別ブロック交通量の四国他 3 県の割合は 66%と、今回の調査の中で最も多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に中国、10 時台に四国他 3 県と近畿がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、9 時台に愛媛、岡山、10 時台に香川、徳島、大阪、12 時台に兵庫などとなっている。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	71	81	45	61	39	31	328
2	愛媛県	47	39	44	32	31	16	209
3	大阪府	8	19	8	8	16	15	74
4	徳島県	7	24	13	9	11	8	72
5	岡山県	18	11	3	6	6	5	49
6	広島県	14	14	7	5	2	3	45
7	兵庫県	4	5	7	11	7	7	41
8	京都府	2	4	1	1	5	2	15
合計		171	197	128	133	117	87	833

3-2-2 南国IC 調査日 2011.8.24 (水)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	2	0	0	0	1	0	3
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4		宮城県	0	1	0	0	0	0	1
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6		山形県	0	0	0	0	0	0	0
7		福島県	0	0	0	0	0	0	0
8	関東	茨城県	0	0	1	0	0	0	1
9		栃木県	0	0	0	0	0	0	0
10		群馬県	0	2	0	0	0	0	2
11		埼玉県	0	1	0	0	0	1	2
12		千葉県	0	0	1	0	5	0	6
13		東京都	1	0	1	0	0	1	3
14		神奈川県	4	3	1	2	3	1	14
15	北陸・新潟	新潟県	0	0	0	1	0	0	1
16		富山県	0	0	0	0	0	0	0
17		石川県	0	0	0	0	0	0	0
18		福井県	0	0	0	0	0	0	0
19	甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	1	0	1
20		長野県	0	1	0	0	0	1	2
21		岐阜県	0	0	0	0	0	0	0
22		静岡県	0	2	0	1	0	0	3
23		愛知県	1	3	3	1	2	2	12
24		近畿	三重県	0	0	1	0	0	0
25	滋賀県		1	0	0	0	3	0	4
26	京都府		0	2	1	2	1	0	6
27	大阪府		8	9	10	3	14	8	52
28	兵庫県		6	6	8	6	2	5	33
29	奈良県		1	1	0	2	0	2	6
30	和歌山県		0	0	0	1	1	2	4
31	中国	鳥取県	0	0	1	0	0	0	1
32		島根県	0	0	0	1	2	1	4
33		岡山県	17	14	7	6	7	9	60
34		広島県	8	5	7	6	5	2	33
35		山口県	0	2	0	2	1	0	5
36	四国	徳島県	12	12	13	10	3	6	56
37		香川県	44	64	50	38	34	30	260
38		愛媛県	35	33	31	26	23	12	160
39		高知県	119	115	108	94	124	124	684
40	九州・沖縄	福岡県	0	1	2	0	2	0	5
41		佐賀県	0	0	0	0	0	0	0
42		長崎県	0	0	0	0	0	0	0
43		熊本県	0	0	1	0	0	0	1
44		大分県	1	1	0	1	0	0	3
45		宮崎県	0	0	0	0	1	0	1
46		鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0
47		沖縄県	0	0	0	0	0	0	0
合計			260	278	247	203	235	207	1430

ブロック別時間帯交通量（台）

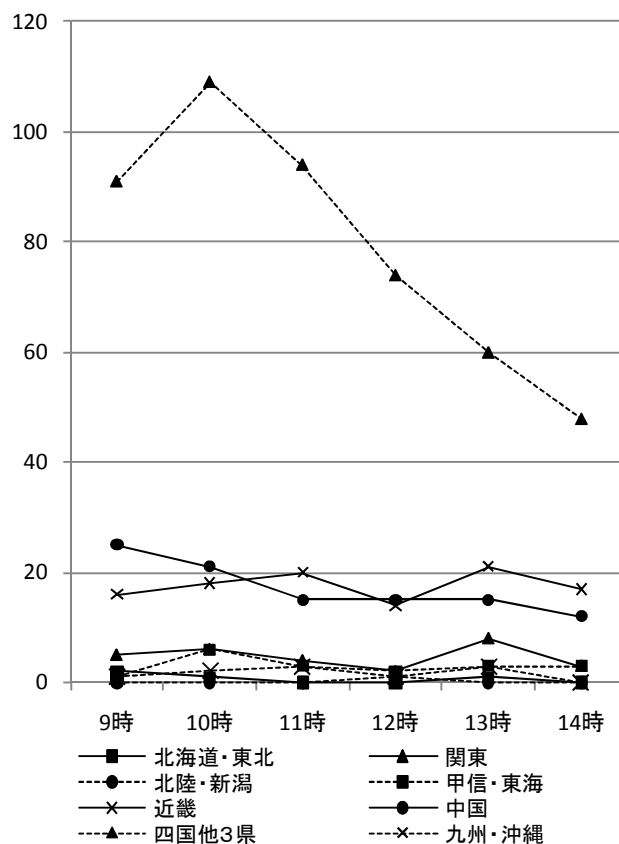
南国 IC 夏・平日は 10 時台に 278 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1430 台で、23 年春と同様に全体で最も台数が少ない結果となっている。そのうち、高知は 684 台で全体の 48%を占めている。

調査地別ブロック交通量では四国他 3 県の割合が 64%と、高知 IC 平日について多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に中国、10 時台に、四国他 3 県、甲信・東海、13 時台に近畿、関東がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯をみると、9 時台に愛媛、岡山、広島、10 時台に香川、11 時台に徳島、兵庫、13 時台に大阪などとなった。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	44	64	50	38	34	30	260
2	愛媛県	35	33	31	26	23	12	160
3	岡山県	17	14	7	6	7	9	60
4	徳島県	12	12	13	10	3	6	56
5	大阪府	8	9	10	3	14	8	52
6	兵庫県	6	6	8	6	2	5	33
6	広島県	8	5	7	6	5	2	33
8	神奈川県	4	3	1	2	3	1	14
合計		134	146	127	97	91	73	668

3-2-3 中土佐 I C 平日 調査日 2011.8.31 (水)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	0	0	0	0	0	0	0
2		青森県	0	0	0	0	0	0	0
3		岩手県	0	0	0	0	0	0	0
4		宮城県	0	0	0	0	0	0	0
5		秋田県	0	0	0	0	0	0	0
6		山形県	0	0	0	0	0	0	0
7		福島県	0	0	0	0	0	0	0
8	関東	茨城県	0	0	0	0	0	0	0
9		栃木県	0	1	0	0	0	0	1
10		群馬県	0	0	0	0	0	0	0
11		埼玉県	0	1	0	0	0	0	1
12		千葉県	0	0	0	0	1	0	1
13		東京都	0	1	1	1	0	0	3
14		神奈川県	1	0	0	0	0	1	2
15	北陸・新潟	新潟県	0	0	0	0	0	0	0
16		富山県	0	0	0	0	0	0	0
17		石川県	0	1	0	0	0	0	1
18		福井県	1	0	0	0	0	0	1
19	甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	0	0	0
20		長野県	0	0	0	0	0	0	0
21		岐阜県	0	0	0	1	0	0	1
22		静岡県	0	0	0	1	0	0	1
23		愛知県	1	1	3	1	0	0	6
24		近畿	三重県	0	1	0	0	0	0
25	滋賀県		0	0	0	0	0	0	0
26	京都府		1	3	0	0	1	0	5
27	大阪府		5	4	4	3	4	4	24
28	兵庫県		1	4	1	3	1	4	14
29	奈良県		2	1	1	0	0	0	4
30	和歌山県		0	0	1	0	1	0	2
31	中国	鳥取県	0	0	0	0	1	0	1
32		島根県	0	1	0	0	1	0	2
33		岡山県	5	2	4	4	5	1	21
34		広島県	2	1	5	2	2	1	13
35		山口県	0	0	0	0	0	0	0
36	四国	徳島県	9	5	5	2	4	1	26
37		香川県	19	16	23	17	9	6	90
38		愛媛県	8	12	5	13	4	12	54
39		高知県	348	377	320	290	296	297	1928
40	九州・沖縄	福岡県	0	0	0	2	0	0	2
41		佐賀県	2	0	0	1	0	0	3
42		長崎県	0	0	0	0	0	1	1
43		熊本県	1	0	0	2	0	0	3
44		大分県	0	1	0	0	0	0	1
45		宮崎県	0	0	0	0	0	1	1
46		鹿児島県	0	0	0	0	0	0	0
47		沖縄県	0	0	0	0	1	0	1
合計			406	433	373	343	331	329	2215

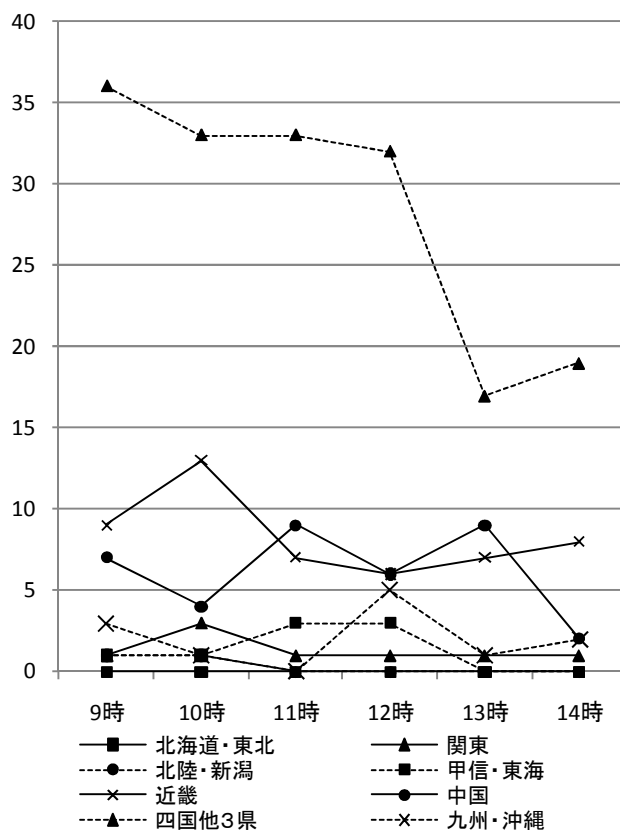
ブロック別時間帯交通量（台）

中土佐 IC 夏・平日は、10 時台に 433 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 2215 台で、そのうち高知が 1928 台と 87% を占め、23 年春と同様に今回の調査の中で最も多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に四国他 3 県、10 時台に近畿、12 時台に九州・沖縄がピークを迎えている。

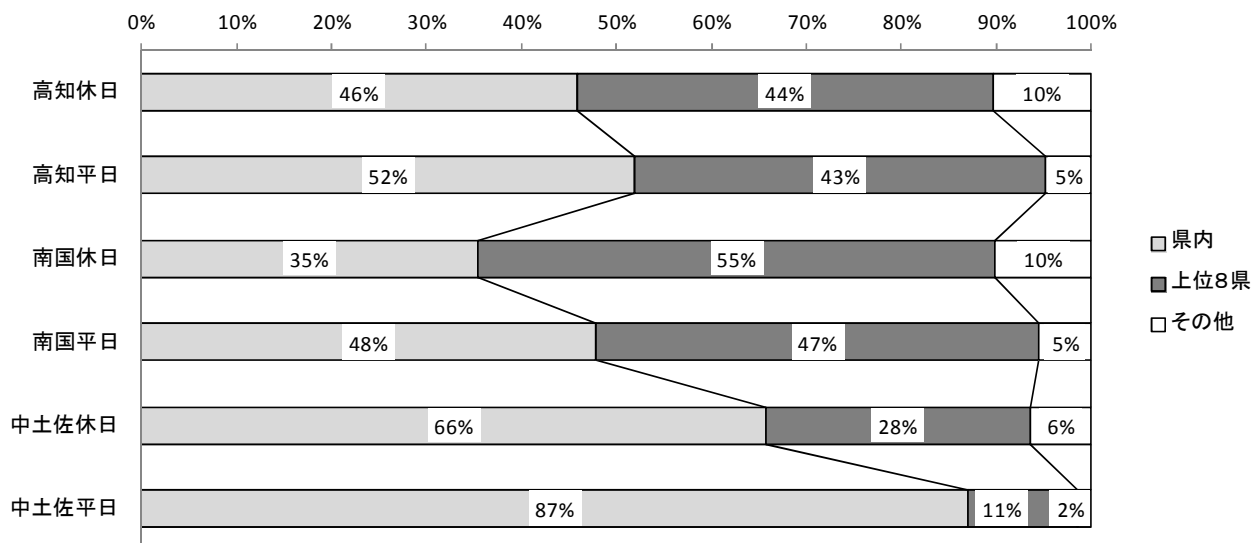
上位 8 県のピークを迎えた時間帯を見ると、9 時台に徳島、大阪、11 時台に香川、広島、愛知、12 時台に愛媛などとなっている。



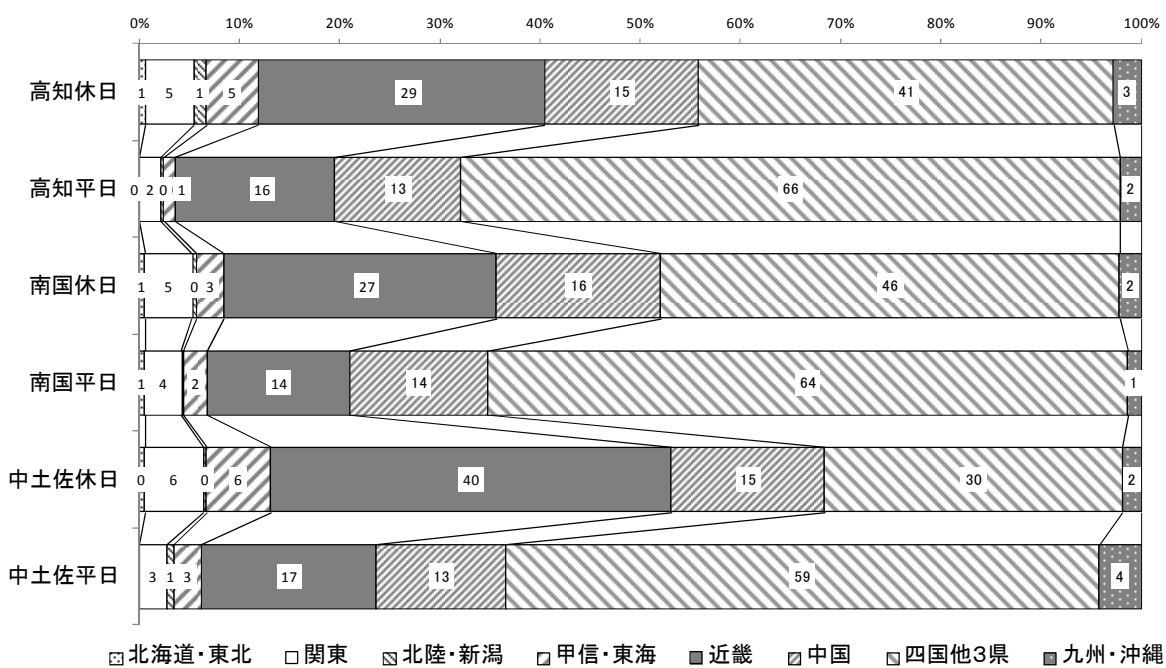
発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	19	16	23	17	9	6	90
2	愛媛県	8	12	5	13	4	12	54
3	徳島県	9	5	5	2	4	1	26
4	大阪府	5	4	4	3	4	4	24
5	岡山県	5	2	4	4	5	1	21
6	兵庫県	1	4	1	3	1	4	14
7	広島県	2	1	5	2	2	1	13
8	愛知県	1	1	3	1	0	0	6
合計		50	45	50	45	29	29	248

(参考 2-1) 調査地別交通量割合 (%)



(参考 2-2) 調査地別ブロック交通量割合 (%) ※1%未満は0で表示されています



4 2011年 秋 調査

4-1 高知自動車道 休日

4-1-1 高知 IC 調査日 2011.10.29 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計	
1	北海道・東北	北海道								
2		青森県								
3		岩手県								
4		宮城県								
5		秋田県								
6		山形県								
7		福島県		1					1	
8	関東	茨城県					1		1	
9		栃木県						1	1	
10		群馬県	1						1	
11		埼玉県						1	1	
12		千葉県						2	2	
13		東京都	2	1			1		4	
14		神奈川県	1		2	3			6	
15	北陸・新潟	新潟県								
16		富山県	1				1		2	
17		石川県		1					1	
18		福井県								
19	甲信・東海	山梨県								
20		長野県						1	1	
21		岐阜県	1		1	1			3	
22		静岡県	1		2	1	2		6	
23		愛知県	2	1	3			5	11	
24		近畿	三重県			2	1	1	1	5
25			滋賀県		1		1	2		4
26	京都府		2	1	1	4	4	3	15	
27	大阪府		5	12	10	8	13	10	58	
28	兵庫県		5	18	10	10	5	9	57	
29	奈良県			1	1	1	1	1	5	
30	和歌山県			1	2	1	2		6	
31	中国	鳥取県		1	2				3	
32		島根県			2	1	4	1	8	
33		岡山県	10	7	12	11	4	7	51	
34		広島県	5	7	11	6	6	7	42	
35		山口県		2	1		2		5	
36	四国	徳島県	13	18	21	18	17	6	93	
37		香川県	38	30	43	40	24	21	196	
38		愛媛県	24	31	46	36	31	23	191	
39		高知県	244	231	198	201	209	216	1299	
40	九州・沖縄	福岡県	1		2	1			4	
41		佐賀県								
42		長崎県		1	2				3	
43		熊本県		1					1	
44		大分県				2		1	3	
45		宮崎県				1		1	2	
46		鹿児島県								
47		沖縄県								
合計			356	367	374	348	330	317	2092	

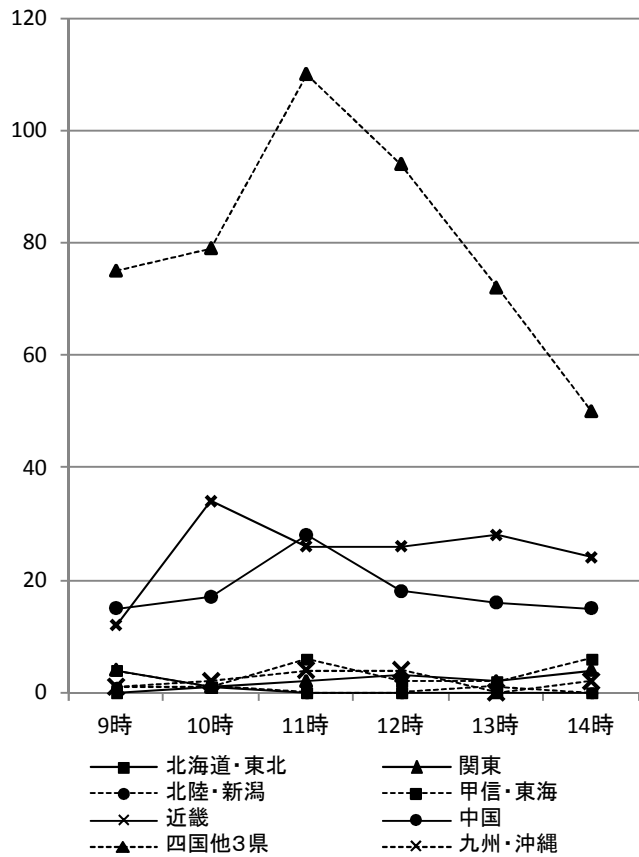
ブロック別時間帯交通量（台）

高知 IC 秋・休日は、11 時台に 374 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 2092 台で、そのうち高知を除く上位 8 位までの都道府県（上位 8 県：以下同様）の占める割合が 34%、高知は 62%を占めている。

ブロック別時間帯交通量では、10 時台に近畿、11 時台に四国他 3 県、中国がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、10 時台に兵庫、11 時台に香川、愛媛、徳島、岡山、広島、13 時台に大阪となっている。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	38	30	43	40	24	21	196
2	愛媛県	24	31	46	36	31	23	191
3	徳島県	13	18	21	18	17	6	93
4	大阪府	5	12	10	8	13	10	58
5	兵庫県	5	18	10	10	5	9	57
6	岡山県	10	7	12	11	4	7	51
7	広島県	5	7	11	6	6	7	42
8	京都府	2	1	1	4	4	3	15
合計		102	124	154	133	104	86	703

4-1-2 南国IC 調査日 2011.10.29 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道			1				1
2		青森県							
3		岩手県							
4		宮城県							
5		秋田県							
6		山形県							
7		福島県							
8	関東	茨城県							
9		栃木県							
10		群馬県	1	1					2
11		埼玉県	1		1				2
12		千葉県		1	2		1	3	7
13		東京都	2		7				9
14		神奈川県	1	1			1		3
15	北陸・新潟	新潟県							
16		富山県							
17		石川県							
18		福井県	1	1					2
19	甲信・東海	山梨県							
20		長野県	1		1				2
21		岐阜県					1		1
22		静岡県				1		1	2
23		愛知県	1		1	2	3		7
24	近畿	三重県	1	1		1		1	4
25		滋賀県	1		1	1			3
26		京都府	2	1			1	2	6
27		大阪府	6	12	8	8	5	4	43
28		兵庫県	4	4	13	7	8	8	44
29		奈良県	2	2	1		1	1	7
30		和歌山県		2		2	1		5
31	中国	鳥取県			1	1			2
32		島根県			1	1		1	3
33		岡山県	6	17	15	5	8	13	64
34		広島県	2	6	2	4	2	3	19
35		山口県	3	1		1		4	9
36	四国	徳島県	28	14	21	17	7	4	91
37		香川県	51	39	46	39	23	20	218
38		愛媛県	42	39	40	29	18	16	184
39		高知県	184	140	136	127	152	143	882
40	九州・沖縄	福岡県		3			2		5
41		佐賀県	1				1		2
42		長崎県	1	1				1	3
43		熊本県				2			2
44		大分県	2	1					3
45		宮崎県							
46		鹿児島県							
47	沖縄県								
合計			344	287	298	248	235	225	1637

ブロック別時間帯交通量(台)

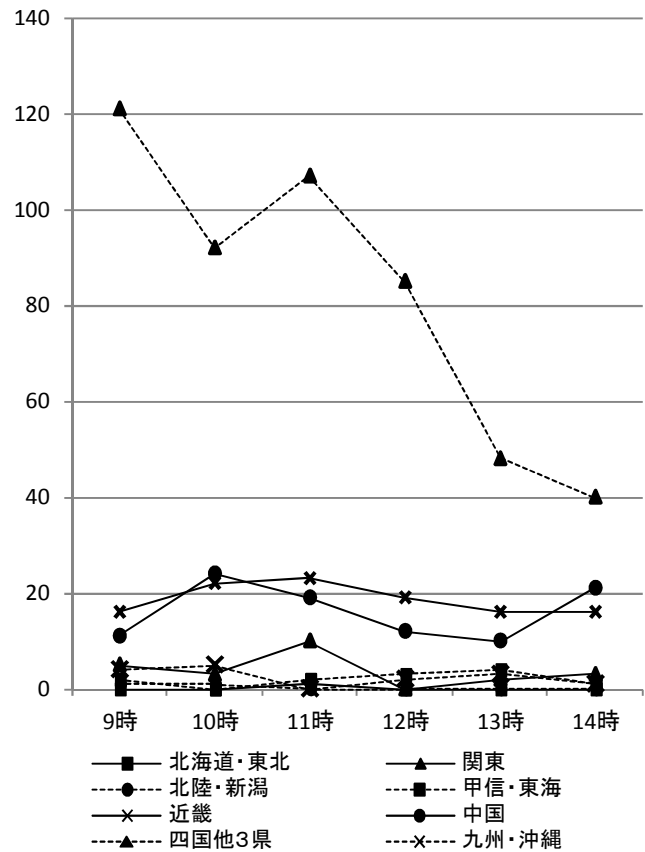
南国 IC 秋・休日は、9 時台に 344 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1637 台で、そのうち高知は 882 台で全体の 54%、上位 8 県の割合が 41%となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に四国他 3 県、10 時台に中国、九州・沖縄、11 時台に関東と近畿がピークを迎えている。

調査地別ブロック交通量では、四国他 3 県の割合が 65%と、高知 IC 秋・平日、南国 IC 秋・平日と並び、最も多い結果となっている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、9 時台に香川、愛媛、徳島、10 時台に岡山、大阪、広島、11 時台に兵庫、東京となっている。



発地別交通量 (上位 8 県) (台)

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	51	39	46	39	23	20	218
2	愛媛県	42	39	40	29	18	16	184
3	徳島県	28	14	21	17	7	4	91
4	岡山県	6	17	15	5	8	13	64
5	兵庫県	4	4	13	7	8	8	44
6	大阪府	6	12	8	8	5	4	43
7	広島県	2	6	2	4	2	3	19
8	東京都	2		7				9
合計		141	131	152	109	71	68	672

4-1-3 中土佐 I C 調査日 2011.10.29 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道						1	1
2		青森県							
3		岩手県							
4		宮城県							
5		秋田県							
6		山形県			1				1
7		福島県							
8	関東	茨城県							
9		栃木県	1				1		2
10		群馬県	1					1	2
11		埼玉県		1		1		1	3
12		千葉県					1		1
13		東京都	1		3	1		1	6
14		神奈川県	1	1			1	1	4
15	北陸・新潟	新潟県							
16		富山県					1		1
17		石川県							
18		福井県	1				1		2
19	甲信・東海	山梨県							
20		長野県							
21		岐阜県	1						1
22		静岡県	1		2				3
23		愛知県	4		3	1		2	10
24		三重県	1					1	2
25	近畿	滋賀県		1	1		1	2	5
26		京都府	2		1	1		3	7
27		大阪府	3	7	6	4	8	4	32
28		兵庫県	6	5	6	5	5	5	32
29		奈良県	2			1		4	7
30		和歌山県	1		2	1	1		5
31	中国	鳥取県	1				3		4
32		島根県		1					1
33		岡山県	8	7	8	3	7	4	37
34		広島県	3	4	4	3	2	3	19
35		山口県	1				1		2
36	四国	徳島県	5	11	4	2	6	5	33
37		香川県	13	29	16	10	13	6	87
38		愛媛県	13	18	13	21	11	23	99
39		高知県	342	393	337	299	384	388	2143
40		九州・沖縄	福岡県		3	2		1	
41	佐賀県				1				1
42	長崎県								
43	熊本県					1		1	2
44	大分県		1	1		2			4
45	宮崎県				2		2		4
46	鹿児島県							1	1
47	沖縄県								
合計			413	482	412	356	450	457	2570

ブロック別時間帯交通量(台)

中土佐 IC 秋・休日は、10 時台に 482 台でピークを迎えている。

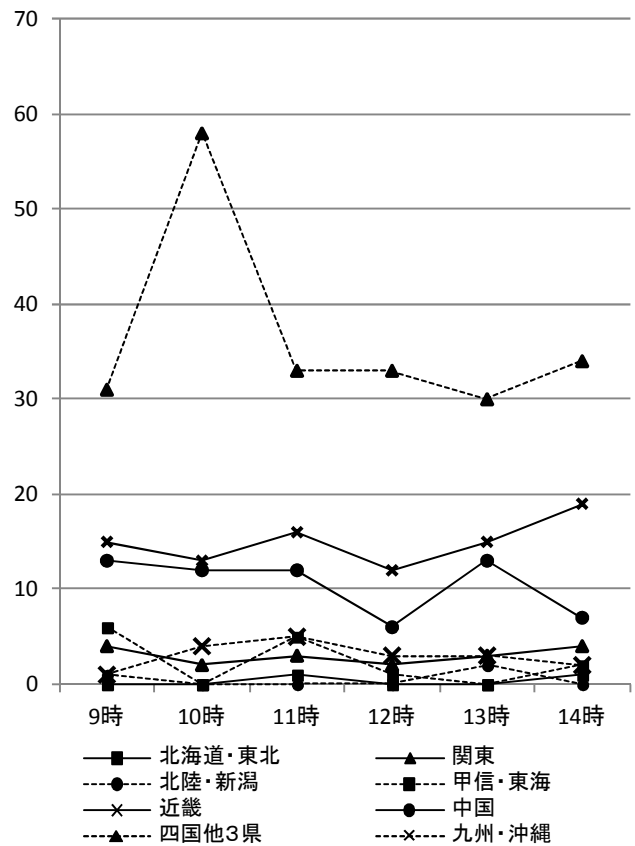
全体の合計台数は 2570 台で、そのうち高知は 2143 台で全体の 83%を占めている。

調査地別ブロック交通量を見ると、四国他 3 県の割合が 51%と、今回の調査で最も少ない結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、10 時台に四国他 3 県、11 時台に九州・沖縄、14 時台に近畿がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯を見ると、10 時台に香川、徳島、13 時台に大阪、14 時台に愛媛となっている。

また、今回の調査全体で見ると他の IC はすべて 1 位が香川、2 位が愛媛となっているが、中土佐 IC 秋・休日のみ、愛媛が 1 位となっている。



発地別交通量 (上位 8 県) (台)

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	愛媛県	13	18	13	21	11	23	99
2	香川県	13	29	16	10	13	6	87
3	岡山県	8	7	8	3	7	4	37
4	徳島県	5	11	4	2	6	5	33
5	大阪府	3	7	6	4	8	4	32
5	兵庫県	6	5	6	5	5	5	32
7	広島県	3	4	4	3	2	3	19
8	愛知県	4		3	1		2	10
合計		55	81	60	49	52	52	349

4-2 高知自動車道 平日

4-2-1 高知IC 調査日 2011.10.20 (木)

(表2-1-1) 時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道							
2		青森県	1						1
3		岩手県							
4		宮城県							
5		秋田県							
6		山形県							
7		福島県							
8	関東	茨城県							
9		栃木県							
10		群馬県							
11		埼玉県			1				1
12		千葉県	2		1				3
13		東京都		1		1	2	2	6
14		神奈川県					1	1	2
15	北陸・新潟	新潟県				1			1
16		富山県							
17		石川県							
18		福井県	1				1	2	4
19	甲信・東海	山梨県						1	1
20		長野県	1					2	3
21		岐阜県							
22		静岡県		2				1	3
23		愛知県	1	3	1	2	2	2	11
24		近畿	三重県			1			
25	滋賀県						1		1
26	京都府				2	4	3	4	13
27	大阪府		3	4	13	13	11	10	54
28	兵庫県		2	7	6	5	6	5	31
29	奈良県		1	1	2			1	5
30	和歌山県		1	1	2				4
31	中国	鳥取県				1		2	3
32		島根県			1				1
33		岡山県	11	7	10	6	5	5	44
34		広島県	7	7	9	10	7	4	44
35		山口県			1	2	1		4
36	四国	徳島県	12	8	15	3	5	4	47
37		香川県	52	47	55	43	31	41	269
38		愛媛県	26	35	30	24	26	19	160
39		高知県	167	165	126	142	129	129	858
40	九州・沖縄	福岡県	1	2	1	3	1	2	10
41		佐賀県						1	1
42		長崎県			1				1
43		熊本県		1			1		2
44		大分県		1	2				3
45		宮崎県						1	1
46		鹿児島県							
47	沖縄県			1				1	
合計			289	292	281	260	233	239	1594

ブロック別時間帯交通量（台）

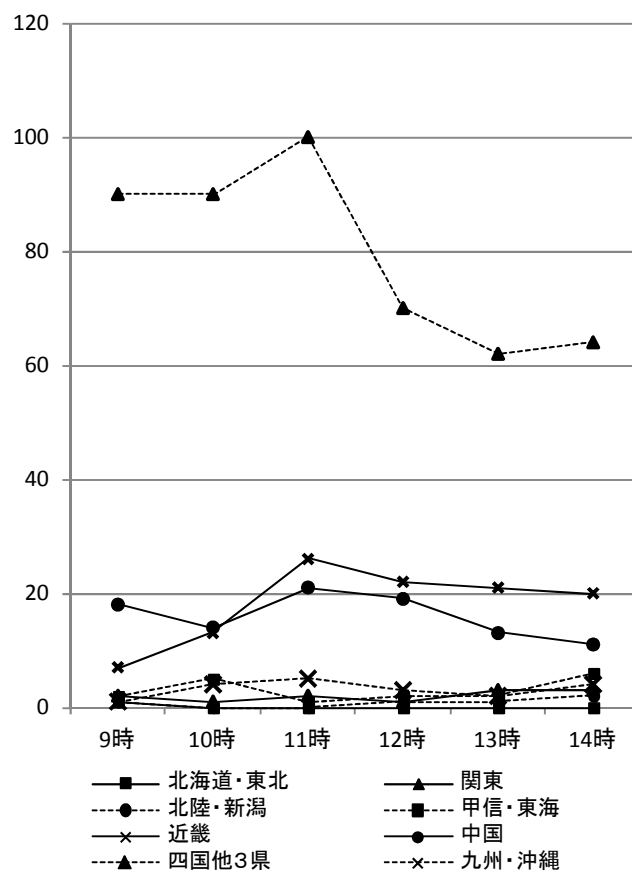
高知 IC 秋・平日は、10 時台に 292 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1,594 台で、そのうち高知は 858 台で、全体の 54%を占める結果となっている。

調査地別ブロック交通量の四国他 3 県の割合は 65%と今回の調査の中で、南国 IC 秋・休日、平日と並び最も多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、11 時台に四国他 3 県と近畿、中国がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、10 時台に愛媛、11 時台に香川、徳島、12 時台に広島となっている。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	52	47	55	43	31	41	269
2	愛媛県	26	35	30	24	26	19	160
3	大阪府	3	4	13	13	11	10	54
4	徳島県	12	8	15	3	5	4	47
5	岡山県	11	7	10	6	5	5	44
5	広島県	7	7	9	10	7	4	44
7	兵庫県	2	7	6	5	6	5	31
8	京都府			2	4	3	4	13
合計		113	115	140	108	94	92	662

4-2-2 南国 I C 調査日 2011.10.19 (水)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	1						1
2		青森県							
3		岩手県							
4		宮城県		1					1
5		秋田県							
6		山形県							
7		福島県							
8	関東	茨城県							
9		栃木県				1			1
10		群馬県							
11		埼玉県		1					1
12		千葉県	1	1	1				3
13		東京都	1	2	1	1		2	7
14		神奈川県	3	1				1	5
15	北陸・新潟	新潟県							
16		富山県							
17		石川県			1			1	2
18		福井県							
19	甲信・東海	山梨県							
20		長野県	1			1			2
21		岐阜県							
22		静岡県						1	1
23		愛知県	1			1	1		3
24	近畿	三重県					1		1
25		滋賀県				3			3
26		京都府	1	1	1	1	1		5
27		大阪府	10	5	11	7	7	7	47
28		兵庫県	4	3	3	3	4	6	23
29		奈良県		1				1	2
30		和歌山県	2	1					3
31	中国	鳥取県		1				1	2
32		島根県							
33		岡山県	13	8	13	5	8	9	56
34		広島県	9	7	9	12	7	5	49
35		山口県	3	1	2				6
36	四国	徳島県	11	12	10	8	6	3	50
37		香川県	63	44	41	46	27	22	243
38		愛媛県	31	40	32	17	22	10	152
39		高知県	132	106	86	101	103	104	632
40		九州・沖縄	福岡県	4	2		1		
41	佐賀県					1	1	1	3
42	長崎県								
43	熊本県		1	1					2
44	大分県		2		1	1			4
45	宮崎県								
46	鹿児島県						1		1
47	沖縄県								
合計			294	239	212	210	189	174	1318

ブロック別時間帯交通量（台）

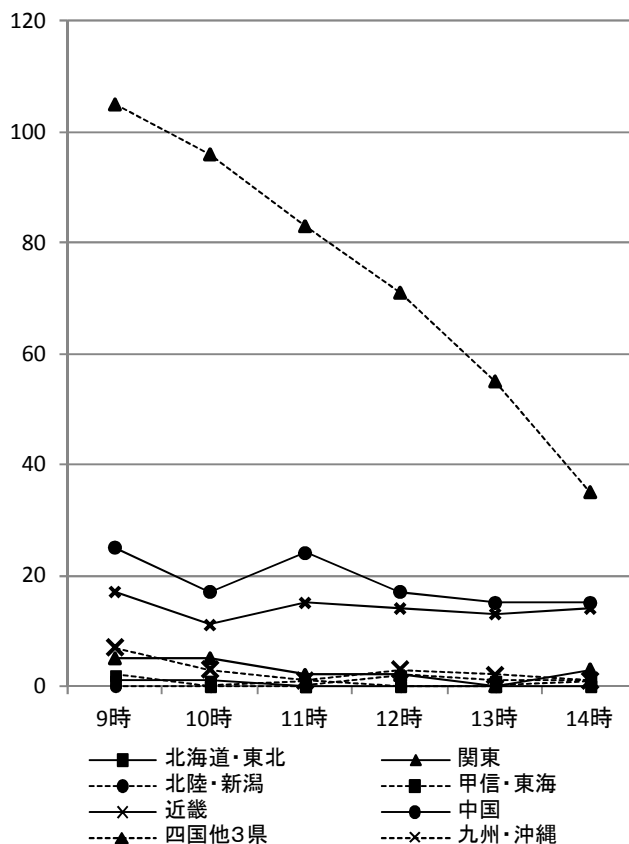
南国 IC 秋・平日は、9 時台に 294 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1,318 台で、23 年春・夏と同様に、全体で最も台数が少ない結果となっている。そのうち高知は 632 台、上位 8 県が 627 台と、ほぼ同数となっている。

調査地別ブロック交通量では、四国他 3 県の割合が 65%と、高知 IC 秋・平日、南国 IC 秋・休日と並び最も多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、四国他 3 県、中国、近畿、九州・沖縄と、ほぼすべてのブロックで 9 時台にピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯をみると、9 時台に香川、10 時台に愛媛、徳島、11 時台に大阪、12 時台に広島となっている。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	63	44	41	46	27	22	243
2	愛媛県	31	40	32	17	22	10	152
3	岡山県	13	8	13	5	8	9	56
4	徳島県	11	12	10	8	6	3	50
5	広島県	9	7	9	12	7	5	49
6	大阪府	10	5	11	7	7	7	47
7	兵庫県	4	3	3	3	4	6	23
8	東京都	1	2	1	1		2	7
合計		142	121	120	99	81	64	627

4-2-3 中土佐 I C 調査日 2011.10.26 (水)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道							
2		青森県							
3		岩手県							
4		宮城県						1	1
5		秋田県							
6		山形県		1			1		2
7		福島県							
8	関東	茨城県							
9		栃木県		1					1
10		群馬県							
11		埼玉県	1			1			2
12		千葉県						1	1
13		東京都			2		1	1	4
14		神奈川県		2			2		4
15	北陸・新潟	新潟県							
16		富山県							
17		石川県		1					1
18		福井県				2			2
19	甲信・東海	山梨県					1	1	
20		長野県	1						1
21		岐阜県	1						1
22		静岡県						1	1
23		愛知県	1	1	1	1		2	6
24		三重県	1						1
25	近畿	滋賀県		2	1		2		5
26		京都府		2	1	2	1		6
27		大阪府	6	7	2	2	6	2	25
28		兵庫県	6	4	3	5	9	3	30
29		奈良県							
30		和歌山県	1		1		2		4
31	中国	鳥取県							
32		島根県					1		1
33		岡山県	6	3	2		3	4	18
34		広島県	2	1	3	3	1		10
35		山口県			1		1		2
36	四国	徳島県	6	6	7	2	3		24
37		香川県	28	27	13	9	8	13	98
38		愛媛県	10	11	8	6	8	15	58
39		高知県	352	350	278	262	269	294	1805
40		九州・沖縄	福岡県	1	2	1	3		1
41	佐賀県		1						1
42	長崎県					1			1
43	熊本県		1						1
44	大分県								
45	宮崎県								
46	鹿児島県								
47	沖縄県								
合計			425	421	324	299	318	339	2126

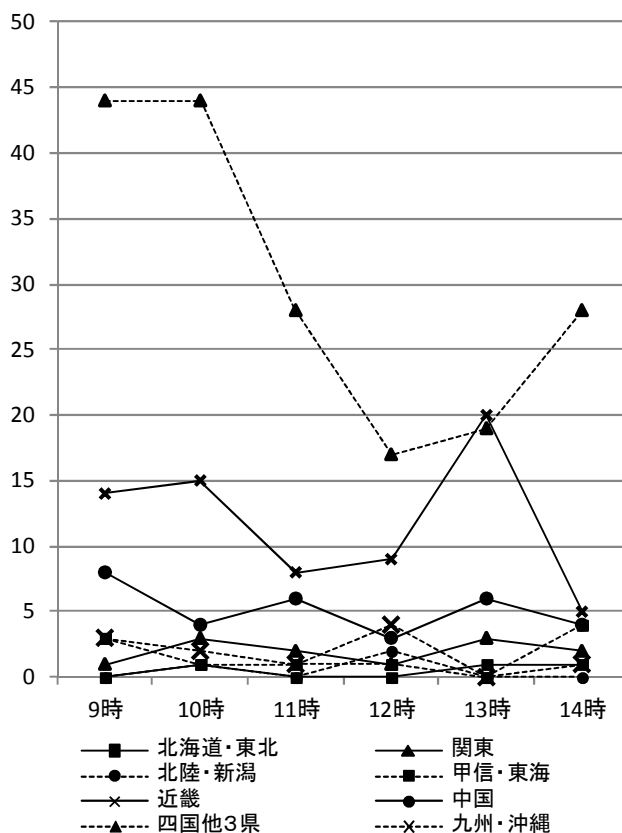
ブロック別時間帯交通量（台）

中土佐 IC 秋・平日は、9 時台に 425 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 2,126 台で、そのうち高知が 1805 台と 85%を占め、23 年春・夏と同様に今回の調査の中で最も多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台と 10 時台に四国他 3 県、13 時台に近畿がピークを迎えている。

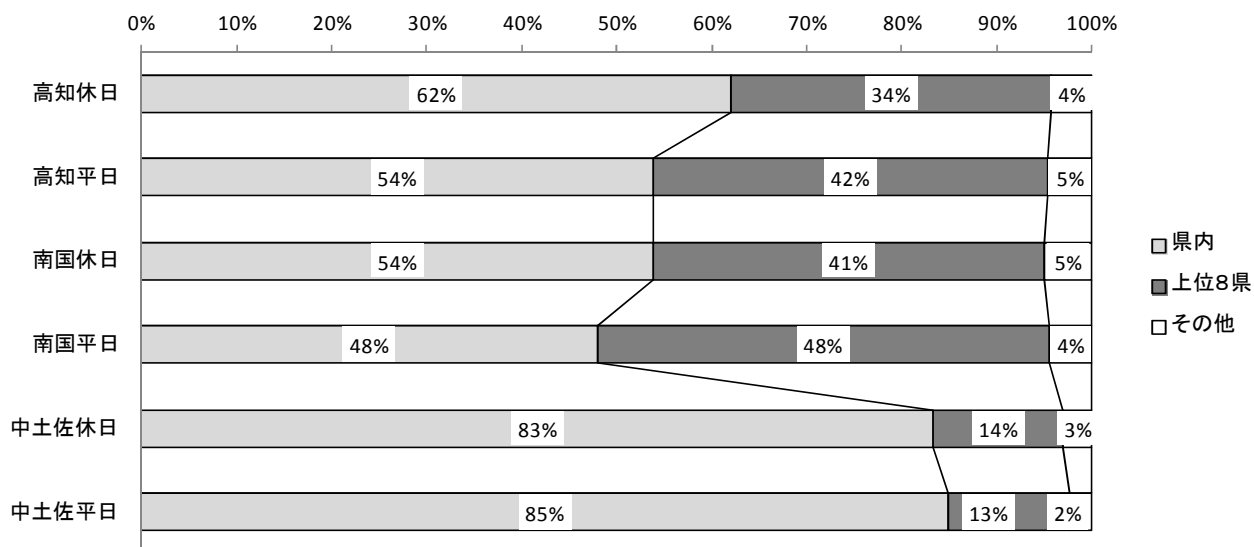
上位 8 県のピークを迎えた時間帯を見ると、9 時台に香川、13 時台に兵庫、14 時台に愛媛となっている。



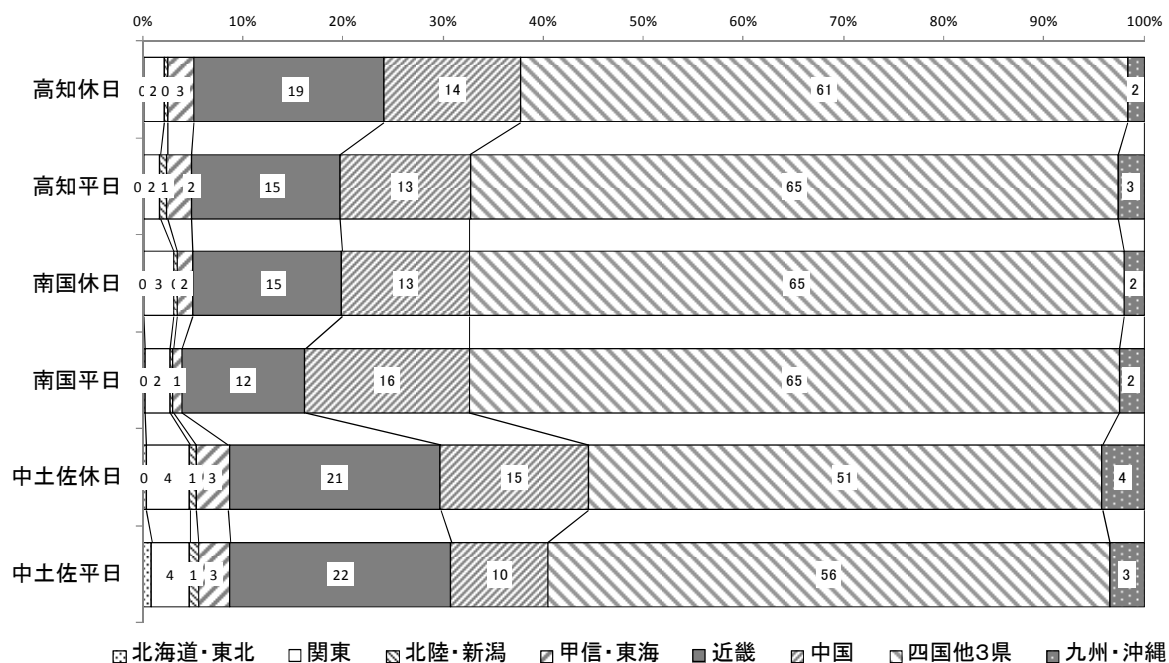
発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	28	27	13	9	8	13	98
2	愛媛県	10	11	8	6	8	15	58
3	兵庫県	6	4	3	5	9	3	30
4	大阪府	6	7	2	2	6	2	25
5	徳島県	6	6	7	2	3		24
6	岡山県	6	3	2		3	4	18
7	広島県	2	1	3	3	1		10
8	福岡県	1	2	1	3		1	8
合計		65	61	39	30	38	38	271

(参考 3 - 1) 調査地別交通量割合 (%)



(参考 3 - 2) 調査地別ブロック交通量割合 (%) ※ 1%未満は 0 で表示されています



5 2012年 冬 調査

5-1 高知自動車道 休日

5-1-1 高知 IC 調査日 2012.1.14 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道				1			1
2		青森県							
3		岩手県							
4		宮城県				1			1
5		秋田県							
6		山形県							
7		福島県						1	1
8	関東	茨城県							
9		栃木県							
10		群馬県					1		1
11		埼玉県				1			1
12		千葉県	1	1					2
13		東京都	1	1		1	1	1	5
14		神奈川県	1			2	2		5
15	北陸・新潟	新潟県							
16		富山県							
17		石川県				1			1
18		福井県						1	1
19	甲信・東海	山梨県			1				1
20		長野県							
21		岐阜県	1						1
22		静岡県				2	1	2	5
23		愛知県			2	1	3	1	7
24		近畿	三重県						
25	滋賀県				1	1	2		4
26	京都府			2	1		2	1	6
27	大阪府		5	4	8	9	5	12	43
28	兵庫県		5	5	7	12	8	10	47
29	奈良県		1		1		1	2	5
30	和歌山県								
31	中国	鳥取県		2	1	1			4
32		島根県		1	2	1			4
33		岡山県	3	6	9	6	8	6	38
34		広島県	2	6	6	2	5	5	26
35		山口県			1	1	1	1	4
36	四国	徳島県	17	14	18	13	12	5	79
37		香川県	39	35	46	32	24	29	205
38		愛媛県	38	31	39	21	32	31	192
39		高知県	205	252	201	230	202	240	1330
40	九州・沖縄	福岡県							
41		佐賀県							
42		長崎県			1			1	2
43		熊本県							
44		大分県		1					1
45		宮崎県	1				1	1	3
46		鹿児島県			1	1			2
47		沖縄県							
合計			320	361	346	340	311	350	2028

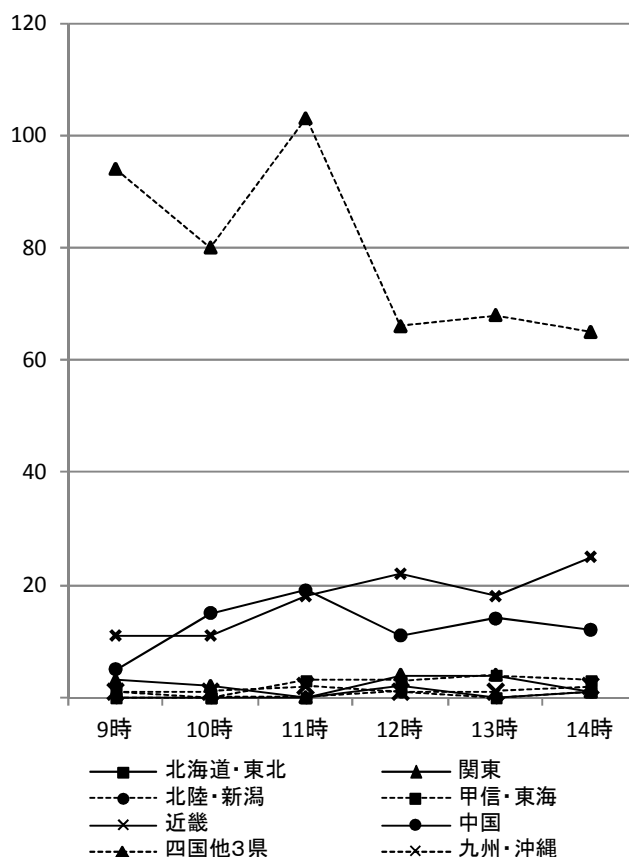
ブロック別時間帯交通量（台）

高知 IC 冬・休日は、10 時台に 361 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 2,028 台で、そのうち高知を除く上位 8 位までの都道府県（上位 8 県：以下同様）の占める割合が 31%、高知は 66%を占めている。

ブロック別時間帯交通量では、11 時台に高知を除く四国他 3 県（四国他 3 県：以下同様）、中国、14 時台に近畿がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、11 時台に香川、愛媛、徳島、岡山、12 時台に兵庫、14 時台に大阪となっている。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	39	35	46	32	24	29	205
2	愛媛県	38	31	39	21	32	31	192
3	徳島県	17	14	18	13	12	5	79
4	兵庫県	5	5	7	12	8	10	47
5	大阪府	5	4	8	9	5	12	43
6	岡山県	3	6	9	6	8	6	38
7	広島県	2	6	6	2	5	5	26
8	愛知県			2	1	3	1	7
合計		109	101	135	96	97	99	637

5-1-2 南国IC 調査日 2012.1.14 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道			1				1
2		青森県							
3		岩手県							
4		宮城県							
5		秋田県							
6		山形県							
7		福島県						1	1
8	関東	茨城県		1	1				2
9		栃木県							
10		群馬県							
11		埼玉県		1	1				2
12		千葉県	2						2
13		東京都					1		1
14		神奈川県	2	2					4
15	北陸・新潟	新潟県							
16		富山県							
17		石川県							
18		福井県							
19	甲信・東海	山梨県					1		1
20		長野県		1					1
21		岐阜県	1		1				2
22		静岡県							
23		愛知県		2	1			2	5
24	近畿	三重県	1		2	1		1	5
25		滋賀県							
26		京都府	1	1			2	1	5
27		大阪府	9	4	6	3	3	3	28
28		兵庫県	3	4	6	4	4	8	29
29		奈良県	1			2			3
30		和歌山県		1					1
31	中国	鳥取県	1	1	1				3
32		島根県	1						1
33		岡山県	4	5	11	7	6	4	37
34		広島県	1	5	4	1	2	4	17
35		山口県	1	2	2		1		6
36	四国	徳島県	25	13	10	12	6	7	73
37		香川県	64	55	45	30	43	19	256
38		愛媛県	40	43	29	25	18	14	169
39		高知県	140	118	123	98	118	141	738
40	九州・沖縄	福岡県	2				1	3	6
41		佐賀県							
42		長崎県							
43		熊本県							
44		大分県	1				1		2
45		宮崎県							
46		鹿児島県	1						1
47	沖縄県	1				1		2	
合計			302	259	244	184	207	208	1404

ブロック別時間帯交通量(台)

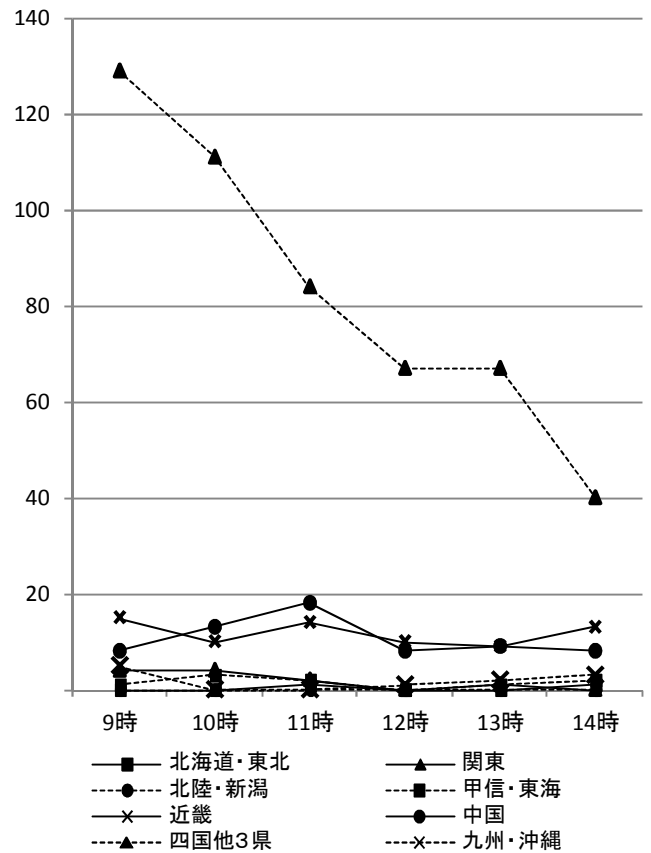
南国 IC 冬・休日は、9 時台に 302 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1,404 台で、そのうち高知は 738 台で全体の 53%、上位 8 県の割合が 44%だとなっている。

調査地別ブロック交通量の四国他 3 県の割合は 75%で、上位 8 県の割合と共に、今回の調査の中で最も多い結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に四国他 3 県、近畿、11 時台に中国がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、9 時台に香川、徳島、大阪、10 時台に愛媛、11 時台に岡山、14 時台に兵庫となっている。



発地別交通量 (上位 8 県) (台)

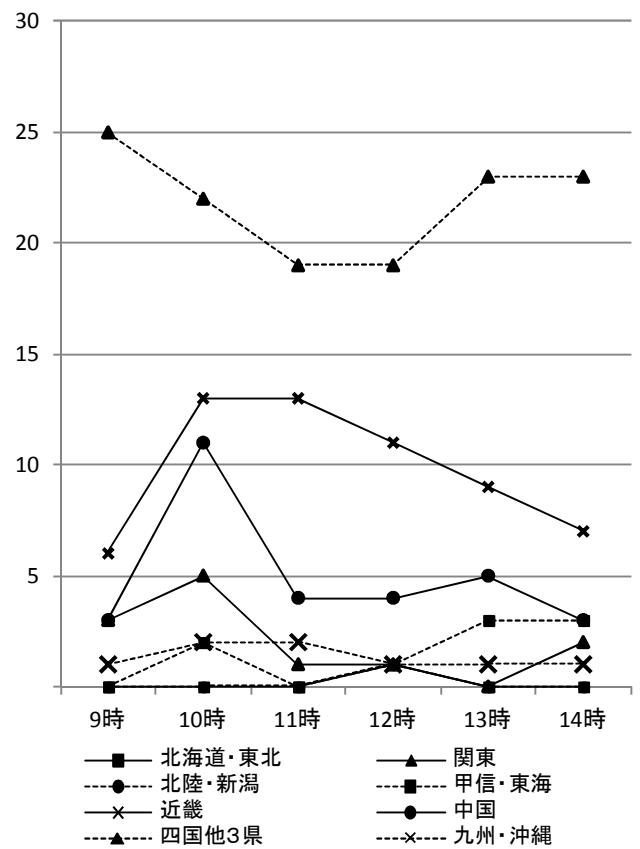
順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	64	55	45	30	43	19	256
2	愛媛県	40	43	29	25	18	14	169
3	徳島県	25	13	10	12	6	7	73
4	岡山県	4	5	11	7	6	4	37
5	兵庫県	3	4	6	4	4	8	29
6	大阪府	9	4	6	3	3	3	28
7	広島県	1	5	4	1	2	4	17
8	山口県	1	2	2		1		6
合計		147	131	113	82	83	59	615

5-1-3 中土佐 I C 調査日 2012.1.14 (土)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道				1			1
2		青森県							
3		岩手県							
4		宮城県							
5		秋田県							
6		山形県							
7		福島県							
8	関東	茨城県							
9		栃木県	1					1	2
10		群馬県							
11		埼玉県		2					2
12		千葉県		1	1	1			3
13		東京都	1					1	2
14		神奈川県	1	2					3
15	北陸・新潟	新潟県							
16		富山県							
17		石川県				1			1
18		福井県							
19	甲信・東海	山梨県							
20		長野県							
21		岐阜県							
22		静岡県		1		1	1		3
23		愛知県		1			2	3	6
24		近畿	三重県	1		1	1		
25	滋賀県								
26	京都府		2				1		3
27	大阪府		1	4	8	4	4	3	24
28	兵庫県		1	9	4	5	4	3	26
29	奈良県		1			1		1	3
30	和歌山県								
31	中国	鳥取県							
32		島根県							
33		岡山県	3	4	2	3	2	1	15
34		広島県		6	1	1	3	2	13
35		山口県		1	1				2
36	四国	徳島県	2	7	2	1	5	3	20
37		香川県	11	5	7	8	10	5	46
38		愛媛県	12	10	10	10	8	15	65
39		高知県	312	400	362	339	347	364	2124
40		九州・沖縄	福岡県	1	2	1			
41	佐賀県					1			1
42	長崎県								
43	熊本県						1	1	2
44	大分県				1				1
45	宮崎県								
46	鹿児島県								
47	沖縄県								
合計			350	455	401	378	388	403	2375

ブロック別時間帯交通量(台)



中土佐 IC 冬・休日は、10 時台に 455 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 2,375 台で、今回の調査で最も多くなっていますが、そのうち高知は 2124 台で全体の 89% を占めている。

調査地別ブロック交通量を見ると、四国他 3 県の割合が 52%と、今回の調査で最も少ない結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に四国他 3 県、10 時台に近畿、中国、関東、14 時台に甲信・東海がピークを迎えている。

高知を除いた発地別交通量では、中土佐 IC・休日のみ 1 位愛媛、2 位香川となり、他の調査地では、すべて 1 位香川、2 位愛媛となっている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯を見ると、9 時台に香川、10 時台に兵庫、徳島、岡山、広島、11 時台に大阪、14 時台に愛媛、愛知となっている。

発地別交通量 (上位 8 県) (台)

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	愛媛県	12	10	10	10	8	15	65
2	香川県	11	5	7	8	10	5	46
3	兵庫県	1	9	4	5	4	3	26
4	大阪府	1	4	8	4	4	3	24
5	徳島県	2	7	2	1	5	3	20
6	岡山県	3	4	2	3	2	1	15
7	広島県		6	1	1	3	2	13
8	愛知県		1			2	3	6
合計		30	46	34	32	38	35	215

5-2 高知自動車道 平日

5-2-1 高知 I C 調査日 2012.2.10 (金)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道		1	1				2
2		青森県							
3		岩手県							
4		宮城県							
5		秋田県							
6		山形県							
7		福島県							
8	関東	茨城県							
9		栃木県							
10		群馬県							
11		埼玉県							
12		千葉県							
13		東京都	2	1	2	2	1	1	9
14		神奈川県			1	1			2
15	北陸・新潟	新潟県	1						1
16		富山県							
17		石川県		1	1			1	3
18		福井県							
19	甲信・東海	山梨県							
20		長野県	1				1		2
21		岐阜県					1		1
22		静岡県	1	1		1			3
23		愛知県	1	2			1	1	5
24		近畿	三重県			1			
25	滋賀県				1		1	2	4
26	京都府		1		1	1		1	4
27	大阪府		5	11	12	9	12	4	53
28	兵庫県		3	1	6	4	9	4	27
29	奈良県			1				1	2
30	和歌山県		2			1	1		4
31	中国	鳥取県	1						1
32		島根県							
33		岡山県	3	6	5	7		8	29
34		広島県	3	9	7	7	4	7	37
35		山口県							
36	四国	徳島県	11	14	5	9	6	7	52
37		香川県	48	50	38	42	30	32	240
38		愛媛県	25	22	27	21	20	29	144
39		高知県	179	144	155	119	133	151	881
40	九州・沖縄	福岡県	1	3	1	3	1	1	10
41		佐賀県		1			1		2
42		長崎県							
43		熊本県							
44		大分県			1		1		2
45		宮崎県							
46		鹿児島県			1				1
47		沖縄県							
合計			288	268	266	227	223	250	1522

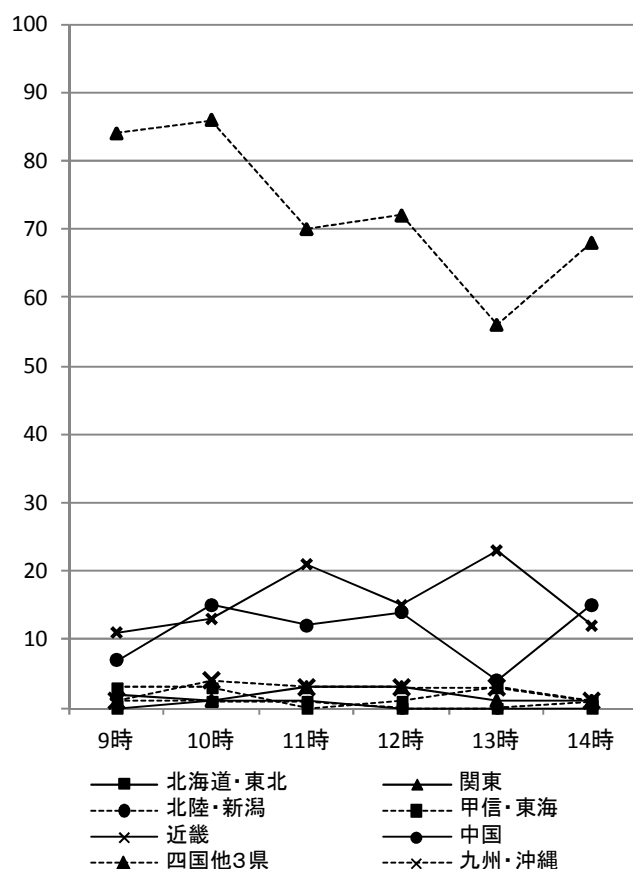
ブロック別時間帯交通量（台）

高知 IC 冬・平日は、9 時台に 288 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1,522 台で、そのうち高知は 881 台で、全体の 58%を占める結果となっている。

ブロック別時間帯交通量では、10 時台に四国他 3 県、13 時台に近畿、10 時台と 14 時台に中国がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯は、10 時台に香川、徳島、広島、14 時台に愛媛、岡山となっている。



発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	48	50	38	42	30	32	240
2	愛媛県	25	22	27	21	20	29	144
3	大阪府	5	11	12	9	12	4	53
4	徳島県	11	14	5	9	6	7	52
5	広島県	3	9	7	7	4	7	37
6	岡山県	3	6	5	7		8	29
7	兵庫県	3	1	6	4	9	4	27
8	福岡県	1	3	1	3	1	1	10
合計		99	116	101	102	82	92	592

5-2-2 南国IC 調査日 2012.2.3 (金)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	北海道・東北	北海道	1						1
2		青森県			1				1
3		岩手県							
4		宮城県							
5		秋田県							
6		山形県							
7		福島県							
8	関東	茨城県							
9		栃木県		1				1	2
10		群馬県							
11		埼玉県							
12		千葉県							
13		東京都	1	1				1	3
14		神奈川県	1	2		1			4
15	北陸・新潟	新潟県							
16		富山県							
17		石川県							
18		福井県							
19	甲信・東海	山梨県							
20		長野県							
21		岐阜県				2	2		4
22		静岡県						1	1
23		愛知県			1				1
24	近畿	三重県	1	1	1			1	4
25		滋賀県						1	1
26		京都府		1			2	2	5
27		大阪府	3	5	3	4	2	8	25
28		兵庫県	3	2	4	3	2	7	21
29		奈良県		1			1	1	3
30		和歌山県	2						2
31	中国	鳥取県							
32		島根県							
33		岡山県	14	10	3	2	2	8	39
34		広島県	6	8	2	1	5	5	27
35		山口県							
36	四国	徳島県	9	3	9	5	4	9	39
37		香川県	46	37	9	20	22	43	177
38		愛媛県	25	23	27	17	22	13	127
39		高知県	118	97	73	100	91	104	583
40	九州・沖縄	福岡県	2	1	1			1	5
41		佐賀県			1				1
42		長崎県					1		1
43		熊本県			1	1			2
44		大分県	1	1				1	3
45		宮崎県		1					1
46		鹿児島県							
47		沖縄県							
合計			233	195	136	156	156	207	1083

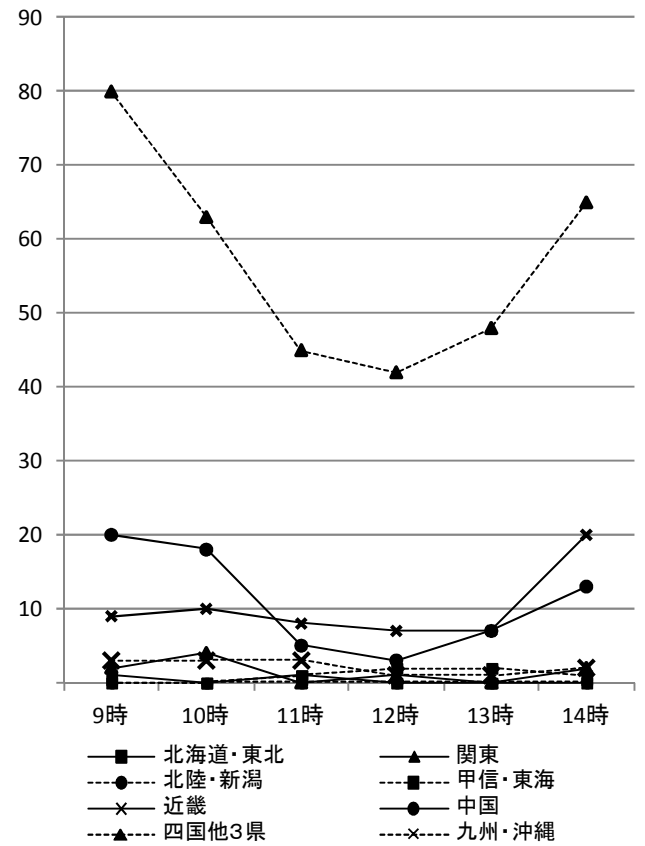
南国 IC 冬・平日は、9 時台に 233 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1,083 台で、23 年春・夏・秋と同様に、全体で最も台数が少ない結果となっている。そのうち高知は 583 台、上位 8 県が 460 台となっている。

ブロック別時間帯交通量では、9 時台に四国他 3 県、中国、14 時台に近畿がピークを迎えている。

上位 8 県の交通量でピークを迎えた時間帯をみると、9 時台に香川、岡山、11 時台に愛媛となっている。

ブロック別時間帯交通量（台）



発地別交通量（上位 8 県）（台）

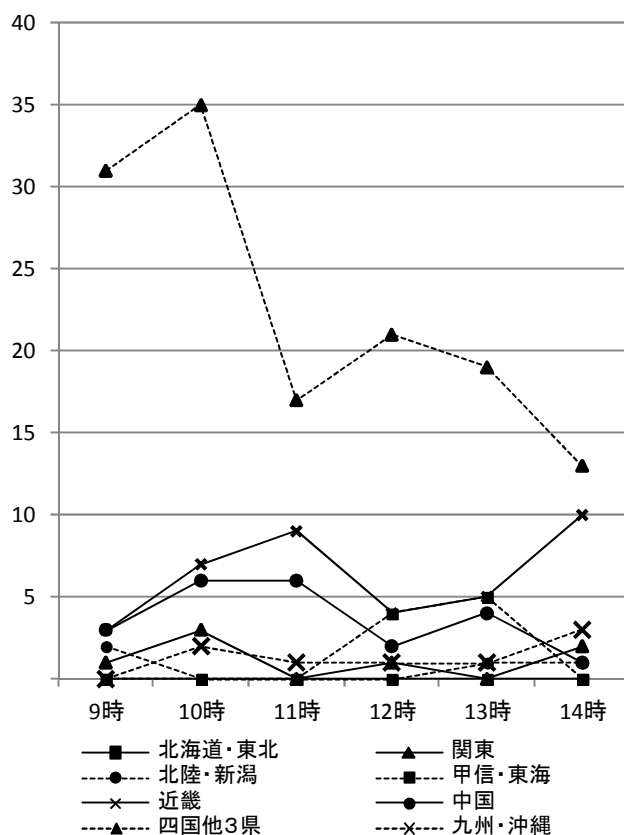
順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	46	37	9	20	22	43	177
2	愛媛県	25	23	27	17	22	13	127
3	岡山県	14	10	3	2	2	8	39
3	徳島県	9	3	9	5	4	9	39
5	広島県	6	8	2	1	5	5	27
6	大阪府	3	5	3	4	2	8	25
7	兵庫県	3	2	4	3	2	7	21
8	京都府		1			2	2	5
合計		106	89	57	52	61	95	460

5-2-3 中土佐 I C 調査日 2012.2.1 (水)

時間帯別交通量 (台)

No		都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計	
1	北海道・東北	北海道								
2		青森県								
3		岩手県								
4		宮城県								
5		秋田県								
6		山形県								
7		福島県								
8	関東	茨城県								
9		栃木県								
10		群馬県								
11		埼玉県								
12		千葉県	1					1	2	
13		東京都		3				1	4	
14		神奈川県				1			1	
15	北陸・新潟	新潟県								
16		富山県	1					1	2	
17		石川県								
18	福井県	1				1		2		
19	甲信・東海	山梨県								
20		長野県				1			1	
21		岐阜県				1			1	
22		静岡県					1		1	
23		愛知県				2	4		6	
24	近畿	三重県				1			1	
25		滋賀県		1				1	2	
26		京都府					1	1	2	
27		大阪府	1	2	4	2	2	4	15	
28		兵庫県	2	3	4	1	2	3	15	
29		奈良県								
30		和歌山県		1	1			1	3	
31	中国	鳥取県					1		1	
32		島根県		1					1	
33		岡山県	3	3	3	1	1	1	12	
34		広島県		2	3	1	2		8	
35		山口県								
36	四国	徳島県	6	2		2	1	4	15	
37		香川県	14	24	9	7	9	4	67	
38		愛媛県	11	9	8	12	9	5	54	
39		高知県	273	327	303	239	279	318	1739	
40	九州・沖縄	福岡県		1	1	1	1	1	5	
41		佐賀県						1	1	
42		長崎県								
43		熊本県		1					1	
44		大分県								
45		宮崎県								
46		鹿児島県						1	1	
47		沖縄県								
合計			313	380	336	272	314	348	1963	

ブロック別時間帯交通量（台）



中土佐 IC 冬・平日は、10 時台に 380 台でピークを迎えている。

全体の合計台数は 1,963 台で、そのうち高知が 1,739 台と 89%を占め、中土佐 IC 冬・休日と共に最も多い結果となっている。

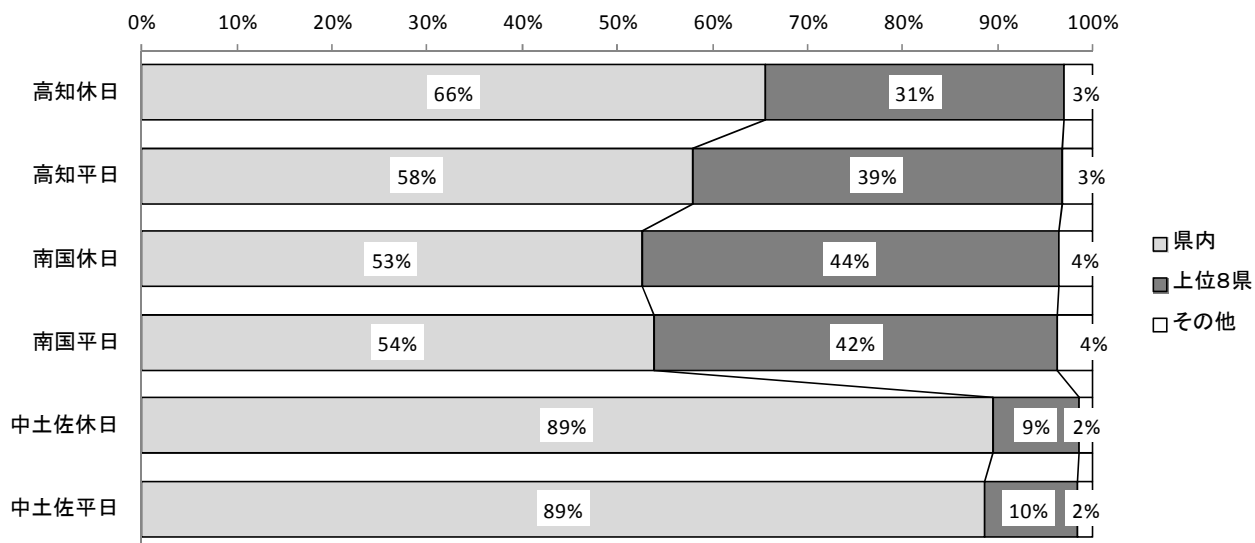
ブロック別時間帯交通量では、10 時台に四国他 3 県、中国、14 時台に近畿がピークを迎えている。

上位 8 県のピークを迎えた時間帯を見ると、9 時台に徳島、10 時台に香川、12 時台に愛媛となっている。

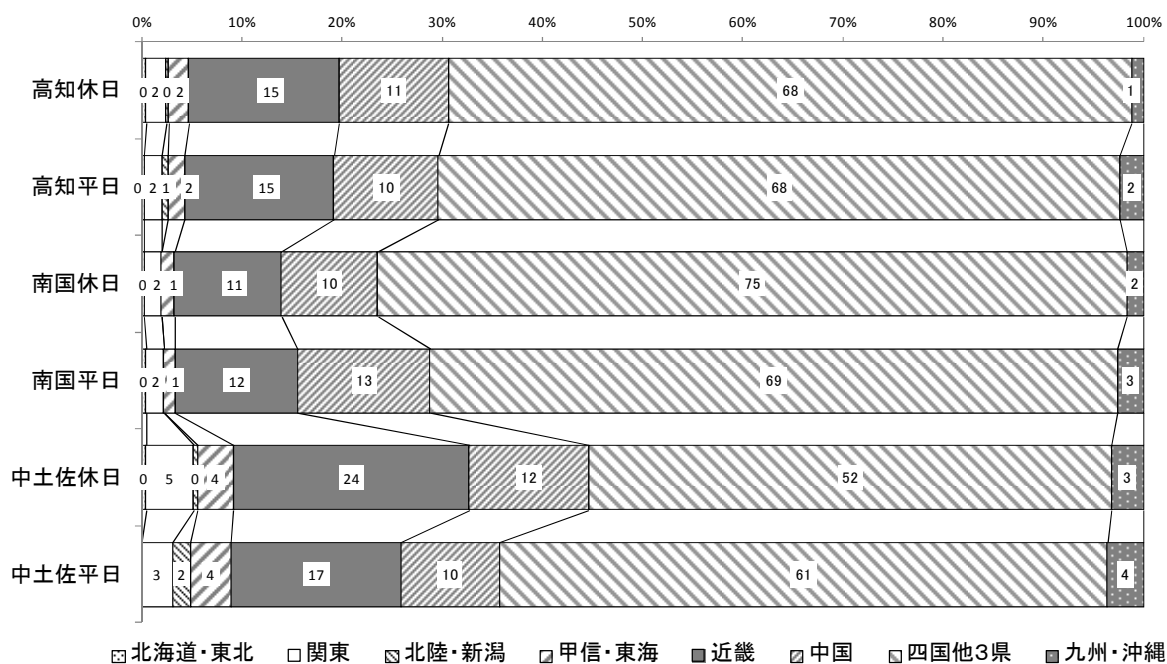
発地別交通量（上位 8 県）（台）

順位	都道府県名	9時	10時	11時	12時	13時	14時	合計
1	香川県	14	24	9	7	9	4	67
2	愛媛県	11	9	8	12	9	5	54
3	大阪府	1	2	4	2	2	4	15
3	兵庫県	2	3	4	1	2	3	15
3	徳島県	6	2		2	1	4	15
6	岡山県	3	3	3	1	1	1	12
7	広島県		2	3	1	2		8
8	愛知県				2	4		6
合計		37	45	31	28	30	21	192

(参考 4 - 1) 調査地別交通量割合 (%)



(参考 4 - 2) 調査地別ブロック交通量割合 (%) ※ 1%未満は 0 で表示されています



【参考】高知自動車道交通量調査 I C別年間合計

No	都道府県	高知休日	南国休日	中土佐休日	高知平日	南国平日	中土佐平日	合計
1	北海道	13	6	9	3	5	1	37
2	青森県	0	1	0	1	1	0	3
3	岩手県	1	0	0	0	0	1	2
4	宮城県	7	3	6	1	2	1	20
5	秋田県	1	0	0	0	0	0	1
6	山形県	1	2	2	0	0	3	8
7	福島県	9	5	1	1	0	0	16
8	茨城県	9	10	10	0	1	0	30
9	栃木県	4	2	9	2	3	3	23
10	群馬県	10	9	8	1	3	1	32
11	埼玉県	39	21	25	4	6	3	98
12	千葉県	33	30	24	7	9	7	110
13	東京都	65	45	70	27	16	14	237
14	神奈川県	67	60	71	17	28	10	253
15	新潟県	5	3	3	4	1	1	17
16	富山県	14	3	7	2	0	2	28
17	石川県	16	2	7	4	2	3	34
18	福井県	18	10	6	5	0	7	46
19	山梨県	4	2	7	1	1	1	16
20	長野県	16	12	14	5	5	3	55
21	岐阜県	35	15	24	8	6	6	94
22	静岡県	35	16	27	14	6	4	102
23	愛知県	174	83	129	36	23	24	469
24	三重県	39	34	29	6	9	7	124
25	滋賀県	39	26	30	10	13	9	127
26	京都府	125	94	87	43	21	18	388
27	大阪府	619	505	653	234	185	90	2,286
28	兵庫県	585	477	412	129	93	78	1,774
29	奈良県	75	61	51	16	13	10	226
30	和歌山県	42	36	15	18	10	10	131
31	鳥取県	61	29	26	11	4	4	135
32	島根県	55	36	11	12	4	5	123
33	岡山県	530	572	357	175	194	74	1,902
34	広島県	393	368	192	165	147	48	1,313
35	山口県	59	66	30	15	15	5	190
36	徳島県	564	556	234	219	195	87	1,855
37	香川県	1,126	1,400	619	1,114	910	322	5,491
38	愛媛県	1,107	1,226	461	708	584	230	4,316
39	高知県	5,781	3,654	9,523	4,119	2,540	7,295	32,912
40	福岡県	61	57	44	38	22	16	238
41	佐賀県	10	6	6	6	4	5	37
42	長崎県	18	8	7	2	1	2	38
43	熊本県	15	17	10	6	7	6	61
44	大分県	24	20	12	8	12	4	80
45	宮崎県	19	15	12	2	2	1	51
46	鹿児島県	11	10	5	2	1	2	31
47	沖縄県	0	4	0	2	0	1	7
合計		11,934	9,617	13,285	7,203	5,104	8,424	55,567

VIII 観光動態調査ルート分析

1 概要

●はじめに

この報告書は、平成 23 年に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った地域の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成し、それらを参考にして旅行者の周遊ルートをブロック別（中部、東部、西部）に分析したものである。

調査地

- 中部（桂浜、高知城、土佐和紙工芸村、黒潮本陣）
- 東部（室戸岬、龍河洞、モネの庭、アンパンマンミュージアム）
- 西部（足摺岬、四万十川観光遊覧船乗場）

● 集計方法について

- ・ 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した（する予定の）観光地のすべてを、市町村地域別に集計している。
- ・ すべての割合データ（%表記）は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。そのため、合計が100%にならない場合がある。
- ・ なお、平成23年は「観光入込客統計に関する共通基準（観光庁）」に基づく観光地点のみを集計対象としているため、立寄り件数の総計は9,400件と前年より減少している。
 - ※観光入込客統計に関する共通基準に基づく調査地点
 - 1.非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 2.観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 3.前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。
- ・ 立寄市町村の16地域は以下の通り。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

● 平成 23 年観光動態調査立寄市町村割合の傾向、および特徴

立寄市町村の延べ件数は、前年度の 12,815 件から今年度は 9,400 件と大幅に減少しているが、先に述べたとおり集計対象を変更しているため、単純な比較はできない。

県内 16 地域の立寄数をみると、最も多かったのは「高知」の 3,791 件（40.3%）で、高知県観光の中心になっている。次いで、「南国・香美」の 1,171 件（12.5%）、「土佐清水・大月」の 843 件（9.0%）、「東洋・室戸」の 741 件（7.9%）、「黒潮・四万十市」の 729 件（7.8%）と続く。この上位 5 地域で全体の 77.5%と大半を占める結果となっている。

発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄割合が最も多くなっているが、2 番目に多い地域は“近畿”や“中国”、“四国”などが「南国・香美」、「関東」と“九州・沖縄”が「黒潮・四万十市」、「甲信・東海」などは「土佐清水・大月」と傾向が分かれている。

年代別の傾向として、10 代は最も「高知」への集中度が高く、20 代から 40 代は「高知」と「南国・香美」での立寄りが多くなっている。特に 30 代は「南国・香美」への集中度が目立って高くなっている。50 代と 60 代以上は「高知」への集中度が低くなる一方で、「土佐清水・大月」や「東洋・室戸」が多くなっている。

旅行形態別の傾向として、家族旅行は「高知」以外では「南国・香美」での立寄りが目立つ一方で、「東洋・室戸」は少ない。友人・知人との旅行は「高知」、「奈半利・田野等」、「須崎・中土佐」などが全体平均を上回り、団体旅行の立寄りは「高知」に集中し、「黒潮・四万十市」も多くなっている。また、団体旅行は立寄市町村に限られているという特徴がみられる。一人旅では、他の旅行形態に比べて「高知」が少なく、「東洋・室戸」と「土佐清水・大月」の多さが目立つという特徴が見られる。

主な旅行目的別の傾向としては、“名所旧跡”と“祭り”は「高知」と「南国・香美」を合計した割合が 6 割を超えており、この 2 地域に目立って集中している。“自然見物”や“なんとなく”は「高知」の割合が若干少なく、「土佐清水・大月」や「東洋・室戸」とその周辺地域が多くなっている。その傾向がさらに強まっているのが“神仏霊場”で、「高知」の割合が旅行目的別で最も少なくなっている。“休養”と“食べ物”は「高知」に次いで「須崎・中土佐」が多く、“アウトドア”は「高知」と「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」の 3 地域がそれぞれ約 4 分の 1 の割合、“買い物”は「いの」が旅行目的別で最も多いという結果となっている。

2-1 発地別立寄市町村

発地別立寄市町村(件) [発地ブロック別]

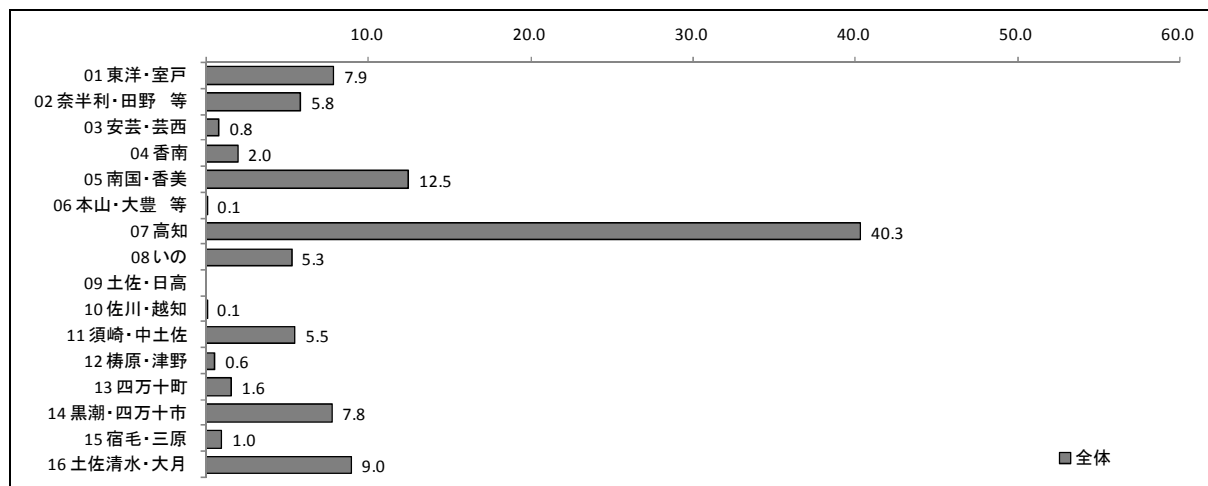
	北海道・東北 (n=41)	関東 (n=395)	北陸・新潟 (n=27)	甲信・東海 (n=157)	近畿 (n=762)	中国 (n=423)	四国 (n=2,066)	九州・沖縄 (n=124)	海外 (n=5)	全体 (n=4,000)
01 東洋・室戸	7	103	11	36	154	86	311	33		741
02 奈半利・田野 等	3	18	3	9	65	37	407	6	1	549
03 安芸・芸西	2	10	3	6	19	10	20	6		76
04 香南	4	12	2	5	23	22	113	3		184
05 南国・香美	20	87	8	36	246	146	602	26		1,171
06 本山・大豊 等					1	1	5			7
07 高知	80	721	47	278	1,066	558	811	221	9	3,791
08 いの	4	22	1	4	31	24	401	6	1	494
09 土佐・日高										
10 佐川・越知	1	1			2		1			5
11 須崎・中土佐	3	29	2	9	73	39	360	3		518
12 梶原・津野	2	13		4	12	4	15	2		52
13 四万十町	1	12		6	31	17	77	3		147
14 黒潮・四万十市	10	123	8	37	193	91	221	46		729
15 宿毛・三原	1	8		5	24	13	39	3		93
16 土佐清水・大月	6	114	6	53	242	110	277	34	1	843
合計 (件)	144	1,273	91	488	2,182	1,158	3,660	392	12	9,400
割合 (%)	1.5	13.5	1.0	5.2	23.2	12.3	38.9	4.2	0.1	100.0
平均立寄数 (件)	3.5	3.2	3.4	3.1	2.9	2.7	1.8	3.2	2.4	2.4

発地別立寄市町村割合 (%) [発地ブロック別]

	北海道・東北	関東	北陸・新潟	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外	全体
01 東洋・室戸	4.9	8.1	12.1	7.4	7.1	7.4	8.5	8.4		7.9
02 奈半利・田野 等	2.1	1.4	3.3	1.8	3.0	3.2	11.1	1.5	8.3	5.8
03 安芸・芸西	1.4	0.8	3.3	1.2	0.9	0.9	0.6	1.5		0.8
04 香南	2.8	0.9	2.2	1.0	1.1	1.9	3.1	0.8		2.0
05 南国・香美	13.9	6.8	8.8	7.4	11.3	12.6	16.5	6.6		12.5
06 本山・大豊 等					0.1	0.1	0.1			0.1
07 高知	55.6	56.6	51.7	57.0	48.9	48.2	22.2	56.4	75.0	40.3
08 いの	2.8	1.7	1.1	0.8	1.4	2.1	11.0	1.5	8.3	5.3
09 土佐・日高										
10 佐川・越知	0.7	0.1			0.1		0.0			0.1
11 須崎・中土佐	2.1	2.3	2.2	1.8	3.4	3.4	9.8	0.8		5.5
12 梶原・津野	1.4	1.0		0.8	0.6	0.4	0.4	0.5		0.6
13 四万十町	0.7	0.9		1.2	1.4	1.5	2.1	0.8		1.6
14 黒潮・四万十市	6.9	9.7	8.8	7.6	8.9	7.9	6.0	11.7		7.8
15 宿毛・三原	0.7	0.6		1.0	1.1	1.1	1.1	0.8		1.0
16 土佐清水・大月	4.2	9.0	6.6	10.9	11.1	9.5	7.6	8.7	8.3	9.0

※ **白抜き** は発地・ブロックで1位、**太字** は同2位

立寄市町村割合 (%)



・立寄観光地の延べ件数

回答のあった旅行者が立寄った観光地は延べ 9,400 ヶ所だった。その内訳を発地ブロック別にみると、四国が延べ 3,660 ヶ所 (38.9%) と最も多く、次いで近畿が 2,182 ヶ所 (23.2%)、関東が 1,273 ヶ所 (13.5%)、中国が 1,158 ヶ所 (12.3%) となっている。

・上位を占めた立寄観光地の市町村

回答のあった旅行者が立寄った観光地を市町村別でみると、全体では「高知」が 3,791 件 (40.3%) と最も多く、次いで「南国・香美」の 1,171 件 (12.5%)、「土佐清水・大月」の 843 件 (9.0%)、「東洋・室戸」の 741 件 (7.9%)、「黒潮・四万十市」の 729 件 (7.8%) となっている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」への立寄り件数が最も多くなっている。2番目に立ち寄りが多かった市町村は、“北海道・東北”、“近畿”、“中国”、“四国”が「南国・香美」、「関東」、「九州・沖縄」が「黒潮・四万十市」、「北陸・新潟」が「東洋・室戸」、「甲信・東海」が「土佐清水・大月」と発地ブロックにより傾向が分かれた。

なお、県内旅行者は「奈半利・田野等」、「南国・香美」、「いの」、「須崎・中土佐」の順で割合が多くなっているが、これは調査地点の影響を受けたものと考えられる。

なお、海外旅行者は年間で5組とサンプル数が少ないため、発地ブロックでの分析は行っていない。

(参考1) 発地別立寄市町村(件) [北海道・東北]

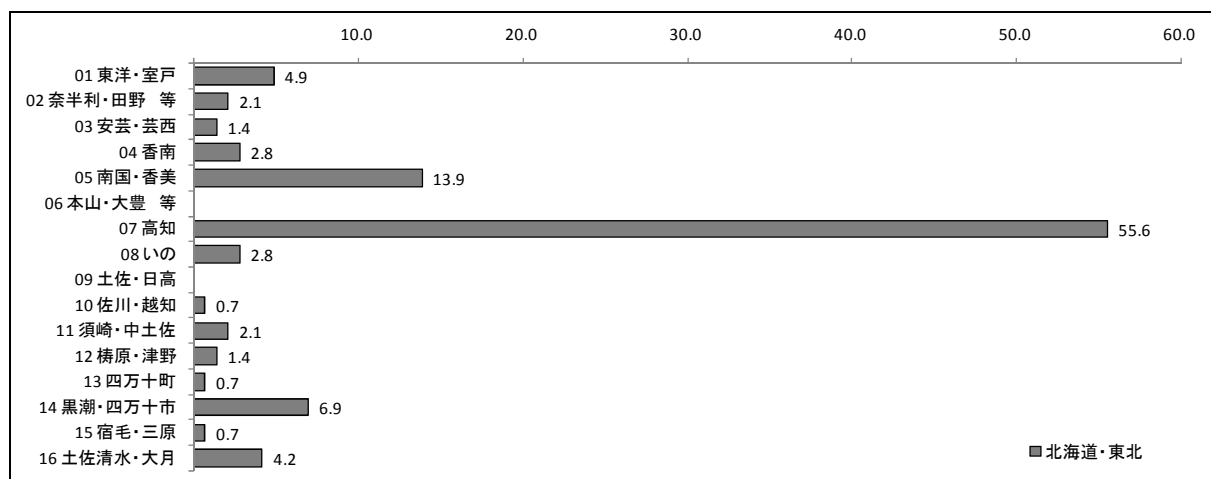
	北海道 (n=20)	青森県 (n=0)	岩手県 (n=5)	宮城県 (n=7)	秋田県 (n=2)	山形県 (n=3)	福島県 (n=4)	北海道・東北 (n=41)
01 東洋・室戸	3		2	1	1			7
02 奈半利・田野 等	3							3
03 安芸・芸西	1		1					2
04 香南	2		1	1				4
05 南国・香美	9		2	5	1	2	1	20
06 本山・大豊 等								
07 高知	49		11	12		4	4	80
08 いの	2		1	1				4
09 土佐・日高								
10 佐川・越知				1				1
11 須崎・中土佐	1				1	1		3
12 梶原・津野				1		1		2
13 四万十町				1				1
14 黒潮・四万十市	5			2		1	2	10
15 宿毛・三原				1				1
16 土佐清水・大月	2		1	3				6
合計 (件)	77		19	29	3	9	7	144
割合 (%)	53.5	0.0	13.2	20.1	2.1	6.3	4.9	100.0
平均立寄数 (件)	3.9	-	3.8	4.1	1.5	3.0	1.8	3.5

(参考2) 発地別立寄市町村割合 (%) [北海道・東北]

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	北海道・東北
01 東洋・室戸	3.9		10.5	3.5	33.3			4.9
02 奈半利・田野 等	3.9							2.1
03 安芸・芸西	1.3		5.3					1.4
04 香南	2.6		5.3	3.5				2.8
05 南国・香美	11.7		10.5	17.2	33.3	22.2	14.3	13.9
06 本山・大豊 等								
07 高知	63.6		57.9	41.4		44.4	57.1	55.6
08 いの	2.6		5.3	3.5				2.8
09 土佐・日高								
10 佐川・越知				3.5				0.7
11 須崎・中土佐	1.3				33.3	11.1		2.1
12 梶原・津野				3.5		11.1		1.4
13 四万十町				3.5				0.7
14 黒潮・四万十市	6.5			6.9		11.1	28.6	6.9
15 宿毛・三原				3.5				0.7
16 土佐清水・大月	2.6		5.3	10.3				4.2

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考3) 発地別立寄市町村割合 (%) [北海道・東北]



(参考4) 発地別立寄市町村 (件) [関東]

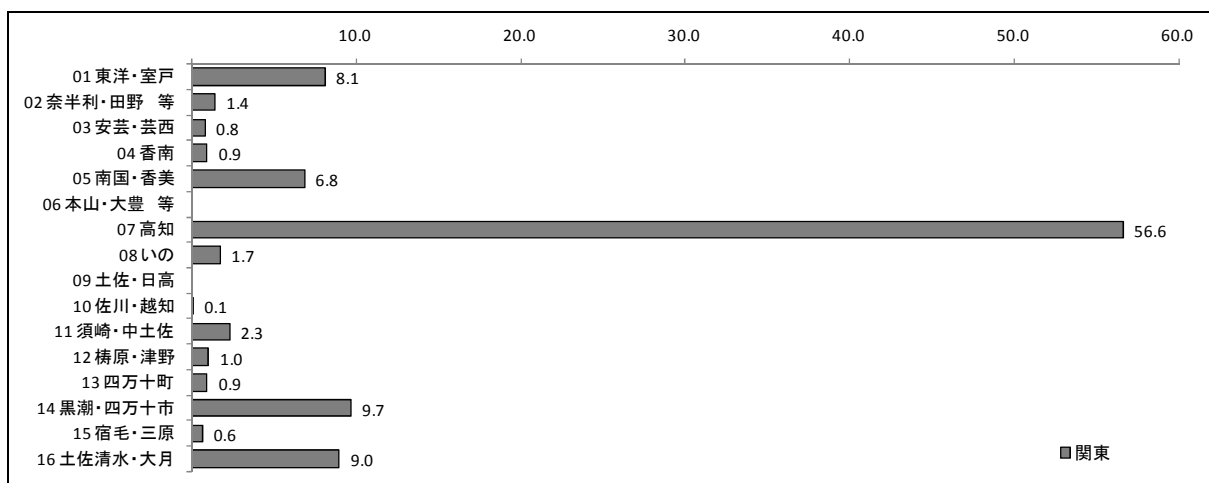
	茨城県 (n=16)	栃木県 (n=6)	群馬県 (n=11)	埼玉県 (n=62)	千葉県 (n=34)	東京都 (n=170)	神奈川県 (n=96)	関東 (n=395)
01 東洋・室戸	6		4	18	11	34	30	103
02 奈半利・田野 等				2		12	4	18
03 安芸・芸西		1		2		5	2	10
04 香南	1			3	1	4	3	12
05 南国・香美	2	1	4	12	5	32	31	87
06 本山・大豊 等								
07 高知	20	18	20	117	64	312	170	721
08 いの				4	2	13	3	22
09 土佐・日高								
10 佐川・越知						1		1
11 須崎・中土佐	1			2	2	18	6	29
12 梶原・津野			1	5		3	4	13
13 四万十町				3		3	6	12
14 黒潮・四万十市	7	2	4	22	16	44	28	123
15 宿毛・三原				2		4	2	8
16 土佐清水・大月	5	1	5	20	12	40	31	114
合計 (件)	42	23	38	212	113	525	320	1,273
割合 (%)	3.3	1.8	3.0	16.7	8.9	41.2	25.1	100.0
平均立寄数 (件)	2.6	3.8	3.5	3.4	3.3	3.1	3.3	3.2

(参考5) 発地別立寄市町村割合 (%) [関東]

	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	関東
01 東洋・室戸	14.3		10.5	8.5	9.7	6.5	9.4	8.1
02 奈半利・田野 等				0.9		2.3	1.3	1.4
03 安芸・芸西		4.4		0.9		1.0	0.6	0.8
04 香南	2.4			1.4	0.9	0.8	0.9	0.9
05 南国・香美	4.8	4.4	10.5	5.7	4.4	6.1	9.7	6.8
06 本山・大豊 等								
07 高知	47.6	78.3	52.6	55.2	56.6	59.4	53.1	56.6
08 いの				1.9	1.8	2.5	0.9	1.7
09 土佐・日高								
10 佐川・越知						0.2		0.1
11 須崎・中土佐	2.4			0.9	1.8	3.4	1.9	2.3
12 梶原・津野			2.6	2.4		0.6	1.3	1.0
13 四万十町				1.4		0.6	1.9	0.9
14 黒潮・四万十市	16.7	8.7	10.5	10.4	14.2	8.4	8.8	9.7
15 宿毛・三原				0.9		0.8	0.6	0.6
16 土佐清水・大月	11.9	4.4	13.2	9.4	10.6	7.6	9.7	9.0

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考6) 発地別立寄市町村割合 (%) [関東]



(参考7) 発地別立寄市町村 (件) [北陸・新潟]

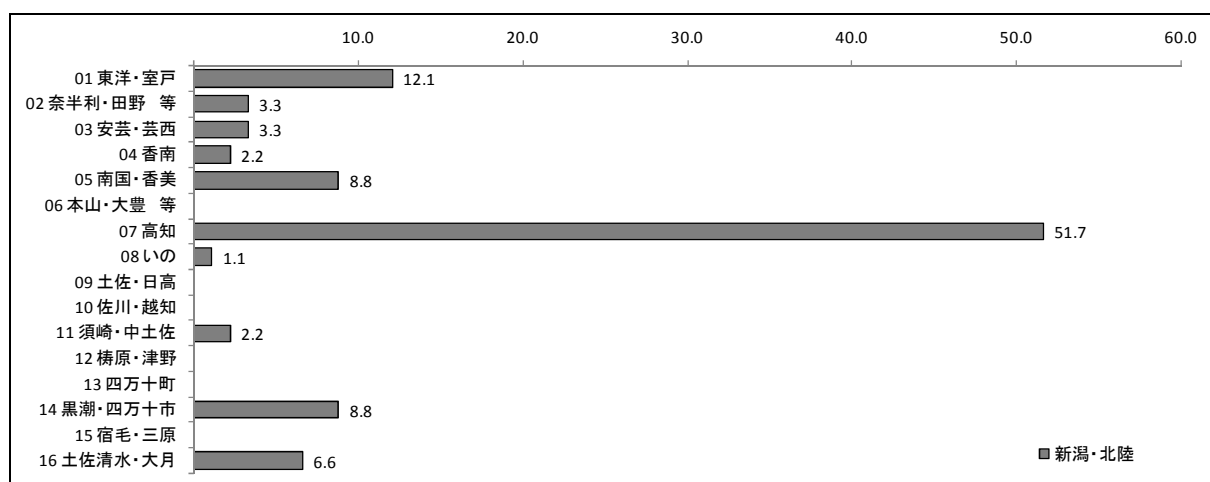
	新潟県 (n=6)	富山県 (n=4)	石川県 (n=10)	福井県 (n=7)	北陸・新潟 (n=27)
01 東洋・室戸	2		6	3	11
02 奈半利・田野 等	1		2		3
03 安芸・芸西	1		2		3
04 香南			2		2
05 南国・香美	1	1	3	3	8
06 本山・大豊 等					
07 高知	12	8	16	11	47
08 いの	1				1
09 土佐・日高					
10 佐川・越知					
11 須崎・中土佐				2	2
12 橋原・津野					
13 四万十町					
14 黒潮・四万十市		1	4	3	8
15 宿毛・三原					
16 土佐清水・大月	2		1	3	6
合計 (件)	20	10	36	25	91
割合 (%)	22.0	11.0	39.6	27.5	100.0
平均立寄数 (件)	3.3	2.5	3.6	3.6	3.4

(参考8) 発地別立寄市町村割合 (%) [北陸・新潟]

	新潟県	富山県	石川県	福井県	新潟・北陸
01 東洋・室戸	10.0		16.7	12.0	12.1
02 奈半利・田野 等	5.0		5.6		3.3
03 安芸・芸西	5.0		5.6		3.3
04 香南			5.6		2.2
05 南国・香美	5.0	10.0	8.3	12.0	8.8
06 本山・大豊 等					
07 高知	60.0	80.0	44.4	44.0	51.7
08 いの	5.0				1.1
09 土佐・日高					
10 佐川・越知					
11 須崎・中土佐				8.0	2.2
12 橋原・津野					
13 四万十町					
14 黒潮・四万十市		10.0	11.1	12.0	8.8
15 宿毛・三原					
16 土佐清水・大月	10.0		2.8	12.0	6.6

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考9) 発地別立寄市町村割合 (%) [新潟・北陸]



(参考10) 発地別立寄市町村 (件) [甲信・東海]

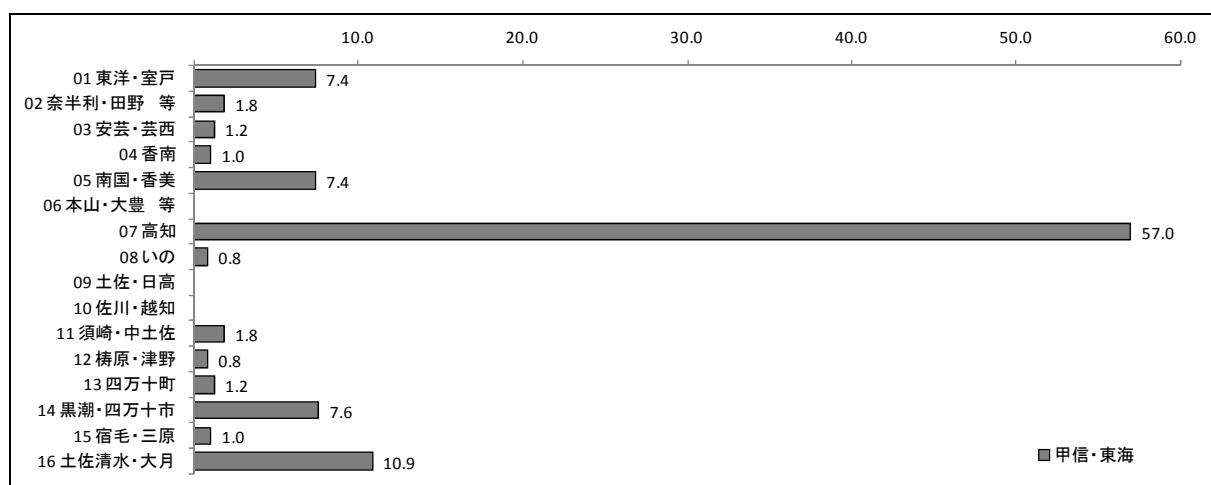
	山梨県 (n=1)	長野県 (n=12)	岐阜県 (n=19)	静岡県 (n=23)	愛知県 (n=102)	甲信・東海 (n=157)
01 東洋・室戸		1	3	6	26	36
02 奈半利・田野 等		1	1	3	4	9
03 安芸・芸西	1	1		1	3	6
04 香南		1			4	5
05 南国・香美		2	4	9	21	36
06 本山・大豊 等						
07 高知	2	23	35	37	181	278
08 いの			2		2	4
09 土佐・日高						
10 佐川・越知						
11 須崎・中土佐			1	2	6	9
12 橋原・津野	1				3	4
13 四万十町				1	5	6
14 黒潮・四万十市	1	2	2	7	25	37
15 宿毛・三原				1	4	5
16 土佐清水・大月		4	3	8	38	53
合計 (件)	5	35	51	75	322	488
割合 (%)	1.0	7.2	10.5	15.4	66.0	100.0
平均立寄数 (件)	5.0	2.9	2.7	3.3	3.2	3.1

(参考11) 発地別立寄市町村割合 (%) [甲信・東海]

	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	甲信・東海
01 東洋・室戸		2.9	5.9	8.0	8.1	7.4
02 奈半利・田野 等		2.9	2.0	4.0	1.2	1.8
03 安芸・芸西	20.0	2.9		1.3	0.9	1.2
04 香南		2.9			1.2	1.0
05 南国・香美		5.7	7.8	12.0	6.5	7.4
06 本山・大豊 等						
07 高知	40.0	65.7	68.6	49.3	56.2	57.0
08 いの			3.9		0.6	0.8
09 土佐・日高						
10 佐川・越知						
11 須崎・中土佐			2.0	2.7	1.9	1.8
12 橋原・津野	20.0				0.9	0.8
13 四万十町				1.3	1.6	1.2
14 黒潮・四万十市	20.0	5.7	3.9	9.3	7.8	7.6
15 宿毛・三原				1.3	1.2	1.0
16 土佐清水・大月		11.4	5.9	10.7	11.8	10.9

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考12) 発地別立寄市町村割合 (%) [甲信・東海]



(参考 13) 発地別立寄市町村 (件) [近畿]

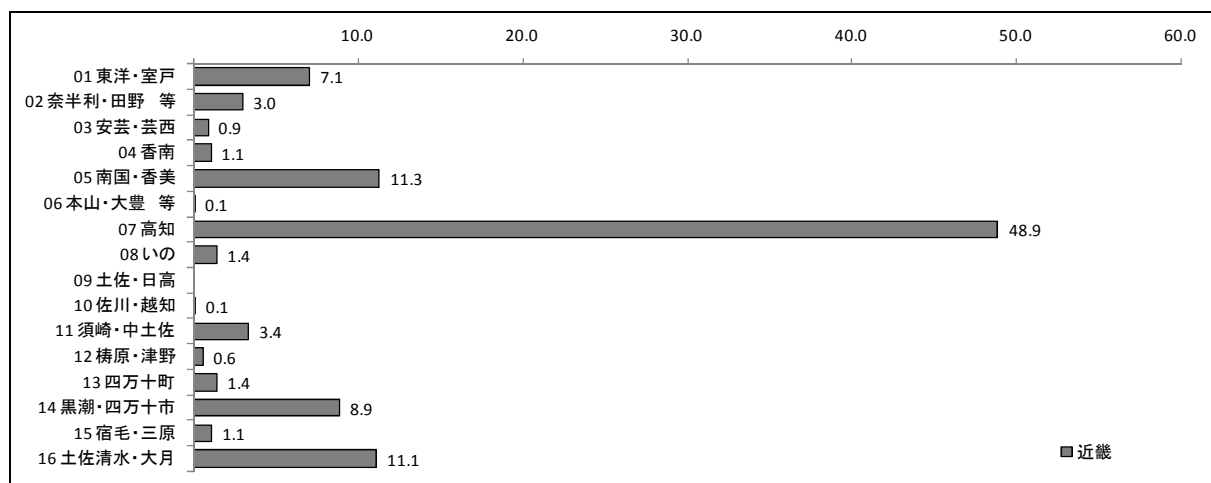
	三重県 (n=25)	滋賀県 (n=27)	京都府 (n=64)	大阪府 (n=302)	兵庫県 (n=277)	奈良県 (n=45)	和歌山県 (n=22)	近畿 (n=762)
01 東洋・室戸		7	14	68	54	8	3	154
02 奈半利・田野 等	2	2	4	30	20	5	2	65
03 安芸・芸西		2	2	7	7	1		19
04 香南			3	10	8		2	23
05 南国・香美	12	5	18	93	95	17	6	246
06 本山・大豊 等		1						1
07 高知	43	46	102	401	350	95	29	1,066
08 いの	1		2	11	17			31
09 土佐・日高								
10 佐川・越知					2			2
11 須崎・中土佐	3	4	3	30	30	2	1	73
12 橋原・津野			2	4	6			12
13 四万十町	2	1	6	10	9	2	1	31
14 黒潮・四万十市	6	3	13	81	78	8	4	193
15 宿毛・三原	1	2	3	9	6	2	1	24
16 土佐清水・大月	6	7	23	96	92	11	7	242
合計 (件)	76	80	195	850	774	151	56	2,182
割合 (%)	3.5	3.7	8.9	39.0	35.5	6.9	2.6	100.0
平均立寄数 (件)	3.0	3.0	3.0	2.8	2.8	3.4	2.5	2.9

(参考 14) 発地別立寄市町村割合 (%) [近畿]

	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	近畿
01 東洋・室戸		8.8	7.2	8.0	7.0	5.3	5.4	7.1
02 奈半利・田野 等	2.6	2.5	2.1	3.5	2.6	3.3	3.6	3.0
03 安芸・芸西		2.5	1.0	0.8	0.9	0.7		0.9
04 香南			1.5	1.2	1.0		3.6	1.1
05 南国・香美	15.8	6.3	9.2	10.9	12.3	11.3	10.7	11.3
06 本山・大豊 等		1.3						0.1
07 高知	56.6	57.5	52.3	47.2	45.2	62.9	51.8	48.9
08 いの	1.3		1.0	1.3	2.2			1.4
09 土佐・日高								
10 佐川・越知					0.3			0.1
11 須崎・中土佐	4.0	5.0	1.5	3.5	3.9	1.3	1.8	3.4
12 橋原・津野			1.0	0.5	0.8			0.6
13 四万十町	2.6	1.3	3.1	1.2	1.2	1.3	1.8	1.4
14 黒潮・四万十市	7.9	3.8	6.7	9.5	10.1	5.3	7.1	8.9
15 宿毛・三原	1.3	2.5	1.5	1.1	0.8	1.3	1.8	1.1
16 土佐清水・大月	7.9	8.8	11.8	11.3	11.9	7.3	12.5	11.1

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考 15) 発地別立寄市町村割合 (%) [近畿]



(参考 16) 発地別立寄市町村 (件) [中国]

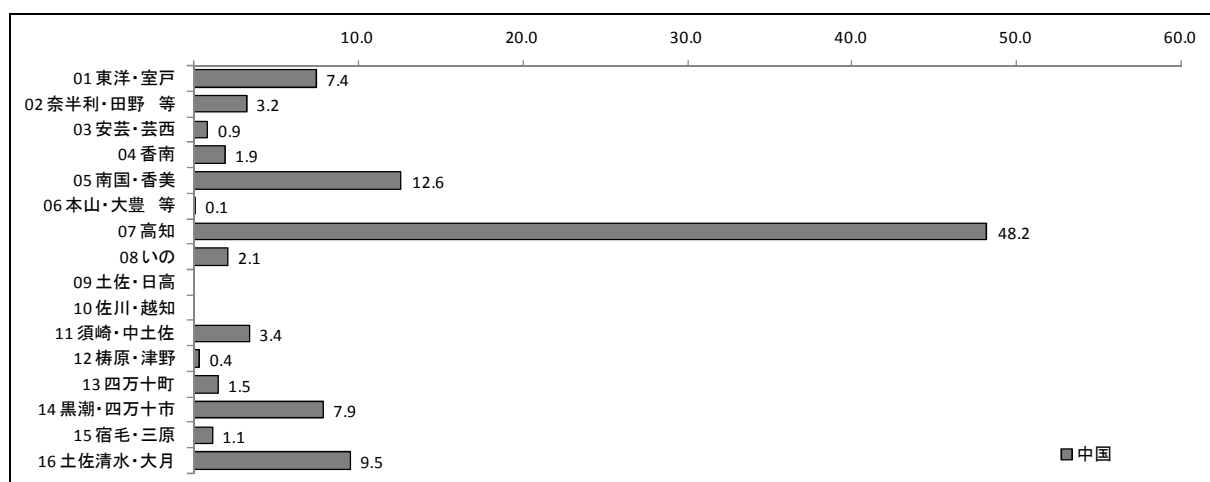
	鳥取県 (n=19)	島根県 (n=12)	岡山県 (n=193)	広島県 (n=162)	山口県 (n=37)	中国 (n=423)
01 東洋・室戸	2	2	44	27	11	86
02 奈半利・田野 等	5		21	11		37
03 安芸・芸西	1		5	2	2	10
04 香南	1		13	7	1	22
05 南国・香美	9	5	77	44	11	146
06 本山・大豊 等			1			1
07 高知	34	16	205	241	62	558
08 いの			6	16	2	24
09 土佐・日高						
10 佐川・越知						
11 須崎・中土佐	2		24	12	1	39
12 橋原・津野	1		3			4
13 四万十町		2	8	5	2	17
14 黒潮・四万十市	2	2	37	41	9	91
15 宿毛・三原			7	4	2	13
16 土佐清水・大月	5	1	45	46	13	110
合計 (件)	62	28	496	456	116	1,158
割合 (%)	5.4	2.4	42.8	39.4	10.0	100.0
平均立寄数 (件)	3.3	2.3	2.6	2.8	3.1	2.7

(参考 17) 発地別立寄市町村割合 (%) [中国]

	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	中国
01 東洋・室戸	3.2	7.1	8.9	5.9	9.5	7.4
02 奈半利・田野 等	8.1		4.2	2.4		3.2
03 安芸・芸西	1.6		1.0	0.4	1.7	0.9
04 香南	1.6		2.6	1.5	0.9	1.9
05 南国・香美	14.5	17.9	15.5	9.7	9.5	12.6
06 本山・大豊 等			0.2			0.1
07 高知	54.8	57.1	41.3	52.9	53.5	48.2
08 いの			1.2	3.5	1.7	2.1
09 土佐・日高						
10 佐川・越知						
11 須崎・中土佐	3.2		4.8	2.6	0.9	3.4
12 橋原・津野	1.6		0.6			0.4
13 四万十町		7.1	1.6	1.1	1.7	1.5
14 黒潮・四万十市	3.2	7.1	7.5	9.0	7.8	7.9
15 宿毛・三原			1.4	0.9	1.7	1.1
16 土佐清水・大月	8.1	3.6	9.1	10.1	11.2	9.5

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考 18) 発地別立寄市町村割合 (%) [中国]



(参考 19) 発地別立寄市町村 (件) [四国]

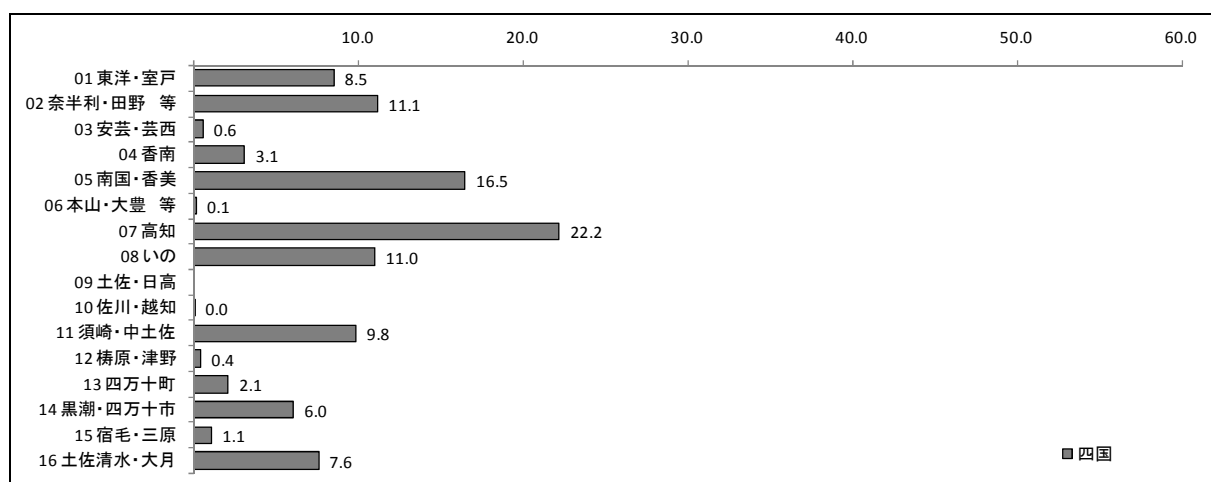
	徳島県 (n=192)	香川県 (n=321)	愛媛県 (n=482)	高知県 (n=1,071)	四国 (n=2,066)
01 東洋・室戸	71	51	61	128	311
02 奈半利・田野 等	38	45	66	258	407
03 安芸・芸西	3	1	10	6	20
04 香南	11	34	29	39	113
05 南国・香美	88	142	132	240	602
06 本山・大豊 等		2	2	1	5
07 高知	139	223	312	137	811
08 いの	5	27	139	230	401
09 土佐・日高					
10 佐川・越知			1		1
11 須崎・中土佐	17	58	83	202	360
12 梶原・津野	1	3	9	2	15
13 四万十町	14	16	15	32	77
14 黒潮・四万十市	13	52	60	96	221
15 宿毛・三原	9	11	12	7	39
16 土佐清水・大月	24	60	83	110	277
合計 (件)	433	725	1,014	1,488	3,660
割合 (%)	11.8	19.8	27.7	40.7	100.0
平均立寄数 (件)	2.3	2.3	2.1	1.4	1.8

(参考 20) 発地別立寄市町村割合 (%) [四国]

	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	四国
01 東洋・室戸	16.4	7.0	6.0	8.6	8.5
02 奈半利・田野 等	8.8	6.2	6.5	17.3	11.1
03 安芸・芸西	0.7	0.1	1.0	0.4	0.6
04 香南	2.5	4.7	2.9	2.6	3.1
05 南国・香美	20.3	19.6	13.0	16.1	16.5
06 本山・大豊 等		0.3	0.2	0.1	0.1
07 高知	32.1	30.8	30.8	9.2	22.2
08 いの	1.2	3.7	13.7	15.5	11.0
09 土佐・日高					
10 佐川・越知			0.1		0.0
11 須崎・中土佐	3.9	8.0	8.2	13.6	9.8
12 梶原・津野	0.2	0.4	0.9	0.1	0.4
13 四万十町	3.2	2.2	1.5	2.2	2.1
14 黒潮・四万十市	3.0	7.2	5.9	6.5	6.0
15 宿毛・三原	2.1	1.5	1.2	0.5	1.1
16 土佐清水・大月	5.5	8.3	8.2	7.4	7.6

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考 21) 発地別立寄市町村割合 (%) [四国]



(参考 22) 発地別立寄市町村 (件) [九州・沖縄]

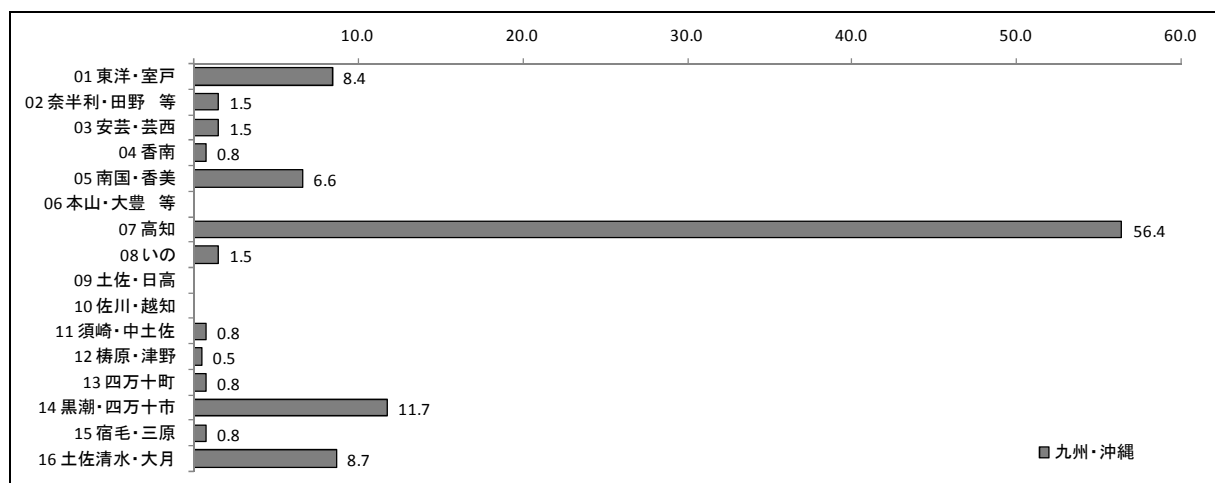
	福岡県 (n=68)	佐賀県 (n=3)	長崎県 (n=9)	熊本県 (n=9)	大分県 (n=16)	宮崎県 (n=7)	鹿児島県 (n=10)	沖縄県 (n=2)	九州・沖縄 (n=124)
01 東洋・室戸	22		3	1	2	5			33
02 奈半利・田野 等	5			1					6
03 安芸・芸西	3	1			1	1			6
04 香南	2					1			3
05 南国・香美	10	1		5		5	5		26
06 本山・大豊 等									
07 高知	106	8	19	13	32	10	27	6	221
08 いの	5		1						6
09 土佐・日高									
10 佐川・越知									
11 須崎・中土佐	1		1			1			3
12 梶原・津野	2								2
13 四万十町				1		1	1		3
14 黒潮・四万十市	24		3	7	9	1	1	1	46
15 宿毛・三原				1		1	1		3
16 土佐清水・大月	16		3	3	7	2	2	1	34
合計 (件)	196	10	30	32	51	28	37	8	392
割合 (%)	50.0	2.6	7.7	8.2	13.0	7.1	9.4	2.0	100.0
平均立寄数 (件)	2.9	3.3	3.3	3.6	3.2	4.0	3.7	4.0	3.2

(参考 23) 発地別立寄市町村割合 (%) [九州・沖縄]

	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	九州・沖縄
01 東洋・室戸	11.2		10.0	3.1	3.9	17.9			8.4
02 奈半利・田野 等	2.6			3.1					1.5
03 安芸・芸西	1.5	10.0			2.0	3.6			1.5
04 香南	1.0					3.6			0.8
05 南国・香美	5.1	10.0		15.6		17.9	13.5		6.6
06 本山・大豊 等									
07 高知	54.1	80.0	63.3	40.6	62.8	35.7	73.0	75.0	56.4
08 いの	2.6		3.3						1.5
09 土佐・日高									
10 佐川・越知									
11 須崎・中土佐	0.5		3.3			3.6			0.8
12 梶原・津野	1.0								0.5
13 四万十町				3.1		3.6	2.7		0.8
14 黒潮・四万十市	12.2		10.0	21.9	17.7	3.6	2.7	12.5	11.7
15 宿毛・三原				3.1		3.6	2.7		0.8
16 土佐清水・大月	8.2		10.0	9.4	13.7	7.1	5.4	12.5	8.7

※ **白抜き** は都道府県・ブロックで1位、**太字** は同2位

(参考 24) 発地別立寄市町村割合 (%) [九州・沖縄]



2-2年代別立寄市町村割合

年代別立寄市町村（件）

	10代 (n=61)	20代 (n=635)	30代 (n=1,087)	40代 (n=719)	50代 (n=679)	60代以上 (n=819)	全体 (n=4,000)
01 東洋・室戸	9	123	183	121	132	173	741
02 奈半利・田野 等	10	76	116	100	126	121	549
03 安芸・芸西		12	12	15	19	18	76
04 香南	3	37	72	30	20	22	184
05 南国・香美	14	225	448	195	125	164	1,171
06 本山・大豊 等				1	6		7
07 高知	60	643	983	797	632	676	3,791
08 いの	5	34	102	85	109	159	494
09 土佐・日高							
10 佐川・越知		1	3			1	5
11 須崎・中土佐	5	81	126	89	104	113	518
12 梶原・津野	1	12	14	11	11	3	52
13 四万十町	3	16	24	20	26	58	147
14 黒潮・四万十市	7	124	196	143	114	145	729
15 宿毛・三原	2	8	8	16	11	48	93
16 土佐清水・大月	9	135	207	161	148	183	843
合計（件）	128	1,527	2,494	1,784	1,583	1,884	9,400
割合（％）	1.4	16.2	26.5	19.0	16.8	20.0	100.0
平均立寄数（件）	2.1	2.4	2.3	2.5	2.3	2.3	2.4

（年代別立寄市町村割合（％））

	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	全体
01 東洋・室戸	7.0	8.1	7.3	6.8	8.3	9.2	7.9
02 奈半利・田野 等	7.8	5.0	4.7	5.6	8.0	6.4	5.8
03 安芸・芸西		0.8	0.5	0.8	1.2	1.0	0.8
04 香南	2.3	2.4	2.9	1.7	1.3	1.2	2.0
05 南国・香美	10.9	14.7	18.0	10.9	7.9	8.7	12.5
06 本山・大豊 等				0.1	0.4		0.1
07 高知	46.9	42.1	39.4	44.7	39.9	35.9	40.3
08 いの	3.9	2.2	4.1	4.8	6.9	8.4	5.3
09 土佐・日高							0.0
10 佐川・越知		0.1	0.1			0.1	0.1
11 須崎・中土佐	3.9	5.3	5.1	5.0	6.6	6.0	5.5
12 梶原・津野	0.8	0.8	0.6	0.6	0.7	0.2	0.6
13 四万十町	2.3	1.1	1.0	1.1	1.6	3.1	1.6
14 黒潮・四万十市	5.5	8.1	7.9	8.0	7.2	7.7	7.8
15 宿毛・三原	1.6	0.5	0.3	0.9	0.7	2.6	1.0
16 土佐清水・大月	7.0	8.8	8.3	9.0	9.4	9.7	9.0

※ 白抜き は年代で1位、太字 は同2位

・年代別にみた立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、30代の旅行者が1,087組で2,494ヶ所（平均2.3ヶ所）で最も多く、次いで60代以上が819組で1,884ヶ所（平均2.3ヶ所）、40代が719組で1,784ヶ所（平均2.5ヶ所）、50代が679組で1,583ヶ所（平均2.3ヶ所）、20代が635組で1,527ヶ所（平均2.4ヶ所）、10代が61組で128ヶ所（平均2.1ヶ所）となっている。

平均立寄数は40代が2.5ヶ所で最も多く、次いで20代が2.4ヶ所、30代と50代、60代以上が2.3ヶ所、10代が2.1ヶ所となっている。

・年代による立寄観光地の傾向

すべての年代で「高知」での立寄りが35～47%と最も多くなっている。2番目に多かった市町村は、10代から40代は「南国・香美」、50代と60代以上は「土佐清水・大月」と分かれている。

- 10代：「高知」の46.9%が年代別で最も多い割合となっている。その一方で「土佐清水・大月」や「黒潮・四万十市」、「須崎・中土佐」は年代別で最も少なくなっている。
- 20代：「高知」と「南国・香美」で全体平均を上回り、「いの」は年代別で最も少なくなっている。
- 30代：「南国・香美」が18.0%と全体平均を5.5ポイント上回り、年代別で最も多くなっている。
- 40代：「高知」が44.7%と年代別で2番目に多く、「東洋・室戸」は年代別で最も少なくなっている。
- 50代・60代以上：「高知」や「南国・香美」で全体平均を下回っている一方で、「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」の県東部、さらに「須崎・中土佐」や「土佐清水・大月」の県西部、「いの」で全体平均を上回っている。

2-3 旅行形態別立寄市町村割合

旅行形態別立寄市町村 (件)

	家族 (n=2,799)	友人・知人 (n=682)	団体 (n=29)	その他 (n=39)	一人 (n=451)	全体 (n=4,000)
01 東洋・室戸	445	128	1	3	164	741
02 奈半利・田野 等	377	120		7	45	549
03 安芸・芸西	61	4		3	8	76
04 香南	144	31		3	6	184
05 南国・香美	917	182	4	13	55	1,171
06 本山・大豊 等	4	1			2	7
07 高知	2,718	672	47	34	320	3,791
08 いの	334	66	1	3	90	494
09 土佐・日高						
10 佐川・越知	1	3			1	5
11 須崎・中土佐	368	104	3	2	41	518
12 梶原・津野	34	8			10	52
13 四万十町	98	16	4	3	26	147
14 黒潮・四万十市	499	126	8	5	91	729
15 宿毛・三原	59	6	2	3	23	93
16 土佐清水・大月	588	131	4	12	108	843
合計 (件)	6,647	1,598	74	91	990	9,400
割合 (%)	70.7	17.0	0.8	1.0	10.5	100.0
平均立寄数 (件)	2.4	2.3	2.6	2.3	2.2	2.4

旅行形態別立寄市町村割合 (%)

	家族	友人・知人	団体	その他	一人	全体
01 東洋・室戸	6.7	8.0	1.4	3.3	16.6	7.9
02 奈半利・田野 等	5.7	7.5		7.7	4.6	5.8
03 安芸・芸西	0.9	0.3		3.3	0.8	0.8
04 香南	2.2	1.9		3.3	0.6	2.0
05 南国・香美	13.8	11.4	5.4	14.3	5.6	12.5
06 本山・大豊 等	0.1	0.1			0.2	0.1
07 高知	40.9	42.1	63.5	37.4	32.3	40.3
08 いの	5.0	4.1	1.4	3.3	9.1	5.3
09 土佐・日高						0.0
10 佐川・越知	0.0	0.2			0.1	0.1
11 須崎・中土佐	5.5	6.5	4.1	2.2	4.1	5.5
12 梶原・津野	0.5	0.5			1.0	0.6
13 四万十町	1.5	1.0	5.4	3.3	2.6	1.6
14 黒潮・四万十市	7.5	7.9	10.8	5.5	9.2	7.8
15 宿毛・三原	0.9	0.4	2.7	3.3	2.3	1.0
16 土佐清水・大月	8.9	8.2	5.4	13.2	10.9	9.0

※ 白抜き は旅行形態で1位、太字 は同2位

・旅行形態別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、集計対象の多い家族旅行者が 2,799 組で 6,647 ヶ所（平均 2.4 ヶ所）と全体の 70.7%を占めている。次いで友人・知人が 682 組で 1,598 ヶ所（平均 2.3 ヶ所）、一人旅が 451 人で 990 ヶ所（平均 2.2 ヶ所）、団体旅行が 29 組で 74 ヶ所（平均 2.6 ヶ所）、その他は 39 組で 91 ヶ所（平均 2.3 ヶ所）となっている。

・旅行形態による立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多い割合を占めている。特に団体旅行の場合は、63.5%と全体平均の 40.3%を大きく上回っている。2 番目に多くなった市町村は、家族、友人・知人、その他が「南国・香美」、団体が「黒潮・四万十市」、一人旅が「東洋・室戸」となっている。

- 家族旅行：集計対象の大半を占めているため、市町村別の全体平均に近くなっているが、「南国・香美」が 13.8%と全体平均を 1.3 ポイント上回っている。その一方で、「東洋・室戸」が 1.2 ポイント下回っている。
- 友人・知人：「高知」や「奈半利・田野等」、「須崎・中土佐」などで全体平均を上回り、「いの」や「土佐清水・大月」が少なくなっている。
- 団体旅行：前述の通り、「高知」が全体平均を 23.2 ポイント上回り、「黒潮・四万十市」も多くなっている。
- その他：「南国・香美」や「土佐清水・大月」が旅行形態別で最も多くなっている。
- 一人旅：「東洋・室戸」が 16.6%と全体平均を 8.7 ポイント上回り、「黒潮・四万十市」や「土佐清水・大月」、「いの」なども多くなっている。その反面で「南国・香美」や「高知」では少なくなっている。

2-4 旅行目的別立寄市町村割合

旅行目的別立寄市町村 (件)

	自然見物 (n=1,039)	休養 (n=191)	祭り (n=174)	アウトドア (n=80)	スポーツ (n=19)	食べ物 (n=296)	神仏霊場 (n=128)	買い物 (n=80)	名所旧跡 (n=1,052)	なんとなく (n=500)	帰省・仕事 (n=342)	その他 (n=99)	全体 (n=4,000)
01 東洋・室戸	253	18	16	12	5	28	84	5	130	140	42	8	741
02 奈半利・田野 等	283	29	13	1		26	4		90	55	30	18	549
03 安芸・芸西	18	2				1			39	5	10	1	76
04 香南	60	7	5	2		7	4		63	17	14	5	184
05 南国・香美	250	28	65	7	8	34	39	6	549	86	78	21	1,171
06 本山・大豊 等	2			1		1			1	2			7
07 高知	792	147	176	50	12	239	61	28	1,704	207	304	71	3,791
08 いの	119	27	38	13	1	27		32	39	112	53	33	494
09 土佐・日高													
10 佐川・越知	1	1					1		2				5
11 須崎・中土佐	58	81	5	18	2	159	5	24	45	66	47	8	518
12 梶原・津野	18	1		3		4		1	12	8	3	2	52
13 四万十町	19	4	2	1		7	73	5	14	9	11	2	147
14 黒潮・四万十市	279	25	7	48	2	41	20	18	142	82	60	5	729
15 宿毛・三原	8			1			77			5	2		93
16 土佐清水・大月	298	24	4	49	2	37	98	1	155	106	60	9	843
合計 (件)	2,458	394	331	206	32	611	466	120	2,985	900	714	183	9,400
割合 (%)	26.1	4.2	3.5	2.2	0.3	6.5	5.0	1.3	31.8	9.6	7.6	1.9	100.0
平均立寄数 (件)	2.4	2.1	1.9	2.6	1.7	2.1	3.6	1.5	2.8	1.8	2.1	1.8	2.4

旅行目的別立寄市町村割合 (%)

	自然見物	休養	祭り	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏霊場	買い物	名所旧跡	なんとなく	帰省・仕事	その他	全体
01 東洋・室戸	10.3	4.6	4.8	5.8	15.6	4.6	18.0	4.2	4.4	15.6	5.9	4.4	7.9
02 奈半利・田野 等	11.5	7.4	3.9	0.5		4.3	0.9		3.0	6.1	4.2	9.8	5.8
03 安芸・芸西	0.7	0.5				0.2			1.3	0.6	1.4	0.6	0.8
04 香南	2.4	1.8	1.5	1.0		1.2	0.9		2.1	1.9	2.0	2.7	2.0
05 南国・香美	10.2	7.1	19.6	3.4	25.0	5.6	8.4	5.0	18.4	9.6	10.9	11.5	12.5
06 本山・大豊 等	0.1			0.5		0.2			0.0	0.2			0.1
07 高知	32.2	37.3	53.2	24.3	37.5	39.1	13.1	23.3	57.1	23.0	42.6	38.8	40.3
08 いの	4.8	6.9	11.5	6.3	3.1	4.4		26.7	1.3	12.4	7.4	18.0	5.3
09 土佐・日高													0.0
10 佐川・越知	0.0	0.3					0.2		0.1				0.1
11 須崎・中土佐	2.4	20.6	1.5	8.7	6.3	26.0	1.1	20.0	1.5	7.3	6.6	4.4	5.5
12 梶原・津野	0.7	0.3		1.5		0.7		0.8	0.4	0.9	0.4	1.1	0.6
13 四万十町	0.8	1.0	0.6	0.5		1.2	15.7	4.2	0.5	1.0	1.5	1.1	1.6
14 黒潮・四万十市	11.4	6.4	2.1	23.3	6.3	6.7	4.3	15.0	4.8	9.1	8.4	2.7	7.8
15 宿毛・三原	0.3			0.5			16.5			0.6	0.3		1.0
16 土佐清水・大月	12.1	6.1	1.2	23.8	6.3	6.1	21.0	0.8	5.2	11.8	8.4	4.9	9.0

※ 白抜き は旅行目的で1位、太字 は同2位

・旅行目的別にみた立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が1,052組で2,985ヶ所（平均2.8ヶ所）と全体の31.8%を占めている。次いで“自然見物”が1,039組で2,458ヶ所（平均2.4ヶ所）、“なんとなく”が500組で900ヶ所（平均1.8ヶ所）、“帰省・仕事”が342組で714ヶ所（平均2.1ヶ所）、“食べ物”が296組で611ヶ所（平均2.1ヶ所）、“神仏霊場”が128組で466ヶ所（平均3.6ヶ所）などとなっている。

・旅行目的による立寄市町村の傾向

ほとんどの旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めているが、“神仏霊場”は「土佐清水・大月」、「買い物」は「いの」が最も多くなっている。2番目に多かった市町村は、“名所旧跡”や“帰省・仕事”など4項目で「南国・香美」、「神仏霊場」と“なんとなく”は「東洋・室戸」、「休養」と“食べ物”は「須崎・中土佐」、「自然風景」と“アウトドア”は「土佐清水・大月」、「買い物」は「高知」となっている。

- 名所旧跡：「高知」が57.1%と旅行目的別で最も多く、「南国・香美」も全体平均を超えて多くなっている。その一方で「東洋・室戸」や「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などは少なくなっている。
- 自然見物：名所旧跡と正反対の傾向で、「高知」や「南国・香美」が少なく、「東洋・室戸」や「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などが多くなっている。なお、「奈半利・田野等」が旅行目的別で最も多くなっている。
- なんとなく：ドライブやツーリング目的の旅行者を含むため、自然見物と同様の傾向となっている。特に「高知」は23.0%と旅行目的別で2番目に少ないのが特徴で、県内各地を幅広く立寄っている。
- 帰省・仕事：「高知」が全体平均を上回った以外は、目立つ傾向はなかった。
- 食べ物：「須崎・中土佐」が26.0%と全体平均を20.5ポイント上回り、旅行目的別で群を抜いて多くなっている。
- 休養：食べ物と同様に「須崎・中土佐」が20.6%と多くなっている。
- 祭り：「高知」、「南国・香美」、「いの」などが全体平均を上回って多くなっている。
- 神仏霊場：「土佐清水・大月」と「東洋・室戸」で全体平均を10ポイント以上も上回っている。「東洋・室戸」、「四万十町」、「宿毛・三原」は旅行目的別で最も多く、「土佐清水・大月」は2番目に多くなっている。その反面で「高知」、「いの」、「須崎・中土佐」最も少なくなっている。
- アウトドア：「高知」、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」の3地域がそれぞれ約4分の1となり、「須崎・中土佐」や「いの」が全体平均を上回っている。なお、「土佐清水・大月」と「黒潮・四万十市」は旅行目的別で最も多くなっている。
- 買い物：「いの」、「高知」、「須崎・中土佐」、「黒潮・四万十市」の4地域が多く、その合計は85.0%と大半を占めている。なお、「いの」が旅行目的別では最も多くなっている。

■ 3 周遊ルート分析

- 集計方法について
 - ・ 「訪問した（する予定の）観光地」を下記の周遊6エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
 - ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。
※例 「中央」 - 「中央」 - 「中央東」の場合、「中央」 - 「中央東」として集計。
 - ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、海外の3ブロックからは入込が少数のため、この3ブロックを合計し、“その他”として集計している。
 - ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊6エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、安芸市、芸西村
中央東 : 香南市、南国市、香美市、本山町、大豊町、土佐町、大川村
中央 : 高知市
中央西 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町

※表中の「他エリアへの移動なし」は、最初に訪れた周遊エリア以外での観光がないことを表している。

● 周遊ルートの傾向、および特徴

この項目では、平成23年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者（発地ブロック別、旅行形態別）がどのような順序で県内地域を観光したか、その周遊ルートを分析した

回答のあったすべての県外旅行者の周遊ルートを見ると、「中央」エリアだけで観光を終える割合が18.0%で最も高く、その他の単一エリア内で観光を終えるルートも含めると47.9%となった。広範囲に移動するルートの上位をみても、「中央」を含むルートで占められるという結果となった。

主な発地ブロック別で傾向をみると、四国ブロックは県内全域が高知県観光の目的地となっているものの、広範囲に移動するルートは少なかった。また、発地ブロック別で唯一、「中央東」エリアだけで観光を終えるルートが最も多いという特徴が見られた。

近畿ブロックと中国ブロックは、単一エリアで観光を終えるルートが45%前後で、その中でも「中央」エリアが最も多くなっている。広範囲に移動するルートは「中央」を含むルートが上位になっている。

関東ブロックと九州・沖縄ブロックは、単一エリアで観光を終えるルートが40%前後で、近畿などと同様に「中央」エリアが最も多くなっている。広範囲に移動するルートでは、「中央」と「幡多」のルートが上位となっている。

甲信・東海ブロックは、単一エリアで観光を終えるルートは45.1%で、中でも「中央」エリアが33.1%と群を抜いて多くなっている。広範囲に周遊するルートは「中央」エリアを含むルートが多いものの、近畿や中国ブロックと異なり、前後のエリアは分散している。

県内旅行者は、単一エリアで観光を終えるルートが91.7%と大半を占めており、「高幡」から「幡多」へのルートをのぞくと、広範囲に移動するルートは1%未満とごく少数にとどまっている。

旅行形態別で傾向をみると、家族旅行は、単一エリアで観光を終えるルートが58.2%で、「中央」、「中央東」、「東部」の順で多くなっている。全体平均と比べ、「中央東」を含むルートの割合が多くなっている。

友人・知人との旅行は、単一エリアで観光を終えるルートが60.4%で、その中でも「東部」が最も多くなっている。「中央東」はエリア単独で観光を終える割合は少なく、「中央」エリアとの組み合わせで周遊する傾向が見られる。

団体旅行は、単一エリアで観光を終えるルートが79.3%と旅行形態別で最も多く、特に「中央」と「幡多」の2エリアに集中している。

一人旅は、単一エリアで観光を終えるルートが65.2%を占めている。全体平均を上回ったエリアが「中央西」、「東部」、「幡多」で、残りの3エリアは反対に大きく下回っている。また、全体と一人旅では、広範囲に移動するルートの上位がほとんど合致していないという傾向が見られる。

3-1 発地別周遊ルート

3-1-1 県外旅行者全体

すべての県外旅行者 2,929 組の周遊ルートは以下の通りであった。

周遊ルート（件） [周遊エリア2まで]

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊 エ リ ア 1	東部		57	129	3	8	16	220	433
	中央東	40		184	3	12	4	224	467
	中央	127	248		47	60	178	526	1,186
	中央西	4	5	60		4	5	86	164
	高幡	3	6	42	1		100	92	244
	幡多	12	6	120	1	42		254	435
	計	186	322	535	55	126	303	1,402	2,929

周遊ルート（件・%） [周遊エリア3まで]

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					526	18.0 %
幡多					254	8.7 %
中央東					224	7.6 %
東部					220	7.5 %
中央	→	中央東			180	6.1 %
中央東	→	中央			147	5.0 %
中央	→	幡多			144	4.9 %
中央	→	東部			100	3.4 %
幡多	→	中央			93	3.2 %
高幡					92	3.1 %
中央西					86	2.9 %
高幡	→	幡多			80	2.7 %
東部	→	中央			79	2.7 %
中央西	→	中央			54	1.8 %
中央	→	中央西			36	1.2 %
中央	→	中央東	→	中央	34	1.2 %
高幡	→	中央			34	1.2 %
東部	→	中央	→	幡多	30	1.0 %
中央	→	高幡			30	1.0 %
中央東	→	東部			29	1.0 %

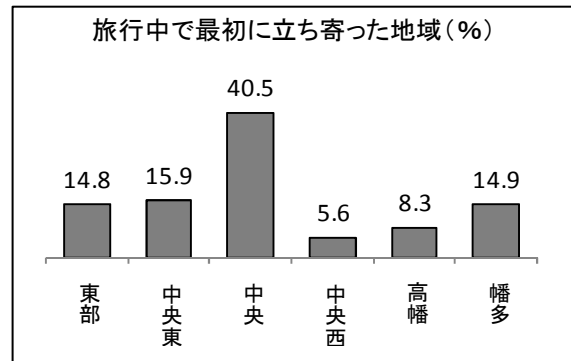
・上位を占めた周遊ルート

県外旅行者 2,929 組の周遊ルートを見ると、単一エリア内で観光を終えた周遊ルートが上位を占めている。なお、単一エリア内で観光を終えた周遊ルートすべての割合は、1,402 組で全体の 47.9%を占めている。

占める割合の多い順で周遊ルートを見ると、「中央」を訪問し、他エリアでの周遊がない旅行者が 526 組 (18.0%) で最も多くなった。次いで、「幡多」のみが 254 組 (8.7%)、「中央東」のみが 224 組 (7.6%)、「東部」のみが 220 組 (7.5%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄ったエリアは、「中央」が最も多く 1,186 組 (40.5%)、次いで「中央東」467 組 (15.9%)、「幡多」435 組 (14.9%)、「東部」433 組 (14.8%)、「高幡」244 組 (8.3%)、「中央西」164 組 (5.6%) となっている。

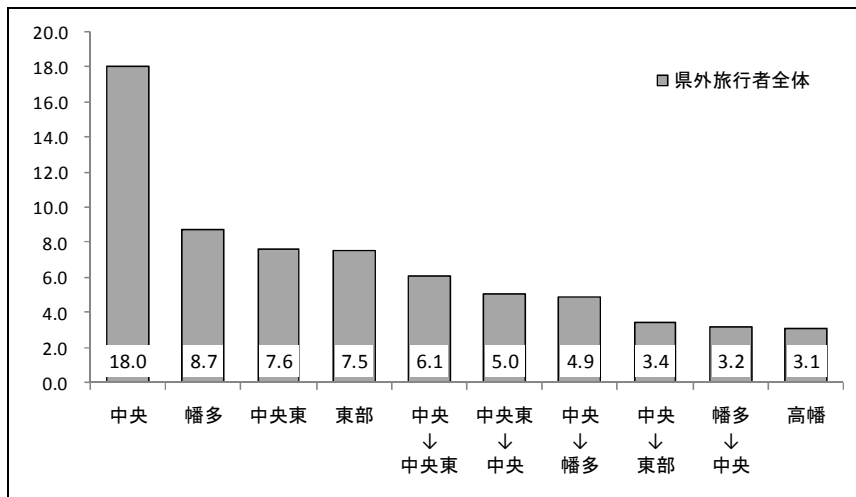


・周遊ルートの傾向

他エリアへの移動を伴う周遊ルートに限って上位を見ると、「中央」から「中央東」の 180 組 (6.1%)、「中央東」から「中央」の 147 組 (5.0%)、「中央」から「幡多」の 144 組 (4.9%)、「中央」から「東部」の 100 組 (3.4%) などが多くなっている。

このように他エリアへの移動を伴う周遊ルートの場合は、「中央」を含む周遊ルートが上位になっていることが、顕著な傾向として表れている。

主な周遊ルート割合 (%) [上位 10 位まで]



3-1-2 四国

高知県を除く四国3県からの旅行者 995 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計	最初に立寄った割合(%)
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし		
周遊エリア1	東部		19	20	3	4		116	162	16.3
	中央東	23		62	3	7		133	228	22.9
	中央	38	68		23	20	8	95	252	25.3
	中央西	3	3	36		3	2	65	112	11.3
	高幡		4	20	1		39	63	127	12.8
	幡多	3		5		9		97	114	11.5
	計	67	94	143	30	43	49	569	995	

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央東					133	13.4 %
東部					116	11.7 %
幡多					97	9.7 %
中央					95	9.5 %
中央西					65	6.5 %
高幡					63	6.3 %
中央	→	中央東			58	5.8 %
中央東	→	中央			52	5.2 %
高幡	→	幡多			37	3.7 %
中央	→	東部			36	3.6 %
中央西	→	中央			33	3.3 %
中央	→	中央西			21	2.1 %
中央東	→	東部			19	1.9 %
高幡	→	中央			16	1.6 %
東部	→	中央			15	1.5 %
東部	→	中央東			13	1.3 %
中央	→	高幡			13	1.3 %

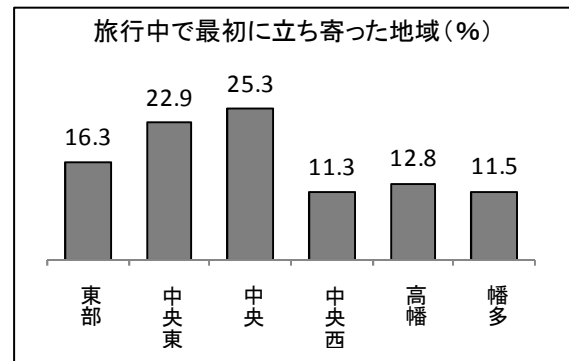
・上位を占めた周遊ルート

四国3県の旅行者 995 組の周遊ルートを見ると、「中央東」のみを訪問した旅行者が 133 組 (13.4%) と最も多かった。次いで「東部」のみが 116 組 (11.7%)、「幡多」のみが 97 組 (9.7%)、「中央」のみが 95 組 (9.5%)、「中央西」のみが 65 組 (6.5%)、「高幡」のみが 63 組 (6.3%) などとなっている。このように、上位 6 位まで単一エリア内で観光を終える周遊ルートが占め、その割合は 57.1% と半数を超えている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートの上位をみると、「中央」から「中央東」の 58 組 (5.8%)、「中央東」から「中央」の 52 組 (5.2%)、「高幡」から「幡多」の 37 組 (3.7%)、「中央」から「東部」の 36 組 (3.6%) などとなっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った周遊エリアは、「中央」が最も多く 252 組 (25.3%)、次いで「中央東」228 組 (22.9%)、「東部」162 組 (16.3%)、「高幡」127 組 (12.8%)、「幡多」114 組 (11.5%)、「中央西」112 組 (11.3%) となっている。

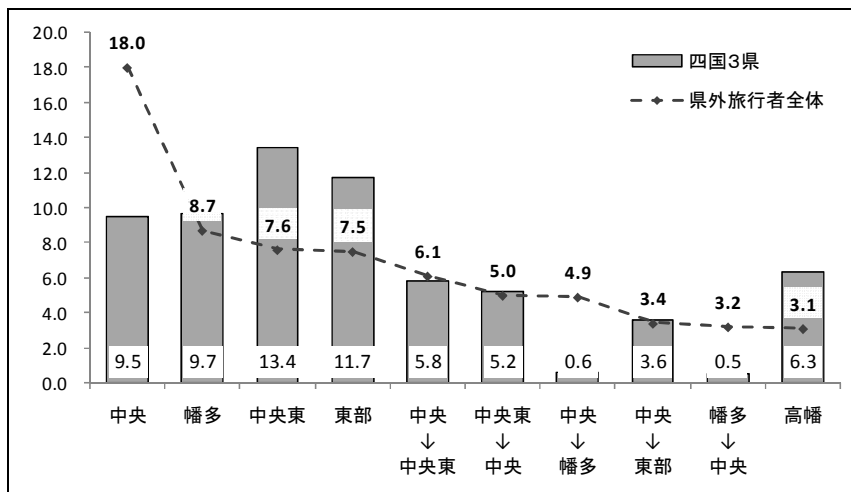


・周遊ルートの傾向

他のブロックや県外全体と比べ、「中央」を含む周遊ルートの割合が少なくなっている。特に、県外全体では最も多い「中央」のみで観光を終えた割合は県外全体より 8.5 ポイント少ない 9.5%、「中央」から「幡多」へのルート、その逆ルートも少なくなっている。一方で、「中央東」や「東部」、「高幡」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも多くなっている。

以上のことから、四国3県からの高知県観光は、「中央」だけではなく、県内全域が主な目的地とするが、広範囲に移動はしない日帰り旅行が多いと推測される。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-3 近畿

近畿ブロックからの旅行者 762 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		13	38		2	6	49	108
	中央東	8		49		2	2	39	100
	中央	24	81		6	14	57	166	348
	中央西			7			1	9	17
	高幡	3	1	9			31	17	61
	幡多	2	2	43		15		66	128
	計	37	97	146	6	33	97	346	762

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					166	21.8 %
幡多					66	8.7 %
中央	→	中央東			54	7.1 %
東部					49	6.4 %
中央	→	幡多			46	6.0 %
中央東					39	5.1 %
中央東	→	中央			36	4.7 %
幡多	→	中央			33	4.3 %
東部	→	中央			22	2.9 %
高幡	→	幡多			22	2.9 %
中央	→	東部			18	2.4 %
高幡					17	2.2 %
中央	→	中央東	→	東部	10	1.3 %
中央	→	中央東	→	中央	10	1.3 %
東部	→	中央	→	幡多	10	1.3 %
中央西					9	1.2 %
中央東	→	中央	→	幡多	8	1.0 %
中央	→	高幡			8	1.0 %
高幡	→	中央			8	1.0 %

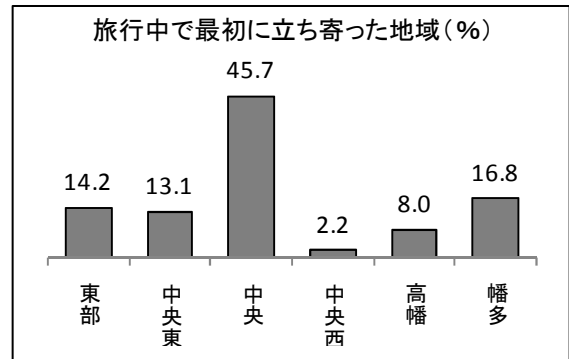
・上位を占めた周遊ルート

近畿ブロックの旅行者 762 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 166 組 (21.8%) と最も多かった。次いで「幡多」のみが 66 組 (8.7%)、「中央」から「中央東」のルートが 54 組 (7.1%)、「東部」のみが 49 組 (6.4%)、「中央」から「幡多」が 46 組 (6.0%)、「中央東」のみが 39 組 (5.1%)、「中央東」から「中央」が 36 組 (4.7%) などとなっている。

エリアを越えず、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 346 組と近畿全体の 45.4% を占めている。その内訳は「中央」166 組 (21.8%)、「幡多」66 組 (8.7%)、「東部」49 組 (6.4%)、「中央東」39 組 (5.1%)、「高幡」17 組 (2.2%)、「中央西」9 組 (1.2%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 348 組 (45.7%)、次いで「幡多」128 組 (16.8%)、「東部」108 組 (14.2%)、「中央東」100 組 (13.1%)、「高幡」61 組 (8.0%)、「中央西」17 組 (2.2%) となっている。

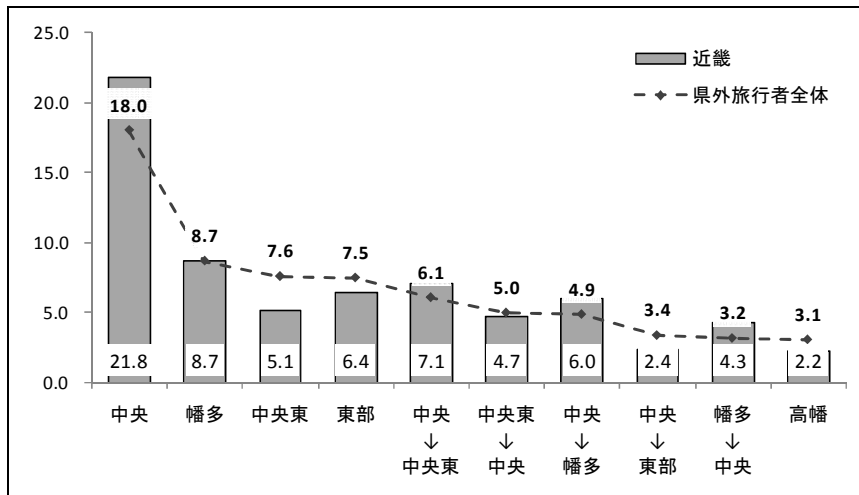


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」を含む周遊ルートの割合が多くなっている。その一方で、「中央東」や「東部」のみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている。

旅行の始めに「中央」へ立ち寄り、広範囲な周遊をしない、または他エリアと「中央」を組み合わせたルートなど、「中央」エリアが高知県観光の中心になっていると推測される。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体との比較]



3-1-4 中国

中国ブロックからの旅行者 423 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		9	16			2	27	54
	中央東	6		36		2	1	32	77
	中央	23	41		4	10	24	78	180
	中央西	1	1	8		1	1	5	17
	高幡		1	5			13	6	25
	幡多		1	23		9		37	70
	計	30	53	88	4	22	41	185	423

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					78	18.4 %
幡多					37	8.7 %
中央東					32	7.6 %
中央	→	中央東			31	7.3 %
中央東	→	中央			27	6.4 %
東部					27	6.4 %
幡多	→	中央			22	5.2 %
中央	→	幡多			21	5.0 %
中央	→	東部			16	3.8 %
東部	→	中央			13	3.1 %
高幡	→	幡多			10	2.4 %
中央西	→	中央			8	1.9 %
中央	→	中央東	→	中央	7	1.7 %
高幡					6	1.4 %
中央	→	高幡			5	1.2 %
東部	→	中央東			5	1.2 %
中央西					5	1.2 %

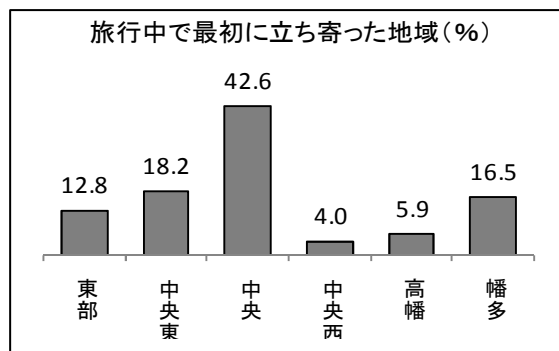
・上位を占めた周遊ルート

中国ブロックの旅行者 423 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 78 組 (18.4%) と最も多かった。次いで「幡多」のみが 37 組 (8.7%)、「中央東」のみが 32 組 (7.6%)、「中央」から「中央東」のルートが 31 組 (7.3%)、「中央東」から「中央」のルートが 27 組 (6.4%)、「東部」のみが 27 組 (6.4%) などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 185 組と中国全体の 43.7% を占めている。その内訳は「中央」78 組 (18.4%)、「幡多」37 組 (8.7%)、「中央東」32 組 (7.6%)、「東部」27 組 (6.4%)、「高幡」6 組 (1.4%)、「中央西」5 組 (1.2%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 180 組 (42.6%)、次いで「中央東」の 77 組 (18.2%)、「幡多」の 70 組 (16.5%)、「東部」の 54 組 (12.8%)、「高幡」の 25 組 (5.9%)、「中央西」の 17 組 (4.0%) となっている。

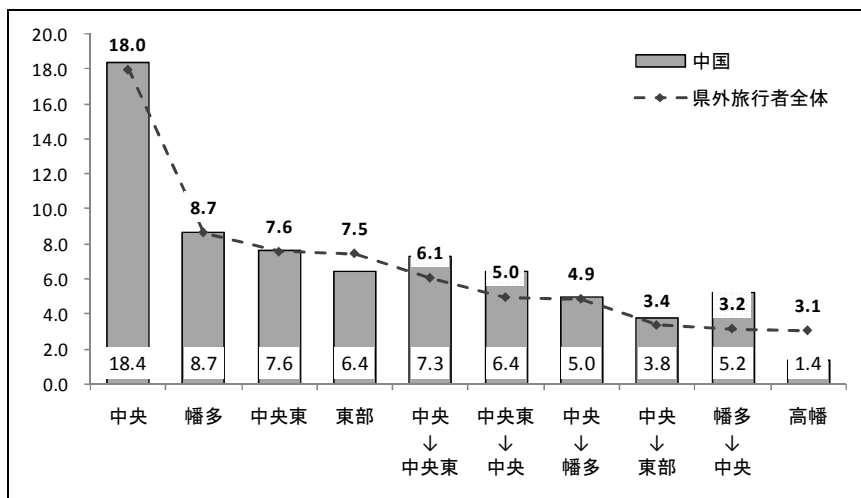


・周遊ルートの傾向

県外全体の上位 10 位までのルートに限ると、よく似通った結果となっている。県外全体と比べ、割合が多くなっているルートは、「幡多」から「中央」、「中央」から「中央東」と、その逆ルートなどとなった。

高知県観光の中心が「中央」エリアという近畿ブロックと同様の傾向が、やや弱まった結果となっている。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-5 関東

関東ブロックからの旅行者 395 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		9	26		2	6	16	59
	中央東	1		22				10	33
	中央	20	27		9	9	53	90	208
	中央西			4				4	8
	高幡			7			9	5	21
	幡多	4	2	26	1	4		29	66
	計	25	38	85	10	15	68	154	395

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					90	22.8 %
中央	→	幡多			40	10.1 %
幡多					29	7.3 %
中央東	→	中央			22	5.6 %
幡多	→	中央			17	4.3 %
東部					16	4.1 %
東部	→	中央			15	3.8 %
中央	→	東部			15	3.8 %
中央	→	中央東			14	3.5 %
中央東					10	2.5 %
中央	→	中央東	→	中央	8	2.0 %
東部	→	中央	→	幡多	8	2.0 %
幡多	→	中央	→	東部	7	1.8 %
東部	→	中央東	→	中央	6	1.5 %
中央	→	幡多	→	中央	5	1.3 %
中央	→	東部	→	中央	5	1.3 %
高幡	→	中央			5	1.3 %
東部	→	幡多			5	1.3 %
高幡					5	1.3 %

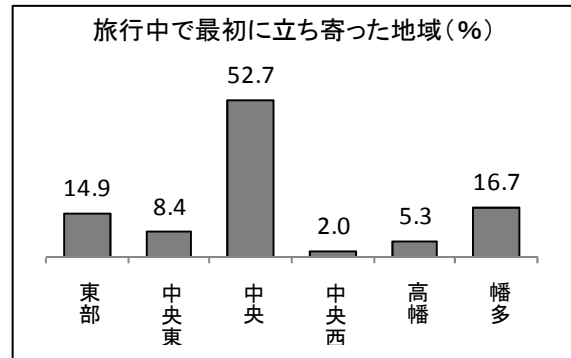
・上位を占めた周遊ルート

関東ブロックの旅行者 395 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 90 組 (22.8%) と最も多かった。次いで「中央」から「幡多」のルートが 40 組 (10.1%)、「幡多」のみが 29 組 (7.3%)、「中央東」から「中央」のルートが 22 組 (5.6%)、「幡多」から「中央」のルートが 17 組 (4.3%)、「東部」のみが 16 組 (4.1%) などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 154 組と関東全体の 39.0% を占めている。その内訳は「中央」90 組 (22.8%)、「幡多」29 組 (7.3%)、「東部」16 組 (4.1%)、「中央東」10 組 (2.5%)、「高幡」5 組 (1.3%)、「中央西」4 組 (1.0%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 208 組 (52.7%)、次いで「幡多」の 66 組 (16.7%)、「東部」の 59 組 (14.9%)、「中央東」の 33 組 (8.4%)、「高幡」の 21 組 (5.3%)、「中央西」の 8 組 (2.0%) となっている。

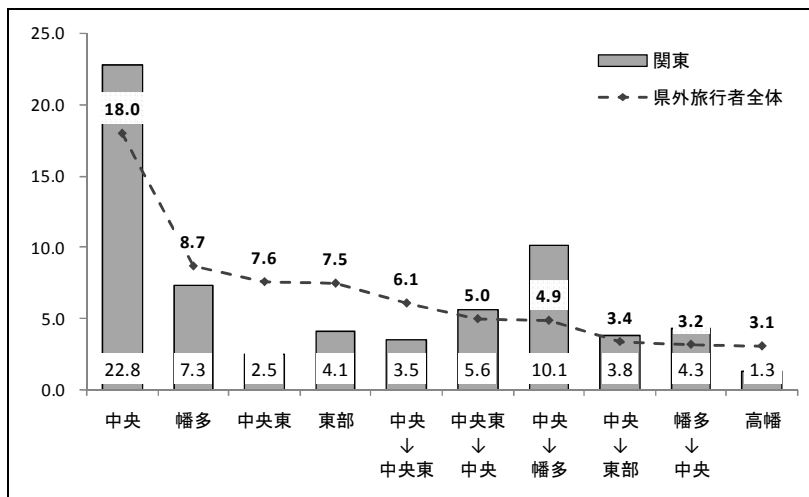


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」のみと「中央」から「幡多」ルートの割合が目立って多くなっている。その一方で、「中央」以外の単一エリアのみで観光を終えた割合は県外全体よりも少なくなっている。

周遊ルートの上位を「中央」と「幡多」を含むルートで占めていることから、高知県観光の中心が「中央」と「幡多」になっていると推測される。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-6 九州・沖縄

九州・沖縄ブロックからの旅行者 124 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		2	8			1	5	16
	中央東			7				3	10
	中央	9	6			2	16	30	63
	中央西			3				1	4
	高幡			1			1		2
	幡多	2		14		2		11	29
	計	11	8	33		4	18	50	124

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					30	24.2 %
中央	→	幡多			15	12.1 %
幡多					11	8.9 %
幡多	→	中央			10	8.1 %
中央	→	東部			8	6.5 %
中央東	→	中央			5	4.0 %
中央	→	中央東			5	4.0 %
東部					5	4.0 %
東部	→	中央	→	幡多	4	3.2 %
幡多	→	中央	→	東部	3	2.4 %
東部	→	中央			3	2.4 %
中央東					3	2.4 %
中央西	→	中央			3	2.4 %
東部	→	中央東	→	中央	2	1.6 %
幡多	→	東部			2	1.6 %

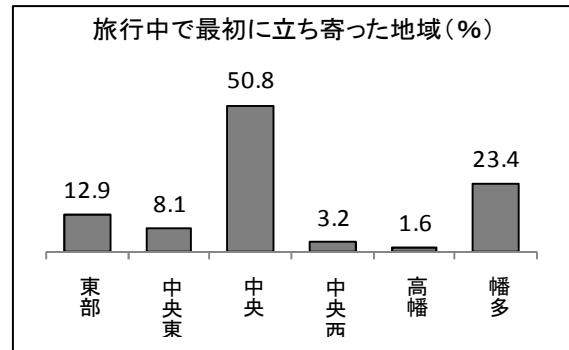
・上位を占めた周遊ルート

九州・沖縄ブロックの旅行者 124 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 30 組 (24.2%) と最も多かった。次いで「中央」から「幡多」のルートが 15 組 (12.1%)、「幡多」のみが 11 組 (8.9%)、「幡多」から「中央」のルートが 10 組 (8.1%)、「中央」から「東部」のルートが 8 組 (6.5%) などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 50 組と九州・沖縄全体の 40.3% を占めた。その内訳は「中央」30 組 (24.2%)、「幡多」11 組 (8.9%)、「東部」5 組 (4.0%)、「中央東」3 組 (2.4%)、「中央西」1 組 (0.8%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

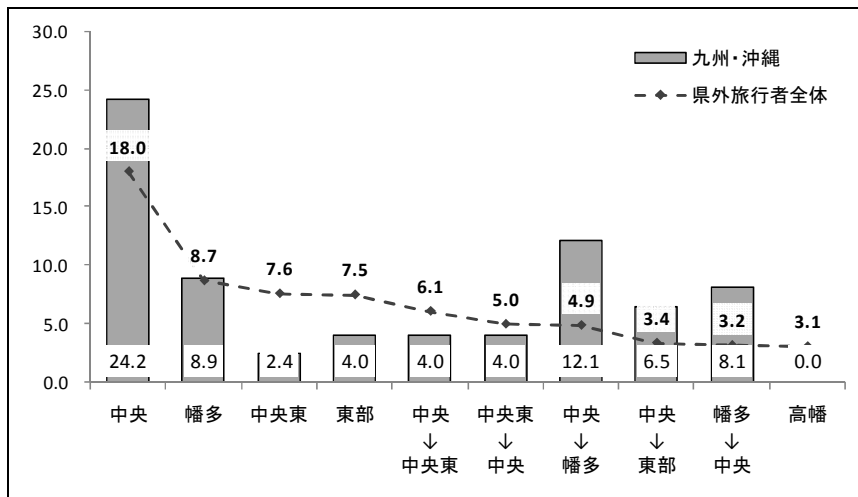
旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 63 組 (50.8%)、次いで「幡多」の 29 組 (23.4%)、「東部」の 16 組 (12.9%)、「中央東」の 10 組 (8.1%)、「中央西」の 4 組 (3.2%)、「高幡」の 2 組 (1.6%) となっている。



・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」のみ、「中央」と「幡多」のルートが目立って多く、「中央」と「幡多」以外の単一エリアのみで観光を終えた割合や「中央東」と「中央」のルートは少なくなっている。関東ブロックと同様に、高知県観光の中心が「中央」と「幡多」という結果となっている。また、「中央」から「東部」へのルートがブロック別で最も多い割合となっている。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体との比較]



3-1-7 甲信・東海

甲信・東海ブロックからの旅行者 157 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		3	14			1	4	22
	中央東	2		5			1	3	11
	中央	9	16		3	4	12	52	96
	中央西			1					1
	高幡						4	1	5
	幡多	1		7		3		11	22
	計	12	19	27	3	7	18	71	157

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					52	33.1 %
中央	→	中央東			12	7.6 %
幡多					11	7.0 %
中央	→	幡多			10	6.4 %
東部	→	中央			8	5.1 %
中央	→	東部			5	3.2 %
幡多	→	中央			5	3.2 %
東部					4	2.5 %
中央	→	高幡	→	幡多	4	2.5 %
高幡	→	幡多			4	2.5 %
東部	→	中央	→	幡多	3	1.9 %
中央東	→	中央			3	1.9 %
中央東					3	1.9 %

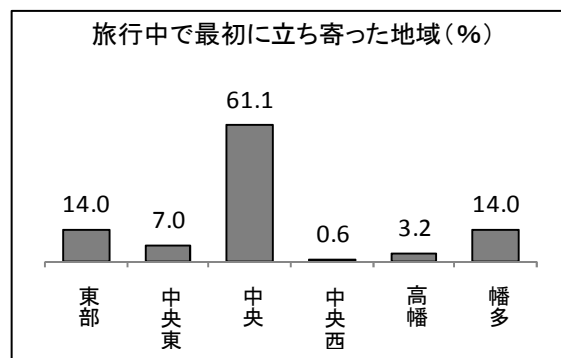
・上位を占めた周遊ルート

甲信・東海ブロックの旅行者 157 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 52 組 (33.1%) と最も多かった。次いで「中央」から「中央東」のルートが 12 組 (7.6%)、「幡多」のみが 11 組 (7.0%)、「中央」から「幡多」のルートが 10 組 (6.4%)、「東部」から「中央」のルートが 8 組 (5.1%) などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 71 組と甲信・東海全体の 45.1% を占めている。その内訳は「中央」52 組 (33.1%)、「幡多」11 組 (7.0%)、「東部」4 組 (2.5%)、「中央東」3 組 (1.9%)、「高幡」1 組 (0.6%) となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 96 組 (61.1%)、次いで「幡多」と「東部」が同数の 22 組 (14.0%)、「中央東」の 11 組 (7.0%)、「高幡」の 5 組 (3.2%)、「中央西」の 1 組 (0.6%) となっている。

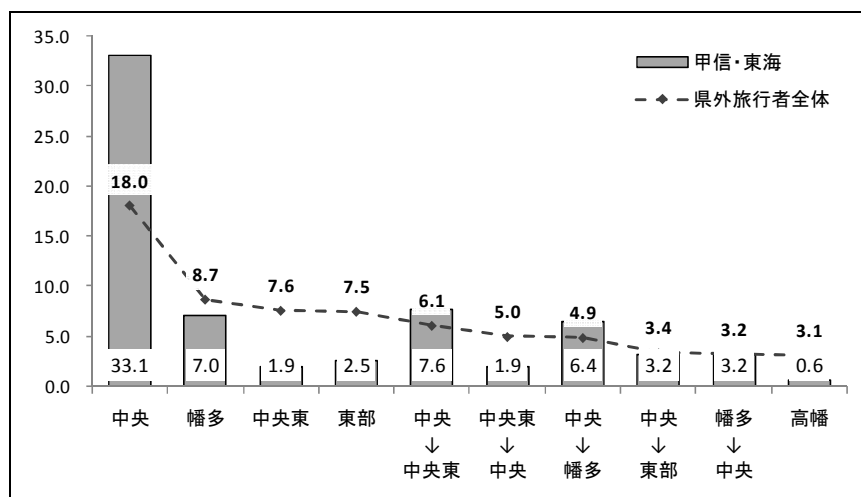


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」エリアのみで観光を終える割合が目立って多くなっている一方で、「中央」エリア以外の単一エリアで観光を終える割合は少なくなっている。その他のルートでは、「中央」から「中央東」と「中央」から「幡多」で県外全体を上回っている。

高知県観光は「中央」エリアが中心で、他のエリアとの組み合わせは「中央東」、「幡多」、「東部」などに分散しているという結果となっている。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-1-8 その他(北海道・東北、北陸・新潟、海外)

その他3ブロック(北海道・東北、北陸・新潟、海外)の旅行者73組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート(件)[周遊エリア2まで]

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		2	7				3	12
	中央東			3		1		4	8
	中央	4	9		2	1	8	15	39
	中央西		1	1			1	2	5
	高幡						3		3
	幡多		1	2				3	6
	計	4	13	13	2	2	12	27	73

発地別周遊ルート(件・%)[周遊エリア3まで]

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					15	20.5 %
中央	→	中央東			6	8.2 %
中央	→	幡多			6	8.2 %
東部	→	中央	→	幡多	4	5.5 %
中央東					4	5.5 %
東部	→	中央			3	4.1 %
東部					3	4.1 %
幡多					3	4.1 %
中央	→	中央東	→	中央	2	2.7 %
中央	→	幡多	→	中央	2	2.7 %
中央	→	東部			2	2.7 %
中央東	→	中央			2	2.7 %
高幡	→	幡多			2	2.7 %
東部	→	中央東	→	中央	2	2.7 %
中央西					2	2.7 %

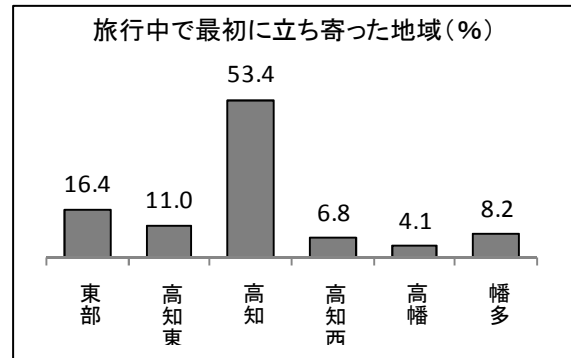
・上位を占めた周遊ルート

その他3ブロックの旅行者を合計した73組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が15組(20.5%)と最も多かった。次いで「中央」から「中央東」のルート、および「中央」から「幡多」のルートが同数の6組(8.2%)、「東部」-「中央」-「幡多」のルート、および「中央東」のみが同数の4組(5.5%)などとなっている。

単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で27組とその他全体の37.0%を占めた。その内訳は「中央」15組(20.5%)、「中央東」4組(5.5%)、「東部」と「幡多」が同数の3組(4.1%)、「中央西」2組(2.7%)となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く39組(53.4%)、次いで「東部」が12組(16.4%)、「中央東」の8組(11.0%)、「幡多」の6組(8.2%)、「中央西」の5組(6.8%)、「高幡」の3組(4.1%)となっている。

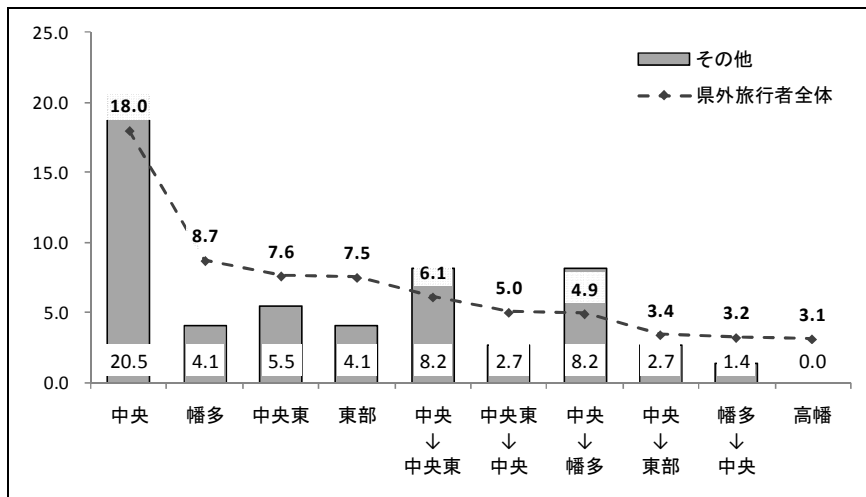


・周遊ルートの傾向

県外全体と比べ、「中央」から「幡多」、「中央」から「中央東」に向かうルートの割合が多くなっている。反面、それ以外のルートや「中央」エリア以外の単一エリアで観光を終える割合は少なくなっている。

サンプル数が少ないものの、近畿ブロックや甲信・東海ブロックと同様の傾向となっている。

主な周遊ルート割合(%) [県外旅行者全体の上位10位との比較]



3-1-9 高知県

県内旅行者 1,071 組の周遊ルートは以下の通りであった。

発地別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		11	4				252	267
	中央東	9		7	1			200	217
	中央	3	5		3	1		59	71
	中央西			5		1		180	186
	高幡	1	1	3	2		24	167	198
	幡多				1	7		124	132
	計	13	17	19	7	9	24	982	1,071

発地別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
東部					252	23.5 %
中央東					200	18.7 %
中央西					180	16.8 %
高幡					167	15.6 %
幡多					124	11.6 %
中央					59	5.5 %
高幡	→	幡多			23	2.1 %
東部	→	中央東			10	0.9 %
中央東	→	東部			9	0.8 %
中央東	→	中央			7	0.7 %
幡多	→	高幡			7	0.7 %
中央西	→	中央			5	0.5 %
東部	→	中央			4	0.4 %
中央	→	中央東	→	中央	3	0.3 %
高幡	→	中央			3	0.3 %

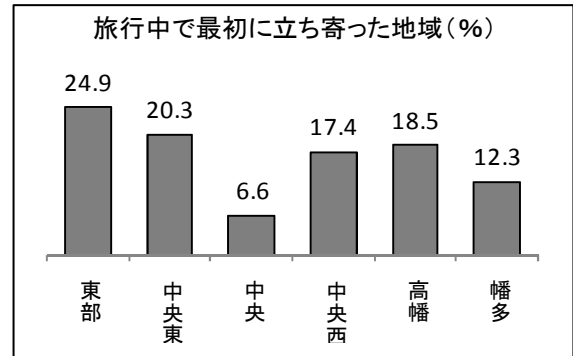
・上位を占めた周遊ルート

県内旅行者 1,071 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 252 組 (23.5%) と最も多かった。次いで「中央東」のみが 200 組 (18.7%)、「中央西」のみが 180 組 (16.8%)、「高幡」のみが 167 組 (15.6%)、「幡多」のみが 124 組 (11.6%)、「中央」のみが 59 組 (5.5%) などとなっている。このように、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートは、合計で 982 組と県内旅行者全体の 91.7% と大半を占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高幡」から「幡多」の 23 組 (2.1%)、「東部」から「中央東」の 10 組 (0.9%)、「中央東」から「東部」の 9 組 (0.8%) など、少数にとどまっている。

・周遊ルートの玄関口

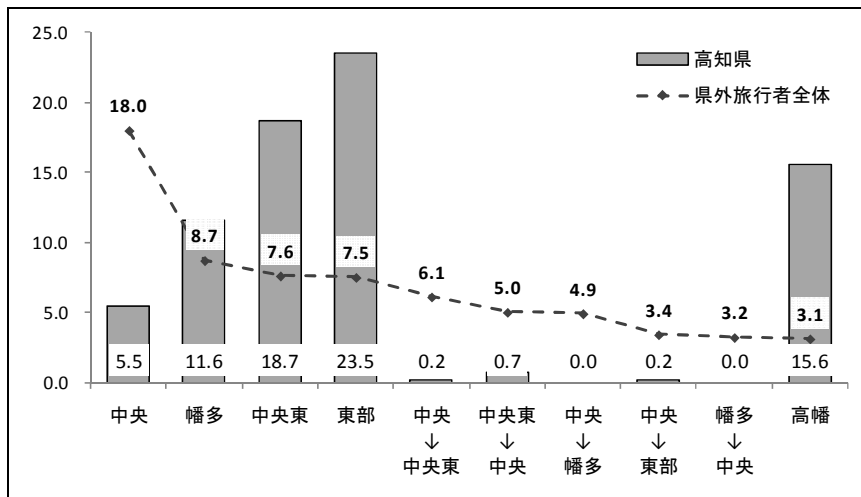
旅行中で最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 267 組 (24.9%)、次いで「中央東」の 217 組 (20.3%)、「高幡」の 198 組 (18.5%)、「中央西」の 186 組 (17.4%)、「幡多」の 132 組 (12.3%)、「中央」の 71 組 (6.6%) となっている。



・周遊ルートの傾向

「中央」をのぞいた単一エリアだけで観光を終える割合が多くなっている。さらに、平均立寄数が 1.4 ヶ所ということを踏まえると、調査地となっている観光地以外への立寄りが少なくなっている。

主な周遊ルート割合 (%) [県外旅行者全体との比較]



3-2 旅行形態別周遊ルート

3-2-1 家族

家族旅行 2,799 組の周遊ルートは以下の通りであった。

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊 エ リ ア 1	東部		44	80	2	4	11	283	424
	中央東	35		153	1	11	3	350	553
	中央	86	189		36	43	135	410	899
	中央西	4	5	48		5	3	167	232
	高幡	3	6	34	2		94	182	321
	幡多	8	5	90	2	28		237	370
	計	136	249	405	43	91	246	1629	2799

旅行形態別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					410	14.6 %
中央東					350	12.5 %
東部					283	10.1 %
幡多					237	8.5 %
高幡					182	6.5 %
中央西					167	6.0 %
中央	→	中央東			145	5.2 %
中央東	→	中央			125	4.5 %
中央	→	幡多			111	4.0 %
高幡	→	幡多			78	2.8 %
幡多	→	中央			71	2.5 %
中央	→	東部			69	2.5 %
東部	→	中央			55	2.0 %
中央西	→	中央			44	1.6 %
中央	→	中央西			30	1.1 %
高幡	→	中央			27	1.0 %
中央東	→	東部			26	0.9 %
東部	→	中央東			25	0.9 %
中央	→	中央東	→	中央	24	0.9 %

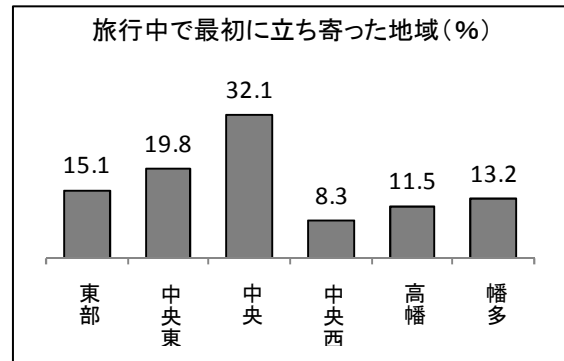
・上位を占めた周遊ルート

家族旅行 2,799 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した旅行者が 410 組 (14.6%) と最も多かった。次いで「中央東」のみが 350 組 (12.5%)、「東部」のみが 283 組 (10.1%)、「幡多」のみが 237 組 (8.5%)、「高幡」のみが 182 組 (6.5%)、「中央西」のみが 167 組 (6.0%) などとなっている。このように、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位を占めており、合計で 1,629 組と家族旅行全体の 58.2% と半数を超えている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「中央」から「中央東」の 145 組 (5.2%)、「中央東」から「中央」の 125 組 (4.5%)、「中央」から「幡多」の 111 組 (4.0%)、「高幡」から「幡多」の 78 組 (2.8%) などとなっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 889 組 (32.1%)、次いで「中央東」の 553 組 (19.8%)、「東部」の 424 組 (15.1%)、「幡多」の 370 組 (13.2%)、「高幡」の 321 組 (11.5%)、「中央西」の 232 組 (8.3%) となっている。

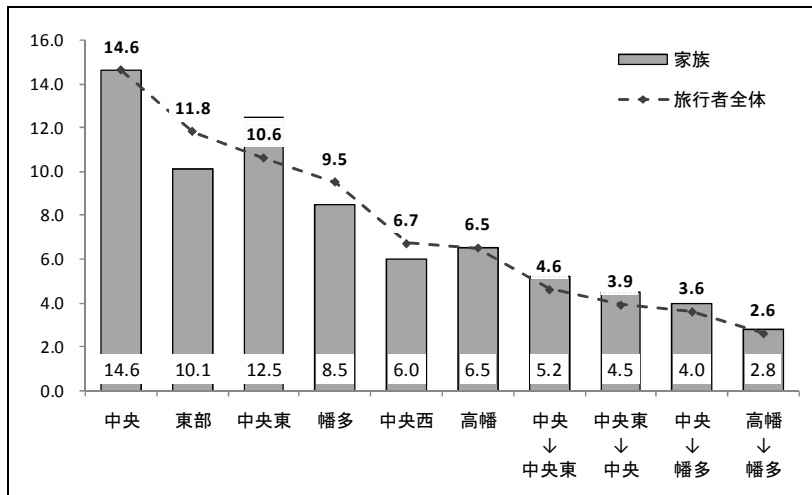


・周遊ルートの傾向

家族旅行が旅行者全体の 70.0% を占めているため、全体と同様の結果となっているものの、「東部」のみや「幡多」のみなどの割合が少なく、「中央東」の割合が多くなるなどの特徴がみられる。

立寄市町村割合でも“高知”が家族旅行の 40.9%、“南国・香美”が 13.8% を占めており、「中央」に次いで「中央東」エリアが家族旅行の人気が高くなっている。

主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-2 友人・知人

友人・知人との旅行者 682 組の周遊ルートは以下の通りであった。

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		14	25	1	1		103	144
	中央東	12		33	2	1	1	45	94
	中央	24	49		8	9	28	102	220
	中央西			9			1	37	47
	高幡	1	1	6			13	56	77
	幡多	1	1	17		12		69	100
	計	38	65	90	11	23	43	412	682

旅行形態別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
東部					103	15.1 %
中央					102	15.0 %
幡多					69	10.1 %
高幡					56	8.2 %
中央東					45	6.6 %
中央西					37	5.4 %
中央	→	中央東			29	4.3 %
中央東	→	中央			25	3.7 %
中央	→	幡多			22	3.2 %
中央	→	東部			20	2.9 %
東部	→	中央			18	2.6 %
幡多	→	中央			13	1.9 %
中央	→	中央東	→	中央	11	1.6 %
高幡	→	幡多			11	1.6 %
東部	→	中央東			10	1.5 %
中央東	→	東部			10	1.5 %
幡多	→	高幡			9	1.3 %
中央	→	高幡			7	1.0 %
中央西	→	中央			7	1.0 %

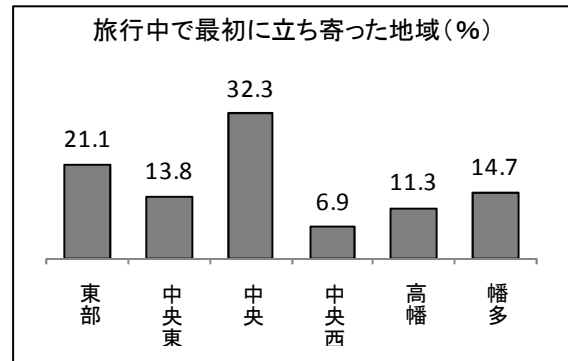
・上位を占めた周遊ルート

友人・知人との旅行者 682 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 103 組 (15.1%) と最も多かった。次いで「中央」のみが 102 組 (15.0%)、「幡多」のみが 69 組 (10.1%)、「高幡」のみが 56 組 (8.2%)、「中央東」のみが 45 組 (6.6%)、「中央西」のみが 37 組 (5.4%) などとなっている。家族旅行と同様に、単一エリアだけで観光を終える周遊ルートで上位を占めており、その合計は 412 組と友人・知人との旅行全体の 60.4% と半数を超えている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「中央」から「中央東」の 29 組 (4.3%)、「中央東」から「中央」の 25 組 (3.7%)、「中央」から「幡多」の 22 組 (3.2%)、「中央」から「東部」の 20 組 (2.9%) などとなっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 220 組 (32.3%)、次いで「東部」の 144 組 (21.1%)、「幡多」の 100 組 (14.7%)、「中央東」の 94 組 (13.8%)、「高幡」の 77 組 (11.3%)、「中央西」の 47 組 (6.9%) となっている。

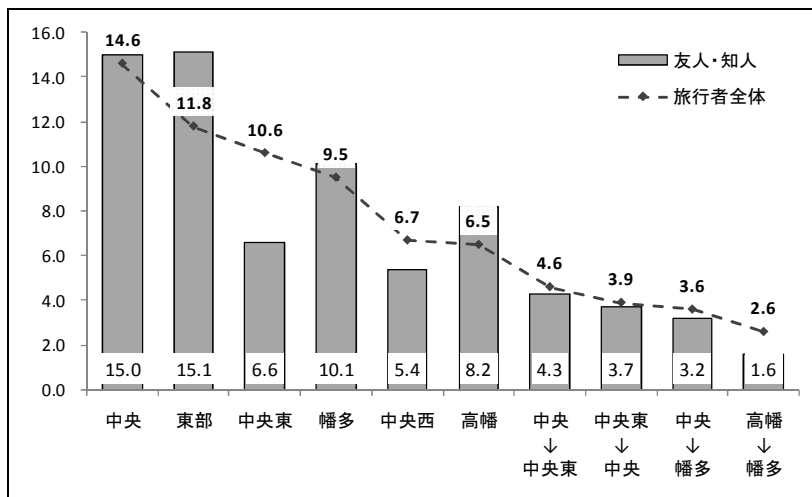


・周遊ルートの傾向

旅行者全体と比べ、「東部」のみの割合が目立って多くなっている。立寄り市町村割合で“東洋・室戸”や“奈半利・田野等”の割合が全体平均を上回っていることから、「東部」エリア内の周遊が多いことが推測される。

また、「中央東」はエリア単独で観光を終える割合は少なく、「中央」エリアとの組み合わせで周遊するという傾向が表れている。

主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-3 団体

団体旅行 29 組の周遊ルートは以下の通りであった。

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部							1	1
	中央東							2	2
	中央		2				1	12	15
	中央西							1	1
	高幡						1	2	3
	幡多			1		1		5	7
	計		2	1		1	2	23	29

旅行形態別周遊ルート（件・%）〔周遊エリア3まで〕

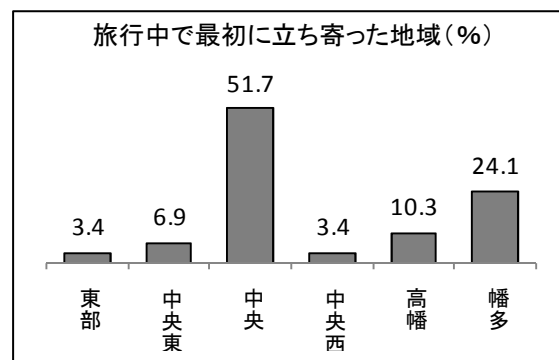
周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
中央					12	41.4 %
幡多					5	17.2 %
中央東					2	6.9 %
中央	→	中央東			2	6.9 %
高幡					2	6.9 %
東部					1	3.4 %
中央	→	幡多			1	3.4 %
中央西					1	3.4 %
高幡	→	幡多			1	3.4 %
幡多	→	中央			1	3.4 %
幡多	→	高幡			1	3.4 %

・上位を占めた周遊ルート

団体旅行 29 組の周遊ルートを見ると、「中央」のみを訪問した団体旅行が 12 組（41.4%）と最も多かった。次いで「幡多」のみが 5 組（17.2%）、「中央東」のみ、「中央」から「中央東」のルート、「高幡」のみが同数の 2 組（6.9%）などと続く。単一エリアだけで観光を終える周遊ルートの合計は 23 組、団体旅行全体の 79.3%となっている。

・周遊ルートの玄関口

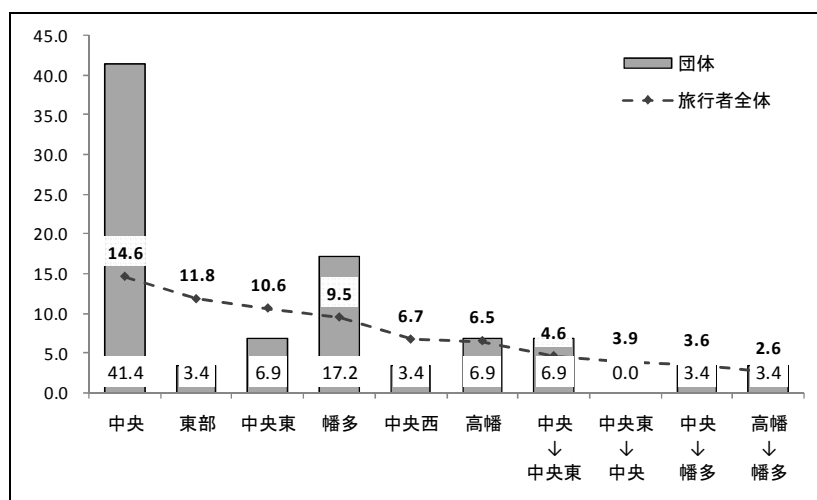
旅行中で最初に立ち寄った地域は、「中央」が最も多く 15 組（51.7%）と半数を超え、次いで「幡多」の 7 組（24.1%）、「高幡」の 3 組（10.3%）、「中央東」の 2 組（6.9%）、「東部」と「中央西」が 1 組（3.4%）となっている。



・周遊ルートの傾向

旅行者全体と比べ、「中央」のみと「幡多」のみの割合が目立って多くなっている。単一エリアだけで高知県観光を終える割合が多いことから、団体旅行では、高知県内では単一エリアのみを目的としていることが多いと言える。

主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



3-2-4 一人

一人旅の旅行者 451 人の周遊ルートは以下の通りであった。

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア2まで〕

		周遊エリア2							計
		東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多	他エリアへの移動なし	
周遊エリア1	東部		10	28		3	5	80	126
	中央東	2		4	1			20	27
	中央	18	10		5	8	14	52	107
	中央西			8			1	60	69
	高幡			5	1		14	19	39
	幡多	3		11		6		63	83
	計	23	20	56	7	17	34	294	451

旅行形態別周遊ルート（件）〔周遊エリア3まで〕

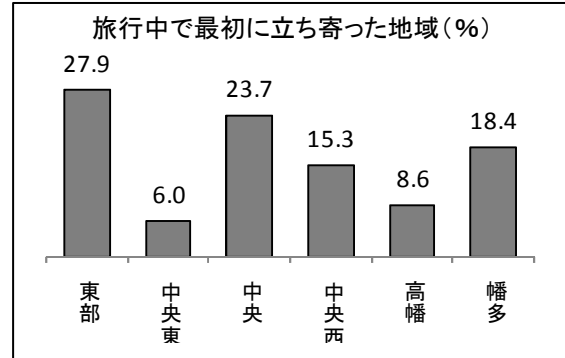
周遊エリア1	→	周遊エリア2	→	周遊エリア3	件数	割合
東部					80	17.7 %
幡多					63	14.0 %
中央西					60	13.3 %
中央					52	11.5 %
中央東					20	4.4 %
高幡					19	4.2 %
東部	→	中央	→	幡多	13	2.9 %
中央	→	東部			12	2.7 %
高幡	→	幡多			11	2.4 %
東部	→	中央			10	2.2 %
中央	→	幡多			10	2.2 %
中央西	→	中央			8	1.8 %
幡多	→	中央			7	1.6 %
東部	→	中央東	→	中央	7	1.6 %
東部	→	中央	→	高幡	5	1.1 %
中央	→	東部	→	中央	5	1.1 %
中央	→	中央東			5	1.1 %
東部	→	幡多			5	1.1 %

・上位を占めた周遊ルート

一人旅の旅行者 451 人の周遊ルートを見ると、「東部」のみを訪問した旅行者が 80 人 (17.7%) と最も多かった。次いで「幡多」のみが 63 人 (14.0%)、「中央西」のみが 60 人 (13.3%)、「中央」のみが 52 人 (11.5%)、「中央東」のみが 20 人 (4.4%)、「高幡」のみが 19 人 (4.2%) などとなっている。このように単一エリアだけで観光を終える周遊ルートが上位を占めており、その合計は 294 人、一人旅全体の 65.2%となっている。

・周遊ルートの玄関口

旅行中で最初に立ち寄った地域は、「東部」が最も多く 126 人 (27.9%)、次いで「中央」の 107 人 (23.7%)、「幡多」83 人 (18.4%)、「中央西」69 人 (15.3%)、「高幡」39 人 (8.6%)、「中央東」が 27 人 (6.0%) となっている。

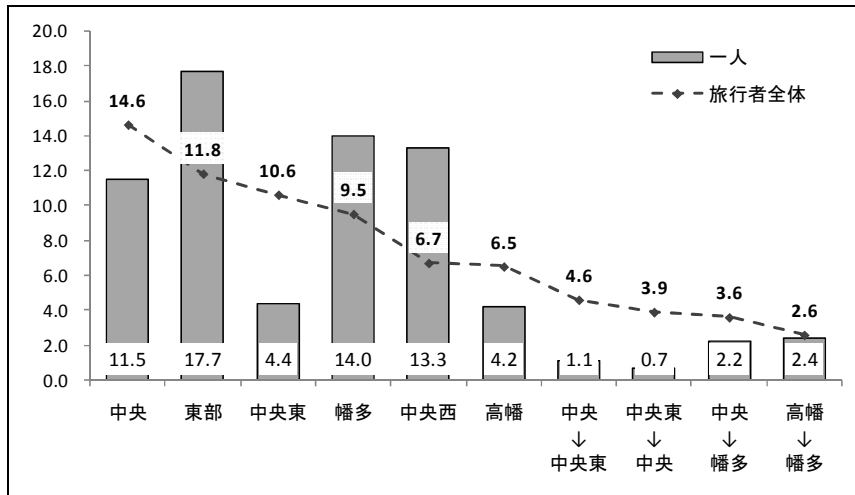


・周遊ルートの傾向

旅行者全体と比べ、「東部」、「幡多」、「中央西」の割合が目立って多くなっている。その一方で「中央東」、「中央」、「高幡」は少なく、エリアによって傾向が分かれている。また、全体と一人旅では、広範囲に移動するルートの上位がほとんど合致していない。

エリアを越える周遊ルートでは、「東部」から「中央」さらに「幡多」へ向かうという、県内全域を横断するルートが最も多くなっていることが他に見られない特徴である。

主な周遊ルート割合(%) [旅行者全体の上位 10 位との比較]



IX 参考資料（市町村報告分）

1 祭り・イベントの入込状況

市町村名	祭り・イベント名	H23開催日	H23入込数
高知市	南国土佐皿鉢祭	中止	
	高知城花回廊	4/1～3	49,000
	こうち春花まつり	5/3～5	392,928
	よさこい祭り	8/9～12	1,200,000
	高知市納涼花火大会	8/9	55,000
	龍馬まつり	11/13	8,000
	梅まつり	2/12～3/13	4,500
室戸市	ふるさと室戸まつり	7/17	4,000
	室戸市産業祭	11/13	3,000
	灯台まつり	10/29,30	1,119
安芸市	手づくり登り窯フェスタ	11/13	1,500
	安芸市納涼市民祭	8/6,7	15,000
南国市	菊人形・菊花展つらゆき時代まつり	11/3～11/6	3,000
	土佐の食1グランプリ	5/21	4,500
	第6回ごめんの軽トラ市	2/6	3,000
	第7回ごめんの軽トラ市	6/5	1,500
	第8回ごめんの軽トラ市	11/6	2,500
土佐市	宇佐大鍋まつり	5/3	8,000
	蓮池ハスまつり	7/10	2,000
	宇佐港まつり	8/13	20,000
	大綱まつり	8/20	15,000
	南中町コスモスまつり	10/23	500
	ふれあいフェスタ2011 in TOSA City	11/6	800
須崎市	桑田山雪割桜	2～3月	10,000
	須崎まつり	8/5～8/7	20,000
	須崎市ドラゴンカヌー大会	8/7	3,000
	くろしおフェアinすさき	9/10,11	20,000
	桑田山菊花園	11月	3,000
	海の駅・須崎の魚祭り	中止	—
宿毛市	市民祭宿毛まつり	10/8～10/10	16,000
	寒蘭の里 とさ宿毛展示大会	11/12～11/13	800
	宿毛花へんろマラソン	3/18	1,248
土佐清水市	あしづり祭	8/12,13	50,000
	産業祭	12/3,4	20,000
四万十市	四万十桜まつり	3/12～4/3	10,000
	納涼花火大会	8/27	40,000
	大文字送り火	8/21	2,000
	不破八幡宮大祭	10/8,9	15,000
	一條神社大祭	11/22,23	35,000
	観光カヌー開き	4/17	350
香南市	どろめ祭り	中止	—
	絵金祭り	7/16～17	18,000
	冬の夏祭り	12/3～4	7,000
	香南市みなこい港まつり	7/31	20,000
	手結盆踊り	8/15	20,000
	マリンフェスティバルYASU	7/17	10,000
	海辺のイルミネーション	12/1～30	25,000

市町村名	祭り・イベント名		
香 美 市	桜まつり	3/25～4/10	5,000
	土佐山田まつり	8/6	8,000
	刃物まつり	10/15～10/16	50,000
	川上様夏祭り	7/27	3,000
	川上様秋祭り	11/3	2,000
	奥物部湖水祭	8/14	10,000
東 洋 町	東洋町納涼祭	7/30	2,000
奈 半 利 町	奈半利町港まつり	8/16	10,000
田 野 町	みんなの夏まつり	8/15	2,000
安 田 町	唐浜駅まつり	7/2	1,000
	安田の夢まつり	8/13	1,000
	なかやま山芋まつり	12/11	800
芸 西 村	琴ヶ浜松原観月の宴	10/10	1,500
	芸西フェスタ	11/13	1,000
	カシオワールドオープン	11/24～11/27	17,766
本 山 町	もとやま花まつり	10/10	1,500
大 豊 町	福寿草まつり	2/12～3/11	2,737
土 佐 町	やまびこカーニバル	11/24～11/27	17,766
大 川 村	謝肉祭	1/11	1,500
い の 町	仁淀川紙のこいのぼり	5/3/～5/5	17,000
	いの大国様春大祭	2/13	80,000
	ほのぼの王国もみじまつり	11/13	2,774
仁 淀 川 町	秋葉まつり	2/11	10,000
	茶霧湖まつり	8/16	1,000
中 土 佐 町	かつお祭	5/15	18,000
	久礼八幡宮大祭	9/11.12	25,000
	上ノ加江黒潮ふれあい祭り	11/20	800
佐 川 町	さくらまつり	3/26～4/17	6,000
越 知 町	によどかあにばる	7/30	10,000
	コスモスまつり	10/1～10/16	100,000
日 高 村	日高村菜の花エコまつり	中止	—
	目高大池アジサイ祭り	中止	—
	ひだか茂平マラソン	11/27	1,400
津 野 町	津野町ふれあい特産市	6/5	300
	津野町夏まつり	8/15	3,000
	津野町産業祭	12/4	2,000
四 万 十 町	台地まつり・谷干城まつり	11/3,4	2,400
	米・こめフェスタ	10/23	9,300
	四万十大正あゆまつり	8/20	2,800
	こいのぼりの川渡し	4/16～5/19	15,000
	「よってこい四万十」こいのぼり交流の集い	中止	—
大 月 町	大月まつり	8/20	3,500
	大月町産業祭	11/3	4,500
	大月コスモスまつり	中止	—
三 原 村	つつじまつり	中止	—
	清流まつり	7/18	1,000
	みはら祭り	8/15	3,000
	どぶろく祭り	11/3	6,500
黒 潮 町	とさ佐賀のもどりガツオ祭	10/22	5,000
	Tシャツアート展	5/1～5	12,209
	高知大方シーサイドはだしマラソン全国大会	5/3	749
	シーサイドギャラリー夏(花火大会他)	8/15	15,000

2 道の駅・朝市・市場利用状況

※朝市・市場の対象は地元以外からの集客が見込まれるもので、観光の対象として取り扱っているもの。

(道の駅)

(単位:人)

市町村名	名 称	平成23年	平成22年	対前年比(%)
室戸市	道の駅「キラメッセ室戸」	244,968	230,011	106.5
安芸市	道の駅「大山」	59,110	65,158	90.7
南国市	道の駅「南国」	345,517	341,577	101.2
須崎市	道の駅「かわうその里すさき」	444,399	531,666	83.6
宿毛市	道の駅「すくも(サニーサイドパーク)」	150,000	140,000	107.1
土佐清水市	道の駅「メジカの里土佐清水」	26,941	25,234	106.8
香南市	道の駅「やす」	352,558	395,151	89.2
東洋町	海の駅 東洋町	153,445	149,369	102.7
田野町	道の駅「田野駅屋」	208,675	201,119	103.8
大豊町	道の駅「大杉」	17,231	17,858	96.5
土佐町	道の駅「土佐さめうら」	28,998	24,985	116.1
いの町	道の駅「木の香」	53,147	35,625	149.2
	道の駅「633美の里」	98,532	100,187	98.3
	道の駅「土佐和紙工芸村」	89,457	91,074	98.2
梶原町	道の駅「ゆすはら(太郎川公園)」	119,911	97,016	123.6
津野町	道の駅「布施ヶ坂」	161,163	159,610	101.0
四万十町	道の駅「あぐり窪川」	366,984	360,920	101.7
	道の駅「四万十大正」	14,627	13,463	108.6
	道の駅「四万十とおわ」	147,758	141,928	104.1
黒潮町	道の駅「ビオスおおがた」	440,434	406,264	108.4

(朝市・市場)

(単位:人)

市町村名	名 称	平成23年	平成22年	対前年比(%)
高知市	日曜日	1,000,000	1,110,000	90.1
南国市	土曜日	15,000	15,000	100.0
土佐市	日曜日	35,000	35,000	100.0
香南市	道の駅やす「やすらぎ市」	215,446	209,013	103.1
香美市	奥物部ふるさと市	63,892	75,548	84.6
芸西村	かっぱ市	88,664	98,021	90.5
本山町	本山さくら市	172,500	168,563	102.3
中土佐町	久礼大正町市場	144,000	168,563	85.4
	久礼魚河岸市	開催なし	550	—
四万十町	道の駅「ふるさと市」	1,500	1,500	100.0
大月町	ふれあい市	143,774	139,293	103.2

3 キャンプ場・海水浴場利用状況

各市町村からの報告により掲載。

(キャンプ場)

(単位:人)

	名 称	平成23年	平成22年	対前年比
室 戸 市	夕陽ヶ丘キャンプ場	599	1,014	59.1
宿 毛 市	笹平キャンプ場	2,800	2,700	103.7
	白岩岬キャンプ場	1,000	1,000	100.0
四 万 十 市	とまろっと	13,567	14,269	95.1
	四万十カヌーとキャンプの里かわらっこ	7,942	8,623	92.1
	四万十ひろば	1,690	995	169.8
香 南 市	舞川キャンプ場	231	200	115.5
香 美 市	日ノ御子キャンプ場	6,071	5,588	108.6
	べふキャンプ場	415	583	71.2
東 洋 町	白浜キャンプ場	1,409	1,179	119.5
安 田 町	安田川アユおどる清流キャンプ場	3,046	3,484	87.4
馬 路 村	魚梁瀬オートキャンプ場	700	769	91.0
本 山 町	白髪山ふれあいの村休養センター	390	441	88.4
大 豊 町	ゆとりすとパークおおとよ	1,679	1,561	107.6
土 佐 町	さめうら森林公園	580	730	79.5
大 川 村	白滝の里オートキャンプ場	135	144	93.8
い の 町	グリーンパークほどの	2,829	7,449	38.0
中土佐町	天満宮前キャンプ場	1,605	1,997	80.4
梶 原 町	太郎川公園	8,203	9,611	85.4
四 万 十 町	リバーパーク轟キャンプ場	351	418	84.0
	ウェル花夢	6,186	6,755	91.6
	ふるさと交流センター	1,757	1,635	107.5
	三島キャンプ場	769	755	101.9
大 月 町	大月エコロジーキャンプ場	2,437	3,740	65.2
	檜西キャンプ場	2,000	2,000	100.0
	柏島キャンプ場	4,500	4,000	112.5
黒 潮 町	松原キャンプ場	1,693	1,966	86.1

(海水浴場)

市町村名	名 称	平成23年	平成22年	対前年比
宿 毛 市	沖の島久保浦	1,400	1,400	100.0
	沖の島うどの浜	2,000	2,000	100.0
土佐清水市	大岐浜	16,459	16,493	99.8
	桜浜海水浴場	1,662	1,730	96.1
香 南 市	ヤ・シイパーク	215,000	261,533	82.2
東 洋 町	白浜海水浴場	8,205	6,694	122.6
四 万 十 町	興津海水浴場	20,896	26,591	78.6
大 月 町	檜西海水浴場	5,000	6,000	83.3
	柏島海水浴場	5,500	6,000	91.7
黒 潮 町	浮津海水浴場	4,470	6,162	72.5
	入野海水浴場	1,474	1,734	85.0

4 温泉施設利用状況

地元以外の集客が多く見込まれ、物品販売等の観光のサービスが集積しているもので、市町村から報告のあった施設のみ掲載。

(単位:人)

市町村名	温泉施設				
	名称	平成23年	平成22年	対前年比(%)	備考
高知市	三翠園・水哉閣	66,150	129,961	50.9	宿泊含む
	温泉RIO	29,682	31,650	93.8	温泉利用者のみ
安芸市	温泉こまどり	7,956	4,717	168.7	食事含む
須崎市	桑田山温泉	23,230	23,000	101.0	温泉利用者のみ
	山里温泉	1,190	2,000	59.5	宿泊含む
土佐清水市	足摺テルメ	28,309	34,978	80.9	宿泊含む
四万十市	四万十いやしの里	88,753	97,728	90.8	宿泊含む
	山村ヘルスセンター	4,804	5,738	83.7	宿泊含む
	ホテル星羅四万十	7,181	9,702	74.0	宿泊含む
香美市	夢の温泉	5,750	6,785	84.7	宿泊含む
	べふ峡温泉	15,635	16,445	95.1	宿泊含む
北川村	森林センター北川温泉	25,059	28,650	87.5	宿泊含む
馬路村	馬路温泉	24,336	27,106	89.8	宿泊含む
芸西村	よさこい温泉(土佐ロイヤルホテル)	69,053	84,671	81.6	宿泊含む
いの町	蘇鶴温泉	14,842	16,401	90.5	温泉利用者のみ
	かんぼの宿伊野(仁淀川伊野温泉)	79,811	117,575	67.9	温泉利用者のみ
	木の香温泉	31,611	35,625	88.7	温泉利用者のみ
	吾北むささび温泉	44,071	44,870	98.2	温泉利用者のみ
仁淀川町	中津溪谷ゆの森	28,912	32,665	88.5	温泉利用者のみ
中土佐町	黒潮本陣	36,264	39,367	92.1	温泉利用者のみ
	四万十源流の家	2,425	3,642	66.6	温泉利用者のみ
梶原町	雲の上の温泉	52,647	53,789	97.9	温泉利用者のみ
四万十町	松葉川温泉	48,937	62,440	78.4	温泉利用者のみ